
AX7800R・AX7700R ソフトウェアマニュアル

MIB レファレンス

Ver. 10.10 対応 Rev.1

AX-10-013-K0

■対象製品

このマニュアルは AX7800R および AX7700R モデルを対象に記載しています。また、AX7800R のソフトウェアおよび AX7700R のソフトウェア、いずれも Ver. 10.10 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、基本ソフトウェア OS-R および各種オプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

JP1 は、(株)日立製作所の日本における商品名称(商標又は、登録商標)です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

NetFlow は米国およびその他の国における米国 Cisco Systems, Inc. の登録商標です。

Octpower は、日本電気(株)の登録商標です。

OpenView は、Hewlett-Packard Company の商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

Solaris は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2011年 2月 (第14版) AX-10-013-K0

■著作権

Copyright (c)2005, 2011, ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

変更履歴

【Ver. 10.10 Rev.1】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
4.1 サポートトラップおよび発行契機	・ PIM 隣接ノードに関する記述を追加しました。
4.2 サポートトラップ・PDU 内パラメータ	・ PIM 隣接ノードに関する記述を追加しました。

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver. 10.10 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
axrFlowResources グループ	・ 実装仕様の記述を変更しました。
axrFlowFilter グループ	・ 実装仕様の記述を変更しました。
axrFlowFilterStats グループ	・ 実装仕様の記述を変更しました。
axrFlowQos グループ	・ 実装仕様の記述を変更しました。
axrFlowQosStats グループ	・ 実装仕様の記述を変更しました。

【Ver. 10.9 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	・ BFD 情報に関する記述を追加しました。
MIB 一覧	・ BFD 情報に関する記述を追加しました。
axrBfdMIB グループ (BFD 情報 MIB)	・ 本節を追加しました。
サポート MIB トラップ	・ トラップ名称の先頭にモデル名を付けました。 例：axr 〜→ ax7800r 〜 axr 〜→ ax7700r 〜 以下は変更前の名称です。 ・ axrEfmoamUlldPortInactivateTrap ・ axrEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap

【Ver. 10.7 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ax7800rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)	・ 1000BASE-LHB の記述を追加しました。
ax7700rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)	・ 1000BASE-LHB の記述を追加しました。

このマニュアルで使用する用語を次のとおり変更しました。

・「構成定義情報」を「コンフィグレーション」に、その他「構成定義」を含む用語を「コンフィグレーション」を含む用語に変更。

・「系交替」を「系切替」に変更。

【Ver. 10.6 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ax7800rBcuBoard グループ (BCU 情報)	- ax7800rBcuIoBoardType の実装仕様の記述を変更しました。 - 電圧情報のオブジェクト識別子を追加しました。
ax7800rNifBoard グループ (NIF 情報)	電圧情報のオブジェクト識別子を追加しました。

【Ver. 10.5 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ipMrouteTable	実装仕様に nonstop forwarding 有効時の仕様を追加しました。

【Ver. 10.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
サポートトラップおよび発行契機	- axrEfmoamUlldPortInactivateTrap を追加しました。 - axrEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap を追加しました。
サポートトラップ・PDU 内パラメータ	- axrEfmoamUlldPortInactivateTrap を追加しました。 - axrEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap を追加しました。

【Ver. 10.2 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	ipMRouteStdMIB(83), igmpStdMIB(85) を追加しました。
MIB 一覧	- ipMRouteStdMIB グループ, igmpStdMIB グループを追加しました。 - axrStats グループに axrIpStats グループを追加しました。 - axrStatic グループに axrStaticIpv6Table グループを追加しました。
interfaces グループ (イーサネットの場合)	ifInOctets, ifOutOctets のリンクアグリゲーションの記述を変更しました。
ifMIB (イーサネットの場合)	ifHCInOctets, ifHCOctets のリンクアグリゲーションの記述を変更しました。
vrrpOperations グループ	vrrpOperations グループの実装仕様に vrrpOperationsTable, vrrpAssociatedIpAddrTable を追加しました。
vrrpStatistics グループ	vrrpStatistics グループの実装仕様に vrrpRouterStatisticsTable を追加しました。
ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB)	本節を追加しました。
igmpStdMIB グループ (IGMP MIB)	本節を追加しました。
pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB)	本節を全面的に変更しました。
axrStats グループ (統計情報 MIB)	- axrIpStats グループを追加しました。 - axrIpNullInDiscards, axrIpv6NullInDiscards オブジェクトを追加しました。
axrStaticIpv6Table グループ	スタティック経路情報のオブジェクト識別子を追加しました。

項目	追加・変更内容
ax7800rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)	ax7800rPhysLineConnectorType の実装仕様に type10GBASE-SR を追加しました。
ax7700rPruBoard グループ (PRU 情報)	ax7700rPruBoardType 値に以下の PRU を追加しました。 rb2-10g4rx
ax7700rNifBoard グループ (NIF 情報)	ax7700rNifBoardType 値に以下の NIF を追加しました。 4-port 10GBASE-R(XFP) (PRU-B2 内蔵)
ax7700rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)	ax7700rPhysLineConnectorType の実装仕様に type10GBASE-SR, type10GBASE-ER を追加しました。
サポートトラップおよび発行契機	サポートトラップおよび発行契機に vrrpTrapProtoError, axrStaticIpv6GatewayStateChange を追加しました。
サポートトラップ・PDU 内パラメータ	- サポートトラップ・PDU 内パラメータに vrrpTrapProtoError, axrStaticIpv6GatewayStateChange を追加しました。 - OSPF トラップおよび BGP トラップの OID 値を変更しました。

【Ver. 10.1 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
pimMIB グループ (PIM 情報 MIB)	本節を追加しました。
axrVpn グループ (VPN 情報 MIB)	本節を追加しました。
axrMpls グループ (MPLS 情報 MIB)	本節を追加しました。
axrFlowResources グループ	MPLS のオブジェクト識別子を追加しました。
axrFlowFilter グループ	MPLS のオブジェクト識別子を追加しました。
axrFlowFilterStats グループ	MPLS のオブジェクト識別子を追加しました。
axrFlowQos グループ	MPLS のオブジェクト識別子を追加しました。
ax7800rPruBoard グループ (PRU 情報)	PRU-D2 の記述を追加しました。
ax7700rPruBoard グループ (PRU 情報)	PRU-D2 の記述を追加しました。

【Ver. 10.0 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ax7800rNifBoard グループ (NIF 情報)	ax7800rNifBoardType 値に以下の NIF を追加しました。 4-port 10GBASE-R(XFP) (PRU-B2 内蔵)
ax7700rNifBoard グループ (NIF 情報)	ax7700rNifBoardType 値に以下の NIF を追加しました。 4-port 10GBASE-R(XFP) (PRU-E1 内蔵)

【Ver. 9.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	MIB 体系図に ax7700r(5), ax7700rMib(5), axrStatic(38), snmpV2(6), snmpModules(3) を追加しました。
snmpModules(SNMPv3 情報 MIB)	本節を追加しました。

項目	追加・変更内容
axrStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)	• 本節を追加しました。
ax7800rNifBoard グループ (NIF 情報)	• ax7800rNifBoardType 値に以下の NIF を追加しました。 8-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T + 4-port 1000BASE-X(SFP)
ax7700rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB)	• 本節を追加しました。
ax7700rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB)	• 本節を追加しました。

【Ver. 9.3 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	• MIB 体系図に axrFlow(8) を追加しました。
axrQos グループ	• axrEthShaperAgQueStats グループの実装仕様に axrEthShaperDefAgQueStatsTable を追加しました。
axrFlow グループ (FLOW 情報 MIB)	• 本節を追加しました。
ax7800rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)	• ax7800rPhysLineTransceiverStatus を追加しました。

はじめに

■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX7800R および AX7700R モデルを対象に記載しています。また、AX7800R のソフトウェアおよび AX7700R のソフトウェア、いずれも Ver. 10.10 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、基本ソフトウェア OS-R および各種オプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

また、このマニュアルは前回の Ver. 10.10 対応マニュアル発行以降の追加および変更を記載し、Ver. 10.10 Rev.1 としたものです。

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

なお、このマニュアルでは特に断らないかぎり AX7800R と AX7700R に共通の機能について記載しますが、どちらかの機種固有の機能については以下のマークで示します。

【AX7800R】：

AX7800R についての記述です。

【AX7700R】：

AX7700R についての記述です。

また、このマニュアルでは特に断らないかぎり基本ソフトウェア OS-R の機能について記載しますが、各種オプションライセンスでサポートする機能については以下のマークで示します。

【OP-ADV】：

オプションライセンス OP-ADV についての記述です。

【OP-BFD】：

AX7800R のオプションライセンス OP-BFD についての記述です。

【OP-BGP】：

オプションライセンス OP-BGP についての記述です。

【OP-F64K】：

オプションライセンス OP-F64K についての記述です。

【OP-ISIS】：

オプションライセンス OP-ISIS についての記述です。

【OP-MBSE】：

オプションライセンス OP-MBSE についての記述です。

【OP-MLT】：

オプションライセンス OP-MLT についての記述です。

【OP-MPLS】：

オプションライセンス OP-MPLS についての記述です。

■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は、ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■対象読者

AX7800R または AX7700R を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象とし

ています。

また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

■マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す四つの章と付録から構成されています。

第1章 サポート MIB の概要

本装置が実装する MIB の概要について説明しています。

第2章 標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)

本装置が実装する標準 MIB の実装仕様について説明しています。

第3章 プライベート MIB

本装置が実装するプライベート MIB の実装仕様について説明しています。

第4章 サポート MIB トラップ

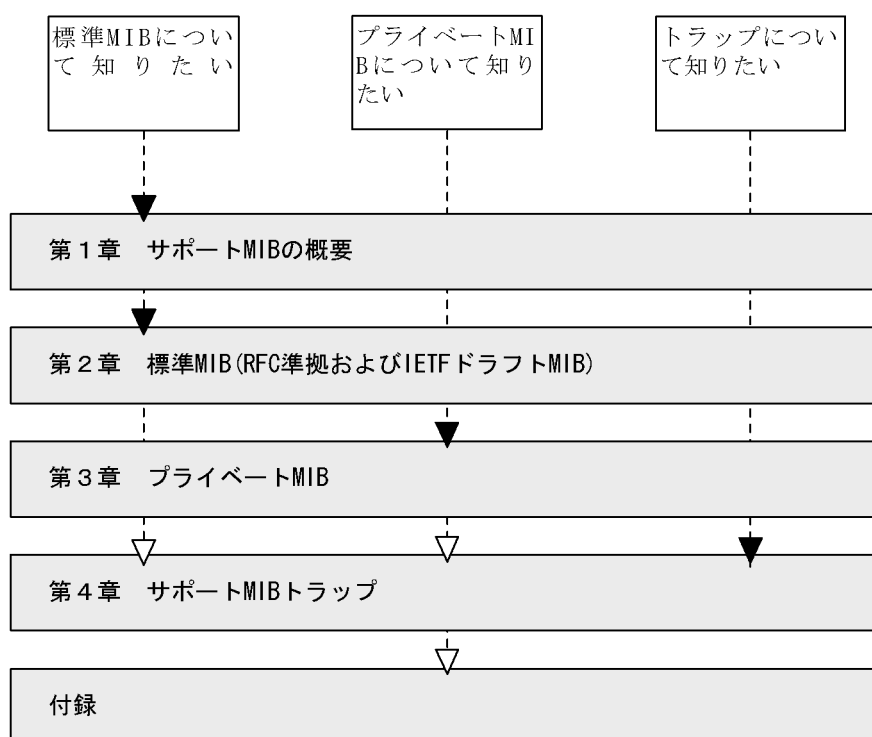
サポート MIB のトラップについて説明しています。

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

プライベート MIB とオブジェクト ID 値の対応について説明しています。

■読書手順

このマニュアルは次の手順でお読みいただくことをお勧めします。



(凡例)

 : 必ず読む項目
  : 必要に応じて読む項目

■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しておりますので、あわせてご利用ください。

<http://www.alaxala.com>

■マニュアルの読書手順

本装置の導入、セットアップ、日常運用までの作業フローに従って、それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

●ハードウェアの構成，およびソフトウェアの機能を知りたい

解説書 Vol.1
(AX-10-002)

解説書 Vol.2
(AX-10-003)

●ハードウェアの設備条件，取扱方法を調べる

AX7800R・AX7700R
ハードウェア取扱説明書
(AX-10-014)

●コンフィグレーションの作成方法，設定例

→各コマンドの入力シンタックス，パラメータ詳細

コンフィグレーションガイド
(AX-10-004)

コンフィグレーション
コマンドレファレンス Vol.1
(AX-10-008)

コンフィグレーション
コマンドレファレンス Vol.2
(AX-10-009)

●運用管理方法，トラブルシュート →各コマンドの入力シンタックス，パラメータ詳細

運用ガイド
(AX-10-005)

運用コマンドレファレンス
Vol.1
(AX-10-010)

運用コマンドレファレンス
Vol.2
(AX-10-011)

→運用ログ詳細

メッセージ・ログレファレンス
(AX-10-012)

→MIB詳細

MIBレファレンス
(AX-10-013)

■このマニュアルでの表記

ABR	Available Bit Rate
AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
ATM	Asynchronous Transfer Mode

AUX	Auxiliary
BCU	Basic management Control module
BFD	Bidirectional Forwarding Detection
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second *bpsと表記する場合があります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
CBR	Constant Bit Rate
CDP	Cisco Discovery Protocol
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CP	multi layer Control Processor
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
Diff-serv	Differentiated Services
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DLCI	Data Link Connection Identifier
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FR	Frame Relay
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GFR	Guaranteed Frame Rate
HDLCL	High level Data Link Control
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IIH	IS-IS Hello
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
IS	Intermediate System
IS-IS	Information technology - Telecommunications and Information exchange between systems - Intermediate system to Intermediate system Intra-Domain routing information exchange protocol for use in conjunction with the Protocol for providing the Connectionless-mode Network Service (ISO 8473)
ISDN	Integrated Services Digital Network
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing

LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MIB	Management Information Base
MPLS	Multi-Protocol Label Switching
MRU	Maximum Receive Unit
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NIF	Network Interface board
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations, Administration, and Maintenance
OSI	Open Systems Interconnection
OSINLCP	OSI Network Layer Control Protocol
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
PAD	PADding
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol Identifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
POH	Path Over Head
POS	PPP over SONET/SDH
PPP	Point-to-Point Protocol
PPPoE	PPP over Ethernet
PRI	Primary Rate Interface
PRU	Packet Routing Module
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
PVC	Permanent Virtual Channel (Connection)/Permanent Virtual Circuit
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RM	Routing Manager
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
SA	Source Address
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SElector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SOH	Section Over Head
SONET	Synchronous Optical Network
SOP	System Operational Panel
SPF	Shortest Path First

SSAP	Source Service Access Point
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UBR	Unspecified Bit Rate
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
VBR	Variable Bit Rate
VC	Virtual Channel/Virtual Call/Virtual Circuit
VCI	Virtual Channel Identifier
VLAN	Virtual LAN
VP	Virtual Path
VPI	Virtual Path Identifier
VPN	Virtual Private Network
RRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WRED	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

■ 常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは、常用漢字を使用することを基本としていますが、次に示す用語については、常用漢字以外を使用しています。

- 宛て（あて）
- 宛先（あてさき）
- 迂回（うかい）
- 鍵（かぎ）
- 個所（かしょ）
- 筐体（きょうたい）
- 桁（けた）
- 毎（ごと）
- 閾値（しきいち）
- 芯（しん）
- 溜まる（たまる）
- 必須（ひつす）
- 輻輳（ふくそう）
- 閉塞（へいそく）
- 漏洩（ろうえい）

■ kB(バイト) などの単位表記について

1kB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト) はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024² バイト, 1,024³ バイト, 1,024⁴ バイトです。

目次

1	サポート MIB の概要	1
1.1	MIB 体系図	2
1.2	MIB 一覧	4
1.3	プライベート MIB 定義ファイルの入手方法	12
1.4	MIB の記述形式	13
2	標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)	17
2.1	system グループ (MIB-II)	19
2.2	interfaces グループ (MIB-II)	21
2.2.1	interfaces グループ (イーサネットの場合)	21
2.2.2	interfaces グループ (POS の場合)	25
2.2.3	interfaces グループ (トンネルインタフェースの場合)	27
2.2.4	interfaces グループ (ローカルループバック /RM イーサネットポートの場合)	29
2.3	at グループ (MIB-II)	33
2.4	ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)	34
2.4.1	ip	34
2.4.2	ipAddrTable	35
2.4.3	ipRouteTable	36
2.4.4	ipNetToMediaTable	37
2.4.5	ipForward	38
2.5	icmp グループ (MIB-II)	41
2.6	tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)	43
2.6.1	tcp	43
2.6.2	ipv6TcpConnTable	44
2.7	udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)	46
2.7.1	udp	46
2.7.2	ipv6UdpTable	46
2.8	dot3 グループ (Ethernet Like MIB)	48
2.9	ppp グループ (PPP MIB)	50
2.9.1	pppLcp	50
2.9.2	pppIp	52
2.10	SONET / SDH グループ (SONET / SDH MIB)	54
2.10.1	SONET / SDH Medium グループ	54
2.10.2	SONET / SDH Section グループ	55
2.10.3	SONET / SDH Line グループ	57
2.10.4	SONET / SDH Far End Line グループ	59
2.10.5	SONET / SDH Path グループ	61
2.10.6	SONET / SDH Far End Path グループ	64

2.10.7	SONET / SDH Virtual Tributary グループ	66
2.10.8	SONET / SDH Far End VT グループ	68
2.11	snmp グループ (MIB-II)	71
2.12	ospf グループ (OSPFv2 MIB)	73
2.12.1	ospfGeneralGroup	73
2.12.2	ospfAreaTable	74
2.12.3	ospfStubAreaTable	75
2.12.4	ospfLsdbTable	76
2.12.5	ospfAreaRangeTable	77
2.12.6	ospfHostTable	77
2.12.7	ospfIfTable	78
2.12.8	ospfIfMetricTable	80
2.12.9	ospfVirtIfTable	80
2.12.10	ospfNbrTable	81
2.12.11	ospfVirtNbrTable	83
2.12.12	ospfExtLsdbTable	84
2.12.13	ospfAreaAggregateTable	84
2.12.14	ospfTrap	85
2.13	bgp グループ (BGP4 MIB) 【OP-BGP】	87
2.13.1	bgp	87
2.13.2	bgpPeerTable	87
2.13.3	bgp4PathAttrTable	89
2.14	rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)	91
2.14.1	Ethernet Statistics グループ	91
2.14.2	History Control グループ	93
2.14.3	Ethernet History グループ	94
2.14.4	Alarm グループ	96
2.14.5	Event グループ	97
2.15	ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)	100
2.15.1	ifMIB(イーサネットの場合)	100
2.15.2	ifMIB(POS の場合)	102
2.15.3	ifMIB(トンネルの場合)	104
2.16	ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)	106
2.16.1	ipv6MIB	106
2.16.2	ipv6IfTable	106
2.16.3	ipv6IfStatsTable	107
2.16.4	ipv6AddrPrefixTable	109
2.16.5	ipv6AddrTable	110
2.16.6	ipv6RouteTable	111
2.16.7	ipv6NetToMediaTable	112
2.17	ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)	114
2.18	vrrpMIB グループ	117

2.18.1	vrrpOperations グループ	117
2.18.2	vrrpStatistics グループ	120
2.19	ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB) 【OP-MLT】	124
2.19.1	ipMRouteEnable	124
2.19.2	ipMRouteTable	124
2.19.3	ipMRouteNextHopTable	126
2.19.4	ipMRouteInterfaceTable	127
2.19.5	ipMRouteBoundaryTable	129
2.19.6	ipMRouteScopeNameTable	129
2.19.7	ipMRouteEntryCount	130
2.20	igmpStdMIB グループ (IGMP MIB) 【OP-MLT】	132
2.20.1	igmpInterfaceTable	132
2.20.2	igmpCacheTable	133
2.21	pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) 【OP-MLT】	135
2.21.1	pimJoinPruneInterval	135
2.21.2	pimInterfaceTable	135
2.21.3	pimNeighborTable	136
2.21.4	pimIpMRouteTable	137
2.21.5	pimRPTable	138
2.21.6	pimRPSetTable	139
2.21.7	pimIpMRouteNextHopTable	140
2.21.8	pimCandidateRPTable	140
2.21.9	pimComponentTable	141
2.22	ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB)	143
2.22.1	ospfv3GeneralGroup	143
2.22.2	ospfv3AreaTable	144
2.22.3	ospfv3AsLsdbTable	145
2.22.4	ospfv3AreaLsdbTable	146
2.22.5	ospfv3LinkLsdbTable	147
2.22.6	ospfv3IfTable	148
2.22.7	ospfv3VirtIfTable	150
2.22.8	ospfv3NbrTable	151
2.22.9	ospfv3VirtNbrTable	152
2.22.10	ospfv3AreaAggregateTable	153
2.23	IEEE8023-LAG-MIB グループ	155
2.23.1	dot3adAgg グループ	155
2.23.2	dot3adAggPort グループ	156
2.23.3	dot3adTablesLastChanged グループ	160
2.24	snmpModules グループ (SNMPv3 情報 MIB)	161
2.24.1	snmpFrameworkMIB グループ (SNMP-FRAMEWORK-MIB)	161
2.24.2	snmpMPDMIB グループ (SNMP-MPD-MIB)	161
2.24.3	snmpTargetMIB グループ (SNMP-TARGET-MIB)	162

2.24.4	snmpNotificationMIB グループ (SNMP-NOTIFICATION-MIB)	166
2.24.5	snmpProxyMIB グループ (SNMP-PROXY-MIB)	168
2.24.6	snmpUsmMIB グループ (SNMP-USER-BASED-SM-MIB)	169
2.24.7	snmpVacmMIB グループ (SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB)	171
2.24.8	snmpCommunityMIB グループ (SNMP-COMMUNITY-MIB)	175

3

プライベート MIB 179

3.1	axrStats グループ (統計情報 MIB)	180
3.1.1	axrPhysStats グループ	180
3.1.2	axrSonetStats グループ	181
3.1.3	axrIfStats グループ	183
3.1.4	axrQoS グループ	184
3.1.5	axrDHCP グループ	189
3.1.6	axrIpStats グループ	190
3.2	axrVpn グループ (VPN 情報 MIB) 【OP-MPLS】	191
3.2.1	axrVpnIp グループ	191
3.2.2	axrVpnIpForward グループ	192
3.3	axrMpls グループ (MPLS 情報 MIB) 【OP-MPLS】	195
3.3.1	axrMpls グループ	195
3.4	axrOadp グループ (OADP 情報 MIB)	211
3.4.1	axrOadpGlobalInfo グループ	211
3.4.2	axrOadpPortInfo グループ	212
3.4.3	axrOadpNeighborInfo グループ	212
3.5	axrFlow グループ (FLOW 情報 MIB)	216
3.5.1	axrFlowResources グループ	216
3.5.2	axrFlowFilter グループ	221
3.5.3	axrFlowFilterStats グループ	232
3.5.4	axrFlowQos グループ	235
3.5.5	axrFlowQosStats グループ	265
3.6	axrOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB)	269
3.6.1	axrOspfGeneralTable	269
3.6.2	axrOspfAreaTable	270
3.6.3	axrOspfStubAreaTable	271
3.6.4	axrOspfLsdbTable	272
3.6.5	axrOspfAreaRangeTable	272
3.6.6	axrOspfIfTable	273
3.6.7	axrOspfIfMetricTable	275
3.6.8	axrOspfVirtIfTable	276
3.6.9	axrOspfNbrTable	276
3.6.10	axrOspfVirtNbrTable	278
3.6.11	axrOspfExtLsdbTable	278
3.6.12	axrOspfAreaAggregateTable	279

3.6.13	axrOspfTrap	280
3.7	axrOspfV3 グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB)	282
3.7.1	axrOspfV3GeneralTable	282
3.7.2	axrOspfV3AreaTable	283
3.7.3	axrOspfV3AsLsdbTable	284
3.7.4	axrOspfV3AreaLsdbTable	285
3.7.5	axrOspfV3LinkLsdbTable	286
3.7.6	axrOspfV3IfTable	287
3.7.7	axrOspfV3VirtIfTable	288
3.7.8	axrOspfV3NbrTable	289
3.7.9	axrOspfV3VirtNbrTable	290
3.7.10	axrOspfV3AreaAggregateTable	291
3.8	axrIIsisMib グループ (IS-IS 情報 MIB) 【OP-ISIS】	293
3.8.1	axrIIsisSysTable グループ	293
3.8.2	axrIIsisSysLevelTable グループ	293
3.8.3	axrIIsisCircTable グループ	294
3.8.4	axrIIsisNotificationTable グループ	294
3.9	axrStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)	296
3.9.1	axrStaticTable グループ	296
3.9.2	axrStaticIpv6Table グループ	296
3.10	axrBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)	298
3.11	axrLogin グループ (ログイン情報 MIB)	299
3.12	axrLldp グループ (LLDP 情報 MIB)	301
3.12.1	axrLldpConfiguration グループ	301
3.12.2	axrLldpStats グループ	302
3.12.3	axrLldpLocalSystemData グループ	303
3.12.4	axrLldpRemoteSystemData グループ	306
3.12.5	axrLldpRemoteOriginInfoData グループ	309
3.13	axrBfdMIB グループ (BFD 情報 MIB) 【OP-BFD】	311
3.13.1	axrBfdScalarObjects グループ	311
3.13.2	axrBfdSessTable グループ	311
3.13.3	axrBfdSessPerfTable グループ	313
3.13.4	axrBfdSessMapTable グループ	314
3.14	ax7800rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB) 【AX7800R】	316
3.15	ax7800rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX7800R】	319
3.15.1	ax7800rChassis グループ (筐体情報)	319
3.15.2	ax7800rChassis グループ (電源情報)	320
3.15.3	ax7800rChassis グループ (ファン情報)	321
3.15.4	ax7800rBcuBoard グループ (BCU 情報)	322
3.15.5	ax7800rBcuBoard グループ (MC 情報)	327
3.15.6	ax7800rBcuBoard グループ (温度情報)	328
3.15.7	ax7800rBcuBoard グループ (SOP 情報)	329

3.15.8	ax7800rPruBoard グループ (PRU 情報)	330
3.15.9	ax7800rNifBoard グループ (NIF 情報)	332
3.15.10	ax7800rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)	336
3.15.11	ax7800rInterface グループ (インタフェースインデックス情報)	337
3.16	ax7700rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB) 【AX7700R】	339
3.17	ax7700rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX7700R】	342
3.17.1	ax7700rChassis グループ (筐体情報)	342
3.17.2	ax7700rChassis グループ (電源情報)	343
3.17.3	ax7700rChassis グループ (ファン情報)	343
3.17.4	ax7700rBcuBoard グループ (BCU 情報)	344
3.17.5	ax7700rBcuBoard グループ (MC 情報)	348
3.17.6	ax7700rBcuBoard グループ (温度情報)	349
3.17.7	ax7700rBcuBoard グループ (SOP 情報)	350
3.17.8	ax7700rPruBoard グループ (PRU 情報)	351
3.17.9	ax7700rNifBoard グループ (NIF 情報)	353
3.17.10	ax7700rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)	356
3.17.11	ax7700rInterface グループ (インタフェースインデックス情報)	358
3.18	icmp グループ (HP プライベート MIB)	360
3.19	sFlow グループ (InMon プライベート MIB)	361

4

サポート MIB トラップ	363
4.1 サポートトラップおよび発行契機	364
4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ	371

付録

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値	387
付録 A.1 プライベート MIB	388
付録 A.2 HP プライベート MIB	433
付録 A.3 InMon プライベート MIB	433

索引

435

1

サポート MIB の概要

1.1 MIB 体系図

1.2 MIB 一覧

1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

1.4 MIB の記述形式

1.1 MIB 体系図

本装置でサポートする MIB 体系図を (1/2) と (2/2) に示します。

図 1-1 MIB 体系図 (1/2)

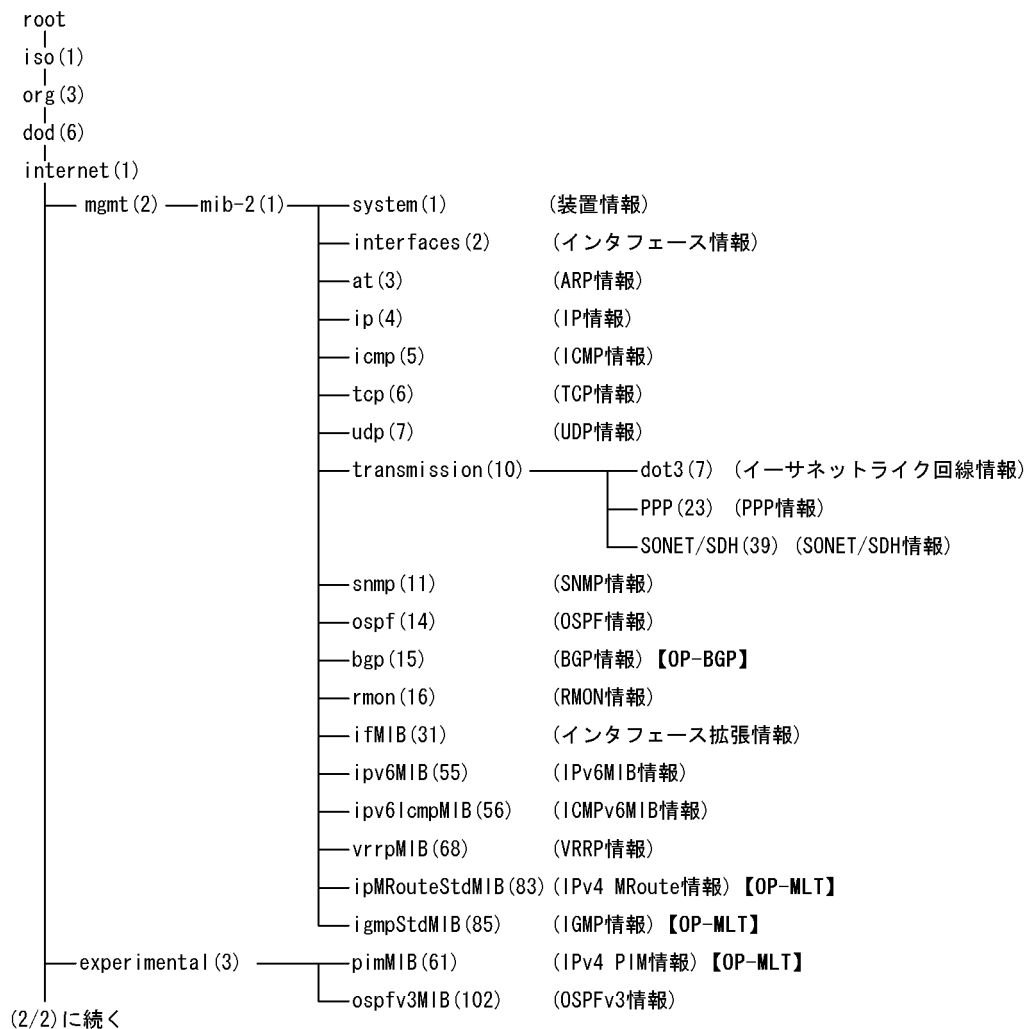
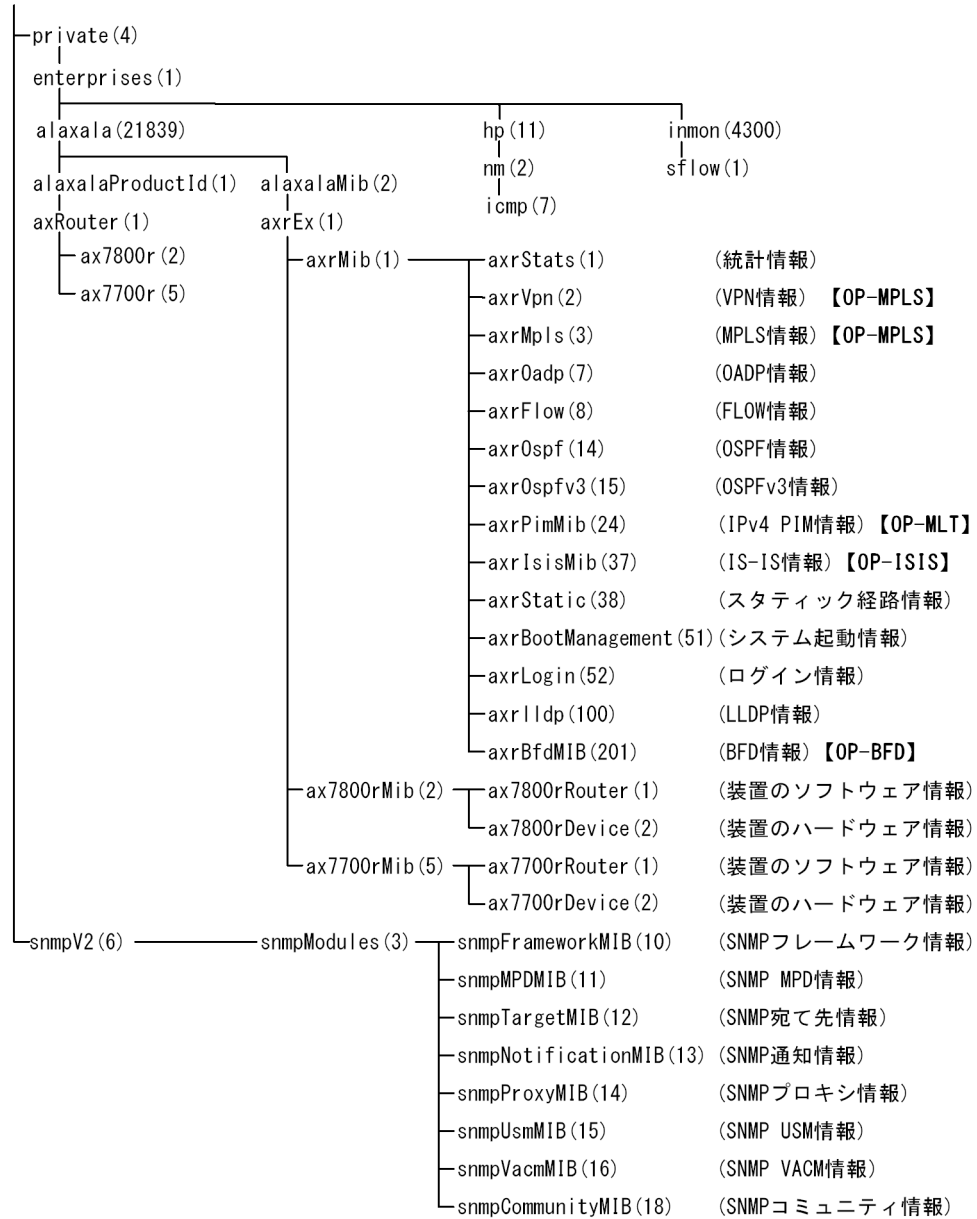


図 1-2 MIB 体系図 (2/2)

(1/2) から続き



1.2 MIB 一覧

サポート MIB を次の表に示します。

表 1-1 MIB グループ一覧

MIB グループ		機能	サポ ー ト	
標準 MIB	system グループ		装置に関する情報の MIB です。	○
	interfaces グループ		インタフェースに関する情報の MIB です。	○
	at グループ		ARP テーブルに関する情報の MIB です。	○
	ip グループ	ip	IP 情報の MIB です。	○
		ipAddrTable	IP アドレスに関するアドレッシングテーブル情報の MIB です。	○
		ipRouteTable	IP ルーティングテーブルに関する情報の MIB です。	○
		ipNetToMediaTable	IP アドレス変換テーブルに関する情報の MIB です。	○
		ipForward	IP フォワーディングテーブルに関する情報の MIB です。	○
	icmp グループ		ICMP 情報の MIB です。	○
	tcp グループ	tcp	TCP 情報の MIB です。	○
		ipv6TcpConnTable	IPv6 に関する TCP 情報の MIB です。	○
	udp グループ	udp	UDP 情報の MIB です。	○
		ipv6UdpTable	IPv6 に関する UDP 情報の MIB です。	○
	egp グループ		EGP 情報の MIB です。	×
	dot3 グループ		イーサネットライク回線に関する情報の MIB です。	○
	ppp グループ	pppLcp	PPP 情報の MIB です。	○
		pppIp	LocalPPP の IP パラメータと統計に関する MIB です。	○
	SONET/SDH グループ	SONET / SDH Medium グループ	SONET / SDH メディア情報の MIB です。	○
		SONET / SDH Section グループ	SONET / SDH セクション情報の MIB です。	○
		SONET / SDH Line グループ	SONET / SDH ライン情報の MIB です。	○
SONET / SDH Far End Line グループ		SONET / SDH Far End ライン情報の MIB です。	○	
SONET / SDH Path グループ		SONET / SDH パス情報の MIB です。	○	
SONET / SDH Far End Path グループ		SONET / SDH Far End パス情報の MIB です。	○	
SONET / SDH Virtual Tributary グループ		SONET / SDH Virtual Tributary 情報の MIB です。	×	

MIB グループ		機能	サポ ート
	SONET / SDH Far End VT グループ	SONET / SDH Far End VT 情報の MIB です。	×
	snmp グループ	SNMP 情報の MIB です。	○
ospf グループ	ospfGeneralGroup	OSPF 情報の MIB です。	○
	ospfAreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfStubAreaTable	エリアボーダールータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブルの MIB です。	○
	ospfLsdbTable	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfAreaRangeTable	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfHostTable	ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックの MIB 情報です。	×
	ospfIfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfIfMetricTable	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfVirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfNbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfVirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfExtLsdbTable	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) テーブルに関する MIB です。	○
	ospfAreaAggregateTable	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレステーブルに関する MIB です。	○
	ospfTrap	トラップに関する MIB です。	○
bgp グループ 【OP-BGP】	bgp	BGP 情報の MIB です。	○
	bgpPeerTable	bgp ピアテーブルに関する MIB です。	○
	bgpPathAttrTable	BGP4 から受信したパス情報に関する MIB です。	○
rmon グループ	Ethernet Statistics Group	イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルの MIB です。	○
	History Control Group	イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルに関する MIB です。	○
	Ethernet History Group	イーサネットの統計情報の来歴テーブルに関する MIB です。	○
	Alarm Group	アラームテーブルに関する情報の MIB です。	○

1. サポート MIB の概要

MIB グループ			機能	サポ ー ト
		Host Group	Host グループに関する情報の MIB です。	×
		Host Top"N"	HostTopN グループに関する情報の MIB です。	×
		Matrix	Matrix グループに関する情報の MIB です。	×
		Filter	Filter グループに関する情報の MIB です。	×
		Packet Capture	PacketCapture グループに関する情報の MIB です。	×
		Event Group	RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブルに関する MIB です。	○
dot1dBridge グループ	dot1dBase グループ	ブリッジの情報です。	○	
	dot1dStp グループ	スパニングツリー・プロトコルの情報です。	○	
	dot1dTp グループ	ブリッジのフォワーディング情報です。	○	
	dot1dStatic グループ	フィルタリング情報です。	○	
	pBridgeMIB グループ	優先制御とマルチキャスト・フィルタリングの情報です。	○	
	qBridgeMIB グループ	仮想ブリッジ情報です。	○	
ifMIB グループ			インタフェース拡張情報の MIB です。	○
ipv6MIB グループ	ipv6MIB ipv6 general グループ	IPv6 インタフェースに関する MIB です。	○	
	ipv6IfTable	ネットワークレイヤインタフェース (V6) のテーブルに関する MIB です。	○	
	ipv6IfStatsTable	IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブルに関する MIB です。	○	
	ipv6AddrPrefixTable	IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブルに関する MIB です。	○	
	ipv6AddrTable	インタフェースアドレステーブルに関する MIB です。	○	
	ipv6RouteTable	IPv6 ルーティングテーブルに関する MIB です。	○	
	ipv6NetToMediaTable	IPv6 アドレス変換テーブルに関する MIB です。	○	
ipv6IcmpMIB グループ			IPv6 ICMP MIB です。	○
vrrpMIB グループ	vrrpOperations グループ	VRRP ルータの構成と制御情報に関する MIB です。	○	
	vrrpStatistics グループ	VRRP パケットに関する統計情報の MIB です。	○	
	vrrpNotifications グループ	VRRP ルータから送出される VRRP トラップに関する MIB 情報です。	×	
ipMRouteStdMIB グループ 【OP-MLT】	ipMRouteEnable	IP マルチキャストの動作有無に関する MIB です。	○	
	ipMRouteTable	IP マルチキャスト経路表に関する MIB です。	○	
	ipMRouteNextHopTable	下流インタフェースごとの NextHop（次送信先）表に関する MIB です。	○	

MIB グループ		機能	サポ ート
	ipMRouteInterfaceTable	マルチキャストインタフェース表に関する MIB です。	○
	ipMRouteBoundaryTable	マルチキャスト境界表に関する MIB です。	×
	ipMRouteScopeNameTable	マルチキャスト領域名表に関する MIB です。	×
	ipMRouteEntryCount	IP マルチキャスト経路表のエントリ数に関する MIB です。	○
igmpStdMIB グループ 【OP-MLT】	igmpInterfaceTable	IGMP インタフェース表に関する MIB です。	○
	igmpCacheTable	特定インタフェースの IGMP グループ表に関する MIB です。	○
pimMIB グループ 【OP-MLT】	pimJoinPruneInterval	PIM-SM Join/Prune メッセージ送信周期に関する MIB です。	○
	pimInterfaceTable	PIM インタフェース表に関する MIB です。	○
	pimNeighborTable	PIM 隣接ルータ表に関する MIB です。	○
	pimIpMRouteTable	PIM 経路表に関する MIB です。	×
	pimRPTable	PIM version1 用の RP 情報表に関する MIB です。	×
	pimRPSetTable	RP 候補情報表に関する MIB です。	×
	pimIpMRouteNextHopTable	PIM 経路の NextHop (次送信先) 表に関する MIB です。	×
	pimCandidateRPTable	RP 候補のときに広告するグループ情報表に関する MIB です。	×
	pimComponentTable	PIM ドメインを特定するコンポーネント表に関する MIB です。	×
ospfv3MIB グループ	ospfv3GeneralGroup	OSPFv3 情報の MIB です。	○
	ospfv3AreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3AsLsdbTable	OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3AreaLsdbTable	OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3LinkLsdbTable	OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3IfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	ospfv3VirtIfTable	ルータが接続する仮想リンクのインタフェース情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	ospfv3NbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○

1. サポート MIB の概要

MIB グループ			機能	サポ ート
		ospfv3VirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		ospfv3AreaAggregateTable	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6Prefix のテーブルに関する MIB です。	○
	IEEE8023-LAG-MIB グループ	dot3adAgg グループ	Aggregator に関する情報です。	○
		dot3adAggPort グループ	すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 情報です。	○
	snmpModules グループ	snmpFrameworkMIB グループ	SNMP フレームワークに関する MIB です。	○
		snmpMPDMIB グループ	SNMP メッセージとディスパッチャに関する MIB です。	○
		snmpTargetMIB グループ	SNMP 宛て先情報に関する MIB です。	○
		snmpNotificationMIB グループ	SNMP 通知情報に関する MIB です。	○
		snmpProxyMIB グループ	SNMP プロキシに関する MIB です。	×
		snmpUsmMIB グループ	SNMP ユーザベースセキュリティモデルに関する MIB です。	○
		snmpVacmMIB グループ	SNMP ビューベースアクセス制御モデルに関する MIB です。	○
		snmpCommunityMIB グループ	SNMPv1,v2c,v3 の共存に関する MIB です。	×
プライ ベート MIB	axrStats グループ	axrPhysStats グループ	POS 物理層およびチャネルのエラー統計情報に関する MIB です。	○
		axrSonetStats グループ	SONET インタフェース統計の MIB です。	○
		axrIfStats グループ	メガ単位インタフェース統計の MIB です。	○
		axrQoS グループ	QoS 統計情報に関する MIB です。	○
		axrDHCP グループ	DHCP サーバに関する統計情報の MIB です。	○
		axrIpStats グループ	IP に関する統計情報の MIB です。	○
	axrVpn グループ 【OP-MPLS】	axrVpnIp グループ	IP アドレスに関連するアドレッシング情報のテーブルに関する MIB です。	○
		axrVpnIpForward グループ	VPN に関する経路数を格納するテーブル情報に関する MIB です。	○
	axrMpls グループ 【OP-MPLS】	axrMpls グループ	MPLS に関する MIB です。	○
	axrOadp グループ	axrOadpGlobalInfo グループ	OADP 機能の運用状態に関する MIB です。	○
		axrOadpPortInfo グループ	OADP ポート情報に関する MIB です。	○
		axrOadpNeighborInfo グループ	OADP 隣接ノードに関する MIB です。	○
	axrFlow グループ	axrFlowResources グループ	装置当たりのフローフィルタ機能, フロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に関する MIB です。	○

MIB グループ			機能	サポ ート
		axrFlowFilter グループ	フローフィルタ検出条件 (Inbound) のテーブル情報に関する MIB です。	○
		axrFlowFilterStats グループ	フローフィルタ検出条件 (Inbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報のテーブル情報に関する MIB です。	○
		axrFlowQos グループ	通常フロー検出条件 (Inbound) のテーブル情報に関する MIB です。	○
		axrFlowQosStats グループ	通常フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報に関する MIB です。	○
	axrOspfMIB グループ	axrOspfGeneralTable	OSPF 情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
		axrOspfAreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfStubAreaTable	エリアボーダールータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブルに関する MIB です。	○
		axrOspfLsdbTable	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfAreaRangeTable	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfIfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfIfMetricTable	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfVirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfNbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfVirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfExtLsdbTable	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブルの MIB です。	○
		axrOspfAreaAggregateTable	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブルの MIB です。	○
		axrOspfTrap	トラップに関する MIB です。	○
	axrOspfv3 グループ	axrOspfv3GeneralTable	OSPFv3 情報の MIB です。	○
		axrOspfv3AreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfv3AsLsdbTable	OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfv3AreaLsdbTable	OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○

1. サポート MIB の概要

MIB グループ			機能	サポ ート
		axrOspfV3LinkLsdbTable	OSPFv3 の LinkScope リンク状態データ ベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfV3IfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報 を格納するリストの MIB です。	○
		axrOspfV3VirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報 を格納するテーブルの MIB です。	○
		axrOspfV3NbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテー ブルの MIB です。	○
		axrOspfV3VirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテー ブルの MIB です。	○
		axrOspfV3AreaAggregate Table	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブルに関する MIB です。	○
axrIsisMib グループ 【OP-ISIS】	axrIsisSysTable グループ		IS-IS 情報が含まれる MIB です。	○
	axrIsisSysLevelTable グ ループ		IS-IS プロトコルのレベル情報が含まれる MIB です。	○
	axrIsisCircTable グループ		IS-IS インタフェース情報が含まれる MIB です。	○
	axrIsisNotificationTable グループ		IS-IS トラップ付随情報が含まれる MIB で す。	○
axrStatic グループ	axrStaticTable グループ		スタティック情報を格納するテーブルに関 する MIB です。	○
	axrStaticIpv6Table グルー プ		ipv6 スタティック情報を格納するテー ブルに関する MIB です。	○
axrBootManagement グループ			システム起動に関する MIB です。	○
axrLogin グループ			ログインに関する MIB です。	○
axrlldp グループ	axrlldpConfiguration グ ループ		LLDP のコンフィグレーションの MIB で す。	○
	axrlldpStats グループ		LLDP の統計情報の MIB です。	○
	axrlldpLocalSystemData グループ		LLDP の本装置に関する情報の MIB です。	○
	axrlldpRemoteSystemDat a グループ		LLDP の本装置と接続している隣接装置に 関する情報の MIB です。	○
	axrlldpRemoteOriginInfo Data グループ		LLDP の弊社独自 TLV 情報の MIB です。	○
axrBfdMIB グループ 【OP-BFD】	axrBfdScalarObjects グ ループ		ルータ内の BFD 管理状態、バージョン、ト ラップ通知の MIB です。	○
	axrBfdSessTable グループ		BFD セッションに関する MIB です。	○
	axrBfdSessPerfTable グ ループ		BFD セッションごとのパフォーマンスに関 する MIB です。	○
	axrBfdSessMapTable グ ループ		BFD セッションマッピングに関する MIB です。	○
ax7800rRouter グループ 【AX7800R】			AX7800R シリーズ： 装置のモデル情報の MIB です。	○

MIB グループ		機能	サポ ート
ax7800rDevice 【AX7800R】	ax7800rChassis グループ	AX7800R シリーズ： 装置の筐体情報の MIB です。	○
	ax7800rBcuBoard グループ	AX7800R シリーズ： 装置の BCU 情報の MIB です。	○
	ax7800rPruBoard グループ	AX7800R シリーズ： 装置の PRU 情報の MIB です。	○
	ax7800rNifBoard グループ	AX7800R シリーズ： 装置の NIF 情報の MIB です。	○
	ax7800rPhysLine グループ	AX7800R シリーズ： 装置の回線情報の MIB です。	○
	ax7800rInterface グループ	AX7800R シリーズ： 装置の回線 IP アドレス情報の MIB です。	○
ax7700rRouter グループ 【AX7700R】		AX7700R シリーズ： 装置のモデル情報の MIB です。	○
ax7700rDevice 【AX7700R】	ax7700rChassis グループ	AX7700R シリーズ： 装置の筐体情報の MIB です。	○
	ax7700rBcuBoard グループ	AX7700R シリーズ： 装置の BCU 情報の MIB です。	○
	ax7700rPruBoard グループ	AX7700R シリーズ： 装置の PRU 情報の MIB です。	○
	ax7700rNifBoard グループ	AX7700R シリーズ： 装置の NIF 情報の MIB です。	○
	ax7700rPhysLine グループ	AX7700R シリーズ： 装置の回線情報の MIB です。	○
	ax7700rInterface グループ	AX7700R シリーズ： 装置の回線 IP アドレス情報の MIB です。	○
icmp グループ (HP プライベート MIB)		HP 社のプライベート MIB です。	○
sFlow グループ (InMon プライベート MIB)		InMon 社のプライベート MIB です。sFlow 統計に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○

(凡例) ○：本装置でサポートしています。 ×：本装置ではサポートしていません。

1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

プライベート MIB 定義ファイル (ASN.1) は、ソフトウェアと共に提供いたします。

1.4 MIB の記述形式

このマニュアルで記述しているサポート MIB の記述形式について説明します。各 MIB はグループごとに識別子および実装仕様を記述しています。

● 識別子

オブジェクト識別子の公認された記述形式です。

(例) プライベート MIB axrStats グループの識別子の記述形式とオブジェクト ID 値を次に示します。

```
識別子          axrStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1
```

プライベート MIB のオブジェクト ID 値については、「付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値」を参照してください。

● 実装仕様

各 MIB の実装仕様を表で説明しています。axrStats グループの実装仕様を例に、表の項目について説明します。axrStats グループの実装仕様の例を次の表に示します。

表 1-2 axrStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrPhysStatsTable {axrPhysStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理層およびチャネルの統計情報テーブル。	●
2	axrPhysStatsEntry {axrPhysStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理層およびチャネルの統計情報エントリ情報。 [index] {axrPhysStatsIfIndex }	●
3	axrPhysStatsIfIndex {axrPhysStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	POS の物理層およびチャネル層の IfIndex 値。	●
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

オブジェクト識別子

MIB のオブジェクト識別子の名称を示しています。

SYNTAX

プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味を次の表に示します。なお、SYNTAX はプライベート MIB の実装仕様だけで説明しています。

表 1-3 プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
1	Counter	0..4,294,967,295($2^{32}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
2	Counter32	0..4,294,967,295($2^{32}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
3	Counter64	0..18,446,744,073,709,551,615($2^{64}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。 SNMPv1 では未サポート。
4	DisplayString	0 個以上 255 文字以下の文字列 (各バイトは、NVT ASCII 値)。

1. サポート MIB の概要

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
5	Gauge	値は増減できる, 0 またはそれ以上の整数 (0..4,294,967,295)。
6	INTEGER	-2147483648..2147483647($-2^{31}..2^{31}-1$) の範囲の整数情報を表す。
7	Integer32	-2147483648..2147483647($-2^{31}..2^{31}-1$) の範囲の整数情報を表す。
8	OCTET STRING	0 個以上の文字列 (8 ビット単位)。各バイトは, 0-255。
9	IpAddress	4 バイトの OCTET STRING(32 ビットの IP アドレスを格納)。
10	Ipv6Address	16 バイトの OCTET STRING(128 ビットの IPv6 アドレスを格納)。
11	OBJECT IDENTIFIER	サブ識別子の順序固定リストを格納。
12	MacAddress	IEEE802.1a で定義された正規の順序で表される 802MAC アドレス。 OCTET STRING タイプ。
13	RowStatus	概念上の行エントリの生成や削除を制御するための SYNTAX タイプ。
14	TimeStamp	あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で計るタイムスタンプ。
15	TimeTicks	正の整数で, あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒で表す。
16	BITS	名前付きビット列で対応するビットに 1 を割り当て, 0 個以上の文字列 (8 ビット単位) で表す。
17	NOT-ACCESSIBLE	アクセス不可。
18	AddressFamilyNumbers	IANA が割り当てたアドレス番号。
19	PhysAddress	物理アドレス。
20	SnmpAdminString	管理情報を含む文字列。DisplayString タイプ。
21	InetAddressType	インターネットアドレスのタイプを表す。
22	InetAddress	インターネットアドレスを表す。OCTET STRING タイプ。
23	OwnerString	0 以上 127 文字以下の文字列。管理上割り当てられたリソースの所有者の名前を表す。DisplayString タイプ。
24	TruthValue	真偽値を表す。
25	InterfaceIndex	システムが管理している ifIndex 番号。1..2147483647($2^{31}-1$) の範囲の整数値。
26	Unsigned32	0..4294967295($2^{32}-1$) の範囲の整数情報を表す。
27	TimeFilter	正の整数で, あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒で表すインデックス番号。
28	AtmVpIdentifier	VPI 番号。
29	InetPortNumber	インターネットポート番号。
30	InterfaceIndexOrZero	0 を含むネットワークインタフェース固有の番号。
31	MplsAtmVcIdentifier	VCI 番号。
32	MplsLdpGenAddr	ネットワーク層またはデータリンク層のアドレス。
33	MplsLdpLabelTypes	データリンク層タイプ。
34	MplsLsrIdentifier	LDP 番号。
35	StorageType	記憶形式。
36	TimeInterval	日付と時間を表す文字列。

アクセス

- R/O: 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Onlyであることを示します。
- R/W: 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Writeであることを示します。

- R/NW：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write ですが，本装置では Read_Only となっていることを示します。
- AN：規格ドキュメント上の MIB アクセスが accessible-for-notify であることを示します。Object の取得および設定ができませんが，トラップの variable として読み取ることができます。
- NA：規格ドキュメント上の MIB アクセスが not-accessible であることを示します。
- R/C：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create であることを示します。
- R/NC：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create ですが，本装置では Read_Only となっていることを示します。

実装仕様

[規格]：規格ドキュメントの規格概要を記述しています。

[実装]：本装置での実装仕様を記述しています。

実装有無

- ●：本装置でサポート（応答）する MIB を示しています。ただし，アクセス欄が「NA」の場合，MIB の応答はしません。また使用する機能によって応答するものが変わりますので注意してください。
- ▲：本装置でサポート（応答）する MIB ですが，統計カウンタで本装置がカウントできないため，固定値を応答する MIB を示しています。
- ×：本装置でサポート（応答）しない MIB を示しています。

2

標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)

この章では本装置で使用する標準 MIB の実装仕様について説明します。

2.1	system グループ (MIB-II)
2.2	interfaces グループ (MIB-II)
2.3	at グループ (MIB-II)
2.4	ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)
2.5	icmp グループ (MIB-II)
2.6	tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)
2.7	udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)
2.8	dot3 グループ (Ethernet Like MIB)
2.9	ppp グループ (PPP MIB)
2.10	SONET / SDH グループ (SONET / SDH MIB)
2.11	snmp グループ (MIB-II)
2.12	ospf グループ (OSPFv2 MIB)
2.13	bgp グループ (BGP4 MIB) 【OP-BGP】
2.14	rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)
2.15	ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)
2.16	ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)
2.17	ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)
2.18	vrrpMIB グループ
2.19	ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB) 【OP-MLT】
2.20	igmpStdMIB グループ (IGMP MIB) 【OP-MLT】
2.21	pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) 【OP-MLT】

2.22	ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB)
2.23	IEEE8023-LAG-MIB グループ
2.24	snmpModules グループ (SNMPv3 情報 MIB)

2.1 system グループ (MIB-II)

(1) 識別子

system OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.1

(2) 実装仕様

system グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-1 system グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sysDescr {system 1}	R/O	[規格] ハードウェア, OS, ネットワーク OS の名称またはバージョン No。 [実装] 会社名 装置型名 装置モデル ソフトウェア名称 ソフトウェア型名 ソフトウェアバージョン ソフトウェア略称を含む文字列。 (例) AX7800R の場合 "Alaxala AX7800R AX-xxxx-xx [AX78xxR-xx] Routing Software AX-xxxx-xx Ver. 10.6 [OS-xx]" AX-xxxx-xx: 装置型名 AX78xxR-xx: 装置モデル Routing Software: ソフトウェア名称 AX-xxxx-xx: ソフトウェア型名 Ver. 10.6: ソフトウェアバージョン OS-xx: ソフトウェア略称 AX7700R の場合 "Alaxala AX7700R AX-xxxx-xx [AX77xxR-xx] Routing Software AX-xxxx-xx Ver. 10.6 [OS-xx]" AX-xxxx-xx: 装置型名 AX77xxR-xx: 装置モデル Routing Software: ソフトウェア名称 AX-xxxx-xx: ソフトウェア型名 Ver. 10.6: ソフトウェアバージョン OS-xx: ソフトウェア略称	●
2	sysObjectID {system 2}	R/O	[規格] ネットワーク管理サブシステムのベンダの認証 ID。 [実装] 固定値。 AX7800R の場合 1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2 AX7700R の場合 1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5	●
3	sysUpTime {system 3}	R/O	[規格] システムが起動してからの累積時間 (10 ミリ秒カウンタ)。 [実装] 運用系 BCU 起動時からの累積時間。	●
4	sysContact {system 4}	R/W	[規格] 管理ノードに関する連絡先。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。	●
5	sysName {system 5}	R/W	[規格] 管理ノードの名称, 管理ノードのドメイン名。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。	●
6	sysLocation {system 6}	R/W	[規格] 管理ノードの設置場所 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。	●

2.1 system グループ (MIB-II)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	sysServices {system 7}	R/O	[規格] サービスを示す値。 [実装] 76 固定。	●

2.2 interfaces グループ (MIB-II)

2.2.1 interfaces グループ (イーサネットの場合)

次に示す interfaces グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R
- 10GBASE-W

(1) 識別子

interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2

(2) 実装仕様

イーサネットの場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-2 interfaces グループの実装仕様 (イーサネットの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	●
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 から ifNumber までの連続した値。 [実装] 規格と同じ。また、インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	●
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。なお、コンフィグレーションと実装が不一致の場合、または NIF close 中の場合、"Unknown" という文字列を表示します。	●
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：Ethernet-csmacd(6)。 • Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：I3ipvlan(136)。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：ieee8023adLag(161)。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	[規格] このインタフェースで送受信できるデータグラムの最大サイズ (オクテット)。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 ただし、IP 定義を入力後は IP MTU 値を表示します。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：Line 情報と同じ。 - リンクアグリゲーションの ifindex の場合：Line 情報と同じ。 詳細は、「解説書 Vol.1 7.5.3 MTU とフラグメント」を参照してください。	●
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (bit/s)。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は、当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：Line 情報と同じ。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：リンクアグリゲーショングループに属する回線の Line 情報のうち最大速度のもの。	●
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。ただし、NIF close 中の場合は表示しません。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：00 00 00 00 00 00 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：リンクアグリゲーショングループの MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。ただし、該当する NIF がすべて close 中の場合、00 00 00 00 00 00 を応答します。	●
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	[規格] このインタフェースの望ましい状態。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：デフォルトは up(1)、コンフィグレーションで disable 指定時は down(2) になります。line のコンフィグレーションが設定されていない場合、およびコンフィグレーションで PRU, NIF に disable が設定されている場合、SetRequest オペレーションを用いて値を変更することはできません。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：デフォルトは up(1)、コンフィグレーションで Tag-VLAN 連携 disable 指定時は down(2) になります。また、コンフィグレーションで PRU, NIF, Line に disable が設定されている場合、またはリンクアグリゲーションに disable が設定されている場合、SetRequest オペレーションを用いて値を変更することはできません。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：デフォルトは up(1)、コンフィグレーションでリンクアグリゲーション disable 指定時は down(2) になります。	●
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の状態。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：規格に同じ。 - リンクアグリゲーションの場合：規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime。[単位：1/100 秒] [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：規格に同じ。ただし、CP ダウン時は 0 を応答します。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：規格に同じ。ただし、CP ダウン時は 0 を応答します。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。ただし、CP ダウン時は 0 を応答します。	●
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。	●
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット（ブロードキャスト、マルチキャストパケット）の数。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	[規格] パケット自身にはエラーはないが、上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数（バッファなしなどで破棄された受信パケットの数）。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。	●
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：FCS エラー、ショートパケット、最大パケット長オーバー、衝突されたパケット、パケットフォーマット不正、端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：FCS エラー、ショートパケット、最大パケット長オーバー、衝突されたパケット、パケットフォーマット不正、端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。	●
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し、破棄したパケットの数。 [実装] 0 固定。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したパケットのオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテットの数。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテット数。	●
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常なユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット = '0' パケットの数)。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常なユニキャスト・パケット数 (MAC DA の I/G ビット = '0' パケットの数)。	●
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット = '1' パケットの数。ただし、MAC パケットは除く。また、SMT は含む)。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケット数 (MAC DA の I/G ビット = '1' パケットの数。ただし、MAC パケットは除く。また、SMT は含む)。	●
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	[規格] パケット自身にエラーはなく、送信処理で破棄されたパケットの数 (送信バッファ不足など)。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：送信 FIFO Overflow (アンダーラン) のため廃棄したイベントの数。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：送信 FIFO Overflow (アンダーラン) のため廃棄したイベント数。	●
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：アンダーラン、過剰衝突、過剰遅延したパケットの数。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：アンダーラン、過剰衝突、過剰遅延したパケット数。	●
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：リンクアグリゲーショングループに属する回線の送信パケットキューサイズを合計したもの。	●
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：1.3.6.1.2.1.10.7 を応答する。ただし、非正常時は、0.0 を応答する。 - Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0.0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0.0 固定。	●

2.2.2 interfaces グループ (POS の場合)

次に示す interface グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

(1) 識別子

interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2

(2) 実装仕様

POS の場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-3 interfaces グループの実装仕様 (POS の場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変化します。	●
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 から ifNumber までの連続した値。 [実装] 規格と同じ。また、インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変化します。	●
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。なお、コンフィグレーションと実装が不一致の場合、または NIF close 中の場合、"Unknown" という文字列を表示します。	●
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] インタフェースによる。 • PPP の場合：ppp(23) • SONET/SDH の場合：sonet(39)	●
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	[規格] このインタフェースで送受信できるデータグラムの最大サイズ（オクテット）。 [実装] 送信できるデータグラムの最大サイズ。ただし、ifOperStatus が UP 時以外は 0 を応答します。	●
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (bit/s)。 [実装] コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は、当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。	●
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	[規格] ネットワークレイヤ直下のインタフェースアドレス。 [実装] 値なし（データレングス 0）。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	[規格] インタフェースの望ましいステータス。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] デフォルトは up(1), コンフィグレーションで disable 指定時は down(2) になります。また, コンフィグレーションで PRU, NIF に disable が設定されている場合, SetRequest オペレーションを用いて値を変更することはできません。	●
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	[規格] インタフェースの現在のステータス。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] 規格に同じ。	●
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化したときの sysUpTime。 [実装] 規格に同じ。ただし, CP がダウン時は, -1 を応答します。	●
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	[規格] インタフェースで受信したオクテットの数。 [実装] 開始フラグおよび FCS を除いた, 総受信オクテット数。	●
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 [実装] 受信 PPP パケットの数。制御パケットを含む (レイヤ 2 以下の制御パケットもカウント対象とする)。	●
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット (ブロードキャスト, マルチキャストパケット) の数。 [実装] 0 固定 (PPP パケットはすべてユニキャスト・パケットとして扱うためカウントしない)。	▲
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	[規格] パケット自身にはエラーは検出されないが, 上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数 (バッファなしなどで破棄された受信パケットの数)。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。 [実装] CRC エラー, アボートフレーム, ショートフレーム, ロングフレームの回線エラーによって破棄されたパケットの数。	●
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し, 破棄したパケットの数。 [実装] 0 固定。	▲
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	[規格] インタフェースで送信したパケットのオクテット数。 [実装] 開始フラグおよび FCS を除いた, 総送信オクテット数 (レイヤ 2 以下の制御パケットもカウント対象とする)。	●
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 [実装] 回線側に送信要求を発行したパケットの数。制御パケットを含む。	●
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定 (PPP パケットはすべてユニキャスト・パケットとして扱うためカウントしない)。	▲
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	[規格] パケット自身にエラーはなく, 送信処理で破棄されたパケットの数 (送信バッファ不足など)。 [実装] 規格に同じ。	●
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーのため送信できなかったパケットの数。 [実装] アンダーラン, アボートフレームの回線エラーによって破棄されたパケットの数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] 回線への送信待ちキューに積まれているパケットの数。	●
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] {0 0}。	●

2.2.3 interfaces グループ (トンネルインタフェースの場合)

(1) 識別子

interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2

(2) 実装仕様

トンネルインタフェースの場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-4 interfaces グループの実装仕様 (トンネルインタフェースの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	●
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 から ifNumber までの連続した値。 [実装] 規格と同じ。また、インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	●
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。	●
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] 規格に同じ。 トンネル: tunnel(131)	●
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	[規格] 送受信パケットの最大長。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 規格に同じ。	●
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度の見積もり (bit/s)。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 0 固定	●
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 値なし	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	[規格] このインタフェースの望ましい状態。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] インタフェースによる。 トンネル：デフォルトは up(1), コンフィグレーションで disable 指定時は down(2) になります。	●
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の状態。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] インタフェースによる。 トンネル：規格に同じ。	●
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime。[単位: 1/100 秒] [実装] インタフェースによる。 トンネル：規格に同じ。	●
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：カプセル化した IP ヘッダを除く IP パケットの総受信オクテット数。	●
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。	●
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット（ブロードキャスト，マルチキャストパケット）の数。 [実装] 0 固定。	●
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	[規格] パケット自身にはエラーはないが，上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数（バッファなしなどで破棄された受信パケットの数）。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：破棄されたパケットの数をカウント。	●
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：FCS エラー，ショートパケット，最大パケット長オーバー，衝突されたパケット，パケットフォーマット不正，端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数をカウント。	●
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し，破棄したパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：破棄した，IP 以外のパケットの数。	●
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したパケットのオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：カプセル化した IP ヘッダを除く IP パケットの総受信オクテット数。	●
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。	●
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	[規格] パケット自身にエラーはなく、送信処理で破棄されたパケットの数(送信バッファ不足など)。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 破棄したパケットの数をカウント。	●
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: アンダーラン, バイトカウントのミスマッチ, 過剰衝突, 過剰遅延, または送信タイムアウトしたパケットの数。	●
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 送信待ちキューに積まれているパケットの数。	●
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのリファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: {0.0} 固定。	●

2.2.4 interfaces グループ (ローカルループバック /RM イーサネットポートの場合)

ローカルループバック, RM イーサネットポートの場合の interfaces グループについて説明します。

(1) 識別子

```
interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2
```

(2) 実装仕様

ローカルループバック, RM イーサネットポートの場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-5 interfaces グループの実装仕様 (ローカルループバック /RM イーサネットポートの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	●
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属すインタフェース情報のリスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 から ifNumber までの連続した値。 [実装] 規格と同じ。また、インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	●
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] 規格に同じ。 RM イーサネット：CSMA-CD(6) ローカルループバック：softwareLoopback(24)	●
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	[規格] 送受信パケットの最大長。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：規格に同じ。 ローカルループバック：1536 固定。	●
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度の見積もり (bit/s)。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：規格に同じ。 ローカルループバック：0 固定。	●
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：MAC アドレスをキャノニカルにした値 ローカルループバック：値なし。	●
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	[規格] このインタフェースの望ましい状態。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：デフォルトは up(1), コンフィグレーションで disable 指定時は down(2) になります。 ローカルループバック：up(1) 固定。	●
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の状態。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：up(1), down(2) だけ。 ローカルループバック：up(1) 固定。	●
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime。[単位：1/100 秒] [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：規格に同じ。 ローカルループバック：規格に同じ。	●
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総 受信オクテット数。 ローカルループバック：IP パケットの総受信オクテット数。	●
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケッ トの数。 ローカルループバック：IP パケットで上位プロトコルへ通知したユニ キャスト・パケットの数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット（ブロードキャスト、マルチキャストパケット）の数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：上位プロトコルへ通知したブロードキャストまたはマルチキャストパケットの数。 ローカルループバック：IP パケットで上位プロトコルへ通知したブロードキャストまたはマルチキャストパケットの数。	●
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	[規格] パケット自身にはエラーはないが、上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数（バッファなしなどで破棄された受信パケットの数）。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：破棄したパケットの数をカウント。 ローカルループバック：破棄したパケットの数をカウント。	●
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：FCS エラー、ショートパケット、最大パケット長オーバー、衝突されたパケット、パケットフォーマット不正、端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数をカウント。 ローカルループバック：0 固定。	●
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し、破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：破棄した、IP 以外のパケットの数。 ローカルループバック：破棄した、IP 以外のパケットの数。	●
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したパケットのオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。 ローカルループバック：IP パケットの総送信オクテット数。	●
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：MAC DA の I/G ビット = '0' のパケットの数。 ローカルループバック：IP パケットで上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。	●
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：MAC DA の I/G ビット = '1' のパケットの数。 ローカルループバック：IP パケットで上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。	●
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	[規格] パケット自身にエラーはなく、送信処理で破棄されたパケットの数（送信バッファ不足など）。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：破棄したパケットの数をカウント。 ローカルループバック：破棄したパケットの数をカウント。	●
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：アンダーラン、バイトカウントのミスマッチ、過剰衝突、過剰遅延、または送信タイムアウトしたパケットの数。 ローカルループバック：0 固定。	●

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：送信待ちキューに積まれているパケットの数。 ローカルループバック：送信待ちキューに積まれているパケットの数。	●
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット：{0.0} 固定。 ローカルループバック：{0.0} 固定。	●

2.3 atグループ (MIB-II)

(1) 識別子

at OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.3

(2) 実装仕様

atグループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-6 atグループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	atTable {at 1}	NA	[規格] アドレス変換テーブルは "フィジカル" アドレス相当値に対する NetworkAddress のテーブル。いくつかのインタフェースはアドレス相当値を決定するために変換テーブルを使用しません。このようなタイプの場合は、アドレス変換テーブルは空であり、エントリ数はゼロとなります。 [実装] 規格に同じ。ネットワークアドレスから物理アドレスへの対応関係を示します。	●
2	atEntry {atTable 1}	NA	[規格] 各エントリは "フィジカル" アドレス相当値に対する一つの NetworkAddress に関係するリストです。 INDEX { atIfIndex, atNetAddress } [実装] 規格に同じ。	●
3	atIfIndex {atEntry 1}	R/NW	[規格] 対応するインタフェースの ifIndex の値。 [実装] atPhysAddress を持つインタフェースの ifIndex。ただし、Read_Only です。	●
4	atPhysAddress {atEntry 2}	R/O	[規格] 物理アドレス。 [実装] 媒体に依存した ARP テーブルに依存する MAC アドレス。	●
5	atNetAddress {atEntry 3}	R/O	[規格] 媒体に依存した atPhysAddress に対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)

2.4.1 ip

(1) 識別子

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.4

(2) 実装仕様

ip グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-7 ip グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipForwarding {ip 1}	R/NW	[規格] IP 中継機能の可否 (ゲートウェイとして動作するか)。 { gateway(1), host(2) } [実装] gateway(1) 固定。ただし, Read_Only です。	●
2	ipDefaultTTL {ip 2}	R/NW	[規格] IP ヘッダ中の TTL に設定するデフォルト値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
3	ipInReceives {ip 3}	R/O	[規格] すべてのインタフェースから受信した IP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipInHdrErrors {ip 4}	R/O	[規格] IP ヘッダのエラーのために破棄された受信データグラムの数。 [実装] IP ヘッダチェックサムエラー, バージョンエラー, TTL オーバ・ヘッダ長異常, 形式エラーなどの IP パケットをカウントします。	●
5	ipInAddrErrors {ip 5}	R/O	[規格] IP ヘッダ中の宛先アドレスが有効ではないために破棄されたパケット数。 [実装] 宛先アドレスのクラスが A, B, C, D ではない時カウントします。	●
6	ipForwDatagrams {ip 6}	R/O	[規格] 中継を必要だと判断したパケット数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipInUnknownProtos {ip 7}	R/O	[規格] 受信した自分宛て IP パケットで認識できないプロトコルをサポートしていないプロトコルであるため, 破棄した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipInDiscards {ip 8}	R/O	[規格] エラー以外の理由で破棄された送信 IP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ipInDelivers {ip 9}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した IP データグラムの数。 [実装] 自装置宛てへの受信 IP パケット数。	●
10	ipOutRequests {ip 10}	R/O	[規格] 上位レイヤが IP パケット送信要求を行った IP データグラムの総数。 [実装] 自装置から送信した IP パケット数。	●
11	ipOutDiscards {ip 11}	R/O	[規格] エラー以外の理由で破棄された IP データグラムの数。 [実装] IP パケット送信時送信バッファ不足または輻輳制御によって廃棄したパケット数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ipOutNoRoutes {ip 12}	R/O	[規格] 送信経路が指定されないために破棄した IP データグラムの数。 [実装] パケット中継時、宛先ネットワークがルーティングテーブルにない時カウントします。	●
13	ipReasmTimeout {ip 13}	R/O	[規格] リアセンブリ待ちしているフラグメントパケットのホールド最大秒数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ipReasmReqds {ip 14}	R/O	[規格] リアセンブリする必要のある受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	ipReasmOKs {ip 15}	R/O	[規格] リアセンブリが成功した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ipReasmFails {ip 16}	R/O	[規格] リアセンブリが失敗した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ipFragOKs {ip 17}	R/O	[規格] フラグメントが成功した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ipFragFails {ip 18}	R/O	[規格] フラグメントを失敗した IP データグラムの数。 [実装] フラグメントする必要があるにもかかわらず、IP ヘッダの DF ビットがオンであったためにフラグメントができなかった場合カウントします。フラグメント用バッファ獲得失敗の場合カウントします。	●
19	ipFragCreates {ip 19}	R/O	[規格] フラグメンテーションの結果として生成された IP データグラムのフラグメントの数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4.2 ipAddrTable

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipAddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.20
```

(2) 実装仕様

ipAddrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-8 ipAddrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipAddrTable {ip 20}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスに関連するアドレッシング情報のテーブル (IP アドレス別のアドレス情報テーブル)。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipAddrEntry {ipAddrTable 1}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスの一つのためのアドレッシング情報のリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ipAdEntAddr {ipAddrEntry 1}	R/O	[規格] IP アドレス。 [実装] ポートの IP アドレス。	●
4	ipAdEntIfIndex {ipAddrEntry 2}	R/O	[規格] このエントリが適用するインタフェースのインデックス値。 ifIndex と同じ値。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ipAdEntNetMask {ipAddrEntry 3}	R/O	[規格] このエントリの IP アドレスに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipAdEntBcastAddr {ipAddrEntry 4}	R/O	[規格] IP ブロードキャスト送信時のアドレスの最下位ビットの値。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipAdEntReasmMaxSize {ipAddrEntry 5}	R/O	[規格] インタフェースで受信した IP フラグメント分割された入力 IP データグラムからリアセンブルできる最大 IP パケットのサイズ。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4.3 ipRouteTable

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipRouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 21}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.21
```

(2) 実装仕様

ipRouteTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-9 ipRouteTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipRouteTable {ip 21}	NA	[規格] このエンティティの IP ルーティングテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipRouteEntry {ipRouteTable 1}	NA	[規格] 特定のディスティネーションへの経路情報。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ipRouteDest {ipRouteEntry 1}	R/NW	[規格] この経路のディスティネーション IP アドレス。 [実装] ルーティングテーブル中の宛先ネットワークアドレス。ただし、Read_Only です。	●
4	ipRouteIfIndex {ipRouteEntry 2}	R/NW	[規格] この経路のファーストホップの存在するインタフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ルーティングテーブル内にフォワーディングしないルートが存在します。このルートの ipAdEntIfIndex は 0 とします。	●
5	ipRouteMetric1 {ipRouteEntry 3}	R/NW	[規格] この経路のプライマリ・ルーティングメトリック。 [実装] ルーティングテーブルのホップ数。ただし、Read_Only です。	●
6	ipRouteMetric2 {ipRouteEntry 4}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ipRouteMetric3 {ipRouteEntry 5}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 未使用のため -1 固定。ただし、Read_Only です。	●
8	ipRouteMetric4 {ipRouteEntry 6}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 未使用のため -1 固定。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	ipRouteNextHop {ipRouteEntry 7}	R/NW	[規格] この経路のネクストホップの IP アドレス (ブロードキャスト・メディアで接続されたルートの場合、そのインタフェース上のエージェントアドレス・アドレスになる)。 [実装] ルーティングテーブル中のファーストホップ IP アドレス。ただし、Read_Only です。装置ではルーティングテーブル内にフォワーディングしないルートが存在します。このルートの ipRouteNextHop は 0.0.0.0 とします。	●
10	ipRouteType {ipRouteEntry 8}	R/O	[規格] 経路のタイプ。 {other(1), invalid(2), direct(3), indirect(4)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only。	●
11	ipRouteProto {ipRouteEntry 9}	R/O	[規格] 経路を学習したルーティング構造。 {other(1), local(2), netmgmt(3), icmp(4), egp(5), ggp(6), hello(7), rip(8), is-is(9), es-is(10), ciscoIgrp(11), bbnSpfIgp(12), ospf(13), bgp(14)} [実装] 規格に同じ。	●
12	ipRouteAge {ipRouteEntry 10}	R/NW	[規格] この経路が更新されてからの経過時間。[単位 : 秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	ipRouteMask {ipRouteEntry 11}	R/NW	[規格] ipRouteDest に関するサブネットマスク値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
14	ipRouteMetric5 {ipRouteEntry 12}	R/NW	[規格] 代替ルーティングメトリック。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	●
15	ipRouteInfo {ipRouteEntry 13}	R/O	[規格] このルートで信頼できる特定のルーティングプロトコルを定義する MIB へのレファレンス。 [実装] {0.0} 固定。	●

2.4.4 ipNetToMediaTable

(1) 識別子

```

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipNetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 22}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.22

```

(2) 実装仕様

ipNetToMediaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-10 ipNetToMediaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipNetToMediaTable {ip 22}	NA	[規格] IP アドレスから物理アドレスへのマッピングに使用される IP アドレス変換テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipNetToMediaEntry {ipNetToMediaTable 1}	NA	[規格] 物理アドレスに対応した一つの IP アドレスのリスト。 INDEX {ipNetToMediaIfIndex, ipNetToMediaNetAddress} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipNetToMediaIfIndex {ipNetToMediaEntry 1}	R/NW	[規格] 有効となるインタフェース ID 番号。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
4	ipNetToMediaPhysAddress {ipNetToMediaEntry 2}	R/NW	[規格] メディアに依存した物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ipNetToMediaNetAddress {ipNetToMediaEntry 3}	R/NW	[規格] メディアに依存した物理アドレスに対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ipNetToMediaType {ipNetToMediaEntry 4}	R/NW	[規格] マッピングのタイプ。 {other(1), invalid(2), dynamic(3), static(4)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ipRoutingDiscards {ip 23}	R/O	[規格] 有効であっても廃棄が選択されたルーティングエントリの数。 例えばルーティングテーブルバッファ不足によって廃棄されたエントリの数。 [実装] 0 固定。	▲

2.4.5 ipForward

ipForward グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1354

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
ipForward OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 24}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.24
```

(2) 実装仕様

ipForward グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-11 ipForward グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipForwardNumber {ipForward 1}	R/O	[規格] フォワーディングテーブルエントリの数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipForwardTable {ipForward 2}	NA	[規格] 各経路に関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ipForwardEntry {ipForwardTable 1}	NA	[規格] 各経路の情報のリスト。 INDEX {ipForwardDest, ipForwardProto, ipForwardPolicy, ipForwardNextHop} [実装] 規格に同じ。	●
4	ipForwardDest {ipForwardEntry 1}	R/O	[規格] この経路の宛先アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipForwardMask {ipForwardEntry 2}	R/NW	[規格] 宛先と論理積をとるためのマスク。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ipForwardPolicy {ipForwardEntry 3}	R/O	[規格] 複数のパスルートから一つを選択する条件 (通常は TOS)。 [実装] 固定値 0。	▲
7	ipForwardNextHop {ipForwardEntry 4}	R/O	[規格] ルート上の次システムのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipForwardIfIndex {ipForwardEntry 5}	R/NW	[規格] この経路のネクストホップと接続されるローカルインタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ipForwardType {ipForwardEntry 6}	R/NW	[規格] 経路のタイプ。 {その他 (1), 無効 (2), ローカル (3), リモート (4)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	ipForwardProto {ipForwardEntry 7}	R/O	[規格] この経路を学習したプロトコル。 {other(1), local(2), netmgmt(3), icmp(4), egp(5), ggp(6), hello(7), rip(8), is-is(9), es-is(10), ciscoIgrp(11), bbnSpfIgp(12), ospf(13), bgp(14), idpr(15)} [実装] 規格に同じ。	●
11	ipForwardAge {ipForwardEntry 8}	R/NW	[規格] この経路が学習、または更新されてからの経過時間。 [単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	●
12	ipForwardInfo {ipForwardEntry 9}	R/NW	[規格] 経路のプロトコル別付加情報。 [実装] 固定値 {0.0}。ただし、Read_Only です。	▲
13	ipForwardNextHopAS {ipForwardEntry 10}	R/NW	[規格] 次ホップの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 なお、4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため、該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合、23456(AS_TRANS)を設定します。	●
14	ipForwardMetric1 {ipForwardEntry 11}	R/NW	[規格] この経路に対するメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
15	ipForwardMetric2 {ipForwardEntry 12}	R/NW	[規格] この経路に対する代替ルートのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
16	ipForwardMetric3 {ipForwardEntry 13}	R/NW	[規格] この経路に対する代替ルートのもトリック。 [実装] 固定値 (-1)。ただし、Read_Only です。	●
17	ipForwardMetric4 {ipForwardEntry 14}	R/NW	[規格] この経路についての代替ルートのもトリック。 [実装] 固定値 (-1)。ただし、Read_Only です。	●
18	ipForwardMetric5 {ipForwardEntry 15}	R/NW	[規格] この経路についての代替ルートのもトリック。 [実装] 固定値 (-1)。ただし、Read_Only です。	●

2.5 icmp グループ (MIB-II)

(1) 識別子

icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 5}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.5

(2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-12 icmp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	icmpInMsgs {icmp 1}	R/O	[規格] このエンティティが受信した ICMP メッセージ総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	icmpInErrors {icmp 2}	R/O	[規格] 受信した ICMP メッセージエラーの数 (チェックサムエラー、フレーム長エラーなど)。 [実装] 規格に同じ。	●
3	icmpInDestUnreachs {icmp 3}	R/O	[規格] 受信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	icmpInTimeExcds {icmp 4}	R/O	[規格] 受信した ICMP Time Exceed メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	icmpInParmProbs {icmp 5}	R/O	[規格] 受信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	icmpInSrcQuenchs {icmp 6}	R/O	[規格] 受信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	icmpInRedirects {icmp 7}	R/O	[規格] 受信した ICMP Network Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	icmpInEchos {icmp 8}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	icmpInEchoReps {icmp 9}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	icmpInTimestamps {icmp 10}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	icmpInTimestampReps {icmp 11}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	icmpInAddrMasks {icmp 12}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 要求メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	icmpInAddrMaskReps {icmp 13}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 応答メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	icmpOutMsgs {icmp 14}	R/O	[規格] 送信を試みた ICMP メッセージの総数 (エラーの場合も含む)。 [実装] 規格に同じ。	●
15	icmpOutErrors {icmp 15}	R/O	[規格] エラーによって送信されなかった ICMP メッセージ数。 [実装] バッファなしの場合だけカウント。	●
16	icmpOutDestUnreachs {icmp 16}	R/O	[規格] 送信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	icmpOutTimeExcds {icmp 17}	R/O	[規格] 送信した ICMP Time Exceeded メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.5 icmp グループ (MIB-II)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	icmpOutParmProbs {icmp 18}	R/O	[規格] 送信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	icmpOutSrcQuenchs {icmp 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	icmpOutRedirects {icmp 20}	R/O	[規格] 送信した ICMP Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	icmpOutEchos {icmp 21}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	icmpOutEchoReps {icmp 22}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	icmpOutTimestamps {icmp 23}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	icmpOutTimestampReps {icmp 24}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	icmpOutAddrMasks {icmp 25}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
26	icmpOutAddrMaskReps {icmp 26}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.6 tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)

tcp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2452 (December 1998)

2.6.1 tcp

(1) 識別子

tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6

(2) 実装仕様

tcp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-13 tcp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	tcpRtoAlgorithm {tcp 1}	R/O	[規格] 再送に使用するタイムアウト時間を決定するアルゴリズム。 {other(1), constant(2), rsre(3), vanj(4)} [実装] vanj(4) 固定。	▲
2	tcpRtoMin {tcp 2}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最小値。[単位: ミリ秒] [実装] 1000 固定。	▲
3	tcpRtoMax {tcp 3}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最大値。[単位: ミリ秒] [実装] 64000 固定。	▲
4	tcpMaxConn {tcp 4}	R/O	[規格] サポートできる TCP コネクションの総数。最大コネクション数が動的である場合、-1 を応答する。 [実装] -1 固定。	▲
5	tcpActiveOpens {tcp 5}	R/O	[規格] TCP コネクションが CLOSE 状態から SYN-SENT 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	tcpPassiveOpens {tcp 6}	R/O	[規格] TCP コネクションが LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	tcpAttemptFails {tcp 7}	R/O	[規格] TCP コネクションが SYN-SENT, SYN-RCVD 状態から CLOSE 状態に推移した回数に SYN-RCVD 状態から LISTEN 状態に推移した回数を加えたもの。 [実装] 規格に同じ。	●
8	tcpEstabResets {tcp 8}	R/O	[規格] TCP コネクションが ESTABLISHED, CLOSE-WAIT 状態から CLOSE 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	tcpCurrEstab {tcp 9}	R/O	[規格] ESTABLISHED, CLOSE-WAIT の状態の TCP コネクションの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	tcpInSegs {tcp 10}	R/O	[規格] エラーセグメントを含む受信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	tcpOutSegs {tcp 11}	R/O	[規格] 送信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	tcpRetransSegs {tcp 12}	R/O	[規格] 再送セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	tcpConnTable {tcp 13}	NA	[規格] TCP コネクション固有の情報をテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
14	tcpConnEntry {tcpConnTable 1}	NA	[規格] 特定の TCP コネクションに関するエントリ情報。 INDEX {tcpConnLocalAddress, tcpConnLocalPort, tcpConnRemAddress, tcpConnRemPort} [実装] 規格に同じ。	●
15	tcpConnState {tcpConnEntry 1}	R/NW	[規格] TCP コネクションの状態。 {closed(1), listen(2), synSent(3), synReceived(4), established(5), finWait1(6), finWait2(7), closeWait(8), lastAck(9), closing(10), timeWait(11), deleteTCB(12)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
16	tcpConnLocalAddress {tcpConnEntry 2}	R/O	[規格] この TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
17	tcpConnLocalPort {tcpConnEntry 3}	R/O	[規格] この TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
18	tcpConnRemAddress {tcpConnEntry 4}	R/O	[規格] この TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
19	tcpConnRemPort {tcpConnEntry 5}	R/O	[規格] この TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
20	tcpInErrs {tcp 14}	R/O	[規格] 受信したエラーセグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	tcpOutRsts {tcp 15}	R/O	[規格] RST フラグを持つセグメントの送信数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.6.2 ipv6TcpConnTable

(1) 識別子

```

tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}

ipv6TcpConnTable OBJECT IDENTIFIER ::= {tcp 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6.16

```

(2) 実装仕様

ipv6TcpConnTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-14 ipv6TcpConnTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6TcpConnTable {tcp 16}	NA	[規格]TCP コネクションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6TcpConnEntry {ipv6TcpConnTable 1}	NA	[規格] テーブルのエントリ。 INDEX {ipv6TcpConnLocalAddress, ipv6TcpConnLocalPort, ipv6TcpConnRemAddress, ipv6TcpConnRemPort, ipv6TcpConnIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6TcpConnLocalAddress {ipv6TcpConnEntry 1}	NA	[規格]TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6TcpConnLocalPort {ipv6TcpConnEntry 2}	NA	[規格]TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6TcpConnRemAddress {ipv6TcpConnEntry 3}	NA	[規格]TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6TcpConnRemPort {ipv6TcpConnEntry 4}	NA	[規格]TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6TcpConnIfIndex {ipv6TcpConnEntry 5}	NA	[規格]TCP コネクションのローカルインタフェース番号。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6TcpConnState {ipv6TcpConnEntry 6}	R/NW	[規格]TCP コネクションのステート。 {closed(1), listen(2), synSent(3), synReceived(4), established(5), finWait1(6), finWait2(7), closeWait(8), lastAck(9), closing(10), timeWait(11), deleteTCB(12)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.7 udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)

udp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2454 (December 1998)

2.7.1 udp

(1) 識別子

udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7

(2) 実装仕様

udp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-15 udp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	udpInDatagrams {udp 1}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した UDP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	udpNoPorts {udp 2}	R/O	[規格] 宛先ポートに上位アプリケーションが存在しない受信 UDP データグラム総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	udpInErrors {udp 3}	R/O	[規格] udpNoPorts 以外の理由でアプリケーションに通知できなかった UDP データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	udpOutDatagrams {udp 4}	R/O	[規格] 上位アプリケーションが送信した UDP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	udpTable {udp 5}	NA	[規格] UDP リスナーの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
6	udpEntry {udpTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP リスナーに関するエントリ数。 INDEX {udpLocalAddress, udpLocalPort} [実装] 規格に同じ。	●
7	udpLocalAddress {udpEntry 1}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
8	udpLocalPort {udpEntry 2}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●

2.7.2 ipv6UdpTable

(1) 識別子

udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}
ipv6UdpTable OBJECT IDENTIFIER ::= {udp 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7.6

(2) 実装仕様

ipv6UdpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-16 ipv6UdpTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6UdpTable {udp 6}	NA	[規格]UDP リスナーの情報を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6UdpEntry {ipv6UdpTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP リスナーについての情報。 INDEX {ipv6UdpLocalAddress, ipv6UdpLocalPort, ipv6UdpIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6UdpLocalAddress {ipv6UdpEntry 1}	NA	[規格]UDP リスナーに対するローカル IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6UdpLocalPort {ipv6UdpEntry 2}	NA	[規格]UDP リスナーに対するローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6UdpIfIndex {ipv6UdpEntry 3}	R/O	[規格]UDP リスナーに対するローカルインタフェース番号。 [実装] 規格に同じ。	●

2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB)

dot3 グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1643

次に示す dot3 グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R
- 10GBASE-W

(1) 識別子

dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.7

(2) 実装仕様

dot3 グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-17 dot3 グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3StatsTable {dot3 2}	NA	[規格] 特定のシステムに接続されたイーサネットライクなインタフェースの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot3StatsEntry {dot3StatsTable 1}	NA	[規格] イーサネットライクなメディアへの特定のインタフェースの統計情報リスト。 INDEX {dot3StatsIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	dot3StatsIndex {dot3StatsEntry 1}	R/O	[規格] イーサネットライクなメディアへのインタフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot3StatsAlignmentErrors {dot3StatsEntry 2}	R/O	[規格] 正しいフレーム長ではなく、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot3StatsFCSErrors {dot3StatsEntry 3}	R/O	[規格] 正しいフレーム長で、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot3StatsSingleCollisionFrames {dot3StatsEntry 4}	R/O	[規格] 1 回のコリジョンだけで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot3StatsMultipleCollisionFrames {dot3StatsEntry 5}	R/O	[規格] 特定のインタフェースで 2 回以上のコリジョンで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot3StatsSQETestErrors {dot3StatsEntry 6}	R/O	[規格] SQE TEST ERROR メッセージが発生した回数。 [実装] 0 固定。	▲
9	dot3StatsDeferredTransmissions {dot3StatsEntry 7}	R/O	[規格] 伝送路ビジーによって最初の送信が遅れたフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	dot3StatsLateCollisions {dot3StatsEntry 8}	R/O	[規格] 512 ビット時間経過後で、コリジョンを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	dot3StatsExcessiveCollisions {dot3StatsEntry 9}	R/O	[規格] 過度の衝突 (16 回) による転送失敗数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot3StatsInternalMacTransmitErrors {dot3StatsEntry 10}	R/O	[規格] MAC サブレイヤ内での送信障害によって送信が失敗した回数。 [実装] 規格に同じ。ただし、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T および 1000BASE-X は 0 固定。	●
13	dot3StatsCarrierSenseErrors {dot3StatsEntry 11}	R/O	[規格] 送信時にキャリアがなかった回数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot3StatsFrameTooLong {dot3StatsEntry 13}	R/O	[規格] 最大許容フレーム長を超えた受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot3StatsInternalMacReceiveErrors {dot3StatsEntry 16}	R/O	[規格] MAC サブレイヤ内での受信エラーによって受信が失敗したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot3StatsEtherChipSet {dot3StatsEntry 17}	R/O	[規格] インタフェースで使われているチップセットを示すオブジェクト識別子。 [実装] 0.0 固定	▲

注 フレーム長とは、MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「解説書 Vol.1 4.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

2.9 ppp グループ (PPP MIB)

本装置で実装する ppp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1471
(The Definitions of Managed Objects for the Link Control Protocol of the Point-to-Point Protocol)
- RFC1473
(The Definitions of Managed Objects for the IP Network Control Protocol of the Point-to-Point Protocol)

次に示す ppp グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

2.9.1 pppLcp

(1) 識別子

```
ppp OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 23}
```

```
pppLcp OBJECT IDENTIFIER ::= {ppp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.23.1
```

```
pppLink OBJECT IDENTIFIER ::= {pppLcp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.23.1.1
```

(2) 実装仕様

pppLcp の実装仕様を次の表に示します。

表 2-18 pppLcp の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pppLinkStatusTable {pppLink 1}	NA	[規格] PPP リンク関連のパラメータを含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	pppLinkStatusEntry {pppLinkStatusTable 1}	NA	[規格] 特定の PPP リンクの管理情報リスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	pppLinkStatusPhysicalIndex {pppLinkStatusEntry 1}	R/O	[規格] PPP が動作しているインタフェースを識別する ifindex 値。 [実装] 規格に同じ。	●
4	pppLinkStatusBadAddresses {pppLinkStatusEntry 2}	R/O	[規格] 不正 A パートパケット数。 [実装] 未実装。	×
5	pppLinkStatusBadControls {pppLinkStatusEntry 3}	R/O	[規格] 不正 C パートパケット数。 [実装] 未実装。	×
6	pppLinkStatusPacketToLongs {pppLinkStatusEntry 4}	R/O	[規格] 最大長オーバによって廃棄されたパケット数。 [実装] 未実装。	×
7	pppLinkStatusBadFCSs {pppLinkStatusEntry 5}	R/O	[規格] 不正 FCS パケット数。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	pppLinkStatusLocalMRU {pppLinkStatusEntry 6}	R/O	[規格] ローカル MRU 長。 [実装] 規格に同じ。ただし、リンク UP 時だけ有効です。	●
9	pppLinkStatusRemoteMRU {pppLinkStatusEntry 7}	R/O	[規格] リモート MRU 長。 [実装] 規格に同じ。ただし、リンク UP 時だけ有効です。	●
10	pppLinkStatusLocalToPeerACMap {pppLinkStatusEntry 8}	R/O	[規格] Local から Remote への ACC マップ。 [実装] 未実装。	×
11	pppLinkStatusPeerToLocalACMap {pppLinkStatusEntry 9}	R/O	[規格] Remote から Local への ACC マップ。 [実装] 未実装。	×
12	pppLinkStatusLocalToRemoteProtocolCompression {pppLinkStatusEntry 10}	R/O	[規格] Local から Remote へ送信時のプロトコルフィールド圧縮可否。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 未実装。	×
13	pppLinkStatusRemoteToLocalProtocolCompression {pppLinkStatusEntry 11}	R/O	[規格] Remote から Local へ送信時のプロトコルフィールド圧縮可否。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 未実装。	×
14	pppLinkStatusLocalToRemoteACCompression {pppLinkStatusEntry 12}	R/O	[規格] Local から Remote へ送信時の A/C パート圧縮可否。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 未実装。	×
15	pppLinkStatusRemoteToLocalACCompression {pppLinkStatusEntry 13}	R/O	[規格] Remote から Local へ送信時の A/C パート圧縮可否。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 未実装。	×
16	pppLinkStatusTransmitFcsSize {pppLinkStatusEntry 14}	R/O	[規格] 送信パケットの FCS 長 (ビットオーダー)。 [実装] 未実装。	×
17	pppLinkStatusReceiveFcsSize {pppLinkStatusEntry 15}	R/O	[規格] 受信パケットの FCS 長 (ビットオーダー)。 [実装] 未実装。	×
18	pppLinkConfigTable {pppLink 2}	NA	[規格] PPP リンクの LCP 構成パラメータを含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
19	pppLinkConfigEntry {pppLinkConfigTable 1}	NA	[規格] 特定の PPP リンクの構成情報リスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
20	pppLinkConfigInitialMRU {pppLinkConfigEntry 1}	R/NW	[規格] Local から Remote への最大受信ユニット長。ここが 0 ならデフォルトとみなされます。 [実装] デフォルト値であった場合でも、その値を表示する以外は規格に同じです。ただし、Read_Only です。	●
21	pppLinkConfigReceiveACMap {pppLinkConfigEntry 2}	R/W	[規格] Local が受信で使う非同期制御キャラクターマップ。受信リンクで使う ACC マップは Local の受信 ACC マップと Remote の送信 ACC マップの組み合わせとなります。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
22	pppLinkConfigTransmitACCMap {pppLinkConfigEntry 3}	R/W	[規格] Local が送信で使う非同期制御キャラクターマップ。Local が送信で使う ACC マップは Local の送信 ACC マップと Remote の受信 ACC マップの組み合わせとなります。 [実装] 未実装。	×
23	pppLinkConfigMagicNumber {pppLinkConfigEntry 4}	R/W	[規格] マジックナンバーネゴの有無。 { false(1), true(2) } [実装] 未実装。	×
24	pppLinkConfigFcsSize {pppLinkConfigEntry 5}	R/W	[規格] FCS ネゴのサイズ。 [実装] 未実装。	×

2.9.2 pppIp

(1) 識別子

ppp OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 23}

pppIp OBJECT IDENTIFIER ::= {ppp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.23.3

(2) 実装仕様

pppIp の実装仕様を次の表に示します。

表 2-19 pppIp の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pppIpTable {pppIp 1}	NA	[規格] Local PPP の IP パラメータと統計を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	pppIpEntry {pppIpTable 1}	NA	[規格] 特定の PPP リンクのステータス情報リスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	pppIpOperStatus {pppIpEntry 1}	R/O	[規格] IP ネットワークプロトコルの実行状態。 { opened(1), not-opened(2) } [実装] 規格に同じ。	●
4	pppIpLocalToRemoteCompressionProtocol {pppIpEntry 2}	R/O	[規格] Local から Remote への転送実行時、IP 圧縮使用の有無。 { none(1), vj-tcp(2) } [実装] 未実装。	×
5	pppIpRemoteToLocalCompressionProtocol {pppIpEntry 3}	R/O	[規格] Remote から Local への転送実行時、IP 圧縮使用の有無。 { none(1), vj-tcp(2) } [実装] 未実装。	×
6	pppIpRemoteMaxSlotId {pppIpEntry 4}	R/O	[規格] リンクで使用中の最大スロットパラメータ (リモート)。 VJ-TCP 未使用時、0。 [実装] 未実装。	×
7	pppIpLocalMaxSlotId {pppIpEntry 5}	R/O	[規格] リンクで使用中の最大スロットパラメータ (ローカル)。 VJ-TCP 未使用時、0。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	pppIpConfigTable {pppIp 2}	NA	[規格]Local PPP の IPCP 構成パラメータを含むテーブル。 [実装] 未実装。	×
9	pppIpConfigEntry {pppIpConfigTable 1}	NA	[規格] 特定の PPP リンクの IPCP 情報リスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 未実装。	×
10	pppIpConfigAdminStatus {pppIpConfigEntry 1}	R/W	[規格]IP ネットワークプロトコルの管理上の状態。 { open(1), close(2) } [実装] 未実装。	×
11	pppIpConfigCompression {pppIpConfigEntry 2}	R/W	[規格]Local の IP 圧縮ネゴの有無。 { none(1), vj-tcp(2) } [実装] 未実装。	×

2.10 SONET / SDH グループ (SONET / SDH MIB)

SONET / SDH グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3592 (September 2003)

次に示す SONET / SDH グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

2.10.1 SONET / SDH Medium グループ

(1) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetMedium OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.1
```

(2) 実装仕様

SONET / SDH Medium グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-20 SONET / SDH Medium グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetMediumTable {sonetMedium 1}	NA	[規格]SONET/SDH インタフェースの構成情報を扱う。 [実装]規格に同じ。	●
2	sonetMediumEntry {sonetMediumTable 1}	NA	[規格]sonetMediumTable のエントリ。 [実装]規格に同じ。	●
3	sonetMediumType {sonetMediumEntry 1}	R/NW	[規格]インタフェースのタイプ。 {sonet(1), sdh(2)} [実装]規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
4	sonetMediumTimeElapsed {sonetMediumEntry 2}	R/O	[規格]カレントの測定期間が始まってからの経過時間 [単位: 秒] (1 ~ 900)。 [実装]規格に同じ。	●
5	sonetMediumValidIntervals {sonetMediumEntry 3}	R/O	[規格]データが収集される 15 分間隔の値 (0 ~ 96)。 [実装]規格に同じ。	●
6	sonetMediumLineCoding {sonetMediumEntry 4}	R/NW	[規格]Line Coding の値。 {sonetMediumOther(1), sonetMediumB3ZS(2), sonetMediumCMI(3), sonetMediumNRZ(4), sonetMediumRZ(5)} [実装]sonetMediumNRZ(4) 固定。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	sonetMediumLineType {sonetMediumEntry 5}	R/NW	[規格] Line タイプ。 {sonetOther(1), sonetShortSingleMode(2), sonetLongSingleMode(3), sonetMultiMode(4), sonetCoax(5), sonetUTP(6)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 sonetShortSingleMode(2) : 2km 版シングルモード sonetLongSingleMode(3) : 40km/80km 版シングルモード sonetMultiMode(4) : マルチモード	●
8	sonetMediumCircuitIdentifier {sonetMediumEntry 6}	R/NW	[規格] 通信業者の回線識別子を含む、識別情報。主にトラブルシュートを容易にするための情報 (0 ~ 255)。 [実装] レンダス 0 の値。ただし、Read_Only です。	●
9	sonetMediumInvalidIntervals {sonetMediumEntry 7}	R/O	[規格] データが収集できない 15 分間隔の値 (0 ~ 96)。 [実装] 規格に同じ。	●
10	sonetMediumLoopbackConfig {sonetMediumEntry 8}	R/NW	[規格] loopback 状態。 {sonetNoLoop(0), sonetFacilityLoop(1), sonetTerminalLoop(2), sonetOtherLoop(3)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 sonetNoLoop(0) : 非回線テスト sonetFacilityLoop(1) : 回線テスト (ネットワークラインループバックテスト) sonetTerminalLoop(2) : 回線テスト (ループコネクタループバックテスト) sonetOtherLoop(3) : 回線テスト (モジュール内部ループバックテスト)	●
11	sonetSESthresholdSet {sonetMedium 2}	R/NW	[規格] SES の閾値。 {other(1), belcore1991(2), ansi1993(3), itu1995(4), ansi1997(5)} [実装] ansi1993(3) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.10.2 SONET / SDH Section グループ

(1) SONET / SDH Section Current Table

(a) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetSection OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.2
```

(b) 実装仕様

SONET / SDH Section Current Table グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-21 SONET / SDH Section Current Table グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetSectionCurrentTable {sonetSection 1}	NA	[規格]SONET/SDH セクションの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetSectionCurrentEntry {sonetSectionCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetSectionCurrentTable のエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
3	sonetSectionCurrentStatus {sonetSectionCurrentEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの回線状態をビットマップ値で示します。 ビット 状態 1 sonetSectionNoDefect 2 sonetSectionLOS 4 sonetSectionLOF [実装] 規格に同じ。	●
4	sonetSectionCurrentESs {sonetSectionCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH セクションにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • S-BIP8 >= 1 • LOF >= 1 • LOS >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetSectionCurrentSESs {sonetSectionCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH セクションにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : S-BIP8 >= 2392 • OC-192c/STM-64 POS : S-BIP8 >= 8854 • LOF >= 1 • LOS >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetSectionCurrentSEFSs {sonetSectionCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH セクションにおける SEFS の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • LOF >= 1 • LOS >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
7	sonetSectionCurrentCVs {sonetSectionCurrentEntry 5}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH セクションにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • S-BIP8 >= 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

(2) SONET / SDH Section Interval Table

(a) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}
```

```
sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1
```

```
sonetSection OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.2
```

(b) 実装仕様

SONET / SDH Section Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-22 SONET / SDH Section Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetSectionIntervalTable {sonetSection 2}	NA	[規格] SONET/SDH セクションの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetSectionIntervalEntry {sonetSectionIntervalTable 1}	NA	[規格] sonetSectionIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装] 15 分間隔を 96 個蓄積する。	●
3	sonetSectionIntervalNumber {sonetSectionIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 (1 ~ 96)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	sonetSectionIntervalESs {sonetSectionIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH セクションにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • S-BIP8 >= 1 • LOF >= 1 • LOS >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetSectionIntervalSESs {sonetSectionIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH セクションにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : S-BIP8 >= 2392 • OC-192c/STM-64 POS : S-BIP8 >= 8854 • LOF >= 1 • LOS >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetSectionIntervalSEFSs {sonetSectionIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH セクションにおける SEFS の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • LOF >= 1 • LOS >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
7	sonetSectionIntervalCVs {sonetSectionIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH セクションにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • S-BIP8 >= 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
8	sonetSectionIntervalValidData {sonetSectionIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10.3 SONET / SDH Line グループ

(1) SONET / SDH Line Current Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

```
sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetLine OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.3
```

(b) 実装仕様

SONET / SDH Line Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-23 SONET / SDH Line Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetLineCurrentTable {sonetLine 1}	NA	[規格]SONET/SDH ラインの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装]規格に同じ。	●
2	sonetLineCurrentEntry {sonetLineCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetLineTable のエントリ。 [実装]規格に同じ。	●
3	sonetLineCurrentStatus {sonetLineCurrentEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの回線状態をビットマップ値で示します。 ビット 状態 1 sonetLineNoDefect 2 sonetLineAIS 4 sonetLineRDI [実装] 規格に同じ。	●
4	sonetLineCurrentESs {sonetLineCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH ラインにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどちらかが満たされる場合に 1 カウントする。 • L-BIP384 または 1536 $\geq$ 1 • L-AIS $\geq$ 1 [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetLineCurrentSESs {sonetLineCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH ラインにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : L-BIP384 $\geq$ 2459 • OC-192c/STM-64 POS : L-BIP1536 $\geq$ 9835 • L-AIS $\geq$ 1 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetLineCurrentCVs {sonetLineCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH ラインにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-BIP384 または 1536 $\geq$ 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
7	sonetLineCurrentUASs {sonetLineCurrentEntry 5}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH ラインにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●

(2) SONET / SDH Line Interval Table**(a) 識別子**

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetLine OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 3}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.3

(b) 実装仕様

SONET / SDH Line Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-24 SONET / SDH Line Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetLineIntervalTable {sonetLine 2}	NA	[規格]SONET/SDH ラインの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetLineIntervalEntry {sonetLineIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetLineIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装]15 分間隔を 96 個蓄積する。	●
3	sonetLineIntervalNumber {sonetLineIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 (1 ~ 96)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	sonetLineIntervalESs {sonetLineIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH ラインにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどちらかが満たされる場合に 1 カウントする。 • L-BIP384 または 1536 >= 1 • L-AIS >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetLineIntervalSESs {sonetLineIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH ラインにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : L-BIP384 >= 2459 • OC-192c/STM-64 POS : L-BIP1536 >= 9835 • L-AIS >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetLineIntervalCVs {sonetLineIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH ラインにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-BIP384 または 1536 >= 1 ただし, SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
7	sonetLineIntervalUASs {sonetLineIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH ラインにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし, 連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
8	sonetLineIntervalValidData {sonetLineIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10.4 SONET / SDH Far End Line グループ

(1) SONET / SDH Far End Line Current Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

```
sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1
```

```
sonetFarEndLine OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.4
```

(b) 実装仕様

SONET / SDH Far End Line Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-25 SONET / SDH Far End Line Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndLineCurrentTable {sonetFarEndLine 1}	NA	[規格]SONET/SDH Far End ラインの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetFarEndLineCurrentEntry {sonetFarEndLineCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetFarEndLineTable のエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
3	sonetFarEndLineCurrentESs {sonetFarEndLineCurrentEntry 1}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-REI >= 1 • L-RDI >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
4	sonetFarEndLineCurrentSESSs {sonetFarEndLineCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : L-REI >= 2459 • OC-192c/STM-64 POS : L-REI >= 9835 • L-RDI >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetFarEndLineCurrentCVs {sonetFarEndLineCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-REI >= 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetFarEndLineCurrentUASs {sonetFarEndLineCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●

(2) SONET / SDH Far End Line Interval Table**(a) 識別子**

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}
```

```
sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1
```

```
sonetFarEndLine OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.4
```

(b) 実装仕様

SONET / SDH Far End Line Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-26 SONET / SDH Far End Line Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndLineIntervalTable {sonetFarEndLineIntervalTable 1}	NA	[規格]SONET/SDH Far End ラインの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetFarEndLineIntervalEntry {sonetFarEndLineIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetFarEndLineIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装]15 分間隔を 96 個蓄積する。	●
3	sonetFarEndLineIntervalNumber {sonetFarEndLineIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 (1 ~ 96)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	sonetFarEndLineIntervalES {sonetFarEndLineIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-REI >= 1 • L-RDI >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetFarEndLineIntervalSESS {sonetFarEndLineIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : L-REI >= 2459 • OC-192c/STM-64 POS : L-REI >= 9835 • L-RDI >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetFarEndLineIntervalCVs {sonetFarEndLineIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-REI >= 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
7	sonetFarEndLineIntervalUASs {sonetFarEndLineIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
8	sonetFarEndLineIntervalValidData {sonetFarEndLineIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10.5 SONET / SDH Path グループ

(1) SONET / SDH Path Current Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2

sonetPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsPath 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2.1

(b) 実装仕様

SONET / SDH Path Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-27 SONET / SDH Path Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetPathCurrentTable {sonetPath 1}	NA	[規格]SONET/SDH パスの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetPathCurrentEntry {sonetPathCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetPathTable のエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●
3	sonetPathCurrentWidth {sonetPathCurrentEntry 1}	R/NW	[規格] 帯域の値。 {sts1(1), sts3cSTM1(2), sts12cSTM4(3), sts24c(4), sts48cSTM16(5), sts192cSTM64(6), sts768cSTM256(7)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
4	sonetPathCurrentStatus {sonetPathCurrentEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースの回線状態をビットマップ値で示します。 ビット 状態 1 sonetPathNoDefect 2 sonetPathSTSLOP 4 sonetPathSTS AIS 8 sonetPathSTS RDI 16 sonetPathUnequipped 32 sonetPathSignalLabelMismatch [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetPathCurrentESSs {sonetPathCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH パスにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • P-BIP8 >= 1 • P-AIS >= 1 • P-LOP >= 1 • RDI P-AIS >= 1 • RDI P-UNEQ >= 1 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetPathCurrentSESs {sonetPathCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH パスにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : P-BIP8 >= 2400 • OC-192c/STM-64 POS : P-BIP8 >= 2400 • P-AIS >= 1 • P-LOP >= 1 • RDI P-AIS >= 1 • RDI P-UNEQ >= 1 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	sonetPathCurrentCVs {sonetPathCurrentEntry 5}	R/O	[規格] 15 分間の SONET/SDH パスにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • P-BIP8 >= 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
8	sonetPathCurrentUASs {sonetPathCurrentEntry 6}	R/O	[規格] 15 分間の SONET/SDH パスにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●

(2) SONET / SDH Path Interval Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2

sonetPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsPath 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2.1

(b) 実装仕様

SONET / SDH Path Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-28 SONET / SDH Path Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetPathIntervalTable {sonetPath 2}	NA	[規格] SONET/SDH パスの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetPathIntervalEntry {sonetPathIntervalTable 1}	NA	[規格] sonetPathIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装] 15 分間隔を 96 個蓄積する。	●
3	sonetPathIntervalNumber {sonetPathIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 (1 ~ 96)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	sonetPathIntervalESs {sonetPathIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH パスにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • P-BIP8 >= 1 • P-AIS >= 1 • P-LOP >= 1 • RDI P-AIS >= 1 • RDI P-UNEQ >= 1 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	sonetPathIntervalSESS {sonetPathIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH パスにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : P-BIP8 $\geq$ 2400 • OC-192c/STM-64 POS : P-BIP8 $\geq$ 2400 • P-AIS $\geq$ 1 • P-LOP $\geq$ 1 • RDI P-AIS $\geq$ 1 • RDI P-UNEQ $\geq$ 1 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetPathIntervalCVs {sonetPathIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH パスにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • P-BIP8 $\geq$ 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
7	sonetPathIntervalUASs {sonetPathIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH パスにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
8	sonetPathIntervalValid Data {sonetPathIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10.6 SONET / SDH Far End Path グループ

(1) SONET / SDH Far End Path Current Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2

sonetFarEndPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsPath 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2.2

(b) 実装仕様

SONET / SDH Far End Path Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-29 SONET / SDH Far End Path Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndPathCurrentTable {sonetFarEndPath 1}	NA	[規格] SONET/SDH Far End パスの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetFarEndPathCurrentEntry {sonetFarEndPathCurrentTable 1}	NA	[規格] sonetFarEndPathTable のエントリ。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	sonetFarEndPathCurrentESs {sonetFarEndPathCurrentEntry 1}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどちらかが満たされる場合に 1 カウントする。 • P-REI ≥ 1 • P-RDI ≥ 1 [実装] 規格に同じ。	●
4	sonetFarEndPathCurrentSESSs {sonetFarEndPathCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : P-REI ≥ 2400 • OC-192c/STM-64 POS : P-REI ≥ 2400 • P-RDI ≥ 1 [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetFarEndPathCurrentCVs {sonetFarEndPathCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • P-REI ≥ 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetFarEndPathCurrentUASs {sonetFarEndPathCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●

(2) SONET / SDH Far End Path Interval Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2

sonetFarEndPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsPath 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2.2

(b) 実装仕様

SONET / SDH Far End Path Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-30 SONET / SDH Far End Path Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndPathIntervalTable {sonetFarEndPath 2}	NA	[規格]SONET/SDH Far End パスの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	sonetFarEndPathIntervalEntry {sonetFarEndPathIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetFarEndPathIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装]15 分間隔を 96 個蓄積する。	●
3	sonetFarEndPathIntervalNumber {sonetFarEndPathIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 (1 ~ 96)。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	sonetFarEndPathIntervalESs {sonetFarEndPathIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどちらかが満たされる場合に 1 カウントする。 • P-REI ≥ 1 • P-RDI ≥ 1 [実装] 規格に同じ。	●
5	sonetFarEndPathIntervalSESs {sonetFarEndPathIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS:P-REI ≥ 2400 • OC-192c/STM-64 POS:P-REI ≥ 2400 • P-RDI ≥ 1 [実装] 規格に同じ。	●
6	sonetFarEndPathIntervalCVs {sonetFarEndPathIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • P-REI ≥ 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
7	sonetFarEndPathIntervalUASs {sonetFarEndPathIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	●
8	sonetFarEndPathIntervalValidData {sonetFarEndPathIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10.7 SONET / SDH Virtual Tributary グループ

(1) SONET / SDH VT Current Table

(a) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3

sonetVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsVT 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3.1
```

(b) 実装仕様

SONET / SDH VT Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-31 SONET / SDH VT Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetVTCurrentTable {sonetVT 1}	NA	[規格]SONET/SDH VT の現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	sonetVTCurrentEntry {sonetVTCurrentTable 1}	NA	[規格] sonetVTTable のエントリ。 [実装] 未実装。	×
3	sonetVTCurrentWidth {sonetVTCurrentEntry 1}	R/NW	[規格] 帯域の値。 {vtWidth15VC11(1), vtWidth2VC12(2), vtWidth3(3), vtWidth6VC2(4), vtWidth6c(5)} [実装] 未実装。	×
4	sonetVTCurrentStatus {sonetVTCurrentEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースの回線状態をビットマップ値で示します。 ビット 状態 1 sonetVTNoDefect 2 sonetVTLOP 4 sonetVTPathAIS 8 sonetVTPathRDI 16 sonetVTPathRFI 32 sonetVTUnequipped 64 sonetVTSignalLabelMismatch [実装] 未実装。	×
5	sonetVTCurrentES {sonetVTCurrentEntry 3}	R/O	[規格] 15 分間の SONET/SDH VT における ES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
6	sonetVTCurrentSESSs {sonetVTCurrentEntry 4}	R/O	[規格] 15 分間の SONET/SDH VT における SES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
7	sonetVTCurrentCVs {sonetVTCurrentEntry 5}	R/O	[規格] 15 分間の SONET/SDH VT における CV の発生回数。 [実装] 未実装。	×
8	sonetVTCurrentUASs {sonetVTCurrentEntry 6}	R/O	[規格] 15 分間の SONET/SDH VT における UAS の発生回数。 [実装] 未実装。	×

(2) SONET / SDH VT Interval Table

(a) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3

sonetVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsVT 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3.1
```

(b) 実装仕様

SONET / SDH VT Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-32 SONET / SDH VT Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetVTIntervalTable {sonetVT 2}	NA	[規格] SONET/SDH VT の 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	sonetVTIntervalEntry {sonetVTIntervalTable 1}	NA	[規格] sonetVTIntervalTable のエントリ。 [実装] 未実装。	×
3	sonetVTIntervalNumber {sonetVTIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 (1 ~ 96)。 [実装] 未実装。	×
4	sonetVTIntervalESs {sonetVTIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH VT における ES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
5	sonetVTIntervalSESs {sonetVTIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH VT における SES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
6	sonetVTIntervalCVs {sonetVTIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH VT における CV の発生回数。 [実装] 未実装。	×
7	sonetVTIntervalUASs {sonetVTIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH VT における UAS の発生回数。 [実装] 未実装。	×
8	sonetVTIntervalValidData {sonetVTIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 未実装。	×

2.10.8 SONET / SDH Far End VT グループ

(1) SONET / SDH Far End VT Current Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3

sonetFarEndVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsVT 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3.2

(b) 実装仕様

SONET / SDH Far End VT Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-33 SONET / SDH Far End VT Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndVTCurrentTable {sonetFarEndVT 1}	NA	[規格] SONET/SDH Far End VT の現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装] 未実装。	×
2	sonetFarEndVTCurrentEntry {sonetFarEndVTCurrentTable 1}	NA	[規格] sonetFarEndVTCurrentTable のエントリ。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	sonetFarEndVTCurrentESs {sonetFarEndVTCurrentEntry 1}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End VT における ES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
4	sonetFarEndVTCurrentSESs {sonetFarEndVTCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End VT における SES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
5	sonetFarEndVTCurrentCVs {sonetFarEndVTCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End VT における CV の発生回数。 [実装] 未実装。	×
6	sonetFarEndVTCurrentUASs {sonetFarEndVTCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End VT における UAS の発生回数。 [実装] 未実装。	×

(2) SONET / SDH Far End VT Interval Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3

sonetFarEndVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsVT 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3.2

(b) 実装仕様

SONET / SDH Far End VT Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-34 SONET / SDH Far End VT Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndVTIntervalTable {sonetFarEndVT 2}	NA	[規格]SONET/SDH Far End VT の 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装] 未実装。	×
2	sonetFarEndVTIntervalEntry {sonetFarEndVTIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetFarEndVTIntervalTable のエントリ。 [実装] 未実装。	×
3	sonetFarEndVTIntervalNumber {sonetFarEndVTIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 (1 ~ 96)。 [実装] 未実装。	×
4	sonetFarEndVTIntervalESs {sonetFarEndVTIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End VT における ES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
5	sonetFarEndVTIntervalSESs {sonetFarEndVTIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End VT における SES の発生回数。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	sonetFarEndVTIntervalCVs {sonetFarEndVTIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End VT における CV の発生回数。 [実装] 未実装。	×
7	sonetFarEndVTIntervalUASs {sonetFarEndVTIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End VT における UAS の発生回数。 [実装] 未実装。	×
8	sonetFarEndVTIntervalValidData {sonetFarEndVTIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 未実装。	×

2.11 snmp グループ (MIB-II)

(1) 識別子

snmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 11}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.11

(2) 実装仕様

snmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-35 snmp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpInPkts {snmp 1}	R/O	[規格]SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpOutPkts {snmp 2}	R/O	[規格]SNMP 送信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpInBadVersions {snmp 3}	R/O	[規格] 未サポートバージョン受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	snmpInBadCommunityNames {snmp 4}	R/O	[規格] 未使用コミュニティの SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	snmpInBadCommunityUses {snmp 5}	R/O	[規格] そのコミュニティでは許されていないオペレーションを示す受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	snmpInASNParseErrs {snmp 6}	R/O	[規格]ASN.1 エラーの受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	snmpInBadTypes {snmp 7}	R/O	[規格] 受信した未知の PDU タイプの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	snmpInTooBigs {snmp 8}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	snmpInNoSuchNames {snmp 9}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	snmpInBadValues {snmp 10}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	snmpInReadOnlys {snmp 11}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	snmpInGenErrs {snmp 12}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	snmpInTotalReqVars {snmp 13}	R/O	[規格]MIB の収集が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	snmpInTotalSetVars {snmp 14}	R/O	[規格]MIB の設定が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpInGetRequests {snmp 15}	R/O	[規格] 受信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	snmpInGetNexts {snmp 16}	R/O	[規格] 受信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	snmpInSetRequests {snmp 17}	R/O	[規格] 受信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	snmpInGetResponses {snmp 18}	R/O	[規格] 受信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	snmpInTraps {snmp 19}	R/O	[規格] 受信したトラップ PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	snmpOutTooBigs {snmp 20}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	snmpOutNoSuchNames {snmp 21}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	snmpOutBadValues {snmp 22}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	snmpOutReadOnlys {snmp 23}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	snmpOutGenErrs {snmp 24}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	snmpOutGetRequests {snmp 25}	R/O	[規格] 送信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
26	snmpOutGetNexts {snmp 26}	R/O	[規格] 送信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
27	snmpOutSetRequests {snmp 27}	R/O	[規格] 送信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
28	snmpOutGetResponses {snmp 28}	R/O	[規格] 送信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
29	snmpOutTraps {snmp 29}	R/O	[規格] 送信したトラップ PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
30	snmpEnableAuthenTraps {snmp 30}	R/NW	[規格] authentication-failure Trap を発行できるかどうかを示す。 {enable(1), disable(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.12 ospf グループ (OSPFv2 MIB)

ospf グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1850

2.12.1 ospfGeneralGroup

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
```

```
ospfGeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.1
```

(2) 実装仕様

ospfGeneralGroup グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-36 ospfGeneralGroup グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfRouterId {ospfGeneralGroup 1}	R/NW	[規格] 自律システム内のルータ識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
2	ospfAdminStat {ospfGeneralGroup 2}	R/NW	[規格] ルータの OSPF 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
3	ospfVersionNumber {ospfGeneralGroup 3}	R/O	[規格] OSPF プロトコルのバージョン番号。 [実装] 規格に同じ (version2 固定)。	●
4	ospfAreaBdrRtrStatus {ospfGeneralGroup 4}	R/O	[規格] そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfASBdrRtrStatus {ospfGeneralGroup 5}	R/NW	[規格] そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 { true(1), false(2) } [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfExternLsaCount {ospfGeneralGroup 6}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfExternLsaCksumSum {ospfGeneralGroup 7}	R/O	[規格] LSDB 中の外部 LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfTOSSupport {ospfGeneralGroup 8}	R/NW	[規格] そのルータが TOS ベースルーティングをサポートするかどうかのフラグ。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfOriginateNewLsas {ospfGeneralGroup 9}	R/O	[規格] 生成された新しい LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfRxNewLsas {ospfGeneralGroup 10}	R/O	[規格] 新しい情報を持った LSA を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	ospfExtLsdbLimit {ospfGeneralGroup 11}	R/NW	[規格]LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。 [実装]-1 固定。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfMulticastExtensions {ospfGeneralGroup 12}	R/NW	[規格] マルチキャスト拡張版 OSPF のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示します。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。 [実装] マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfExitOverflowInterval {ospfGeneralGroup 13}	R/O	[規格] エントリがオーバーフローステータスになるまでの時間。[単位: 秒] [実装] 未実装。	×
14	ospfDemandExtensions {ospfGeneralGroup 14}	R/O	[規格] このルータでの Demand ルーティングのサポート。 {true(1), false(2)} [実装] 未実装。	×

2.12.2 ospfAreaTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.2
```

(2) 実装仕様

ospfAreaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-37 ospfAreaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaTable {ospf 2}	NA	[規格] ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfAreaEntry {ospfAreaTable 1}	NA	[規格] 各エリアの情報リスト。 INDEX {ospfAreaId} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfAreaId {ospfAreaEntry 1}	R/O	[規格] エリアを識別する番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfAuthType {ospfAreaEntry 2}	R/NW	[規格] そのエリアで採用する認証のタイプ。 {なし (0), シンプルパスワード (1), md5(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ospfImportAsExtern {ospfAreaEntry 3}	R/NW	[規格] そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 {importExternal (1), importNoExternal (2), importNssa (3)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ospfSpfRuns {ospfAreaEntry 4}	R/O	[規格] このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfAreaBdrRtrCount {ospfAreaEntry 5}	R/O	[規格] このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfAsBdrRtrCount {ospfAreaEntry 6}	R/O	[規格] このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfAreaLsaCount {ospfAreaEntry 7}	R/O	[規格] AS 外部 LSA を除く、このエリアの LSDB 中の LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfAreaLsaCksumSum {ospfAreaEntry 8}	R/O	[規格] このエリアの LSDB に含まれる LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfAreaSummary {ospfAreaEntry 9}	R/NW	[規格] エリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 {noAreaSummary(1), sendAreaSummary(2)} [実装] sendAreaSummary(2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfAreaStatus {ospfAreaEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.12.3 ospfStubAreaTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfStubAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.3
```

(2) 実装仕様

ospfStubAreaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-38 ospfStubAreaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfStubAreaTable {ospf 3}	NA	[規格] エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfStubAreaEntry {ospfStubAreaTable 1}	NA	[規格] 各スタブエリアの情報リスト。 INDEX {ospfStubAreaId,ospfStubTOS} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfStubAreaId {ospfStubAreaEntry 1}	R/O	[規格] スタブエリアの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfStubTOS {ospfStubAreaEntry 2}	R/O	[規格] そのスタブエリアでのサービスのタイプ。 [実装] 規格に同じ (ただし、0 固定)。	●
5	ospfStubMetric {ospfStubAreaEntry 3}	R/NW	[規格] そのスタブエリアでのサービスタイプに対応したメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfStubStatus {ospfStubAreaEntry 4}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ospfStubMetricType {ospfStubAreaEntry 5}	R/NW	[規格] デフォルトルートとして広告したメトリックのタイプを示します。 {ospfMetric(1), comparableCost(2), nonComparable(3)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.12.4 ospfLsdbTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.4

(2) 実装仕様

ospfLsdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-39 ospfLsdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfLsdbTable {ospf 4}	NA	[規格] OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfLsdbEntry {ospfLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfLsdbAreaId, ospfLsdbType, ospfLsdbLsid, ospfLsdbRouterId} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfLsdbAreaId {ospfLsdbEntry 1}	R/O	[規格] この LSA の受信元エリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfLsdbType {ospfLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 { ルータ (1), ネットワーク (2), サマリー (3), AS サマリー (4), AS 外部リンク (5), マルチキャスト (6), nssa 外部リンク (7)} [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfLsdbLsid {ospfLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 個々のルーティングドメインを識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfLsdbRouterId {ospfLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfLsdbSequence {ospfLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfLsdbAge {ospfLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfLsdbChecksum {ospfLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ospfLsdbAdvertisement {ospfLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	●

2.12.5 ospfAreaRangeTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfAreaRangeTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.5
```

(2) 実装仕様

ospfAreaRangeTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-40 ospfAreaRangeTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaRangeTable {ospf 5}	NA	[規格] ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfAreaRangeEntry {ospfAreaRangeTable 1}	NA	[規格] ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するリスト。 INDEX {ospfAreaRangeAreaId, ospfAreaRangeNet} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfAreaRangeAreaId {ospfAreaRangeEntry 1}	R/O	[規格] 属するエリアの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfAreaRangeNet {ospfAreaRangeEntry 2}	R/O	[規格] この範囲内のネット / サブネットの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfAreaRangeMask {ospfAreaRangeEntry 3}	R/NW	[規格] ospfAreaRangeNet にかけるサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfAreaRangeStatus {ospfAreaRangeEntry 4}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfAreaRangeEffect {ospfAreaRangeEntry 5}	R/NW	[規格] 広告するエリアの範囲を示します。 {エリア外に広告されるサブネット (1) エリア外に広告しないサブネット (2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.12.6 ospfHostTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfHostTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.6
```

(2) 実装仕様

ospfHostTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-41 ospfHostTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfHostTable {ospf 6}	NA	[規格] ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックのテーブル。 [実装] 未実装。	×
2	ospfHostEntry {ospfHostTable 1}	NA	[規格] ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックの情報リスト。 INDEX {ospfHostIpAddress, ospfHostTOS} [実装] 未実装。	×
3	ospfHostIpAddress {ospfHostEntry 1}	R/O	[規格] そのホストの IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
4	ospfHostTOS {ospfHostEntry 2}	R/O	[規格] このルートのサービスのタイプ。 [実装] 未実装。	×
5	ospfHostMetric {ospfHostEntry 3}	R/NW	[規格] サービスタイプに対応したメトリック。 [実装] 未実装。	×
6	ospfHostStatus {ospfHostEntry 4}	R/NW	[規格] エントリのステータスを示します。 [実装] 未実装。	×
7	ospfHostAreaID {ospfHostEntry 5}	R/O	[規格] 属しているホストのエリア。デフォルトは、OSPF インタフェースを含むエリアか、0.0.0.0。 [実装] 未実装。	×

2.12.7 ospfIfTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.7
```

(2) 実装仕様

ospfIfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-42 ospfIfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfIfTable {ospf 7}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfIfEntry {ospfIfTable 1}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfIfIpAddress {ospfIfEntry 1}	R/O	[規格] この OSPF インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfAddressLessIf {ospfIfEntry 2}	R/O	[規格] このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfIfAreaId {ospfIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ospfIfType {ospfIfEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースタイプ。 {ブロードキャスト(1), ノンブロードキャスト(2), Point-Point(3), Point-Multipoint(5)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
7	ospfIfAdminStat {ospfIfEntry 5}	R/NW	[規格] インタフェースの管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
8	ospfIfRtrPriority {ospfIfEntry 6}	R/NW	[規格] このインタフェースのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
9	ospfIfTransitDelay {ospfIfEntry 7}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
10	ospfIfRetransInterval {ospfIfEntry 8}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
11	ospfIfHelloInterval {ospfIfEntry 9}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
12	ospfIfRtrDeadInterval {ospfIfEntry 10}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
13	ospfIfPollInterval {ospfIfEntry 11}	R/NW	[規格] 非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の, 不活動隣接局への Hello パケット送信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
14	ospfIfState {ospfIfEntry 12}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 {down(1), loopback(2), waiting(3), PtoP(4), DR(5), BDR(6), other(7)} [実装] 規格に同じ。	●
15	ospfIfDesignatedRouter {ospfIfEntry 13}	R/O	[規格] デジグネーテッドルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ospfIfBackupDesignatedRouter {ospfIfEntry 14}	R/O	[規格] バックアップデジグネーテッドルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ospfIfEvents {ospfIfEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変化したか, エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ospfIfAuthKey {ospfIfEntry 16}	R/NW	[規格] このインタフェースでの認証キー。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
19	ospfIfStatus {ospfIfEntry 17}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし, Read_Only です。	●
20	ospfIfMulticastForwarding {ospfIfEntry 18}	R/NW	[規格] このインタフェースでマルチキャストする方法。 {blocked(1), multicast(2), unicast(3)} [実装] blocked(1) 固定。ただし, Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
21	ospfIfDemand {ospfIfEntry 19}	R/O	[規格] このインタフェースで Demand OSPF 手順を行うかどうかを示します。 [実装] 未実装。	×
22	ospfIfAuthType {ospfIfEntry 20}	R/O	[規格] インタフェースの認証方式を示します。 {なし (0), シンプルパスワード (1), MD5(2), IANA が規定したもの (3 ~ 255)} [実装] 未実装。	×

2.12.8 ospfIfMetricTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfIfMetricTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.8
```

(2) 実装仕様

ospfIfMetricTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-43 ospfIfMetricTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfIfMetricTable {ospf 8}	NA	[規格] 各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfIfMetricEntry {ospfIfMetricTable 1}	NA	[規格] 各インタフェースのサービスタイプメトリックの情報リスト。 INDEX {ospfIfMetricIpAddress, ospfIfMetricAddressLessIf, ospfIfMetricTOS} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfIfMetricIpAddress {ospfIfMetricEntry 1}	R/O	[規格] この OSPF インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfIfMetricAddressLessIf {ospfIfMetricEntry 2}	R/O	[規格] このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfIfMetricTOS {ospfIfMetricEntry 3}	R/O	[規格] このインタフェースのサービスのタイプ。 [実装] 0 固定。	●
6	ospfIfMetricValue {ospfIfMetricEntry 4}	R/NW	[規格] このインタフェースのこのサービスタイプのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfIfMetricStatus {ospfIfMetricEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.12.9 ospfVirtIfTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
```


ospfVirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 9}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.9

(2) 実装仕様

ospfVirtIfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-44 ospfVirtIfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfVirtIfTable {ospf 9}	NA	[規格] ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfVirtIfEntry {ospfVirtIfTable 1}	NA	[規格] 各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX {ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfVirtIfAreaId {ospfVirtIfEntry 1}	R/O	[規格] その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfVirtIfNeighbor {ospfVirtIfEntry 2}	R/O	[規格] 仮想の隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfVirtIfTransitDelay {ospfVirtIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfVirtIfRetransInterval {ospfVirtIfEntry 4}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfVirtIfHelloInterval {ospfVirtIfEntry 5}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfVirtIfRtrDeadInterval {ospfVirtIfEntry 6}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfVirtIfState {ospfVirtIfEntry 7}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 {down(1), PtoP(4)} [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfVirtIfEvents {ospfVirtIfEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfVirtIfAuthKey {ospfVirtIfEntry 9}	R/NW	[規格] このインタフェースでの認証キー。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfVirtIfStatus {ospfVirtIfEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfVirtIfAuthType {ospfVirtIfEntry 11}	R/W	[規格] パーチャルインタフェースの認証方式を示します。 [実装] 未実装。	×

2.12.10 ospfNbrTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

```
ospfNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.10
```

(2) 実装仕様

ospfNbrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-45 ospfNbrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfNbrTable {ospf 10}	NA	[規格] 仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfNbrEntry {ospfNbrTable 1}	NA	[規格] 各隣接局の情報リスト。 INDEX {ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfNbrIpAddress {ospfNbrEntry 1}	R/O	[規格] 隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfNbrAddressLessIndex {ospfNbrEntry 2}	R/O	[規格] 隣接ルータのインタフェースがアドレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfNbrRtrId {ospfNbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfNbrOptions {ospfNbrEntry 4}	R/O	[規格] 隣接ルータのオプション実行能力。 Bit 0, サービスタイプベースルーティング Bit 1, 外部エリアの処理 Bit 2, IP マルチキャストルーティング Bit 3, NSSA と関係したエリア [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfNbrPriority {ospfNbrEntry 5}	R/NW	[規格] 隣接ルータのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfNbrState {ospfNbrEntry 6}	R/O	[規格] この隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)} [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfNbrEvents {ospfNbrEntry 7}	R/O	[規格] 隣接ルータとの関係で、状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfNbrLsRetransQLen {ospfNbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfNbmaNbrStatus {ospfNbrEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ospfIfType が nbma 時だけアクセスできます。 ただし、Read_Only です。	●
12	ospfNbmaNbrPermanence {ospfNbrEntry 10}	R/NW	[規格] 隣接ルータとルーティングする方法。 {dynamic(1) permanent(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ospfNbrHelloSuppressed {ospfNbrEntry 11}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 未実装。	×

2.12.11 ospfVirtNbrTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfVirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.11
```

(2) 実装仕様

ospfVirtNbrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-46 ospfVirtNbrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfVirtNbrTable {ospf 11}	NA	[規格] 仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfVirtNbrEntry {ospfVirtNbrTable 1}	NA	[規格] 各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfVirtNbrArea {ospfVirtNbrEntry 1}	R/O	[規格] 通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfVirtNbrRtrId {ospfVirtNbrEntry 2}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfVirtNbrIpAddr {ospfVirtNbrEntry 3}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfVirtNbrOptions {ospfVirtNbrEntry 4}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのオプション実行能力。 Bit 1, サービスタイプベースルーティング Bit 2, IP マルチキャストルーティング [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfVirtNbrState {ospfVirtNbrEntry 5}	R/O	[規格] この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)} [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfVirtNbrEvents {ospfVirtNbrEntry 6}	R/O	[規格] この仮想リンクの状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfVirtNbrLsRetransQLen {ospfVirtNbrEntry 7}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ospfVirtNbrHelloSuppressed {ospfVirtNbrEntry 8}	R/O	[規格]Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 未実装。	×

2.12.12 ospfExtLsdbTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfExtLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.12
```

(2) 実装仕様

ospfExtLsdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-47 ospfExtLsdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfExtLsdbTable {ospf 12}	NA	[規格]OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfExtLsdbEntry {ospfExtLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfExtLsdbType, ospfExtLsdbLsid, ospfExtLsdbRouterId} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfExtLsdbType {ospfExtLsdbEntry 1}	R/O	[規格]LSA のタイプ。 {asExternalLink(5)} [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfExtLsdbLsid {ospfExtLsdbEntry 2}	R/O	[規格] リンクステータス ID。リンクステータス ID はルータ ID または IP アドレスのどちらかを含むフィールドです。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfExtLsdbRouterId {ospfExtLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 自律システム内の生成元ルータを一意に識別するための 32 ビット番号。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfExtLsdbSequence {ospfExtLsdbEntry 4}	R/O	[規格]LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfExtLsdbAge {ospfExtLsdbEntry 5}	R/O	[規格]LSA が生成されてからの経過時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfExtLsdbChecksum {ospfExtLsdbEntry 6}	R/O	[規格]Age フィールドを含めない、広告内容のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfExtLsdbAdvertisement {ospfExtLsdbEntry 7}	R/O	[規格] ヘッダを含む完全な全体 LSA。 [実装] 規格に同じ。	●

2.12.13 ospfAreaAggregateTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
```

ospfAreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 14}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.14

(2) 実装仕様

ospfAreaAggregateTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-48 ospfAreaAggregateTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaAggregateTable {ospf 14}	NA	[規格] IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfAreaAggregateEntry {ospfAreaAggregateTable 1}	NA	[規格] IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのリスト。 INDEX {ospfAreaAggregateAreaID, ospfAreaAggregateLsdbType, ospfAreaAggregateNet, ospfAreaAggregateMask} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfAreaAggregateAreaID {ospfAreaAggregateEntry 1}	R/O	[規格] アドレス集約したエリア。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfAreaAggregateLsdbType {ospfAreaAggregateEntry 2}	R/O	[規格] アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 {summaryLink(3), nssaExternalLink(7)} [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfAreaAggregateNet {ospfAreaAggregateEntry 3}	R/O	[規格] ネットワークまたはサブネットの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfAreaAggregateMask {ospfAreaAggregateEntry 4}	R/O	[規格] ネットワークまたはサブネットに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfAreaAggregateStatus {ospfAreaAggregateEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfAreaAggregateEffect {ospfAreaAggregateEntry 6}	R/NW	[規格] 範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 {advertiseMatching(1), doNotAdvertiseMatching(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.12.14 ospfTrap

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfTrap OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 16}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.16

ospfTrapControl OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfTrap 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.16.1

(2) 実装仕様

ospfTrap グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-49 ospfTrap グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfTrapControl {ospfTrap 1}	NA	[規格] トラップに関する取得情報。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfSetTrap {ospfTrapControl 1}	R/NW	[規格] トラップ可能なイベントを示すビットマップ。各ビットが ospfTraps のオブジェクトを示す。 2 ¹ ビット (0x00000002) : ospfVirtIfStateChange ～ 2 ¹⁶ ビット (0x00010000) : ospfIfStateChange [実装] 規格に同じ。ただし、0x100fe 固定で、Read_Only です。	●
3	ospfConfigErrorType {ospfTrapControl 2}	R/O	[規格] 最後に発生したトラップのエラーイベント。 badVersion (1), areaMismatch (2), unknownNbmaNbr (3), unknownVirtualNbr (4), authTypeMismatch (5), authFailure (6), netMaskMismatch (7), helloIntervalMismatch (8), deadIntervalMismatch (9), optionMismatch (10) [実装] トラップの発行に関わらず最後に発生したエラーイベント。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0 です。	●
4	ospfPacketType {ospfTrapControl 3}	R/O	[規格] 最後のトラップで使用された、エラーパケット種別 hello (1) dbDescript (2) lsReq (3) lsUpdate (4) lsAck (5) [実装] トラップの発行に関わらず最後のエラーパケット種別。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0 です。	●
5	ospfPacketSrc {ospfTrapControl 4}	R/O	[規格] 最後のトラップで使用された、エラーパケットの送信元アドレス [実装] トラップの発行に関わらず、最後のエラーパケットの送信元アドレス。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0.0.0.0 です。	●
6	ospfTraps {ospfTrap 2}	NA	[規格] トラップ広告。 [実装] 規格に同じ。	●

2.13 bgp グループ (BGP4 MIB) 【OP-BGP】

bgp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1657

2.13.1 bgp

(1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15

(2) 実装仕様

bgp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-50 bgp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgpVersion {bgp 1}	R/O	[規格] サポートしているバージョンをビットマップ形式で表現します。オクテット内の最上位ビットをビット 0 として、サポートするバージョン番号 -1 のビットをセットします。 [実装] 規格に同じ。	●
2	bgpLocalAs {bgp 2}	R/O	[規格] ローカルの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。 なお、4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため、該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合、23456(AS_TRANS) を設定します。	●

2.13.2 bgpPeerTable

(1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}

bgpPeerTable OBJECT IDENTIFIER ::= {bgp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15.3

(2) 実装仕様

bgpPeerTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-51 bgpPeerTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgpPeerTable {bgp 3}	NA	[規格] bgp ピアテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	bgpPeerEntry {bgpPeerTable 1}	NA	[規格] bgp ピアのコネクションに関する情報のテーブル。 INDEX {bgpPeerRemoteAddr} [実装] 規格に同じ。	●
3	bgpPeerIdentifier {bgpPeerEntry 1}	R/O	[規格] このエントリの bgp ピアの BGP 識別子。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	bgpPeerState {bgpPeerEntry 2}	R/O	[規格]BGP ピアとのコネクションの状態。 {idle(1), connect(2), active(3), opensent(4), openconfirm(5), established(6)} [実装]規格に同じ。	●
5	bgpPeerAdminStatus {bgpPeerEntry 3}	R/NW	[規格]BGP ピアのコネクションの望まれる状態。BGPstart イベントの生成によって start へ、BGPstop イベントの生成によって stop へ移行します。 {stop(1), start(2)} [実装]start(2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
6	bgpPeerNegotiatedVersion {bgpPeerEntry 4}	R/O	[規格]ピア間でネゴシエートした BGP のバージョン。 [実装]規格に同じ。	●
7	bgpPeerLocalAddr {bgpPeerEntry 5}	R/O	[規格]このエントリの BGP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装]規格に同じ。	●
8	bgpPeerLocalPort {bgpPeerEntry 6}	R/O	[規格]ピア間での TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装]規格に同じ。	●
9	bgpPeerRemoteAddr {bgpPeerEntry 7}	R/O	[規格]このエントリの BGP コネクションのリモートの IP アドレス。 [実装]規格に同じ。	●
10	bgpPeerRemotePort {bgpPeerEntry 8}	R/O	[規格]ピア間での TCP コネクションのリモートのポート番号。 [実装]規格に同じ。	●
11	bgpPeerRemoteAs {bgpPeerEntry 9}	R/O	[規格]リモートの自律システム番号。 [実装]規格に同じ。 なお、4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため、該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合、23456(AS_TRANS)を設定します。	●
12	bgpPeerInUpdates {bgpPeerEntry 10}	R/O	[規格]このコネクションで受信した BGP UPDATE メッセージの数。 [実装]規格に同じ。	●
13	bgpPeerOutUpdates {bgpPeerEntry 11}	R/O	[規格]このコネクションで送信した BGP UPDATE メッセージの数。 [実装]規格に同じ。	●
14	bgpPeerInTotalMessages {bgpPeerEntry 12}	R/O	[規格]このコネクションでリモートピアから受信したメッセージの数。 [実装]規格に同じ。	●
15	bgpPeerOutTotalMessages {bgpPeerEntry 13}	R/O	[規格]このコネクションでリモートピアへ送信したメッセージの数。 [実装]規格に同じ。	●
16	bgpPeerLastError {bgpPeerEntry 14}	R/O	[規格]このコネクション上のピアによって理解された最後のエラーコードとサブコード。 [実装]規格に同じ。	●
17	bgpPeerFsmEstablishedTransitions {bgpPeerEntry 15}	R/O	[規格]FSM が Established 状態になった回数。 [実装]規格に同じ。	●
18	bgpPeerFsmEstablishedTime {bgpPeerEntry 16}	R/O	[規格]Established 状態になってから、または最後に Established 状態であってからの時間。[単位: 秒] [実装]規格に同じ。	●
19	bgpPeerConnectRetryInterval {bgpPeerEntry 17}	R/NW	[規格]ConnectRetry タイマ値。 [実装]規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	bgpPeerHoldTime {bgpPeerEntry 18}	R/O	[規格] ピアと確立された HOLD タイマ値。 [実装] 規格に同じ。	●
21	bgpPeerKeepAlive {bgpPeerEntry 19}	R/O	[規格] ピアと確立された KeepAlive タイマ値。 [実装] 規格に同じ。	●
22	bgpPeerHoldTimeConfigured {bgpPeerEntry 20}	R/NW	[規格] この BGP スピーカのこのピアに対して構成設定された Hold タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
23	bgpPeerKeepAliveConfigured {bgpPeerEntry 21}	R/NW	[規格] この BGP スピーカのこのピアに対し構成設定された keepAlive タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
24	bgpPeerMinASOriginationInterval {bgpPeerEntry 22}	R/NW	[規格] MinASOriginationInterval タイマ値。 [実装] UPDATE メッセージの広告間隔。[単位：秒] External ピアだけアクセス可。ただし、Read_Only です。	●
25	bgpPeerMinRouteAdvertisementInterval {bgpPeerEntry 23}	R/NW	[規格] MinRouteAdvertisementInterval タイマ値。 [実装] UPDATE メッセージの広告間隔。[単位：秒] Internal ピアだけアクセスできます。ただし、Read_Only です。	●
26	bgpPeerInUpdateElapsedTime {bgpPeerEntry 24}	R/O	[規格] 最後の update メッセージを受信してからの経過時間。 [実装] 規格に同じ。	●
27	bgpIdentifier {bgp 4}	R/O	[規格] ローカルシステムの BGP 識別子。 [実装] 規格に同じ。	●

2.13.3 bgp4PathAttrTable

(1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}

bgp4PathAttrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {bgp 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15.6

(2) 実装仕様

bgp4PathAttrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-52 bgp4PathAttrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgp4PathAttrTable {bgp 6}	NA	[規格] 全 BGP4 から受信した宛先ネットワークまでのパス情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	bgp4PathAttrEntry {bgp4PathAttrTable 1}	NA	[規格] 宛先ネットワークまでのパス情報のリスト。 INDEX {bgp4PathAttrIpAddrPrefix, bgp4PathAttrIpAddrPrefixLen, bgp4PathAttrPeer} [実装] 規格に同じ。	●
3	bgp4PathAttrPeer {bgp4PathAttrEntry 1}	R/O	[規格] パス情報が学習されたピアの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	bgp4PathAttrIpAddrPrefixLen {bgp4PathAttrEntry 2}	R/O	[規格] Network Layer Reachability Information field の IP アドレスのビット長。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	bgp4PathAttrIpAddressPre fix {bgp4PathAttrEntry 3}	R/O	[規格] Network Layer Reachability Information field の IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	bgp4PathAttrOrigin {bgp4PathAttrEntry 4}	R/O	[規格] パス情報の生成元。 {igp(1), egp(2), incomplete(3)} [実装] 規格に同じ。	●
7	bgp4PathAttrASPathSe gment {bgp4PathAttrEntry 5}	R/O	[規格] AS パスセグメントの列。 [実装] 規格に同じ。 なお、4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため、該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合、23456(AS_TRANS) を設定します。	●
8	bgp4PathAttrNextHop {bgp4PathAttrEntry 6}	R/O	[規格] ルート上の次ホップルータのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
9	bgp4PathAttrMultiExit Disc {bgp4PathAttrEntry 7}	R/O	[規格] Multi Exit 属性。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	●
10	bgp4PathAttrLocalPref {bgp4PathAttrEntry 8}	R/O	[規格] 生成元 BGP4 スピーカの優先度。-1 はこの属性がないことを 意味します。 [実装] 規格に同じ。	●
11	bgp4PathAttrAtomicAg gregate {bgp4PathAttrEntry 9}	R/O	[規格] AtomicAggregate 属性。 {lessSpecificRouteNotSelected(1), lessSpecificRouteSelected(2)} [実装] 規格に同じ。	●
12	bgp4PathAttrAggregate rAS {bgp4PathAttrEntry 10}	R/O	[規格] 経路集約した最後の BGP4 スピーカの AS 番号。 [実装] 規格に同じ。 なお、4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため、該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合、23456(AS_TRANS) を設定します。	●
13	bgp4PathAttrAggregate rAddr {bgp4PathAttrEntry 11}	R/O	[規格] 経路集約した最後の BGP4 スピーカの IP アドレス。0.0.0.0 は この属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	●
14	bgp4PathAttrCalcLocal Pref {bgp4PathAttrEntry 12}	R/O	[規格] 広告された経路に対し受信 BGP4 スピーカによって計算され た優先度。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	●
15	bgp4PathAttrBest {bgp4PathAttrEntry 13}	R/O	[規格] この経路が BGP4 のベストルートとして選択されたかどうか を示します。 {false(1), true(2)} [実装] 規格に同じ。	●
16	bgp4PathAttrUnknown {bgp4PathAttrEntry 14}	R/O	[規格] この BGP4 スピーカが理解できない一つまたはそれ以上のパ ス属性。 [実装] 規格に同じ。	●

2.14 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)

rmon グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1757

2.14.1 Ethernet Statistics グループ

次に示す Ethernet Statistics グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R
- 10GBASE-W

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

statistics OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1

etherStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {statistics 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1.1
```

(2) 実装仕様

Ethernet Statistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-53 Ethernet Statistics グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherStatsTable {statistics 1}	NA	[規格] イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
2	etherStatsEntry {etherStatsTable 1}	NA	[規格] 特定イーサネットインタフェースの統計情報を記憶するエントリを示します。 INDEX {etherStatsIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	etherStatsIndex {etherStatsEntry 1}	R/O	[規格] 特定の etherStats エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ～ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	etherStatsDataSource {etherStatsEntry 2}	R/NW	[規格] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	etherStatsDropEvents {etherStatsEntry 3}	R/O	[規格] リソース不足によって、パケットを取りこぼすというイベントが発生した回数。実際の取りこぼし数を示すのではなく、取りこぼしを検出した回数です。 [実装] 規格に同じ。	●
6	etherStatsOctets {etherStatsEntry 4}	R/O	[規格] bad パケットを含むネットワークで受信したオクテット (バイト) 数。 [実装] bad パケットを含むネットワークで送受信したオクテット (バイト) 数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	etherStatsPkts {etherStatsEntry 5}	R/O	[規格]bad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの受信数。 [実装]bad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの送受信数。	●
8	etherStatsBroadcastPkts {etherStatsEntry 6}	R/O	[規格]bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの受信数。 [実装]bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの送受信数。	●
9	etherStatsMulticastPkts {etherStatsEntry 7}	R/O	[規格]bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの受信数。 [実装]bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの送受信数。	●
10	etherStatsCRCAlignErrors {etherStatsEntry 8}	R/O	[規格]FCS エラーパケット受信数。 [実装]規格に同じ。	●
11	etherStatsUndersizePkts {etherStatsEntry 9}	R/O	[規格]ショートサイズパケット (データ長 64 オクテット未満) 受信数。 [実装]規格に同じ。	●
12	etherStatsOversizePkts {etherStatsEntry 10}	R/O	[規格]オーバサイズパケット (データ長 1518 オクテットを超えた) 受信数。 [実装]オーバサイズパケット (最大データ長を超えた) 受信数。	●
13	etherStatsFragments {etherStatsEntry 11}	R/O	[規格]ショートサイズパケット (データ長 64 オクテット未満) 受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装]規格に同じ。	●
14	etherStatsJabbers {etherStatsEntry 12}	R/O	[規格]オーバサイズパケット (データ長 1518 オクテットを超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装]オーバサイズパケット (最大データ長を超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。	●
15	etherStatsCollisions {etherStatsEntry 13}	R/O	[規格]コリジョン数。 [実装]規格に同じ。	●
16	etherStatsPkts64Octets {etherStatsEntry 14}	R/O	[規格]データ長 64 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 64 オクテットのパケット送受信数。	●
17	etherStatsPkts65to127Octets {etherStatsEntry 15}	R/O	[規格]データ長 65 ~ 127 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 65 ~ 127 オクテットのパケット送受信数。	●
18	etherStatsPkts128to255Octets {etherStatsEntry 16}	R/O	[規格]データ長 128 ~ 255 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 128 ~ 255 オクテットのパケット送受信数。	●
19	etherStatsPkts256to511Octets {etherStatsEntry 17}	R/O	[規格]データ長 256 ~ 511 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 256 ~ 511 オクテットのパケット送受信数。	●
20	etherStatsPkts512to1023Octets {etherStatsEntry 18}	R/O	[規格]データ長 512 ~ 1023 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 512 ~ 1023 オクテットのパケット送受信数。	●
21	etherStatsPkts1024to1518Octets {etherStatsEntry 19}	R/O	[規格]データ長 1024 ~ 1518 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 1024 ~ 1518 オクテットのパケット送受信数。	●
22	etherStatsOwner {etherStatsEntry 20}	R/NW	[規格]エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装]'system' と文字列を応答します。ただし, Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
23	etherStatsStatus {etherStatsEntry 21}	R/NW	[規格] エントリの状態を示す。 {valid(1), createRequest(2), underCreation(3), invalid(4)} [実装] valid(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

注 データ長とは、MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「解説書 Vol.1 4.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

2.14.2 History Control グループ

次に示す History Control グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R
- 10GBASE-W

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2

historyControlTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.1
```

(2) 実装仕様

History Control グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-54 History Control グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	historyControlTable {history 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	historyControlEntry {historyControlTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルのリスト。 INDEX {historyControlIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 32 エントリまで。	●
3	historyControlIndex {historyControlEntry 1}	R/O	[規格] 特定の historyControl エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ～ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	historyControlDataSource {historyControlEntry 2} ※ 1	R/W	[規格] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。	●
5	historyControlBucketsRequested {historyControlEntry 3} ※ 1	R/W	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータ数の要求数（デフォルト値 50）。値の範囲は 1 ～ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	historyControlBucketsGranted {historyControlEntry 4}	R/O	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータの認可数。値の範囲は 1 ～ 65535。 [実装] historyControlBucketsRequested と同じ値。ただし、historyControlBucketsRequested が 50 以上なら 50 固定となります。	●
7	historyControlInterval {historyControlEntry 5} ※ 1	R/W	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータのサンプリング間隔。[単位：秒] 値の範囲は、1 ～ 3600(デフォルト値 1800)。 [実装] 規格に同じ。	●
8	historyControlOwner {historyControlEntry 6} ※ 1	R/W	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●
9	historyControlStatus {historyControlEntry 7}	R/W	[規格] エントリの状態を示します。 {valid(1), createRequest(2), underCreation(3), invalid(4)} [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid(1) を Set します。 削除するときは invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set したあとで Get すると underCreation(3) を応答し、valid(1) を Set したあとで Get すると valid(1) を応答します。 すでにエントリがある場合は、いったん invalid(4) を Set してエントリを削除してから追加してください。※ 2 - valid(1) : historyControlDataSource で取得できる interface の統計情報が取得でき、historyControlInterval の間にサンプリングできます。 - invalid(4) : 該当 interface のコンフィグレーションの IP 情報がなかったり、該当 NIF が close 状態であるときなど、interface の統計情報が取得できません。また、historyInterval の間にサンプリングできません。	●

注※ 1 コンフィグレーションコマンドでも定義できます。「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 history-control (RMON イーサネットヒストリグループの制御情報の設定)」を参照してください。

注※ 2 コンフィグレーションコマンドで設定したヒストリグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションコマンドで設定した history 設定を削除してから再設定してください。

2.14.3 Ethernet History グループ

次に示す Ethernet History グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R
- 10GBASE-W

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}
```

```
history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2
```

```
etherHistoryTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 2}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.2

(2) 実装仕様

Ethernet History グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-55 Ethernet History グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherHistoryTable {history 2}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	etherHistoryEntry {etherHistoryTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブルのリスト。 INDEX {etherHistoryIndex, etherHistorySampleIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	etherHistoryIndex {etherHistoryEntry 1}	R/O	[規格] historyControlIndex のインデックス値と同じ値。値の範囲は 1 ～ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	etherHistorySampleIndex {etherHistoryEntry 2}	R/O	[規格] 同じ etherHistoryIndex の値の中でユニークな値で 1 から順次値を設定します。値の範囲は 1 ～ 2147483647。 [実装] 規格に同じ。	●
5	etherHistoryIntervalStart {etherHistoryEntry 3}	R/O	[規格] 統計情報の取得開始時間。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	●
6	etherHistoryDropEvents {etherHistoryEntry 4}	R/O	[規格] サンプリング時にパケットの取りこぼしを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	etherHistoryOctets {etherHistoryEntry 5}	R/O	[規格] 特定時間内での受信したオクテット (バイト) 数。bad packets を含みます。 [実装] 特定時間内での送受信したオクテット (バイト) 数。	●
8	etherHistoryPkts {etherHistoryEntry 6}	R/O	[規格] 特定時間内での総パケット受信。bad packets, broadcast packets, multicast packets を含みます。 [実装] 特定時間内での総パケット送受信。	●
9	etherHistoryBroadcastPkts {etherHistoryEntry 7}	R/O	[規格] 特定時間内での broadcast パケットの受信数。bad, multicast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での broadcast パケットの送受信数。	●
10	etherHistoryMulticastPkts {etherHistoryEntry 8}	R/O	[規格] 特定時間内での multicast パケットの受信数。bad, broadcast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での multicast パケットの送受信数。	●
11	etherHistoryCRCAlignErrors {etherHistoryEntry 9}	R/O	[規格] 特定時間内での FCS エラーパケット受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	etherHistoryUndersizePkts {etherHistoryEntry 10}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (データ長 64 オクテット未満) 受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	etherHistoryOversizePkts {etherHistoryEntry 11}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバサイズパケット (データ長 1518 オクテットを超えた) 受信数。 [実装] 特定時間内でのオーバサイズパケット (最大データ長を超えた) 受信数。	●
14	etherHistoryFragments {etherHistoryEntry 12}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (データ長 64 オクテット未満) 受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	etherHistoryJabbers {etherHistoryEntry 13}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバーサイズパケット（データ長 1518 オクテットを超えた）受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 特定時間内でのオーバーサイズパケット（最大データ長を超えた）受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。	●
16	etherHistoryCollisions {etherHistoryEntry 14}	R/O	[規格] 特定時間内でのコリジョン数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	etherHistoryUtilization {etherHistoryEntry 15}	R/O	[規格] 物理レイヤの利用率の見積り。値の範囲は, 0 ~ 10000。 [実装] 利用率を示します。 半二重回線の場合の利用率は, {パケット数 × (9.6+6.4)+(オクテット数 × 0.8)} ÷ {時間間隔 × 回線速度} × 1000 で計算します。 全二重回線の場合の利用率は, {パケット数 × (9.6+6.4)+(オクテット数 × 0.8)} ÷ {{時間間隔 × 回線速度} × 2} × 1000 で計算します。	●

注1 コンフィグレーションコマンドでも定義できます。「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 history-control (RMON イーサネットヒストリグループの制御情報の設定)」を参照してください。

注2 データ長とは, MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては,「解説書 Vol.1 4.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

2.14.4 Alarm グループ

(1) 識別子

```

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

alarm OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3

alarmTable OBJECT IDENTIFIER ::= {alarm 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3.1

```

(2) 実装仕様

Alarm グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-56 Alarm グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	alarmTable {alarm 1}	NA	[規格] アラームテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	alarmEntry {alarmTable 1}	NA	[規格] アラームテーブルのリスト。 INDEX {alarmIndex} [実装] 規格に同じ。ただし, 最大 128 エントリまで。	●
3	alarmIndex {alarmEntry 1}	R/O	[規格] alarmTable 中の行エントリを一意に識別する識別子。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	alarmInterval {alarmEntry 2} ※ 1	R/W	[規格] 閾値と比較する間隔。[単位: 秒] 設定できる範囲は 1 ~ (2 ³² -1) [実装] 規格に同じ。	●
5	alarmVariable {alarmEntry 3} ※ 1	R/W	[規格] サンプリングする MIB のオブジェクト識別子。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	alarmSampleType {alarmEntry 4} ※ 1	R/W	[規格] 値を閾値と比較する方法を指定します。 {absoluteValue(1), deltaValue(2)} [実装] 規格に同じ。	●
7	alarmValue {alarmEntry 5}	R/O	[規格] 前回のサンプリング時の統計値。 [実装] 規格に同じ。	●
8	alarmStartupAlarm {alarmEntry 6} ※ 1	R/W	[規格] 最初にアラームを生成するタイミング。 {risingAlarm(1), fallingAlarm(2), rising Or fallingAlarm(3)} [実装] 規格に同じ。	●
9	alarmRisingThreshold {alarmEntry 7} ※ 1	R/W	[規格] サンプリングした統計に対する上方閾値。 [実装] 規格に同じ。	●
10	alarmFallingThreshold {alarmEntry 8} ※ 1	R/W	[規格] サンプリングした統計に対する下方閾値。 [実装] 規格に同じ。	●
11	alarmRisingEventIndex {alarmEntry 9} ※ 1	R/W	[規格] 上方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ～ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
12	alarmFallingEventIndex {alarmEntry 10} ※ 1	R/W	[規格] 下方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ～ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
13	alarmOwner {alarmEntry 11} ※ 1	R/W	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●
14	alarmStatus {alarmEntry 12}	R/W	[規格] エントリの状態を示します。 [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid(1) を Set します。 削除するときは invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set したあとで Get すると underCreation(3) を応答し、valid(1) を Set したあとで Get すると valid(1) を応答します。 すでにエントリがある場合は、いったん invalid(4) を Set してエントリを削除してから追加してください。 ※ 2 • valid(1) : alarmVariable に設定されたオブジェクトの情報を alarmInterval の間にサンプリングできます。 • invalid(4) : alarmVariable に設定されたオブジェクトが存在しません。または、alarmInterval の間にサンプリングできませんでした。	●

注※ 1 コンフィグレーションコマンドでも定義できます。「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 alarm (RMON アラームグループの制御情報の設定)」を参照してください。

注※ 2 コンフィグレーションコマンドで設定したアラームグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションコマンドで設定した alarm 設定を削除してから再設定してください。

2.14.5 Event グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

event OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9

```
eventTable OBJECT IDENTIFIER ::= {event 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9.1
```

(2) 実装仕様

Event グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-57 Event グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	eventTable {event 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	eventEntry {eventTable 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのリスト。 INDEX {eventIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 16 エントリまで。	●
3	eventIndex {eventEntry 1}	R/O	[規格] eventEntry リストのインデックス値。これは、logEntry リストの logEventIndex と同等の値です。設定できる範囲は 1 ～ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	eventDescription {eventEntry 2} ※ 1	R/W	[規格] このリストの説明。最大 127 文字の文字列。 [実装] 79 文字以内の文字列。	●
5	eventType {eventEntry 3} ※ 1	R/W	[規格] イベント通知方法を示します。 {none(1), log(2), snmp-trap(3), log-and-trap(4)} [実装] 規格に同じ。	●
6	eventCommunity {eventEntry 4} ※ 1	R/W	[規格] eventType に Trap を指定したときに発行される Trap のコミュニティ名。最大 127 文字の文字列。 [実装] 60 文字以内の文字列。	●
7	eventLastTimeSent {eventEntry 5}	R/O	[規格] イベントが最後に生成されたときの sysUpTime 値。[単位：1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	●
8	eventOwner {eventEntry 6} ※ 1	R/W	[規格] このエンティティを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。最大 127 文字。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●
9	eventStatus {eventEntry 7}	R/W	[規格] このエントリの状態を示します。 {valid(1), createRequest(2), underCreation(3), invalid(4)} [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid(1) を Set します。 削除するときは invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set したあとで Get すると underCreation(3) を応答し、valid(1) を Set したあとで Get すると valid(1) を応答します。 すでにエントリがある場合は、いったん invalid(4) を Set してエントリを削除してから追加してください。 ※ 2	●
10	logTable {event 2}	NA	[規格] log されたイベントのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
11	logEntry {logTable 1}	NA	[規格] log されたイベントのリスト。 INDEX {logEventIndex, logIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 128 エントリまで。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	logEventIndex {logEntry 1}	R/O	[規格] このログを生成することになったイベントを示すインデックス。この値は、eventIndex と同じ値を持つイベントを示します。値の範囲は 1 ～ 65535。 [実装] 規格に同じ。	●
13	logIndex {logEntry 2}	R/O	[規格] 同じイベントに対するログのインデックス。値の範囲は 1 ～ 2147483647。 [実装] 規格に同じ。	●
14	logTime {logEntry 3}	R/O	[規格] このログリストが生成されたときの sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	●
15	logDescription {logEntry 4}	R/O	[規格] このログリストの基になったイベントに関するコメント。最大 255 文字の文字列。 [実装] 最大 72 文字の文字列で応答。	●

注※ 1 コンフィグレーションコマンドでも定義できます。「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 event (RMON イベントグループの制御情報の設定)」を参照してください。

注※ 2 コンフィグレーションコマンドで設定したイベントグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションコマンドで設定した event 設定を削除してから再設定してください。

2.15 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)

ifMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2233(November 1997)

2.15.1 ifMIB(イーサネットの場合)

次に示す ifMIB グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R
- 10GBASE-W

(1) 識別子

ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1

(2) 実装仕様

イーサネットの場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-58 ifMIB グループの実装仕様 (イーサネットの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS {ifEntry} [実装] 規格に同じ。	●
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] コンフィグレーションで設定されたインタフェース名称。	●
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総受信オクテット数。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。	●
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
12	ifHCOctets {ifXEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテット数。	●
13	ifHCOUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。ifOutUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
14	ifHCOMulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
15	ifHCOBroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●
16	ifLinkUpDownTrapEna ble {ifXEntry 14}	R/O	[規格] このインタフェースが、LinkUp/LinkDown によってトラップを通知するかを示す。 {enable(1), disable(2)} [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s)。Mbit/s 未満は四捨五入。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は、当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：リンクアグリゲーショングループに属する回線の Line 情報のうち最大速度のもの。	●
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/O	[規格] 受信モードを示す。 {true(1), false(2)} [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：ブルート設定時は true(1)、ブルート設定以外なら false(2)。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：false(2)。	●
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	[規格] 物理回線との接続状態。 {true(1), false(2)} [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：true(1)。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：false(2)。	●
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/O	[規格] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。 [実装] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補足説明。	●
21	ifCounterDiscontinuityTime {ifXEntry 19}	R/O	[規格] カウンタ情報が非連続な状態になった時の sysUpTime。 [実装] インタフェースによる。 - Line の ifIndex の場合：0 固定。 - リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0 固定。	▲

2.15.2 ifMIB(POS の場合)

OC-48c/STM-16 POS, OC-192c/STM-64 POS の場合について説明します。

(1) 識別子

```
ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1
```

(2) 実装仕様

POS の場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-59 ifMIB グループの実装仕様 (POS の場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS { ifEntry } [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] コンフィグレーションで設定されたインタフェース名称。	●
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	▲
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	▲
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	▲
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	▲
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] 開始フラグおよび FCS を除いた、総受信オクテット数。制御パケット含む（レイヤ 2 以下の制御パケットもカウント対象とする）。	●
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 受信 PPP パケットの数。制御パケット含む。	●
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	▲
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	▲
12	ifHCOctets {ifXEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。 [実装] 開始フラグおよび FCS を除いた、総送信オクテット数（レイヤ 2 以下の制御パケットもカウント対象とする）。	●
13	ifHCOUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 ifOutUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 回線側に送信要求を発行したパケットの数。制御パケットを含む。	●
14	ifHCOMulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	▲
15	ifHCOBroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	▲
16	ifLinkUpDownTrapEnable {ifXEntry 14}	R/NW	[規格] このインタフェースが、LinkUp/LinkDown によってトラップを通知するかを示す。 { enable(1), disable(2) } [実装] 規格に同じ。	●
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s)。Mbit/s 未満は四捨五入。 [実装] コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は、当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/NW	[規格] 受信モードを示す。 { true(1), false(2) } [実装] false(2) 固定。	●
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	[規格] 物理回線との接続状態。 { true(1), false(2) } [実装] 規格に同じ。	●
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/NW	[規格] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。 [実装] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補足説明。	●
21	ifCounterDiscontinuityTime {ifXEntry 19}	R/O	[規格] カウンタ情報が非連続の状態になった時の sysUpTime。 [実装] 0 固定。	▲

2.15.3 ifMIB(トンネルの場合)

(1) 識別子

```
ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1
```

(2) 実装仕様

トンネルの場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-60 ifMIB グループの実装仕様 (トンネルの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS {ifEntry} [実装] 規格に同じ。	●
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] コンフィグレーションで設定されたインタフェース名称。	●
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	●
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	●
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	●
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	●
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] カプセル化した IP ヘッダを除く IP パケットの総受信オクテット数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。	●
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	●
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	●
12	ifHCOctets {ifXEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。 [実装] カプセル化した IP ヘッダを除く IP パケットの総送信オクテ ット数。	●
13	ifHCOOutUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 ifOutUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。	●
14	ifHCOOutMulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	●
15	ifHCOOutBroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	●
16	ifLinkUpDownTrapEna ble {ifXEntry 14}	R/NW	[規格] このインタフェースが、LinkUp/LinkDown によってトラップ を通知するかを示す。 {enable(1), disable(2)} [実装] disable(2) 固定。	●
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s)。Mbit/s 未満は 四捨五入。 [実装] 0 固定。	●
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/NW	[規格] 受信モードを示す。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。	●
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	[規格] 物理回線との接続状態。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。	●
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/NW	[規格] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。 [実装] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補 足説明。	●
21	ifCounterDiscontinuity Time {ifXEntry 19}	R/O	[規格] カウンタ情報が非連続の状態になったときの sysUpTime。 [実装] 0 固定。	▲

2.16 ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)

ipv6MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2465 (December 1998)

2.16.1 ipv6MIB

(1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}
```

```
ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1
```

```
ipv6Forwarding OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.1
```

(2) 実装仕様

ipv6MIB の実装仕様を次の表に示します。

表 2-61 ipv6MIB の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6Forwarding {ipv6MIBObjects 1}	R/NW	[規格]IPv6 中継機能の可否。 {forwarding(1), notForwarding(2)} [実装]規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
2	ipv6DefaultHopLimit {ipv6MIBObjects 2}	R/NW	[規格]IPv6 ヘッダ中の Hop Limit フィールドに設定される default 値。 DEFVAL {64} [実装]固定値：64。ただし、Read_Only です。	●
3	ipv6Interfaces {ipv6MIBObjects 3}	R/O	[規格]IPv6 インタフェースの総数。 [実装]規格に同じ。	●
4	ipv6IfTableLastChange {ipv6MIBObjects 4}	R/O	[規格]ipv6IfTable が最後に更新された sysUpTime の値。 [実装]規格に同じ。	●

2.16.2 ipv6IfTable

(1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}
```

```
ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1
```

```
ipv6IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.5
```

(2) 実装仕様

ipv6IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-62 ipv6IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfTable {ipv6MIBObjects 5}	NA	[規格] ネットワークレイヤインタフェース (V6) の Table。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6IfEntry {ipv6IfTable 1}	NA	[規格] ネットワークレイヤインタフェース (V6) の Entry。 INDEX {ipv6IfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6IfIndex {ipv6IfEntry 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェースのインデックス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6IfDescr {ipv6IfEntry 2}	R/NW	[規格] IPv6 インタフェースの情報 (文字)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ipv6IfLowerLayer {ipv6IfEntry 3}	R/O	[規格] ネットワークインタフェースレイヤの直下のレイヤを示す ObjectID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6IfEffectiveMtu {ipv6IfEntry 4}	R/O	[規格] 該当インタフェースで送受信できる MTU 長 (octet 長)。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6IfReasmMaxSize {ipv6IfEntry 5}	R/O	[規格] 該当インタフェースで受信したデータグラムをリアセンブルできる最大 IPv6 データグラム長。 [実装] 65535 固定。	●
8	ipv6IfIdentifier {ipv6IfEntry 6}	R/NW	[規格] 該当インタフェースのアドレστοークン。該当インタフェースの UP によって取得できます。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ipv6IfIdentifierLength {ipv6IfEntry 7}	R/NW	[規格] 該当インタフェースのアドレστοークンのビット長。 [実装] 64 固定。ただし、Read_Only です。	●
10	ipv6IfPhysicalAddress {ipv6IfEntry 8}	R/O	[規格] 該当インタフェースの物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ipv6IfAdminStatus {ipv6IfEntry 9}	R/NW	[規格] 該当インタフェースの運用状態。 { up(1), down(2) } [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
12	ipv6IfOperStatus {ipv6IfEntry 10}	R/O	[規格] 該当インタフェースの動作状態。 { up(1), down(2), noIfIdentifier(3), unknown(4), notPresent(5) } [実装] up(1),down(2),testing(3) を応答。	●
13	ipv6IfLastChange {ipv6IfEntry 11}	R/O	[規格] 該当インタフェースの動作状態が最後に変化したときの sysUpTime の値。 [実装] 規格に同じ。	●

2.16.3 ipv6IfStatsTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6IfStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.6

(2) 実装仕様

ipv6IfStatsTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-63 ipv6IfStatsTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfStatsTable {ipv6MIBObjects 6}	NA	[規格] IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6IfStatsEntry {ipv6IfStatsTable 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報エントリ。 INDEX {ipv6IfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6IfStatsInReceives {ipv6IfStatsEntry 1}	R/O	[規格] 受信したデータグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6IfStatsInHdrErrors {ipv6IfStatsEntry 2}	R/O	[規格] V6 ヘッダのエラーによって廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6IfStatsInTooBigErrors {ipv6IfStatsEntry 3}	R/O	[規格] MTU 長オーバのため中継できなかった受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6IfStatsInNoRoutes {ipv6IfStatsEntry 4}	R/O	[規格] 該当ルートなしのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6IfStatsInAddrErrors {ipv6IfStatsEntry 5}	R/O	[規格] V6 アドレスが有効ではないため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6IfStatsInUnknownProtos {ipv6IfStatsEntry 6}	R/O	[規格] 未サポートプロトコルのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ipv6IfStatsInTruncatedPkts {ipv6IfStatsEntry 7}	R/O	[規格] 不完全なデータのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ipv6IfStatsInDiscards {ipv6IfStatsEntry 8}	R/O	[規格] データ自身には問題がないが廃棄（リソース不足など）された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ipv6IfStatsInDelivers {ipv6IfStatsEntry 9}	R/O	[規格] IPv6 上位レイヤに通知したデータグラム数 (ICMP 含む)。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ipv6IfStatsOutForwDatagrams {ipv6IfStatsEntry 10}	R/O	[規格] 中継されて送信したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	ipv6IfStatsOutRequests {ipv6IfStatsEntry 11}	R/O	[規格] 自 V6 プロトコルから送信しようとしたデータグラム数 (ICMP 含む)。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ipv6IfStatsOutDiscards {ipv6IfStatsEntry 12}	R/O	[規格] データ自身には問題がないが廃棄（リソース不足など）された送信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	ipv6IfStatsOutFragOKs {ipv6IfStatsEntry 13}	R/O	[規格] 出力インタフェースでフラグメント 1 に成功したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ipv6IfStatsOutFragFails {ipv6IfStatsEntry 14}	R/O	[規格] フラグメントに失敗した送信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ipv6IfStatsOutFragCreates {ipv6IfStatsEntry 15}	R/O	[規格] フラグメントした結果生成された送信データグラムフラグメント数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ipv6IfStatsReasmReqds {ipv6IfStatsEntry 16}	R/O	[規格] そのインタフェースでリアセンブルを必要としたデータグラムフラグメント数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	ipv6IfStatsReasmOKs {ipv6IfStatsEntry 17}	R/O	[規格] リアセンブルに成功したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	ipv6IfStatsReasmFails {ipv6IfStatsEntry 18}	R/O	[規格] リアセンブルに失敗した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	ipv6IfStatsInMcastPkts {ipv6IfStatsEntry 19}	R/O	[規格] 受信したマルチキャストパケット数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	ipv6IfStatsOutMcastPkts {ipv6IfStatsEntry 20}	R/O	[規格] 送信したマルチキャストパケット数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.16.4 ipv6AddrPrefixTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6AddrPrefixTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.7

(2) 実装仕様

ipv6AddrPrefixTable の実装仕様を次の表に示します。

なお、本 MIB で扱うプレフィックス情報は、RA（ルータ広告）で配布するプレフィックス情報が対象となります。

表 2-64 ipv6AddrPrefixTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6AddrPrefixTable {ipv6MIBObjects 7}	NA	[規格] IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6AddrPrefixEntry {ipv6AddrPrefixTable 1}	NA	[規格] アドレス prefix のエントリ。 INDEX {ipv6IfIndex, ipv6AddrPrefix, ipv6AddrPrefixLength} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6AddrPrefix {ipv6AddrPrefixEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースの prefix。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6AddrPrefixLength {ipv6AddrPrefixEntry 2}	NA	[規格] prefix の長さ。[単位: ビット] [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6AddrPrefixOnLinkFlag {ipv6AddrPrefixEntry 3}	R/O	[規格] オンリンクフラグ。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ipv6AddrPrefixAutonomousFlag {ipv6AddrPrefixEntry 4}	R/O	[規格] 自律設定有効フラグ。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6AddrPrefixAdvPreferredLifetime {ipv6AddrPrefixEntry 5}	R/O	[規格] 推奨有効期間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6AddrPrefixAdvValidLifetime {ipv6AddrPrefixEntry 6}	R/O	[規格] 最終有効期間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	●

2.16.5 ipv6AddrTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6AddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.8

(2) 実装仕様

ipv6AddrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-65 ipv6AddrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6AddrTable {ipv6MIBObjects 8}	NA	[規格] インタフェースアドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6AddrEntry {ipv6AddrTable 1}	NA	[規格] インタフェースアドレスエントリ。 INDEX {ipv6IfIndex, ipv6AddrAddress} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6AddrAddress {ipv6AddrEntry 1}	NA	[規格] IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6AddrPfxLength {ipv6AddrEntry 2}	R/O	[規格] prefix レンクス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6AddrType {ipv6AddrEntry 3}	R/O	[規格] アドレスタイプ。 {stateless(1), stateful(2), unknown(3)} [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6AddrAnycastFlag {ipv6AddrEntry 4}	R/O	[規格] Anycast アドレスかどうかのフラグ。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ipv6AddrStatus {ipv6AddrEntry 5}	R/O	[規格] アドレスステータス。 {preferred(1), deprecated(2), invalid(3), inaccessible(4), unknown(5)} [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6RouteNumber {ipv6MIBObjects 9}	R/O	[規格] 有効な V6 ルーティングエントリの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ipv6DiscardedRoutes {ipv6MIBObjects 10}	R/O	[規格] 有効であっても廃棄された V6 ルーティングエントリの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.16.6 ipv6RouteTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6RouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.11

(2) 実装仕様

ipv6RouteTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-66 ipv6RouteTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6RouteTable {ipv6MIBObjects 11}	NA	[規格] IPv6 ルーティングテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6RouteEntry {ipv6RouteTable 1}	NA	[規格] IPv6 ルーティングエントリ。 {ipv6RouteDest, ipv6RoutePfxLength, ipv6RouteIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6RouteDest {ipv6RouteEntry 1}	NA	[規格] V6Dest アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6RoutePfxLength {ipv6RouteEntry 2}	NA	[規格] prefix レンクス (ビット長)。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6RouteIndex {ipv6RouteEntry 3}	NA	[規格] ルートのインデックス。 [実装] 1 固定。	●
6	ipv6RouteIfIndex {ipv6RouteEntry 4}	R/O	[規格] IPv6 インタフェースインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6RouteNextHop {ipv6RouteEntry 5}	R/O	[規格] ネクストホップ。ネクストホップがない場合 "::0"。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ipv6RouteType {ipv6RouteEntry 6}	R/O	[規格] ルートのタイプ。 {other(1), discard(2), local(3), remote(4)} [実装] 規格に同じ。	●
9	ipv6RouteProtocol {ipv6RouteEntry 7}	R/O	[規格] このルートを学習したルーティングメカニズム。 {other(1), local(2), netmgmt(3), ndisc(4), rip(5), ospf(6), bgp(7), idrp(8), igrp(9)} [実装] • 次に示す以外のすべての経路：other(1) • ダイレクト経路：local(2) • スタティック経路：netmgmt(3) • RIPng 経路：rip(5) • OSPFv3 経路：ospf(6) • BGP4+ 経路：bgp(7)	●
10	ipv6RoutePolicy {ipv6RouteEntry 8}	R/O	[規格] ルートポリシー。 [実装] 0 固定。	▲
11	ipv6RouteAge {ipv6RouteEntry 9}	R/O	[規格] 最後に update してからの経過時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。	●
12	ipv6RouteNextHopRDI {ipv6RouteEntry 10}	R/O	[規格] ネクストホップの RDI。 [実装] 0 固定。	▲
13	ipv6RouteMetric {ipv6RouteEntry 11}	R/O	[規格] ルーティングメトリック。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ipv6RouteWeight {ipv6RouteEntry 12}	R/O	[規格] ルートの優先度（低い値が優先度が高い）。 [実装] 0 固定。	▲
15	ipv6RouteInfo {ipv6RouteEntry 13}	R/O	[規格] このルートを学習したルーティングプロトコル MIB へのリファレンス。 [実装] {0.0} 固定。	●
16	ipv6RouteValid {ipv6RouteEntry 14}	R/NW	[規格] 有効かどうかのフラグ。 DEFVAL {true} [実装] true 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.16.7 ipv6NetToMediaTable

(1) 識別子

```

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6NetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.12

```

(2) 実装仕様

ipv6NetToMediaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-67 ipv6NetToMediaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6NetToMediaTable {ipv6MIBObjects 12}	NA	[規格] IPv6 アドレス変換テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6NetToMediaEntry {ipv6NetToMediaTable 1}	NA	[規格] フィジカルアドレスに対応した一つの IPv6 アドレスを含むエントリ。 INDEX {ipv6IfIndex, ipv6NetToMediaNetAddress} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6NetToMediaNetAddress {ipv6NetToMediaEntry 1}	NA	[規格] メディアに依存した物理アドレスに対応する IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6NetToMediaPhysAddress {ipv6NetToMediaEntry 2}	R/O	[規格] メディアに依存した物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6NetToMediaType {ipv6NetToMediaEntry 3}	R/O	[規格] マッピングのタイプ。 {other(1), dynamic(2), static(3), local(4)} [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6IfNetToMediaState {ipv6NetToMediaEntry 4}	R/O	[規格] NDP テーブルの各エントリの到達可能性状態。 {reachable(1), stale(2), delay(3), probe(4), invalid(5), unknown(6)} [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6IfNetToMediaLastUpdated {ipv6NetToMediaEntry 5}	R/O	[規格] NDP テーブルの各エントリが最後に更新された時の sysUpTime。 [実装] 0 固定。	●
8	ipv6NetToMediaValid {ipv6NetToMediaEntry 6}	R/NW	[規格] エントリが有効かどうかを示すフラグ。 DEFVAL {true} [実装] true 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.17 ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)

ipv6IcmpMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2466 (December 1998)

(1) 識別子

```
ipv6IcmpMIB MODULE-IDENTITY ::= {mib-2 56}
```

```
ipv6IcmpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6IcmpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.56.1
```

(2) 実装仕様

ipv6IcmpMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-68 ipv6IcmpMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfIcmpTable {ipv6IcmpMIBObjects 1}	NA	[規格]IPv6 ICMP 統計情報。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6IfIcmpEntry {ipv6IfIcmpTable 1}	NA	[規格]ICMPv6 統計情報エントリ。 INDEX {ipv6IfEntry} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6IfIcmpInMsgs {ipv6IfIcmpEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースで受信した ICMP メッセージの総数 (エラーを含む)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6IfIcmpInErrors {ipv6IfIcmpEntry 2}	R/O	[規格] 受信した ICMP メッセージでエラーを検出したメッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6IfIcmpInDestUnreachs {ipv6IfIcmpEntry 3}	R/O	[規格]DestUnreachs の受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6IfIcmpInAdminProhibits {ipv6IfIcmpEntry 4}	R/O	[規格]DestUnreachs 内の AdminProhibit メッセージを受信した総数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6IfIcmpInTimeExcds {ipv6IfIcmpEntry 5}	R/O	[規格]TimeExceed 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6IfIcmpInParmProblems {ipv6IfIcmpEntry 6}	R/O	[規格]ParmProblem 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ipv6IfIcmpInPktTooBigs {ipv6IfIcmpEntry 7}	R/O	[規格]PktTooBig 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ipv6IfIcmpInEchos {ipv6IfIcmpEntry 8}	R/O	[規格]Echo 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ipv6IfIcmpInEchoReplies {ipv6IfIcmpEntry 9}	R/O	[規格]EchoReply 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ipv6IfIcmpInRouterSolicits {ipv6IfIcmpEntry 10}	R/O	[規格]RouterSolicit 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ipv6IcmpInRouterAdvertisements {ipv6IcmpEntry 11}	R/O	[規格]RouterAdvertisement 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ipv6IcmpInNeighborSolicits {ipv6IcmpEntry 12}	R/O	[規格]NeighborSolicit 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	ipv6IcmpInNeighborAdvertisements {ipv6IcmpEntry 13}	R/O	[規格]Neighbor Advertisement 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ipv6IcmpInRedirects {ipv6IcmpEntry 14}	R/O	[規格]Redirect 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ipv6IcmpInGroupMemberQueries {ipv6IcmpEntry 15}	R/O	[規格]GroupMemberQuery 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ipv6IcmpInGroupMemberResponses {ipv6IcmpEntry 16}	R/O	[規格]GroupMemberResponse 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	ipv6IcmpInGroupMemberReductions {ipv6IcmpEntry 17}	R/O	[規格]GroupMemberReduction 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	ipv6IcmpOutMsgs {ipv6IcmpEntry 18}	R/O	[規格] このインタフェースで送信した ICMP メッセージの総数 (エラーを含む)。 [実装] 規格に同じ。	●
21	ipv6IcmpOutErrors {ipv6IcmpEntry 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP メッセージでエラーを検出したメッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。さらに MTU 長が 1280 以下のインタフェースで、IPv4 over IPv6 トンネルを設定した場合、エラーとなったパケット数。	●
22	ipv6IcmpOutDestUnreaches {ipv6IcmpEntry 20}	R/O	[規格]DestUnreaches の送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	ipv6IcmpOutAdminProhibits {ipv6IcmpEntry 21}	R/O	[規格]DestUnreaches 内の AdminProhibit メッセージを送信した総数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	ipv6IcmpOutTimeExceeds {ipv6IcmpEntry 22}	R/O	[規格]TimeExceed 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	ipv6IcmpOutParmProblems {ipv6IcmpEntry 23}	R/O	[規格]ParmProblem 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
26	ipv6IcmpOutPktTooBig {ipv6IcmpEntry 24}	R/O	[規格]PktTooBig 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
27	ipv6IcmpOutEchos {ipv6IcmpEntry 25}	R/O	[規格]Echo 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
28	ipv6IcmpOutEchoReplies {ipv6IcmpEntry 26}	R/O	[規格]EchoReply 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
29	ipv6IcmpOutRouterSolicits {ipv6IcmpEntry 27}	R/O	[規格]RouterSolicit 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
30	ipv6IfIcmpOutRouterAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 28}	R/O	[規格]RouterAdvertisement 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
31	ipv6IfIcmpOutNeighborSolicits {ipv6IfIcmpEntry 29}	R/O	[規格]NeighborSolicit 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
32	ipv6IfIcmpOutNeighborAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 30}	R/O	[規格]Neighbor Advertisement 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
33	ipv6IfIcmpOutRedirects {ipv6IfIcmpEntry 31}	R/O	[規格]Redirect 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
34	ipv6IfIcmpOutGroupMemberQueries {ipv6IfIcmpEntry 32}	R/O	[規格]GroupMemberQuery 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
35	ipv6IfIcmpOutGroupMemberResponses {ipv6IfIcmpEntry 33}	R/O	[規格]GroupMemberResponse 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
36	ipv6IfIcmpOutGroupMemberReductions {ipv6IfIcmpEntry 34}	R/O	[規格]GroupMemberReduction 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.18 vrrpMIB グループ

vrrpMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2787(March 2000)
- draft-ietf-vrrp-unified-mib-04.txt(September 2006)

2.18.1 vrrpOperations グループ

(1) 識別子

vrrpMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 68}

vrrpOperations OBJECT IDENTIFIER ::= {vrrpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.68.1

(2) 実装仕様

vrrpOperations グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-69 vrrpOperations グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	vrrpNodeVersion {vrrpOperations 1}	R/O	[規格] 本装置でサポートしている VRRP のバージョン。 [実装] 規格に同じ。	●
2	vrrpNotificationCntl {vrrpOperations 2}	R/NW	[規格] vrrp 用 SNMP 拡張 trap の発行有無。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
3	vrrpOperTable {vrrpOperations 3}	NA	[規格] VRRP ルータのための, オペレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
4	vrrpOperEntry {vrrpOperTable 1}	NA	[規格] vrrpOper テーブルのエントリ。 INDEX {ifIndex, vrrpOperVrId} [実装] 規格に同じ。	●
5	vrrpOperVrId {vrrpOperEntry 1}	NA	[規格] 仮想ルータの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
6	vrrpOperVirtualMacAd dr {vrrpOperEntry 2}	R/O	[規格] 仮想ルータの仮想 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
7	vrrpOperState {vrrpOperEntry 3}	R/O	[規格] 現在の VRRP 動作状態。 {initialize(1), backup(2), master(3)} [実装] 規格に同じ。	●
8	vrrpOperAdminState {vrrpOperEntry 4}	R/NW	[規格] VRRP 機能の enable/disable 状態。 {up(1), down(2)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
9	vrrpOperPriority {vrrpOperEntry 5}	R/NW	[規格] 仮想ルータの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
10	vrrpOperIpAddrCount {vrrpOperEntry 6}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス数。 [実装] 1 固定。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	vrrpOperMasterIpAddr {vrrpOperEntry 7}	R/O	[規格] Master ルータの実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
12	vrrpOperPrimaryIpAddr {vrrpOperEntry 8}	R/NW	[規格] 仮想ルータが使用する実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	vrrpOperAuthType {vrrpOperEntry 9}	R/NW	[規格] 仮想ルータ間で交換される vrrp プロトコルの認証タイプ。 {noAuthentication(1), -- VRRP protocol exchanges are not -- authenticated. simpleTextPassword(2), -- Exchanges are authenticated by a -- clear text password. ipAuthenticationHeader(3) -- Exchanges are authenticated using -- the IP authentication header.} [実装] 認証なし、またはテキストだけ。ただし、Read_Only です。	●
14	vrrpOperAuthKey {vrrpOperEntry 10}	R/NW	[規格] vrrpOperAuthType の値によって設定される認証用のキー。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
15	vrrpOperAdvertisementInterval {vrrpOperEntry 11}	R/NW	[規格] VRRP パケットの送出間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
16	vrrpOperPreemptMode {vrrpOperEntry 12}	R/NW	[規格] 優先度の高い仮想ルータが、優先度の低い仮想ルータの代行を行うかの制御をします。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
17	vrrpOperVirtualRouterUpTime {vrrpOperEntry 13}	R/O	[規格] 仮想ルータの動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。	●
18	vrrpOperProtocol {vrrpOperEntry 14}	R/NW	[規格] 仮想ルータの動作プロトコル。 {ip(1), bridge(2), decnet(3), other(4)} [実装] ip(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
19	vrrpOperRowStatus {vrrpOperEntry 15}	R/NW	[規格] vrrpOperTable のアクセス状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
20	vrrpAssoIpAddrTable {vrrpOperations 4}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
21	vrrpAssoIpAddrEntry {vrrpAssoIpAddrTable 1}	NA	[規格] vrrpAssoIpAddr テーブルのエントリ。 INDEX {ifIndex, vrrpOperVrId, vrrpAssoIpAddr} [実装] 規格に同じ。	●
22	vrrpAssoIpAddr {vrrpAssoIpAddrEntry 1}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
23	vrrpAssoIpAddrRowStatus {vrrpAssoIpAddrEntry 2}	R/NW	[規格] vrrpAssoIpAddrTable のアクセス状態。 {active(1), createAndGo(4)} [実装] active(1) に固定。ただし、Read_Only です。	●
24	vrrpTrapPacketSrc {vrrpOperations 5}	AN	[規格] IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
25	vrrpTrapAuthErrorType {vrrpOperations 6}	AN	[規格] 認証タイプの不一致要因。 {invalidAuthType(1), authTypeMismatch(2), authFailure(3)} [実装] 規格に同じ。	●
26	vrrpOperationsTable {vrrpOperations 7}	NA	[規格] VRRP ルータのためのオペレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
27	vrrpOperationsEntry {vrrpOperationsTable 1}	NA	[規格] vrrpOperations テーブルのエントリ。 INDEX {vrrpOperationInetAddrType, vrrpOperationsVrId, ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
28	vrrpOperationsInetAddrType {vrrpOperationsEntry 1}	NA	[規格] 現在のタイプ。 {ipv4(1), ipv6(2)} [実装] 規格に同じ。	●
29	vrrpOperationsVrId {vrrpOperationsEntry 2}	NA	[規格] 仮想ルータの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
30	vrrpOperationsVirtualMacAddr {vrrpOperationsEntry 3}	R/O	[規格] 仮想ルータの仮想 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
31	vrrpOperationsState {vrrpOperationsEntry 4}	R/O	[規格] 現在の VRRP 動作状態。 {initialize(1), backup(2), master(3)} [実装] 規格に同じ。	●
32	vrrpOperationsPriority {vrrpOperationsEntry 5}	R/NW	[規格] 仮想ルータの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
33	vrrpOperationsVersion {vrrpOperationsEntry 6}	R/NW	[規格] 実行している VRRP のバージョン。 {vrrpv2 (1), vrrpv3 (2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
34	vrrpOperationsAddrCount {vrrpOperationsEntry 7}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス数。 [実装] 1 固定。	●
35	vrrpOperationsMasterIpAddr {vrrpOperationsEntry 9}	R/O	[規格] Master ルータの実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
36	vrrpOperationsPrimaryIpAddr {vrrpOperationsEntry 10}	R/NW	[規格] 仮想ルータが使用する実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
37	vrrpOperationsAdvInterval {vrrpOperationsEntry 11}	R/NW	[規格] VRRP パケットの送出間隔。[単位: 1/100 秒] 1 ~ 4096 [実装] 100 ~ 25,500。ただし、Read_Only です。	●
38	vrrpOperationsPreemptMode {vrrpOperationsEntry 12}	R/NW	[規格] 優先度の高い仮想ルータが、優先度の低い仮想ルータの代行を行うかの制御をする。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
39	vrrpOperationsAcceptMode {vrrpOperationsEntry 13}	R/NW	[規格] アドレスオーナーではない場合でも仮想 IP 宛のパケットを受信するかの制御をする。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
40	vrrpOperationsUpTime {vrrpOperationsEntry 14}	R/O	[規格] 仮想ルータの動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。	●
41	vrrpOperationsRowStatus {vrrpOperationsEntry 15}	R/NW	[規格] vrrpOperTable のアクセス状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
42	vrrpAssociatedIpAddressTable {vrrpOperations 8}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
43	vrrpAssociatedIpAddressEntry {vrrpAssociatedIpAddressTable 1}	NA	[規格] vrrpAssoIpAddress テーブルのエントリ。 INDEX {vrrpAssociatedIpAddressType, vrrpOperationsVrId, ifIndex, vrrpAssociatedIpAddress} [実装] 規格に同じ。	●
44	vrrpAssociatedInetAddressType {vrrpAssociatedIpAddressEntry 2}	NA	[規格] vrrpAssociatedIpAddress のアドレスタイプ。 {ipv4(1), ipv6(2)} [実装] 規格に同じ。	●
45	vrrpAssociatedIpAddress {vrrpAssociatedIpAddressEntry 3}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
46	vrrpAssociatedIpAddressRowStatus {vrrpAssociatedIpAddressEntry 4}	R/NW	[規格] vrrpAssoIpAddressTable のアクセス状態。 {active(1), createAndGo(4), createAndWait(5)} [実装] active(1) に固定。ただし、Read_Only です。	●
47	vrrpTrapNewMasterReason {vrrpOperations 9}	AN	[規格] マスタに遷移した契機。 {priority(0), preempted(1), masterNoResponse(2)} [実装] 規格に同じ。	●
48	vrrpTrapProtoErrReason {vrrpOperations 10}	AN	[規格] ADVERTISEMENT パケットを破棄した理由。 {hopLimitError(0), versionError(1), checksumError(2), vridError(3)} [実装] vridError(3) は非対応です。vridError(3) で ADVERTISEMENT パケットを破棄した場合、vrrpTrapProtoError は発生しません。	●

2.18.2 vrrpStatistics グループ

(1) 識別子

```

vrrpMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 68}

vrrpStatistics OBJECT IDENTIFIER ::= {vrrpMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.68.2

```


(2) 実装仕様

vrrpStatistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-70 vrrpStatistics グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vrrpRouterChecksumErrors {vrrpStatistics 1}	R/O	[規格] チェックサム不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	vrrpRouterVersionErrors {vrrpStatistics 2}	R/O	[規格] バージョン不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	vrrpRouterVrIdErrors {vrrpStatistics 3}	R/O	[規格] 仮想ルータの VRID 不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	vrrpRouterStatsTable {vrrpStatistics 4}	NA	[規格] 仮想ルータの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	vrrpRouterStatsEntry {vrrpRouterStatsTable 1}	NA	[規格] vrrpRouterStats テーブルのエントリ。 INDEX {ifIndex, vrrpOperVrId} [実装] 規格に同じ。	●
6	vrrpStatsBecomeMaster {vrrpRouterStatsEntry 1}	R/O	[規格] Master へ遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	vrrpStatsAdvertiseRcvd {vrrpRouterStatsEntry 2}	R/O	[規格] VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	vrrpStatsAdvertiseIntervalErrors {vrrpRouterStatsEntry 3}	R/O	[規格] ADVERTISEMENT インターバル不正で受信した、VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	vrrpStatsAuthFailures {vrrpRouterStatsEntry 4}	R/O	[規格] VRRP 認証エラーパケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	vrrpStatsIpTtlErrors {vrrpRouterStatsEntry 5}	R/O	[規格] VRRP 不正 TTL パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	vrrpStatsPriorityZeroPktsRcvd {vrrpRouterStatsEntry 6}	R/O	[規格] 優先度 0 である VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	vrrpStatsPriorityZeroPktsSent {vrrpRouterStatsEntry 7}	R/O	[規格] 優先度 0 の VRRP パケットの総送信数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	vrrpStatsInvalidTypePktsRcvd {vrrpRouterStatsEntry 8}	R/O	[規格] Type フィールド不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	vrrpStatsAddressListErrors {vrrpRouterStatsEntry 9}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	vrrpStatsInvalidAuthType {vrrpRouterStatsEntry 10}	R/O	[規格] 認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	vrrpStatsAuthTypeMismatch {vrrpRouterStatsEntry 11}	R/O	[規格] 認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	vrrpStatsPacketLengthErrors {vrrpRouterStatsEntry 12}	R/O	[規格] length 値不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	vrrpRouterStatisticsTable {vrrpStatistics 5}	NA	[規格] 仮想ルータの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
19	vrrpRouterStatisticsEntry {vrrpRouterStatisticsTable 1}	NA	[規格] vrrpRouterStatistics テーブルのエントリ。 INDEX {vrrpOperationsIpVersion, vrrpOperationsVrId, ifIndex} [実装] 規格に同じ。	●
20	vrrpStatisticsBecomeMaster {vrrpRouterStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] Master へ遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	vrrpStatisticsAdvertiseRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	vrrpStatisticsAdvIntervalErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] ADVERTISEMENT インターバル不正で受信した, VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	vrrpStatisticsIpTtlErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 4}	R/O	[規格] VRRP 不正 TTL パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	vrrpStatisticsPriZeroPktsRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 5}	R/O	[規格] 優先度 0 である VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	vrrpStatisticsPriZeroPktsSent {vrrpRouterStatisticsEntry 6}	R/O	[規格] 優先度 0 の VRRP パケットの総送信数。 [実装] 規格に同じ。	●
26	vrrpStatisticsInvalidTypePktsRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 7}	R/O	[規格] Type フィールド不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
27	vrrpStatisticsAddressListErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 8}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
28	vrrpStatisticsPacketLengthErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 11}	R/O	[規格]length 値不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
29	vrrpStatisticsDiscontinuityTime {vrrpRouterStatisticsEntry 12}	R/O	[規格] 最新の動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。	●
30	vrrpStatisticsRefreshRate {vrrpRouterStatisticsEntry 13}	R/O	[規格] 最小のポーリング間隔。 [実装] 規格に同じ。	●
31	vrrpStatisticsInvalidAuthType {vrrpRouterStatisticsEntry 14}	R/O	[規格] パケット認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.19 ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB) 【OP-MLT】

ipMRouteStdMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2932 (October 2000)

注意事項

本 MIB はマルチキャスト経路制御プロトコルとして PIM-SM を使用している場合だけ有効です。

2.19.1 ipMRouteEnable

(1) 識別子

```
ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}
ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}
ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1
ipMRouteEnable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.1
```

(2) 実装仕様

ipMRouteEnable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-71 ipMRouteEnable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteEnable {ipMRoute 1}	R/NW	[規格]IP マルチキャストの動作有無。 {enabled(1), disabled(2)} [実装]PIM-SM 動作時は enabled(1)。IP マルチキャスト未動作時および PIM-DM, DVMRP 動作時は disabled(2)。	●

2.19.2 ipMRouteTable

(1) 識別子

```
ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}
ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}
ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1
ipMRouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.2
```

(2) 実装仕様

ipMRouteTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-72 ipMRouteTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteTable {ipMRoute 2}	NA	[規格] IP マルチキャスト経路表。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipMRouteEntry {ipMRouteTable 1}	NA	[規格] IP マルチキャスト経路表エントリ。 INDEX {ipMRouteGroup, ipMRouteSource, ipMRouteSourceMask} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipMRouteGroup {ipMRouteEntry 1}	NA	[規格] 経路情報のグループアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipMRouteSource {ipMRouteEntry 2}	NA	[規格] 経路情報の送信元アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipMRouteSourceMask {ipMRouteEntry 3}	NA	[規格] 経路情報の送信元アドレスのネットワークマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipMRouteUpstreamNeighbor {ipMRouteEntry 4}	R/O	[規格] 上流隣接ルータのアドレス。上流隣接ルータ不明の場合は、0.0.0.0。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipMRouteInIfIndex {ipMRouteEntry 5}	R/O	[規格] 上流インタフェースの ifIndex 値。複数上流インタフェース可能な場合は、0。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipMRouteUpTime {ipMRouteEntry 6}	R/O	[規格] 経路情報を学習してからの経過時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	●
9	ipMRouteExpiryTime {ipMRouteEntry 7}	R/O	[規格] 経路情報の生存残時間。生存時間タイマが動作していない場合は、0。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	●
10	ipMRoutePkts {ipMRouteEntry 8}	R/O	[規格] 経路情報に一致するパケットを受信した数。 [実装] 規格に同じ。系切替時は 0 に初期化します。 nonstop-forwarding が有効な場合に系切替したときは、マルチキャスト中継エントリの再学習が終了してからの該当受信パケット数になります (マルチキャスト中継エントリの再学習終了までは 0)。 【AX7800R】	●
11	ipMRouteDifferentInIfPackets {ipMRouteEntry 9}	R/O	[規格] 経路情報に一致するパケットで上流インタフェース以外から受信し廃棄した数。 [実装] 規格に同じ。系切替時は 0 に初期化します。 nonstop-forwarding が有効な場合に系切替したときは、マルチキャスト中継エントリの再学習が終了してからの該当廃棄パケット数になります (マルチキャスト中継エントリの再学習終了までは 0)。 【AX7800R】 また、ソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	●
12	ipMRouteOctets {ipMRouteEntry 10}	R/O	[規格] 経路情報に一致するパケットの転送オクテット数。 [実装] 規格に同じ。系切替時は 0 に初期化します。 nonstop-forwarding が有効な場合に系切替したときは、マルチキャスト中継エントリの再学習が終了してからの該当パケットの転送オクテット数になります (マルチキャスト中継エントリの再学習終了までは 0)。 【AX7800R】 また、ソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	●
13	ipMRouteProtocol {ipMRouteEntry 11}	R/O	[規格] 経路情報を学習したマルチキャスト経路制御プロトコル。 [実装] 規格に同じ。 {other(1), pimSparseMode(8), igmpOnly(10)}	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	ipMRouteRtProto {ipMRouteEntry 12}	R/O	[規格] 上流隣接ルータ探索で使用了経路を学習した経路制御プロトコル。 [実装] 未実装。	×
15	ipMRouteRtAddress {ipMRouteEntry 13}	R/O	[規格] 上流隣接ルータ探索で使用了経路のアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ipMRouteRtMask {ipMRouteEntry 14}	R/O	[規格] 上流インタフェース探索で使用了経路のネットワークマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ipMRouteRtType {ipMRouteEntry 15}	R/O	[規格] 経路決定で使用了 RIB(経路情報)の種類。 {unicast(1), multicast(2)} [実装] unicast(1) 固定。	●
18	ipMRouteHCOctets {ipMRouteEntry 16}	R/O	[規格] 経路情報に一致するパケットの転送オクテット数。 ipMRouteOctets の 64 ビット版。 [実装] 規格に同じ。系切替時は 0 に初期化します。 nonstop-forwarding が有効な場合に系切替したときは、マルチキャスト中継エントリの再学習が終了してからの該当パケットの転送オクテット数になります(マルチキャスト中継エントリの再学習終了までは 0)。【AX7800R】 また、ソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	●

2.19.3 ipMRouteNextHopTable

(1) 識別子

```

ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}

ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipMRouteNextHopTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.3

```

(2) 実装仕様

ipMRouteNextHopTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-73 ipMRouteNextHopTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteNextHopTable {ipMRoute 3}	NA	[規格] 下流インタフェースごとの NextHop (次送信先) 表。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipMRouteNextHopEntry {ipMRouteNextHopTable 1}	NA	[規格] NextHop 表エントリ。 INDEX {ipMRouteNextHopGroup, ipMRouteNextHopSource, ipMRouteNextHopSourceMask, ipMRouteNextHopIfIndex, ipMRouteNextHopAddress} [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ipMRouteNextHopGroup {ipMRouteNextHopEntry 1}	NA	[規格]NextHop 情報のグループアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipMRouteNextHopSource {ipMRouteNextHopEntry 2}	NA	[規格]NextHop 情報の送信元アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipMRouteNextHopSourceMask {ipMRouteNextHopEntry 3}	NA	[規格]NextHop 情報の送信元アドレスのネットワークマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipMRouteNextHopIfIndex {ipMRouteNextHopEntry 4}	NA	[規格]NextHop 情報の下流インタフェース。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipMRouteNextHopAddress {ipMRouteNextHopEntry 5}	NA	[規格]NextHop 情報の NextHop アドレス。通常は ipMRouteNextHopGroup に等しいが、NBMA (Non-Broadcast Multiple Access) は単一下流インタフェースで複数アドレスを有することもある。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipMRouteNextHopState {ipMRouteNextHopEntry 6}	R/O	[規格]NextHop 表エントリの使用有無。 {pruned(1), forwarding(2)} [実装] 規格に同じ。	●
9	ipMRouteNextHopUpTime {ipMRouteNextHopEntry 7}	R/O	[規格]NextHop 情報を学習してからの経過時間。[単位: 10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	●
10	ipMRouteNextHopExpiryTime {ipMRouteNextHopEntry 8}	R/O	[規格]NextHop 情報の生存残時間, または pruned の残時間。生存残時間タイマが動作していない場合は, 0。[単位: 10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	●
11	ipMRouteNextHopClosestMemberHops {ipMRouteNextHopEntry 9}	R/O	[規格]NextHop までの最小ホップ数。この値より小さい TTL のマルチキャストデータは転送しない。 [実装] 1 固定。	●
12	ipMRouteNextHopProtocol {ipMRouteNextHopEntry 10}	R/O	[規格]NextHop の学習に使用した経路制御プロトコル。 [実装] 規格に同じ。 {other(1), pimSparseMode(8), igmpOnly(10)}	●
13	ipMRouteNextHopPkts {ipMRouteNextHopEntry 11}	R/O	[規格]NextHop に転送したパケット数。 [実装] 未実装。	×

2.19.4 ipMRouteInterfaceTable

(1) 識別子

```

ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}

ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}

```

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipMRouteInterfaceTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 4}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.4

(2) 実装仕様

ipMRouteInterfaceTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-74 ipMRouteInterfaceTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteInterfaceTable {ipMRoute 4}	NA	[規格] マルチキャストインタフェース表。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipMRouteInterfaceEntry {ipMRouteInterfaceTable 1}	NA	[規格] マルチキャストインタフェース表エントリ。 INDEX {ipMRouteInterfaceIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ipMRouteInterfaceIfIndex {ipMRouteInterfaceEntry 1}	NA	[規格] インタフェースの ifIndex 値。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipMRouteInterfaceTtl {ipMRouteInterfaceEntry 2}	R/NW	[規格] インタフェースの TTL の閾値。この値より小さい TTL のマルチキャストデータは転送しない。すべて転送する場合は、0。 [実装] 0 固定。	●
5	ipMRouteInterfaceProtocol {ipMRouteInterfaceEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースで動作している経路制御プロトコル。 [実装] 規格に同じ。 {other(1), pimSparseMode(8), igmpOnly(10)}	●
6	ipMRouteInterfaceRateLimit {ipMRouteInterfaceEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースのマルチキャストデータの転送量制限。制限なしの場合は、0。[単位：kbit/s] DEFVAL {0} [実装] 0 固定。	●
7	ipMRouteInterfaceInMcastOctets {ipMRouteInterfaceEntry 5}	R/O	[規格] インタフェースで受信したマルチキャストパケットのオクテット数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipMRouteInterfaceOutMcastOctets {ipMRouteInterfaceEntry 6}	R/O	[規格] インタフェースで送信したマルチキャストパケットのオクテット数。 [実装] 規格に同じ。本装置が送信するマルチキャストパケットおよびソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	●
9	ipMRouteInterfaceHCInMcastOctets {ipMRouteInterfaceEntry 7}	R/O	[規格] インタフェースで受信したマルチキャストパケットのオクテット数。 ipMRouteInterfaceInMcastOctets の 64 ビット版。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ipMRouteInterfaceHCOutMcastOctets {ipMRouteInterfaceEntry 8}	R/O	[規格] インタフェースで送信したマルチキャストパケットのオクテット数。 ipMRouteInterfaceOutMcastOctets の 64 ビット版。 [実装] 規格に同じ。本装置が送信するマルチキャストパケットおよびソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	●

2.19.5 ipRouteBoundaryTable

(1) 識別子

```
ipRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipRouteStdMIB 1}

ipRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipRouteBoundaryTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipRoute 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.5
```

(2) 実装仕様

ipRouteBoundaryTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-75 ipRouteBoundaryTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipRouteBoundaryTable {ipRoute 5}	NA	[規格] マルチキャスト境界表。 [実装] 未実装。	×
2	ipRouteBoundaryEntry {ipRouteBoundaryTable 1}	NA	[規格] マルチキャスト境界表エントリ。 INDEX {ipRouteBoundaryIfIndex, ipRouteBoundaryAddress, ipRouteBoundaryAddressMask} [実装] 未実装。	×
3	ipRouteBoundaryIfIndex {ipRouteBoundaryEntry 1}	NA	[規格] マルチキャスト境界が適用されるインタフェースの ifIndex 値。 [実装] 未実装。	×
4	ipRouteBoundaryAddress {ipRouteBoundaryEntry 2}	NA	[規格] マルチキャスト境界のグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
5	ipRouteBoundaryAddressMask {ipRouteBoundaryEntry 3}	NA	[規格] マルチキャスト境界のグループアドレスのネットワークマスク。 [実装] 未実装。	×
6	ipRouteBoundaryStatus {ipRouteBoundaryEntry 4}	R/C	[規格] RowStatus。 [実装] 未実装。	×

2.19.6 ipRouteScopeNameTable

(1) 識別子

```
ipRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipRouteStdMIB 1}

ipRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipRouteScopeNameTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipRoute 6}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.6

(2) 実装仕様

ipMRouteScopeNameTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-76 ipMRouteScopeNameTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteScopeNameTable {ipMRoute 6}	NA	[規格] マルチキャスト領域名表。 [実装] 未実装。	×
2	ipMRouteScopeNameEntry {ipMRouteScopeNameTable 1}	NA	[規格] マルチキャスト領域名表エントリ。 INDEX {ipMRouteScopeNameAddress, ipMRouteScopeNameAddressMask, IMPLIED ipMRouteScopeNameLanguage} [実装] 未実装。	×
3	ipMRouteScopeNameAddress {ipMRouteScopeNameEntry 1}	NA	[規格] マルチキャスト領域のグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
4	ipMRouteScopeNameAddressMask {ipMRouteScopeNameEntry 2}	NA	[規格] マルチキャスト領域のグループアドレスのネットワークマスク。 [実装] 未実装。	×
5	ipMRouteScopeNameLanguage {ipMRouteScopeNameEntry 3}	NA	[規格] 領域名の RFC1766 形式の言語情報。 [実装] 未実装。	×
6	ipMRouteScopeNameString {ipMRouteScopeNameEntry 4}	R/C	[規格] マルチキャスト領域の名前。 [実装] 未実装。	×
7	ipMRouteScopeNameDefault {ipMRouteScopeNameEntry 5}	R/C	[規格] 真の場合には、指定言語での名前利用不可の場合に次言語による名前を使用する。 [実装] 未実装。	×
8	ipMRouteScopeNameStatus {ipMRouteScopeNameEntry 6}	R/C	[規格] RowStatus。 [実装] 未実装。	×

2.19.7 ipMRouteEntryCount

(1) 識別子

ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}

ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipMRouteEntryCount OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 7}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.7

(2) 実装仕様

ipMRouteEntryCount の実装仕様を次の表に示します。

表 2-77 ipMRouteEntryCount の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteEntryCount {ipMRoute 7}	R/O	[規格]IP マルチキャスト経路表のエントリ数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.20 igmpStdMIB グループ (IGMP MIB) 【OP-MLT】

igmpStdMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2933 (October 2000)

注意事項

本 MIB はマルチキャスト経路制御プロトコルとして PIM-SM を使用している場合だけ有効です。

2.20.1 igmpInterfaceTable

(1) 識別子

igmpStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 85}

igmpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {igmpStdMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.85.1

igmpInterfaceTable OBJECT IDENTIFIER ::= {igmpMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.85.1.1

(2) 実装仕様

igmpInterfaceTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-78 igmpInterfaceTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	igmpInterfaceTable {igmpMIBObjects 1}	NA	[規格]IGMP インタフェース表。 [実装]規格に同じ。	●
2	igmpInterfaceEntry {igmpInterfaceTable 1}	NA	[規格]IGMP インタフェース表エントリ。 INDEX {igmpInterfaceIfIndex} [実装]規格に同じ。	●
3	igmpInterfaceIfIndex {igmpInterfaceEntry 1}	NA	[規格]IGMP インタフェースの ifIndex 値。 [実装]規格に同じ。	●
4	igmpInterfaceQueryInterval {igmpInterfaceEntry 2}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの Query 送信周期。[単位：1 秒] DEFVAL {125} [実装]規格に同じ。	●
5	igmpInterfaceStatus {igmpInterfaceEntry 3}	R/NW	[規格]RowStatus (IGMP の有効化 / 無効化)。 [実装]active(1) 固定。	●
6	igmpInterfaceVersion {igmpInterfaceEntry 4}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの動作バージョン。 DEFVAL {2} [実装]規格に同じ。	●
7	igmpInterfaceQuerier {igmpInterfaceEntry 5}	R/O	[規格]IGMP インタフェースの Querier の IP アドレス。 [実装]規格に同じ。	●
8	igmpInterfaceQueryMaxResponseTime {igmpInterfaceEntry 6}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの Max Response Time 値。[単位：100 ミリ秒] DEFVAL {100} [実装]規格に同じ。	●
9	igmpInterfaceQuerierUpTime {igmpInterfaceEntry 7}	R/O	[規格]IGMP インタフェースの Querier を学習してからの経過時間。 [単位：10 ミリ秒] [実装]規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	igmpInterfaceQuerierExpiryTime {igmpInterfaceEntry 8}	R/O	[規格]IGMP インタフェースの Querier の生存残時間。自装置が Querier の場合は、0。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	●
11	igmpInterfaceVersion1QuerierTimer {igmpInterfaceEntry 9}	R/O	[規格] ホストの IGMPv1 互換モードの残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
12	igmpInterfaceWrongVersionQueries {igmpInterfaceEntry 10}	R/O	[規格]IGMP インタフェースのバージョンと不一致な Query を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	igmpInterfaceJoins {igmpInterfaceEntry 11}	R/O	[規格]IGMP インタフェースでグループに加入した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	igmpInterfaceProxyIfIndex {igmpInterfaceEntry 12}	R/NW	[規格]IGMP Proxy インタフェースの ifIndex 値。Proxy 動作をしない場合は、0。 DEFVAL {0} [実装] 0 固定。	●
15	igmpInterfaceGroups {igmpInterfaceEntry 13}	R/O	[規格]IGMP インタフェースの加入グループ数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	igmpInterfaceRobustness {igmpInterfaceEntry 14}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの Robustness Variable 値。 DEFVAL {2} [実装] 規格に同じ。	●
17	igmpInterfaceLastMemberQueryIntvl {igmpInterfaceEntry 15}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの Last Member Query Interval 値。[単位：100 ミリ秒] DEFVAL {10} [実装] 規格に同じ。	●

2.20.2 igmpCacheTable

(1) 識別子

igmpStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 85}

igmpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {igmpStdMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.85.1

igmpCacheTable OBJECT IDENTIFIER ::= {igmpMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.85.1.2

(2) 実装仕様

igmpCacheTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-79 igmpCacheTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	igmpCacheTable {igmpMIBObjects 2}	NA	[規格] 特定インタフェースの IGMP グループ表。 [実装] 規格に同じ。	●
2	igmpCacheEntry {igmpCacheTable 1}	NA	[規格]IGMP グループ表エントリ。 INDEX {igmpCacheAddress, igmpCacheIfIndex} [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	igmpCacheAddress {igmpCacheEntry 1}	NA	[規格]IGMP グループ情報のグループアドレス。 [実装]規格に同じ。	●
4	igmpCacheIfIndex {igmpCacheEntry 2}	NA	[規格]IGMP グループ情報の ifIndex 値。 [実装]規格に同じ。	●
5	igmpCacheSelf {igmpCacheEntry 3}	R/NW	[規格]自装置がグループの一員であるか。 DEFVAL {true(1)} [実装]false(2) 固定。	●
6	igmpCacheLastReporter {igmpCacheEntry 4}	R/O	[規格]最後に受け取った Report の送信元 IP アドレス。未受信の場合は、"0.0.0.0"。 [実装]規格に同じ。	●
7	igmpCacheUpTime {igmpCacheEntry 5}	R/O	[規格]IGMP グループ情報が生成されてからの経過時間。[単位：10 ミリ秒] [実装]規格に同じ。	●
8	igmpCacheExpiryTime {igmpCacheEntry 6}	R/O	[規格]IGMP グループ情報の生存残時間。静的グループ参加の場合は 0。[単位：10 ミリ秒] [実装]規格に同じ。	●
9	igmpCacheStatus {igmpCacheEntry 7}	R/NW	[規格]RowStatus。 [実装]active(1) 固定。	●
10	igmpCacheVersion1HostTimer {igmpCacheEntry 8}	R/O	[規格]ルータの IGMPv1 互換モードの残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装]規格に同じ。	●

2.21 pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) 【OP-MLT】

pimMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2934 (October 2000)

注意事項

本 MIB はマルチキャスト経路制御プロトコルとして PIM-SM を使用している場合だけ有効です。

2.21.1 pimJoinPruneInterval

(1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimJoinPruneInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.1
```

(2) 実装仕様

pimJoinPruneInterval の実装仕様を次の表に示します。

表 2-80 pimJoinPruneInterval の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimJoinPruneInterval {pim 1}	R/NW	[規格] PIM-SM Join/Prune メッセージ送信周期のデフォルト値。[単位: 秒] [実装] 60 固定。	●

2.21.2 pimInterfaceTable

(1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimInterfaceTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.2
```

(2) 実装仕様

pimInterfaceTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-81 pimInterfaceTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimInterfaceTable {pim 2}	NA	[規格]PIM インタフェース表。 [実装]規格に同じ。	●
2	pimInterfaceEntry {pimInterfaceTable 1}	NA	[規格]PIM インタフェース表のエントリ。 INDEX {pimInterfaceIfIndex} [実装]規格に同じ。	●
3	pimInterfaceIfIndex {pimInterfaceEntry 1}	NA	[規格]PIM インタフェースの ifIndex 値。 [実装]規格に同じ。	●
4	pimInterfaceAddress {pimInterfaceEntry 2}	R/O	[規格]PIM インタフェースの IP アドレス。 [実装]規格に同じ。	●
5	pimInterfaceNetMask {pimInterfaceEntry 3}	R/O	[規格]PIM インタフェースの IP アドレスのネットワークマスク。 [実装]規格に同じ。	●
6	pimInterfaceMode {pimInterfaceEntry 4}	R/NW	[規格]PIM インタフェースのモード。 {dense(1), sparse(2), sparseDense(3)} DEFVAL {dense} [実装]sparse(2) 固定。	●
7	pimInterfaceDR {pimInterfaceEntry 5}	R/O	[規格]PIM インタフェースの Designated Router アドレス。ポイント - ポイント接続のインタフェースの場合は "0.0.0.0" を返す。 [実装]規格に同じ。	●
8	pimInterfaceHelloInterval {pimInterfaceEntry 6}	R/NW	[規格]PIM インタフェースの Hello メッセージの送信周期。[単位：1 秒] DEFVAL {30} [実装]規格に同じ。	●
9	pimInterfaceStatus {pimInterfaceEntry 7}	R/NW	[規格]RowStatus。 [実装]active(1) 固定。	●
10	pimInterfaceJoinPruneInterval {pimInterfaceEntry 8}	R/NW	[規格]PIM インタフェースの Join/Prune メッセージの送信周期。[単位：1 秒] [実装]規格に同じ。	●
11	pimInterfaceBSRPreference {pimInterfaceEntry 9}	R/NW	[規格]BSR 候補としてのこのインタフェースのプリファレンス値。 BSR 候補でない場合は -1。 DEFVAL {0} [実装]-1 固定。	●

2.21.3 pimNeighborTable

(1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimNeighborTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.3
```

(2) 実装仕様

pimNeighborTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-82 pimNeighborTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimNeighborTable {pim 3}	NA	[規格]PIM 隣接ルータ表。 [実装] 規格に同じ。	●
2	pimNeighborEntry {pimNeighborTable 1}	NA	[規格]PIM 隣接ルータ表エントリ。 INDEX {pimNeighborAddress} [実装] 規格に同じ。	●
3	pimNeighborAddress {pimNeighborEntry 1}	NA	[規格]PIM 隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	pimNeighborIfIndex {pimNeighborEntry 2}	R/O	[規格]PIM 隣接ルータに至るインタフェースの ifIndex 値。 [実装] 規格に同じ。	●
5	pimNeighborUpTime {pimNeighborEntry 3}	R/O	[規格]PIM 隣接ルータを学習してからの経過時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	●
6	pimNeighborExpiryTime {pimNeighborEntry 4}	R/O	[規格]PIM 隣接ルータの生存残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	●
7	pimNeighborMode {pimNeighborEntry 5}	R/O	[規格]PIM 隣接ルータの PIM モード。 {dense(1), sparse(2)} [実装]sparse(2) 固定。	●

2.21.4 pimIpMRouteTable

(1) 識別子

```

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}

pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimIpMRouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.4

```

(2) 実装仕様

pimIpMRouteTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-83 pimIpMRouteTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimIpMRouteTable {pim 4}	NA	[規格]PIM 経路表。 [実装] 未実装。	×
2	pimIpMRouteEntry {pimIpMRouteTable 1}	NA	[規格]PIM 経路表エントリ INDEX {ipMRouteGroup, ipMRouteSource, ipMRouteSourceMask} [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	pimIpMRouteUpstreamAssertTimer {pimIpMRouteEntry 1}	R/O	[規格] 上流に対する Assert タイマの残時間。Assert タイマ未動作の場合は、0。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
4	pimIpMRouteAssertMetric {pimIpMRouteEntry 2}	R/O	[規格] 上流からの Assert winner のメトリック値。Assert 状態でない場合は、0。 [実装] 未実装。	×
5	pimIpMRouteAssertMetricPref {pimIpMRouteEntry 3}	R/O	[規格] 上流からの Assert winner のプリファレンス値。Assert 状態でない場合は、0。 [実装] 未実装。	×
6	pimIpMRouteAssertRPBit {pimIpMRouteEntry 4}	R/O	[規格] 上流からの Assert winner の RPT ビットの値。Assert 状態でない場合は false(2)。 [実装] 未実装。	×
7	pimIpMRouteFlags {pimIpMRouteEntry 5}	R/O	[規格] RPT と SPT ビットの値。 {rpt(0), spt(1)} [実装] 未実装。	×

2.21.5 pimRPTable

(1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1
pimRPTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.5
```

(2) 実装仕様

pimRPTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-84 pimRPTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimRPTable {pim 5}	NA	[規格] PIM version1 用の RP 情報表。 [実装] 未実装。	×
2	pimRPEntry {pimRPTable 1}	NA	[規格] RP 情報表エントリ。 INDEX {pimRPGroupAddress, pimRPAddress} [実装] 未実装。	×
3	pimRPGroupAddress {pimRPEntry 1}	NA	[規格] RP が対象とするグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
4	pimRPAddress {pimRPEntry 2}	NA	[規格] RP の IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
5	pimRPState {pimRPEntry 3}	R/O	[規格] RP の状態。 {up(1), down(2)} [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	pimRPStateTimer {pimRPEntry 4}	R/O	[規格]RP 状態の変更までの残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
7	pimRPLastChange {pimRPEntry 5}	R/O	[規格]RP 状態の最終更新からの経過時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
8	pimRPRowStatus {pimRPEntry 6}	R/C	[規格]RowStatus。 [実装] 未実装。	×

2.21.6 pimRPSetTable

(1) 識別子

```

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}

pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimRPSetTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.6

```

(2) 実装仕様

pimRPSetTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-85 pimRPSetTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimRPSetTable {pim 6}	NA	[規格]RP 候補情報表。BSR の場合は PIM-Candidate-Advertisement メッセージからの情報、BSR 以外の場合は RP-set メッセージからの情報を出力する。 [実装] 未実装。	×
2	pimRPSetEntry {pimRPSetTable 1}	NA	[規格]RP 候補情報表エントリ。 INDEX {pimRPSetComponent, pimRPSetGroupAddress, pimRPSetGroupMask, pimRPSetAddress} [実装] 未実装。	×
3	pimRPSetGroupAddress {pimRPSetEntry 1}	NA	[規格]RP 候補が対象とするグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
4	pimRPSetGroupMask {pimRPSetEntry 2}	NA	[規格]RP 候補が対象とするグループアドレスのネットワークマスク。 [実装] 未実装。	×
5	pimRPSetAddress {pimRPSetEntry 3}	NA	[規格]RP 候補の IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
6	pimRPSetHoldTime {pimRPSetEntry 4}	R/O	[規格]RP 候補を学習してからの経過時間。BSR 以外の場合は、0。[単位：1 秒] [実装] 未実装。	×
7	pimRPSetExpiryTime {pimRPSetEntry 5}	R/O	[規格]RP 候補の生存残時間。BSR 以外の場合は、0。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	pimRPSetComponent {pimRPSetEntry 6}	NA	[規格] コンポーネントを一意に識別する番号。 [実装] 未実装。	×

2.21.7 pimIpMRouteNextHopTable

(1) 識別子

```

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}

pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimIpMRouteNextHopTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.7

```

(2) 実装仕様

pimIpMRouteNextHopTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-86 pimIpMRouteNextHopTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimIpMRouteNextHopTable {pim 7}	NA	[規格] PIM 経路の NextHop (次送信先) 表 [実装] 未実装。	×
2	pimIpMRouteNextHopEntry {pimIpMRouteNextHopTable 1}	NA	[規格] PIM 経路の NextHop 表エントリ。 INDEX {ipMRouteNextHopGroup, ipMRouteNextHopSource, ipMRouteNextHopSourceMask, ipMRouteNextHopIfIndex, ipMRouteNextHopAddress} [実装] 未実装。	×
3	pimIpMRouteNextHopPruneReason {pimIpMRouteNextHopEntry 2}	R/O	[規格] 下流インタフェースが prune になった理由を表す。 {other(1), prune(2), assert(3)} [実装] 未実装。	×

2.21.8 pimCandidateRPTTable

(1) 識別子

```

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}

pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimCandidateRPTTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.11

```

(2) 実装仕様

pimCandidateRPTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-87 pimCandidateRPTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimCandidateRPTable {pim 11}	NA	[規格]RP 候補のときに広告するグループ情報表。 [実装] 未実装。	×
2	pimCandidateRPEntry {pimCandidateRPTable 1}	NA	[規格] 広告するグループ情報表エントリ。 INDEX {pimCandidateRPGroupAddress, pimCandidateRPGroupMask} [実装] 未実装。	×
3	pimCandidateRPGroup Address {pimCandidateRPEntry 1}	NA	[規格] 広告するグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
4	pimCandidateRPGroup Mask {pimCandidateRPEntry 2}	NA	[規格] 広告するグループアドレスのネットワークマスク。 [実装] 未実装。	×
5	pimCandidateRPAdres s {pimCandidateRPEntry 3}	R/C	[規格] 広告する RP の IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
6	pimCandidateRPRowSt atus {pimCandidateRPEntry 4}	R/C	[規格] RowStatus。 [実装] 未実装。	×

2.21.9 pimComponentTable

(1) 識別子

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}

pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimComponentTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.12

(2) 実装仕様

pimComponentTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-88 pimComponentTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimComponentTable {pim 12}	NA	[規格]PIM ドメインを特定するコンポーネント表。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	pimComponentEntry {pimComponentTable 1}	NA	[規格] コンポーネント表エントリ。 INDEX {pimComponentIndex} [実装] 未実装。	×
3	pimComponentIndex {pimComponentEntry 1}	NA	[規格] コンポーネントを一意に識別する番号。PIM ドメインが単独の場合は、1。 [実装] 未実装。	×
4	pimComponentBSRAddress {pimComponentEntry 2}	R/O	[規格] BSR の IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
5	pimComponentBSRExpiryTime {pimComponentEntry 3}	R/O	[規格] BSR の生存残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
6	pimComponentCRPHoldTime {pimComponentEntry 4}	R/C	[規格] コンポーネントを学習してからの経過時間。自装置が RP 候補でない場合は、0。[単位：1 秒] DEFVAL {0} [実装] 未実装。	×
7	pimComponentStatus {pimComponentEntry 5}	R/C	[規格] RowStatus。 [実装] 未実装。	×

2.22 ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB)

ospfv3MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- draft-ietf-ospf-ospfv3-mib-03.txt (November 2000))

2.22.1 ospfv3GeneralGroup

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3      OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3GeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.1
```

(2) 実装仕様

ospfv3GeneralGroup の実装仕様を次の表に示します。

表 2-89 ospfv3GeneralGroup の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3RouterId {ospfv3GeneralGroup 1}	R/NW	[規格] 自律システム内のルータ識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
2	ospfv3AdminStat {ospfv3GeneralGroup 2}	R/NW	[規格] ルータの OSPFv3 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
3	ospfv3VersionNumber {ospfv3GeneralGroup 3}	R/O	[規格] OSPFv3 プロトコルのバージョン番号。 [実装] 規格に同じ (version3 固定)。	●
4	ospfv3AreaBdrRtrStatus {ospfv3GeneralGroup 4}	R/O	[規格] そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3ASBdrRtrStatus {ospfv3GeneralGroup 5}	R/NW	[規格] そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfv3AsScopeLsaCount {ospfv3GeneralGroup 6}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3AsScopeLsaChecksumSum {ospfv3GeneralGroup 7}	R/O	[規格] LSDB 中の AsScopeLSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3OriginateNewLsas {ospfv3GeneralGroup 8}	R/O	[規格] 生成された新しい LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3RxNewLsas {ospfv3GeneralGroup 9}	R/O	[規格] 新しい情報を持った LSA を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3ExtAreaLsdbLimit {ospfv3GeneralGroup 10}	R/NW	[規格] LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	ospfv3MulticastExtensions {ospfv3GeneralGroup 11}	R/NW	[規格] マルチキャスト拡張版 OSPFv3 のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。 [実装] マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfv3ExitOverflowInterval {ospfv3GeneralGroup 12}	R/NW	[規格] ルータがオーバフローステータスになるまでの時間。[単位：秒] [実装] 未実装。※	×
13	ospfv3DemandExtensions {ospfv3GeneralGroup 13}	R/NW	[規格] このルータでの Demand ルーティングのサポート。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
14	ospfv3TrafficEngineeringSupport {ospfv3GeneralGroup 14}	R/NW	[規格] このルータでのトラフィックエンジニアリング拡張のサポート。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。ただし、Read_Only です。	●

注※ 拡張機能未サポートのため、未実装です。

2.22.2 ospfv3AreaTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.2
```

(2) 実装仕様

ospfv3AreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-90 ospfv3AreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaTable {ospfv3 2}	NA	[規格] ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3AreaEntry {ospfv3AreaTable 1}	NA	[規格] 各エリアの情報リスト。 INDEX {ospfv3AreaId} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3AreaId {ospfv3AreaEntry 1}	R/O	[規格] エリアを識別する番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3ImportAsExtern {ospfv3AreaEntry 2}	R/NW	[規格] そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 {importExternal (1), importNoExternal (2), importNssa (3)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ospfv3SpfRuns {ospfv3AreaEntry 3}	R/O	[規格] このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3AreaBdrRtrCount {ospfv3AreaEntry 4}	R/O	[規格] このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3AsBdrRtrCount {ospfv3AreaEntry 5}	R/O	[規格] このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3AreaScopeLsaCount {ospfv3AreaEntry 6}	R/O	[規格] このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3AreaScopeLsaChecksumSum {ospfv3AreaEntry 7}	R/O	[規格] このエリアの LSDB 中の AreaScopeLSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3AreaSummary {ospfv3AreaEntry 8}	R/NW	[規格] エリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 {noAreaSummary(1), sendAreaSummary(2)} [実装] sendAreaSummary(2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
11	ospfv3AreaStatus {ospfv3AreaEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfv3StubMetric {ospfv3AreaEntry 10}	R/NW	[規格] Stub または NSSA エリアに広告するデフォルトルートメトリック値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfv3AreaNssaTranslatorRole {ospfv3AreaEntry 11}	R/NW	[規格] NSSA ボーダルータの NSSA トランスレータとしての役割。 [実装] 未実装。*	×
14	ospfv3AreaNssaTranslatorState {ospfv3AreaEntry 12}	R/O	[規格] NSSA トランスレータの状態。 [実装] 未実装。*	×
15	ospfv3AreaNssaTranslatorStabilityInterval {ospfv3AreaEntry 13}	R/NW	[規格] NSSA トランスレータの Stability Interval。 [実装] 未実装。*	×
16	ospfv3AreaNssaTranslatorEvents {ospfv3AreaEntry 14}	R/O	[規格] NSSA トランスレータのイベント数。 [実装] 未実装。*	×

注※ NSSA 未サポートのため、未実装です。

2.22.3 ospfv3AsLsdbTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AsLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.3
```

(2) 実装仕様

ospfv3AsLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-91 ospfv3AsLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AsLsdbTable {ospfv3 3}	NA	[規格] OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3AsLsdbEntry {ospfv3AsLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfv3AsLsdbType, ospfv3AsLsdbRouterId, ospfv3AsLsdbLsid} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3AsLsdbType {ospfv3AsLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 {asExternal(0x4005)} [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3AsLsdbRouterId {ospfv3AsLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3AsLsdbLsid {ospfv3AsLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3AsLsdbSequence {ospfv3AsLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3AsLsdbAge {ospfv3AsLsdbEntry 5}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3AsLsdbChecksum {ospfv3AsLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3AsLsdbAdvertisement {ospfv3AsLsdbEntry 7}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	●

2.22.4 ospfv3AreaLsdbTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AreaLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.4
```

(2) 実装仕様

ospfv3AreaLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-92 ospfv3AreaLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaLsdbTable {ospfv3 4}	NA	[規格] OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3AreaLsdbEntry {ospfv3AreaLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfv3AreaLsdbAreaId, ospfv3AreaLsdbType, ospfv3AreaLsdbRouterId, ospfv3AreaLsdbLsid} [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ospfv3AreaLsdbAreaId {ospfv3AreaLsdbEntry 1}	R/O	[規格] この LSA の受信元エリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3AreaLsdbType {ospfv3AreaLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 { ルータ (8193=0x2001), ネットワーク (8194=0x2002), interAreaPrefix(8195=0x2003), interAreaRouter(8196=0x2004), マルチキャスト (8198=0x2006), nssa 外部リンク (8199=0x2007), intraAreaPrefix(8201=0x2009)} [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3AreaLsdbRouterId {ospfv3AreaLsdbEntry 3}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3AreaLsdbLsid {ospfv3AreaLsdbEntry 4}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3AreaLsdbSequence {ospfv3AreaLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3AreaLsdbAge {ospfv3AreaLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3AreaLsdbChecksum {ospfv3AreaLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3AreaLsdbAdvertisement {ospfv3AreaLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	●

2.22.5 ospfv3LinkLsdbTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3LinkLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.5
```

(2) 実装仕様

ospfv3LinkLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-93 ospfv3LinkLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3LinkLsdbTable {ospfv3 5}	NA	[規格] OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3LinkLsdbEntry {ospfv3LinkLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfv3LinkLsdbIfIndex, ospfv3LinkLsdbType, ospfv3LinkLsdbRouterId, ospfv3LinkLsdbLsid} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3LinkLsdbIfIndex {ospfv3LinkLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA を受信したリンクの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3LinkLsdbType {ospfv3LinkLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 {Link(0x0008)} [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3LinkLsdbRouterId {ospfv3LinkLsdbEntry 3}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3LinkLsdbLsid {ospfv3LinkLsdbEntry 4}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3LinkLsdbSequence {ospfv3LinkLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3LinkLsdbAge {ospfv3LinkLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3LinkLsdbChecksum {ospfv3LinkLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3LinkLsdbAdvertisement {ospfv3LinkLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	●

2.22.6 ospfv3IfTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.7
```

(2) 実装仕様

ospfv3IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-94 ospfv3IfTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
1	ospfv3IfTable {ospfv3 7}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3IfEntry {ospfv3IfTable 1}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {ospfv3IfIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3IfIndex {ospfv3IfEntry 1}	R/O	[規格] この OSPFv3 インタフェースのインタフェース Index。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3IfAreaId {ospfv3IfEntry 2}	R/NW	[規格] このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ospfv3IfType {ospfv3IfEntry 3}	R/NW	[規格] インタフェースタイプ。 {ブロードキャスト (1), ノンブロードキャスト (2), Point-Point(3), Point-Multipoint(5)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfv3IfAdminStat {ospfv3IfEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースの管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfv3IfRtrPriority {ospfv3IfEntry 5}	R/NW	[規格] このインタフェースのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfv3IfTransitDelay {ospfv3IfEntry 6}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfv3IfRetransInterval {ospfv3IfEntry 7}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	ospfv3IfHelloInterval {ospfv3IfEntry 8}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
11	ospfv3IfRtrDeadInterval {ospfv3IfEntry 9}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfv3IfPollInterval {ospfv3IfEntry 10}	R/NW	[規格] 非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfv3IfState {ospfv3IfEntry 11}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 {down(1), loopback(2), waiting(3), PtoP(4), DR(5), BDR(6), other(7)} [実装] 規格に同じ。	●
14	ospfv3IfDesignatedRouter {ospfv3IfEntry 12}	R/O	[規格] デジタルネーテッドルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
15	ospfv3IfBackupDesignatedRouter {ospfv3IfEntry 14}	R/O	[規格] バックアップデジタルネーテッドルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ospfv3IfEvents {ospfv3IfEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ospfv3IfStatus {ospfv3IfEntry 17}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
18	ospfv3IfMulticastForwarding {ospfv3IfEntry 18}	R/NW	[規格] このインタフェースでマルチキャストする方法。 {blocked(1), multicast(2), unicast(3)} [実装] blocked(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
19	ospfv3IfDemand {ospfv3IfEntry 19}	R/NW	[規格] このインタフェースで Demand OSPFv3 手順を行うかどうかを示します。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
20	ospfv3IfMetricValue {ospfv3IfEntry 20}	R/NW	[規格] このインタフェースのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
21	ospfv3IfLinkScopeLsaCount {ospfv3IfEntry 21}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	ospfv3IfLinkLsaChecksumSum {ospfv3IfEntry 22}	R/O	[規格] LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
23	ospfv3IfInstId {ospfv3IfEntry 23}	R/NW	[規格] この OSPFv3 インタフェースの InstanceID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.22.7 ospfv3VirtIfTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3VirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.8
```

(2) 実装仕様

ospfv3VirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-95 ospfv3VirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3VirtIfTable {ospfv3 8}	NA	[規格] ルータが接続する仮想リンクのインタフェース情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3VirtIfEntry {ospfv3VirtIfTable 1}	NA	[規格] 各仮想リンクのインタフェース情報リスト。 INDEX {ospfv3VirtIfAreaId, ospfv3VirtIfNeighbor} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3VirtIfAreaId {ospfv3VirtIfEntry 1}	R/O	[規格] その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ospfv3VirtIfNeighbor {ospfv3VirtIfEntry 2}	R/O	[規格] 仮想の隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3VirtIfIndex {ospfv3VirtIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェースのインタフェース Index。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfv3VirtIfTransitDelay {ospfv3VirtIfEntry 4}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfv3VirtIfRetransInterval {ospfv3VirtIfEntry 5}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfv3VirtIfHelloInterval {ospfv3VirtIfEntry 6}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfv3VirtIfRtrDeadInterval {ospfv3VirtIfEntry 7}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	ospfv3VirtIfState {ospfv3VirtIfEntry 8}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 {down(1), PtoP(4)} [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfv3VirtIfEvents {ospfv3VirtIfEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ospfv3VirtIfStatus {ospfv3VirtIfEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfv3VirtIfLinkScopeLsaCount {ospfv3VirtIfEntry 11}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ospfv3VirtIfLinkLsaChecksumSum {ospfv3VirtIfEntry 12}	R/O	[規格] LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●

2.22.8 ospfv3NbrTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```

```
ospfv3NbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.9
```

(2) 実装仕様

ospfv3NbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-96 ospfv3NbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3NbrTable {ospfv3 9}	NA	[規格] 仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ospfv3NbrEntry {ospfv3NbrTable 1}	NA	[規格] 各隣接局の情報リスト。 INDEX {ospfv3NbrIfIndex, ospfv3NbrIpv6Addr} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3NbrIfIndex {ospfv3NbrEntry 1}	R/O	[規格] 隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3NbrIpv6Addr {ospfv3NbrEntry 2}	R/O	[規格] 隣接ルータの IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3NbrRtrId {ospfv3NbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3NbrOptions {ospfv3NbrEntry 4}	R/O	[規格] 隣接ルータのオプションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3NbrPriority {ospfv3NbrEntry 5}	R/NW	[規格] 隣接ルータのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfv3NbrState {ospfv3NbrEntry 6}	R/O	[規格] この隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)} [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3NbrEvents {ospfv3NbrEntry 7}	R/O	[規格] 隣接ルータとの関係で、状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3NbrLsRetransQLen {ospfv3NbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfv3NbmaNbrStatus {ospfv3NbrEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリの有効 / 無効を示します。 [実装] 未実装。※	×
12	ospfv3NbmaNbrPermanence {ospfv3NbrEntry 10}	R/O	[規格] 隣接ルータを認識した方法。 {dynamic(1) permanent(2)} [実装] 未実装。※	×
13	ospfv3NbrHelloSuppressed {ospfv3NbrEntry 11}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ospfv3NbrIfId {ospfv3NbrEntry 12}	R/O	[規格] 隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している Interface ID。 [実装] 規格に同じ。	●

注※ NBMA 未サポートのため、未実装です。

2.22.9 ospfv3VirtNbrTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3    OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```



```
ospfv3VirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.10
```

(2) 実装仕様

ospfv3VirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-97 ospfv3VirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3VirtNbrTable {ospfv3 10}	NA	[規格] 仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3VirtNbrEntry {ospfv3VirtNbrTable 1}	NA	[規格] 各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX {ospfv3VirtNbrArea, ospfv3VirtNbrRtrId} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3VirtNbrArea {ospfv3VirtNbrEntry 1}	R/O	[規格] 通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3VirtNbrRtrId {ospfv3VirtNbrEntry 2}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3VirtNbrIfIndex {ospfv3VirtNbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3VirtNbrIpv6Addr {ospfv3VirtNbrEntry 4}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータの IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3VirtNbrOptions {ospfv3VirtNbrEntry 5}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのオプションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3VirtNbrState {ospfv3VirtNbrEntry 6}	R/O	[規格] この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)} [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3VirtNbrEvents {ospfv3VirtNbrEntry 7}	R/O	[規格] この仮想リンクの状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3VirtNbrLsRetransQLen {ospfv3VirtNbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfv3VirtNbrHelloSuppressed {ospfv3VirtNbrEntry 9}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ospfv3VirtNbrIfId {ospfv3VirtNbrEntry 10}	R/O	[規格] 隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している InterfaceID。 [実装] 規格に同じ。	●

2.22.10 ospfv3AreaAggregateTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```

ospfv3AreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 11}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.11

(2) 実装仕様

ospfv3AreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-98 ospfv3AreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaAggregateTable {ospfv3 11}	NA	[規格]Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3AreaAggregateEntry {ospfv3AreaAggregateTable 1}	NA	[規格]Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のリスト。 INDEX {ospfv3AreaAggregateAreaID, ospfv3AreaAggregateAreaLsdbType, ospfv3AreaAggregateIndex} [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3AreaAggregateAreaID {ospfv3AreaAggregateEntry 1}	R/O	[規格] アドレス集約したエリア。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3AreaAggregateAreaLsdbType {ospfv3AreaAggregateEntry 2}	R/O	[規格] アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 {interAreaPrefixLsa(0x2003), nssaExternalLsa(0x2007)} [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3AreaAggregateIndex {ospfv3AreaAggregateEntry 3}	R/O	[規格] アグリゲートテーブルの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3AreaAggregatePrefix {ospfv3AreaAggregateEntry 4}	R/NW	[規格] IPv6 Prefix。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfv3AreaAggregatePrefixLen {ospfv3AreaAggregateEntry 5}	R/NW	[規格] IPv6 Prefix 長。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfv3AreaAggregateStatus {ospfv3AreaAggregateEntry 6}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfv3AreaAggregateEffect {ospfv3AreaAggregateEntry 7}	R/NW	[規格] 範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 {advertiseMatching(1), doNotAdvertiseMatching(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.23 IEEE8023-LAG-MIB グループ

IEEE8023-LAG-MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- IEEE8023-LAG-MIB.txt

2.23.1 dot3adAgg グループ

(1) 識別子

```
member-body OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }
```

```
dot3adAgg OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 1 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.1
```

(2) 実装仕様

dot3adAgg グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-99 dot3adAgg グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggTable {dot3adAgg 1}	NA	[規格] このシステムで Aggregator に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
2	dot3adAggEntry {dot3adAggTable 1}	NA	[規格] Aggregator パラメータのリスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格と同じ。	●
3	dot3adAggIndex {dot3adAggEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースを識別するための番号。 [実装] 規格と同じ。	●
4	dot3adAggMACAddress {dot3adAggEntry 2}	R/O	[規格] Aggregator に割り当てられた MAC アドレス。 [実装] 規格と同じ。	●
5	dot3adAggActorSystem Priority {dot3adAggEntry 3}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [実装] 規格と同じ。	●
6	dot3adAggActorSystem ID {dot3adAggEntry 4}	R/NW	[規格] システムに対してユニークな識別子。 [実装] 規格と同じ。	●
7	dot3adAggAggregateOr Individual {dot3adAggEntry 5}	R/O	[規格] Aggregator が Link Aggregation を行っているか、個々のリンクとして取り扱っているかを示す。 [実装] 規格と同じ。	●
8	dot3adAggActorAdmin Key {dot3adAggEntry 6}	R/O	[規格] Aggregator に対する現在の管理上の Key の値。 [実装] 規格と同じ。	●
9	dot3adAggActorOperKe y {dot3adAggEntry 7}	R/O	[規格] Aggregator に対する現在の操作上の Key の値。 [実装] 規格と同じ。	●
10	dot3adAggPartnerSyste mID {dot3adAggEntry 8}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対するユニークな識別子であり、MAC アドレス。 [実装] 規格と同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	dot3adAggPartnerSystemPriority {dot3adAggEntry 9}	R/O	[規格] パートナーのシステム ID に関連したプライオリティ値が示されます。 [実装] 規格と同じ。	●
12	dot3adAggPartnerOperKey {dot3adAggEntry 10}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する操作上のキーの値です。 [実装] 規格と同じ。	●
13	dot3adAggCollectorMaxDelay {dot3adAggEntry 11}	R/NW	[規格] FrameCollector によって、受信されたフレームが AggregatorParser から MACClient に届けられるか、フレームが破棄されるまでの最大遅延時間。[単位: 10 マイクロ秒] [実装] 規格と同じ。	●
14	dot3adAggPortListTable {dot3adAgg 2}	NA	[規格] Aggregator に接続されている AggregationPort のリスト。 [実装] 規格と同じ。	●
15	dot3adAggPortListEntry {dot3adAggPortListTable 1}	NA	[規格] Aggregator に関連したポートのリスト。 [実装] 規格と同じ。	●
16	dot3adAggPortListPorts {dot3adAggPortListEntry 1}	R/O	[規格] Aggregator に関連したポートの全集合である。 [実装] 規格と同じ。	●

2.23.2 dot3adAggPort グループ

(1) 識別子

```

member-body    OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us              OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3    OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs       OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB         OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }

```

```

dot3adAggPort OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 2 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.2

```

(2) 実装仕様

dot3adAggPort グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-100 dot3adAggPort グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggPortTable {dot3adAggPort 1}	NA	[規格] すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 設定情報。 [実装] 規格に同じ	●
2	dot3adAggPortEntry {dot3adAggPortTable 1}	NA	[規格] 各 AggregationPort に対する Link Aggregation Control 設定パラメータのリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot3adAggPortIndex {dot3adAggPortEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースを識別するための番号。 [実装] 規格と同じ。	●
4	dot3adAggPortActorSystemPriority {dot3adAggPortEntry 2}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [実装] 規格と同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	dot3adAggPortActorSystemID {dot3adAggPortEntry 3}	R/O	[規格]AggregationPort を持つシステムに対するシステム ID の値を決める MAC アドレス。 [実装] 規格と同じ。	●
6	dot3adAggPortActorAdminKey {dot3adAggPortEntry 4}	R/NW	[規格]AggregationPort に対する管理上のキー。 [実装] 規格と同じ。	●
7	dot3adAggPortActorOperKey {dot3adAggPortEntry 5}	R/O	[規格]AggregationPort に対する操作上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	●
8	dot3adAggPortPartnerAdminSystemPriority {dot3adAggPortEntry 6}	R/NW	[規格]Partner のシステム ID に関連した管理上のプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	●
9	dot3adAggPortPartnerOperSystemPriority {dot3adAggPortEntry 7}	R/O	[規格]Partner のシステム ID に関連した操作上のプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	●
10	dot3adAggPortPartnerAdminSystemID {dot3adAggPortEntry 8}	R/NW	[規格]AggregationPort のプロトコルパートナーのシステム ID の管理上の値。 [実装]00 00 00 00 00 00 固定。	●
11	dot3adAggPortPartnerOperSystemID {dot3adAggPortEntry 9}	R/O	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	●
12	dot3adAggPortPartnerAdminKey {dot3adAggPortEntry 10}	R/NW	[規格]Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する管理上のキーの値である。 [実装]0 固定。	●
13	dot3adAggPortPartnerOperKey {dot3adAggPortEntry 11}	R/O	[規格] プロトコルパートナーに対する操作上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	●
14	dot3adAggPortSelectedAggID {dot3adAggPortEntry 12}	R/O	[規格]AggregationPort の Aggregator の識別子の値。 [実装] 規格と同じ。	●
15	dot3adAggPortAttachedAggID {dot3adAggPortEntry 13}	R/O	[規格]AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の識別子の値。 [実装] 規格と同じ。	●
16	dot3adAggPortActorPort {dot3adAggPortEntry 14}	R/O	[規格]AggregationPort に割り当てられたポート番号。 [実装] 規格と同じ。	●
17	dot3adAggPortActorPortPriority {dot3adAggPortEntry 15}	R/NW	[規格]AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	●
18	dot3adAggPortPartnerAdminPort {dot3adAggPortEntry 16}	R/NW	[規格]AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の識別子の値。 [実装]0 固定。	●
19	dot3adAggPortPartnerOperPort {dot3adAggPortEntry 17}	R/O	[規格]AggregationPort のプロトコルパートナーによって AggregationPort に割り当てられた操作上のポート番号。 [実装] 規格と同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	dot3adAggPortPartnerAdminPortPriority {dot3adAggPortEntry 18}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のポートプライオリティの値。 [実装] 0 固定。	●
21	dot3adAggPortPartnerOperPortPriority {dot3adAggPortEntry 19}	R/O	[規格] パートナーによって AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	●
22	dot3adAggPortActorAdminState {dot3adAggPortEntry 20}	R/NW	[規格] Actor によって LACPDU で送信された管理上の Actor_State の値。 [実装] 規格と同じ。マネージャによって文字として表示されます。	●
23	dot3adAggPortActorOperState {dot3adAggPortEntry 21}	R/O	[規格] Actor によって LACPDU で送信された操作上の Actor_State の値。 [実装] 規格と同じ。マネージャによって文字として表示されます。	●
24	dot3adAggPortPartnerAdminState {dot3adAggPortEntry 22}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上の Actor_State の値。 [実装] (01000100)2 固定。マネージャによって文字として表示されます。	●
25	dot3adAggPortPartnerOperState {dot3adAggPortEntry 23}	R/O	[規格] プロトコルパートナーによって最も最近 LACPDU で送信された Actor_State の値。 [実装] 規格と同じ。マネージャによって文字として表示されます。	●
26	dot3adAggPortAggregateOrIndividual {dot3adAggPortEntry 24}	R/O	[規格] AggregationPort が Aggregate 可能であるか、個々のリンクとしてしか操作できないかを示します。 [実装] 規格と同じ。	●
27	dot3adAggPortStatsTable {dot3adAggPort 2}	NA	[規格] すべてのポートに関する Link Aggregation の情報を持つテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
28	dot3adAggPortStatsEntry {dot3adAggPortStatsTable 1}	NA	[規格] 各ポートに対する Link Aggregation 制御プロトコルの統計データのリスト。 [実装] 規格と同じ。	●
29	dot3adAggPortStatsLACPDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な LACPDU の数。 [実装] 規格と同じ。	●
30	dot3adAggPortStatsMarkerPDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 2}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerPDU の数。 [実装] 規格と同じ。	●
31	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerResponsePDU の数。 [実装] 規格と同じ。	●
32	dot3adAggPortStatsUnknownRx {dot3adAggPortStatsEntry 4}	R/O	[規格] Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが、未知の PDU が含まれているフレームか、または、Slow Protocols の group MAC Address(01-80-C2-00-00-02) 宛てだが、Slow Protocols のイーサネットタイプで運ばれていないフレームのどちらかを受信したフレーム数。 [実装] 規格と同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
33	dot3adAggPortStatsIllegalRx {dot3adAggPortStatsEntry 5}	R/O	[規格] Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが、不当な形式の PDU を含んでいるか、または、違法な Protocol Subtype の値を含んだフレームの受信フレーム数。 [実装] 規格と同じ。	●
34	dot3adAggPortStatsLACPDUstx {dot3adAggPortStatsEntry 6}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された LACPDU の数。 [実装] 規格と同じ。	●
35	dot3adAggPortStatsMarkerPDUTx {dot3adAggPortStatsEntry 7}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された MarkerPDU の数。 [実装] 0 固定。	●
36	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUTx {dot3adAggPortStatsEntry 8}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された MarkerResponsePDU の数。 [実装] 規格と同じ。	●
37	dot3adAggPortDebugTable {dot3adAggPort 3}	NA	[規格] すべてのポートに関するリンクアグリゲーションのデバッグ情報を含んだテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
38	dot3adAggPortDebugEntry {dot3adAggPortDebugTable 1}	NA	[規格] ポートに対するデバッグパラメータのリスト。 [実装] 規格と同じ。	●
39	dot3adAggPortDebugRxState {dot3adAggPortDebugEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Receive ステートマシンの状態。 {currentRx(1), expired(2), defaulted(3), initialize(4), lACPDisabled(5), portDisabled(6)} [実装] 規格と同じ。	●
40	dot3adAggPortDebugLastRxTime {dot3adAggPortDebugEntry 2}	R/O	[規格] 最後に AggregationPort が LACPDSU を受信したときの aTimeSinceSystemReset の値。 [実装] 規格と同じ。	●
41	dot3adAggPortDebugMuxState {dot3adAggPortDebugEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Mux ステートマシンの状態。 {detached(1), waiting(2), attached(3), collecting(4), distributing(5), collectingDistributing(6)} [実装] 規格と同じ。	●
42	dot3adAggPortDebugMuxReason {dot3adAggPortDebugEntry 4}	R/O	[規格] 最も最近 Mux ステートマシンの状態が変更された理由。 [実装] 規格と同じ。	●
43	dot3adAggPortDebugActorChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 5}	R/O	[規格] AggregationPort に対する ActorChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装] 規格と同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
44	dot3adAggPortDebugPartnerChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 6}	R/O	[規格] AggregationPort に対する PartnerChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装] 規格と同じ。	●
45	dot3adAggPortDebugActorChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 7}	R/O	[規格] ActorChurn ステートマシンが ACTOR_CHURN の状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	●
46	dot3adAggPortDebugPartnerChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 8}	R/O	[規格] PartnerChurn ステートマシンが PARTNER_CHURN 状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	●
47	dot3adAggPortDebugActorSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 9}	R/O	[規格] Actor の Mux 状態マシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	●
48	dot3adAggPortDebugPartnerSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 10}	R/O	[規格] Partner の Mux ステートマシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	●
49	dot3adAggPortDebugActorChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 11}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Actor の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装] 規格と同じ。	●
50	dot3adAggPortDebugPartnerChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 12}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Partner の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装] 規格と同じ。	●

2.23.3 dot3adTablesLastChanged グループ

(1) 識別子

```

member-body    OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us              OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3    OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs       OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB         OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }

dot3adTablesLastChanged OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 3 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.3

```

(2) 実装仕様

dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-101 dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adTablesLastChanged {lagMIBObjects 3}	R/O	[規格] dot3adAggTable, dot3adAggPortListTable, または dot3adAggPortTable に変化が起きた最近の時間。 [実装] 規格と同じ。	●

2.24 snmpModules グループ (SNMPv3 情報 MIB)

2.24.1 snmpFrameworkMIB グループ (SNMP-FRAMEWORK-MIB)

snmpFrameworkMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3411 (December 2002)

(1) 識別子

```
snmpFrameworkMIB      MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 10}
snmpFrameworkMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIB 2}

snmpEngine             OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.10.2.1
```

(2) 実装仕様

snmpFrameworkMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-102 snmpFrameworkMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpEngineID {snmpEngine 1}	R/O	[規格]SNMP エンジン管理のための ID。 オール 0, オール 0xff, 空 (0 バイト長) はありえない。 [実装] コンフィグレーションコマンドで設定, もしくはエージェントの自動生成。 • コンフィグレーションコマンド設定時 1 ~ 4 オクテット: 企業コードと 0x80000000 とのビット OR 5 オクテット: 4 固定 6 ~ 32 オクテット: コンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (27 文字以内) • エージェント自動生成時 1 ~ 4 オクテット: 企業コードと 0x80000000 とのビット OR 5 オクテット: 128 固定 6 ~ 9 オクテット: 乱数 10 ~ 13 オクテット: 現在時刻	●
2	snmpEngineBoots {snmpEngine 2}	R/O	[規格]snmpEngineID が最後に設定されてからの (再) 初期化回数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpEngineTime {snmpEngine 3}	R/O	[規格]snmpEngineBoots がインクリメントされてからの経過時間 (秒)。MAX 値を超えたら 0 にリセットされ, snmpEngineBoots がインクリメントされます。 [実装] 規格に同じ。	●
4	snmpEngineMaxMessageSize {snmpEngine 4}	R/O	[規格]snmp エンジンが送受信できる MAX メッセージサイズ。 [実装] 2048 固定。	●

2.24.2 snmpMPDMIB グループ (SNMP-MPD-MIB)

snmpMPDMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3412 (December 2002)

(1) 識別子

```

snmpMPDMIB          MODULE-IDENTITY      ::= { snmpModules 11 }
snmpMPDMIBObjects    OBJECT IDENTIFIER    ::= { snmpMPDMIB 2 }

snmpMPDStats          OBJECT IDENTIFIER    ::= { snmpMPDMIBObjects 1 }
オブジェクトID値  1.3.6.1.6.3.11.2.1

```

(2) 実装仕様

snmpMPDMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-103 snmpMPDMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpUnknownSecurityModels {snmpMPDStats 1}	R/O	[規格] サポート外 securityModel のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpInvalidMsgs {snmpMPDStats 2}	R/O	[規格] メッセージ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpUnknownPDULhandlers {snmpMPDStats 3}	R/O	[規格] アプリケーションで処理できない PDU を含んでいたため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.24.3 snmpTargetMIB グループ (SNMP-TARGET-MIB)

snmpTargetMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (December 2002)

(1) 識別子

```

snmpTargetMIB          MODULE-IDENTITY      ::= { snmpModules 12 }

snmpTargetObjects        OBJECT IDENTIFIER    ::= { snmpTargetMIB 1 }
オブジェクトID値  1.3.6.1.6.3.12.1

```

(2) 実装仕様

snmpTargetMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-104 snmpTargetMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpTargetSpinLock {snmpTargetObjects 1}	R/W	[規格] 複数のマネージャから SNMP-TARGET-MIB モジュールのテーブルエントリが変更要求を受けた場合のロック操作に使用されます。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpTargetAddrTable {snmpTargetObjects 2}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpTargetAddrEntry {snmpTargetAddrTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレスエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetAddrName } [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	snmpTargetAddrName {snmpTargetAddrEntry 1}	NA	[規格] snmpTargetAddEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータの <Target Name> に対応します。	●
5	snmpTargetAddrTDomain {snmpTargetAddrEntry 2}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTAddress オブジェクトのアドレスの伝送タイプ。 [実装] snmpUDPDDomain,transportDomainUdpIpv6 だけ設定可能。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータの {<IPv4 Address> <IPv6 Address>} の選択に対応します。	●
6	snmpTargetAddrTAddress {snmpTargetAddrEntry 3}	R/C	[規格] 伝送アドレス。本アドレスのフォーマットは、snmpTargetAddrTDomain で示されます。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータの <IPv4 Address> または <IPv6 Address> に対応します。	●
7	snmpTargetAddrTimeout {snmpTargetAddrEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリで定義される伝送アドレスと通信したときのタイムアウト値 (10 ミリ秒)。デフォルト値=1500。 [実装] 0 固定。ただし、Read_Only です。	●
8	snmpTargetAddrRetryCount {snmpTargetAddrEntry 5}	R/NW	[規格] 送信メッセージのレスポンスが届かなかったときのデフォルトのリトライ回数。デフォルト値=3。 [実装] 0 固定。ただし、Read_Only です。	●
9	snmpTargetAddrTagList {snmpTargetAddrEntry 6}	R/NW	[規格] snmpNotifyTag のリスト。デフォルト値="" [実装] "TRAP" 固定。ただし、Read_Only です。	●
10	snmpTargetAddrParams {snmpTargetAddrEntry 7}	R/C	[規格] snmpTargetParamsTable のエントリ。 [実装] 規格に同じ。ただし、本エントリの snmpTargetAddrRowStatus が active(1) の場合、変更前の本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータは削除され、変更後の本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータが追加されます。	●
11	snmpTargetAddrStorageType {snmpTargetAddrEntry 8}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3), コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	snmpTargetAddrRowStatus {snmpTargetAddrEntry 9}	R/C	[規格] 本エントリの状態。新たにエントリを追加した場合、snmpTargetAddrTDomain, snmpTargetAddrTAddress, snmpTargetAddrParams が設定されるまで notReady(3) が設定されます。本オブジェクトが active(1) の場合、snmpTargetAddrTDomain, snmpTargetAddrTAddress を変更してはならない。 [実装] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-notify で target パラメータが追加された際に 50 エントリを超える場合、snmpTargetAddrRowStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。本エントリをコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータに保存する際、以下のチェックを行います。チェック条件を満たさない場合はエラーとなります。 • snmpTargetAddrTDomain が snmpUDPDomain もしくは transportDomainUdpIpv6 であること。 • snmpTargetAddrTDomain が snmpUDPDomain の場合 snmpTargetAddrTAddress が 6 バイトであること。snmpTargetAddrTAddress のポート番号部 (5 オクテット目, 6 オクテット目) が 162 であること。 • snmpTargetAddrTDomain が transportDomainUdpIpv6 の場合 snmpTargetAddrTAddress が 18 バイトであること。snmpTargetAddrTAddress の IP アドレス部 (1 ~ 16 オクテット目) がグローバル IPv6 アドレスであること。snmpTargetAddrTAddress のポート番号部 (17 オクテット目, 18 オクテット目) が 162 であること。	●
13	snmpTargetParamsTable {snmpTargetObjects 3}	NA	[規格] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
14	snmpTargetParamsEntry {snmpTargetParamsTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpTargetParamsName {snmpTargetParamsEntry 1}	NA	[規格] snmpTargetParamsEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の <Notify Name> に対応します。	●
16	snmpTargetParamsMPModel {snmpTargetParamsEntry 2}	R/NW	[規格] SNMP メッセージを生成するときに用いるメッセージ処理モデル。 0 ~ 255 は IANA で管理されます。 0 : SNMPv1 1 : SNMPv2c 2 : SNMPv2u, SNMPv2* 3 : SNMPv3 256 以上は企業独自。 [実装] SNMPv3(3) 固定。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	snmpTargetParamsSecurityModel {snmpTargetParamsEntry 3}	R/NW	[規格] SNMP メッセージを生成するときのセキュリティモデル。 1 ～ 255 は IANA で管理されます。 0 : 特定のモデルなし 1 : SNMPv1 2 : SNMPv2c 3 : User-Based Security Model(USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM(3) 固定。ただし、Read_Only です。	●
18	snmpTargetParamsSecurityName {snmpTargetParamsEntry 4}	R/C	[規格] SNMP メッセージが生成されるときに用いられた手法を示す securityName。 [実装] 1 ～ 32 文字の文字列。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の user パラメータの <User Name> に対応します。	●
19	snmpTargetParamsSecurityLevel {snmpTargetParamsEntry 5}	R/C	[規格] SNMP メッセージ生成時のセキュリティレベル。 { noAuthNoPriv(1) -- 認証無, プライバシー無, authNoPriv(2) -- 認証有, プライバシー無, authPriv(3) -- 認証有, プライバシー有 } [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の user パラメータの {noauth auth priv} の選択に対応します。	●
20	snmpTargetParamsStorageType {snmpTargetParamsEntry 6}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3), コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	●
21	snmpTargetParamsRowStatus {snmpTargetParamsEntry 7}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合 snmpTargetParamsMPModel, snmpTargetParamsSecurityModel, snmpTargetParamsSecurityName, snmpTargetParamsSecurityLevel が設定されるまで notReady(3) が設定されます。 本オブジェクトが active(1) の場合 snmpTargetParamsMPModel, snmpTargetParamsSecurityModel, snmpTargetParamsSecurityName, snmpTargetParamsSecurityLevel を変更してはならない。 [実装] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の user パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の user パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-notify で user パラメータが追加された際に 50 エントリを超える場合、snmpTargetAddrRowStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	●
22	snmpUnavailableContexts {snmpTargetObjects 4}	R/O	[規格] メッセージ中のコンテキストが利用不可のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	snmpUnknownContexts {snmpTargetObjects 5}	R/O	[規格] メッセージ中のコンテキストが理解不可のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

注 1

R/NW は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write, Read_Create ですが本装置では Read_Only となっていることを示します。規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create の MIB は RowStatus を使用し

てエントリの追加は行えますが、エントリ追加後に Read_Only となります。

注 2

R/C は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Createであることを示します。

2.24.4 snmpNotificationMIB グループ (SNMP-NOTIFICATION-MIB)

snmpNotificationMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (December 2002)

(1) 識別子

```
snmpNotificationMIB      MODULE-IDENTITY      ::= {snmpModules 13}

snmpNotifyObjects        OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpNotificationMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.13.1
```

(2) 実装仕様

snmpNotificationMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-105 snmpNotificationMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpNotifyTable {snmpNotifyObjects 1}	NA	[規格]Notificationを受信する管理対象および、選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するテーブル。 [実装]規格に同じ。	●
2	snmpNotifyEntry {snmpNotifyTable 1}	NA	[規格]Notificationを受信する管理対象群および、選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpNotifyName } [実装]規格に同じ。	●
3	snmpNotifyName {snmpNotifyEntry 1}	NA	[規格]snmpNotifyEntry の名前。 [実装]"TRAP" 固定。	●
4	snmpNotifyTag {snmpNotifyEntry 2}	R/NW	[規格]snmpTargetAddrTable のエントリを特定するためのタグ値。 デフォルト値="" [実装]"TRAP" 固定。ただし、Read_Only です。	●
5	snmpNotifyType {snmpNotifyEntry 3}	R/NW	[規格]Notification の型。デフォルト値=trap(1)。 { trap(1), inform(2) } [実装]trap(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
6	snmpNotifyStorageType {snmpNotifyEntry 4}	R/NW	[規格]本エントリの保存形式。デフォルト値=nonVolatile。 [実装]readOnly(5) 固定。ただし、Read_Only です。	●
7	snmpNotifyRowStatus {snmpNotifyEntry 5}	R/NW	[規格]本エントリの状態。 [実装]active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●※
8	snmpNotifyFilterProfile Table {snmpNotifyObjects 2}	NA	[規格]Notification フィルタ定義を特定の対象パラメータに結びつけるテーブル。 [実装]規格に同じ。	●
9	snmpNotifyFilterProfile Entry {snmpNotifyFilterProfileTable 1}	NA	[規格]Notification を生成するときに使用するフィルタ定義エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装]規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	snmpNotifyFilterProfileName {snmpNotifyFilterProfileEntry 1}	R/C	[規格] フィルタ定義の名前。snmpTargetParamsTable と関連付けられます。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の notify-filter パラメータの <Filter Name> に対応します。	●
11	snmpNotifyFilterProfileStorageType {snmpNotifyFilterProfileEntry 2}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3), コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	●
12	snmpNotifyFilterProfileRowStatus {snmpNotifyFilterProfileEntry 3}	R/C	[規格] 本エントリの状態。新たにエントリを追加した場合、snmpNotifyFilterProfileName が設定されるまで notReady(3) が設定されます。 [実装] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の notify-filter パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の notify-filter パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-notify で notify-filter パラメータが追加された際に 50 エントリを超える場合、snmpNotifyFilterProfileRowStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	●
13	snmpNotifyFilterTable {snmpNotifyObjects 3}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルター定義のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
14	snmpNotifyFilterEntry {snmpNotifyFilterTable 1}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルター定義のエントリ。 INDEX { snmpNotifyFilterProfileName, IMPLIED snmpNotifyFilterSubtree } [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpNotifyFilterSubtree {snmpNotifyFilterEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyFilterMask の対応するインスタンスに組み合わされるとき、フィルター定義に含む、もしくは除外するサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。	●
16	snmpNotifyFilterMask {snmpNotifyFilterEntry 2}	R/C	[規格] snmpNotifyFilterSubtree の対応するインスタンスに組み合わされる、フィルター定義に含む、もしくは除外するサブツリーファミリを定義するビットマスク。 '1': 正確に合致する。 '0': ワイルドキャラ。 もし、このオブジェクトの長さが 0 であれば、この拡張規則は、すべて 1 でパディングになり、フィルターサブツリーファミリは snmpNotifyFilterSubtree の対応インスタンスによりユニークに特定されるサブツリーになります。デフォルト値 = "H"。 [実装] 規格に同じ。snmpNotifyFilterRowStatus が active(1) の場合に 32 ビットに満たないと '1' で 32 ビットに拡張されます。また、デフォルトはすべて '1' として扱われます。コンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter の mask パラメータの <Mask> に対応します。	●
17	snmpNotifyFilterType {snmpNotifyFilterEntry 3}	R/C	[規格] このオブジェクトは本エントリで定義されるフィルターサブツリーファミリがフィルタに含まれる、もしくは除外されるか示します。デフォルト値 =included。 { included(1) excluded(2) } [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter の {include exclude} の選択に対応します。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	snmpNotifyFilterStorageType {snmpNotifyFilterEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3), コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし, Read_Only です。	●
19	snmpNotifyFilterRowStatus {snmpNotifyFilterEntry 5}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。本オブジェクトが active(1) の場合, 本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter に保存されます。また, 本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合, 本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter から削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 500 エントリ, 同一の snmpNotifyFilterProfileName を持つエントリの最大エントリ数は 30 エントリです。また, コンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter が追加された際にこの最大エントリ数を超える場合, snmpNotifyFilterRowStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち, 辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	●

注 1

R/NW は, 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write, Read_Create ですが本装置では Read_Only となっていることを示します。規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create の MIB は RowStatus を使用してエントリの追加は行えますが, エントリ追加後に Read_Only となります。

注 2

R/C は, 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create であることを示します。

注※

SYNTAX が RowStatus のためエントリの追加 / 削除は行えません。

2.24.5 snmpProxyMIB グループ (SNMP-PROXY-MIB)

snmpProxyMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (December 2002)

(1) 識別子

```
snmpProxyMIB          MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 14}
snmpProxyObjects      OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpProxyMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.14.1
```

(2) 実装仕様

snmpProxyMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-106 snmpProxyMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpProxyTable {snmpProxyObjects 2}	NA	[規格] プロキシ・フォワーダアプリケーションが使う変換パラメータのテーブル。 [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	snmpProxyEntry {snmpProxyTable 1}	NA	[規格] プロキシ・フォワーダアプリケーションが使う変換パラメータのエン트리。 INDEX { IMPLIED snmpProxyName } [実装] 未サポート。	×
3	snmpProxyName {snmpProxyEntry 1}	NA	[規格] snmpProxyEntry の名前 (1 ～ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
4	snmpProxyType {snmpProxyEntry 2}	R/C	[規格] 本エン트리で定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージの型。 { read(1), write(2), trap(3), inform(4) } [実装] 未サポート。	×
5	snmpProxyContextEngineID {snmpProxyEntry 3}	R/C	[規格] 本エン트리で定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージに含まれる contextEngineID。 [実装] 未サポート。	×
6	snmpProxyContextName {snmpProxyEntry 4}	R/C	[規格] 本エン트리で定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージに含まれる contextName。 [実装] 未サポート。	×
7	snmpProxyTargetParamsIn {snmpProxyEntry 5}	R/C	[規格] snmpTargetParamsTable のエン트리を特定する。 [実装] 未サポート。	×
8	snmpProxySingleTargetOut {snmpProxyEntry 6}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTable で定義される管理対象を特定します。 [実装] 未サポート。	×
9	snmpProxyMultipleTargetOut {snmpProxyEntry 7}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTable で定義される管理対象を特定します。 [実装] 未サポート。	×
10	snmpProxyStorageType {snmpProxyEntry 8}	R/C	[規格] 本エンentriesの保存形式。 [実装] 未サポート。	×
11	snmpProxyRowStatus {snmpProxyEntry 9}	R/C	[規格] 本エンentriesの状態。 [実装] 未サポート。	×

注

R/C は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Createであることを示します。

2.24.6 snmpUsmMIB グループ (SNMP-USER-BASED-SM-MIB)

snmpUsmMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3414 (December 2002)

(1) 識別子

```

snmpUsmMIB      MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 15}
usmMIBObjects   OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpUsmMIB 1}

usmStats        OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.1

usmUser         OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.2

```

(2) 実装仕様

snmpUsmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-107 snmpUsmMIB の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	usmStatsUnsupportedSecLevels {usmStats 1}	R/O	[規格] セキュリティレベル不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	usmStatsNotInTimeWindows {usmStats 2}	R/O	[規格] WindowTime が範囲外のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	usmStatsUnknownUserNames {usmStats 3}	R/O	[規格] ユーザ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	usmStatsUnknownEngineIDs {usmStats 4}	R/O	[規格] 認識外の snmpEngineID を参照しているため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	usmStatsWrongDigests {usmStats 5}	R/O	[規格] 期待されるダイジェスト値を含んでいないため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	usmStatsDecryptionErrors {usmStats 6}	R/O	[規格] 復号できなかったため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	usmUserSpinLock {usmUser 1}	R/NW	[規格] usmUserTable の秘密を変更する場合のロック操作に使用されます。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	usmUserTable {usmUser 2}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD(Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
9	usmUserEntry {usmUserTable 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD(Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブルのエントリ。 INDEX { usmUserEngineID, usmUserName } [実装] 規格に同じ。	●
10	usmUserEngineID {usmUserEntry 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの管理のための ID。 [実装] 規格に同じ。	●
11	usmUserName {usmUserEntry 2}	NA	[規格] ユーザを示す判読可能な名前。これは USM が依存するセキュリティ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
12	usmUserSecurityName {usmUserEntry 3}	R/O	[規格] セキュリティモデルに依存しない形式のユーザを示す判読可能な名前。usmUserName と同じ値。 [実装] 規格に同じ。	●
13	usmUserCloneFrom {usmUserEntry 4}	R/NW	[規格] 新しいエントリを追加する際に複製元となる別のエントリへのポインタ。このオブジェクトが読まれる場合、0.0 の OID が返されます。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
14	usmUserAuthProtocol {usmUserEntry 5}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンの認証プロトコル。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	usmUserAuthKeyChange {usmUserEntry 6}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定されます。このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返されます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	●
16	usmUserOwnAuthKeyChange {usmUserEntry 7}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定されます。このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返されます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	●
17	usmUserPrivProtocol {usmUserEntry 8}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンのプライバシープロトコルが使用。デフォルト値 =usmNoPrivProtocol。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
18	usmUserPrivKeyChange {usmUserEntry 9}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される暗号キーを生成するオブジェクト。要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定されます。このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返されます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	●
19	usmUserOwnPrivKeyChange {usmUserEntry 10}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される暗号キーを生成するオブジェクト。要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定されます。このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返されます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	●
20	usmUserPublic {usmUserEntry 11}	R/NW	[規格] ユーザの認証キー、暗号キーを変更する処理で生成される値。後でキーの変更が有効であったか判定するために利用できます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	●
21	usmUserStorageType {usmUserEntry 12}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] readOnly(5) 固定。ただし、Read_Only です。	●
22	usmUserStatus {usmUserEntry 13}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	●※

注

R/NW は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write, Read_Create ですが本装置では Read_Only となっていることを示します。規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create の MIB は RowStatus を使用してエントリの追加は行えますが、エントリ追加後に Read_Only となります。

注※

SYNTAX が RowStatus のためエントリの追加 / 削除は行えません。

2.24.7 snmpVacmMIB グループ (SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB)

snmpVacmMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3415 (December 2002)

(1) 識別子

```

snmpVacmMIB          MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 16}

vacmMIBObjects        OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpVacmMIB 1}
オブジェクトID値     1.3.6.1.6.3.16.1

```

vacmMIBViews OBJECT IDENTIFIER ::= {vacmMIBObjects 5}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.16.1.5

(2) 実装仕様

snmpVacmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-108 snmpVacmMIB の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vacmContextTable {vacmMIBObjects 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	vacmContextEntry {vacmContextTable 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブルのエントリ。 INDEX { vacmContextName } [実装] 規格に同じ。	●
3	vacmContextName {vacmContextEntry 1}	R/O	[規格] 特定の SNMP エンティティの特定のコンテキストを示す読解可能な名前。空の contextName は、デフォルトコンテキストを示します。 [実装] デフォルトコンテキスト固定。	●
4	vacmSecurityToGroupTable {vacmMIBObjects 2}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するために使われるテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	vacmSecurityToGroupEntry {vacmSecurityToGroupTable 1}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するために使われるエントリ。securityModel と securityName をペアにした groupName を示します。 INDEX { vacmSecurityModel, vacmSecurityName } [実装] 規格に同じ。	●
6	vacmSecurityModel {vacmSecurityToGroupEntry 1}	NA	[規格] 本エントリで参照される vacmSecurityName のセキュリティモデル。0 は指定不可。 1 ～ 255 は IANA で管理されます。 0：特定のモデルなし 1：SNMPv1 2：SNMPv2c 3：User-Based Security Model(USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM(3) 固定。	●
7	vacmSecurityName {vacmSecurityToGroupEntry 2}	NA	[規格] securityName 主に、セキュリティモデルから独立した形式での表示、本エントリから groupName ヘマップされます。 [実装] 規格に同じ。	●
8	vacmGroupName {vacmSecurityToGroupEntry 3}	R/C	[規格] 本エントリが所属するグループ名。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の <Group Name> に対応します。	●
9	vacmSecurityToGroupStorageType {vacmSecurityToGroupEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3)、コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	vacmSecurityToGroupStatus {vacmSecurityToGroupEntry 5}	R/C	[規格] 本エントリの状態。新たにエントリを追加した場合、vacmGroupName が設定されるまで notReady(3) が設定されます。 [実装] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-group の user パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-group の user パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリ、同一の vacmGroupName を持つエントリの最大エントリ数は 10 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-group で user パラメータが追加された際にこの最大エントリ数を超える場合、vacmSecurityToGroupStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	●
11	vacmAccessTable {vacmMIBObjects 4}	NA	[規格] グループのアクセス権のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
12	vacmAccessEntry {vacmAccessTable 1}	NA	[規格] グループのアクセス権のエントリ。 INDEX { vacmGroupName, vacmAccessContextPrefix, vacmAccessSecurityModel, vacmAccessSecurityLevel } [実装] 規格に同じ。	●
13	vacmAccessContextPrefix {vacmAccessEntry 1}	NA	[規格] 本エントリでアクセス権を取得するために比較する値。 [実装] 規格に同じ。	●
14	vacmAccessSecurityModel {vacmAccessEntry 2}	NA	[規格] 本エントリのアクセス権を取得するために必要な securityModel。 1 ~ 255 は IANA で管理されます。 0 : 特定のモデルなし 1 : SNMPv1 2 : SNMPv2c 3 : User-Based Security Model(USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM(3) 固定。	●
15	vacmAccessSecurityLevel {vacmAccessEntry 3}	NA	[規格] 本エントリのアクセス権を取得するために必要なセキュリティレベル。 { noAuthNoPriv(1) -- 認証無, プライバシー無, authNoPriv(2) -- 認証有, プライバシー無, authPriv(3) -- 認証有, プライバシー有 } [実装] 規格に同じ。	●
16	vacmAccessContextMatch {vacmAccessEntry 4}	R/C	[規格] exact(1) : contextName が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択されます。 prefix(2) : contextName の先頭文字が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択されます。 デフォルト値 = exact。 { exact(1), prefix(2) } [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータの {exact prefix} の選択に対応します。	●
17	vacmAccessReadOnlyViewName {vacmAccessEntry 5}	R/C	[規格] 本エントリが読み込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。デフォルト値 = "H"。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータの read パラメータの <View Name> に対応します。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	vacmAccessWriteViewName {vacmAccessEntry 6}	R/C	[規格] 本エントリが書き込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。デフォルト値="H"。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータの write パラメータの <View Name> に対応します。	●
19	vacmAccessNotifyViewName {vacmAccessEntry 7}	R/C	[規格] 本エントリが notifications アクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。デフォルト値="H"。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータの notify パラメータの <View Name> に対応します。	●
20	vacmAccessStorageType {vacmAccessEntry 8}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト値=nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3)、コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	●
21	vacmAccessStatus {vacmAccessEntry 9}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリ、同一の vacmGroupName を持つエントリの最大エントリ数は 10 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-group で access パラメータが追加された際にこの最大エントリ数を超える場合、vacmAccessStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	●
22	vacmViewSpinLock {vacmMIBViews 1}	R/W	[規格] ビュー作成もしくは変更の SET 操作を行うため、共同する SNMP コマンドジェネレータアプリケーションに協調を許すための勧告ロック。 これは、勧告ロックであるので、使用は強制でない。 [実装] 規格に同じ。	●
23	vacmViewTreeFamilyTable {vacmMIBViews 2}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存テーブル。すべてのビューサブツリーは、包含も除外も、このテーブルで定義されます。 [実装] 規格に同じ。	●
24	vacmViewTreeFamilyEntry {vacmViewTreeFamilyTable 1}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存エントリ。 INDEX { vacmViewTreeFamilyViewName, vacmViewTreeFamilySubtree } [実装] 規格に同じ。	●
25	vacmViewTreeFamilyViewName {vacmViewTreeFamilyEntry 1}	NA	[規格] 人間に判読可能なビューサブツリーファミリの名前。 [実装] 規格に同じ。	●
26	vacmViewTreeFamilySubtree {vacmViewTreeFamilyEntry 2}	NA	[規格] ビューサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
27	vacmViewTreeFamilyMask {vacmViewTreeFamilyEntry 3}	R/C	[規格] vacmViewTreeFamilySubtree のマスク値。 '1': 正確な一致が発生しなければならない。 '0': 'wild card' を示す。 このオブジェクトの長さが 0 の場合、すべて '1' のマスクが使用されます。 [実装] 規格に同じ。ただし、最大 32 ビットで、vacmViewTreeFamilyStatus が active(1) の場合に 32 ビットに満たないと '1' で 32 ビットに拡張されます。また、デフォルトはすべて '1' として扱われます。コンフィグレーションコマンド snmp-view の mask パラメータの <Mask> に対応します。	●
28	vacmViewTreeFamilyType {vacmViewTreeFamilyEntry 4}	R/C	[規格] MIB ビューの包含 / 除外を示します。デフォルト値 =included。 {included(1), excluded(2)} [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-view の {include exclude} の選択に対応します。	●
29	vacmViewTreeFamilyStorageType {vacmViewTreeFamilyEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリの保存形式。デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3)、コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	●
30	vacmViewTreeFamilyStatus {vacmViewTreeFamilyEntry 6}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-view に保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-view から削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 500 エントリ、同一の vacmViewTreeFamilyViewName を持つエントリの最大エントリ数は 30 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-view で <SubTree> が追加された際にこの最大エントリ数を超える場合、vacmViewTreeFamilyStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	●

注 1

R/NW は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write, Read_Create ですが本装置では Read_Only となっていることを示します。規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create の MIB は RowStatus を使用してエントリの追加は行えますが、エントリ追加後に Read_Only となります。

注 2

R/C は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create であることを示します。

2.24.8 snmpCommunityMIB グループ (SNMP-COMMUNITY-MIB)

snmpCommunityMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3584 (August 2003)

(1) 識別子

```
snmpCommunityMIB          MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 18}

snmpCommunityMIBObjects   OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpCommunityMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.18.1
```

(2) 実装仕様

snmpCommunityMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-109 snmpCommunityMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpCommunityTable {snmpCommunityMIBObjects 1}	NA	[規格]SNMP エンジンの LCD に構成されるコミュニティストリングのテーブル。 [実装] 未サポート。	×
2	snmpCommunityEntry {snmpCommunityTable 1}	NA	[規格]SNMP エンジンの LCD に構成されるコミュニティストリングのエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpCommunityIndex } [実装] 未サポート。	×
3	snmpCommunityIndex {snmpCommunityEntry 1}	NA	[規格] 本エントリのインデックス (0 ～ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
4	snmpCommunityName {snmpCommunityEntry 2}	R/C	[規格] 本エントリのコミュニティ名。このオブジェクトはサイズ制限がない。 [実装] 未サポート。	×
5	snmpCommunitySecurityName {snmpCommunityEntry 3}	R/C	[規格] セキュリティモデルに独立したフォーマットの snmpCommunityName に対応するストリング (0 ～ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
6	snmpCommunityContextEngineID {snmpCommunityEntry 4}	R/C	[規格] snmpCommunityName の対応するインスタンスで示される、管理情報のコンテキストのありかを示す contextEngineID。 [実装] 未サポート。	×
7	snmpCommunityContextName {snmpCommunityEntry 5}	R/C	[規格] snmpCommunityName の対応するインスタンスで示される管理情報のコンテキスト (0 ～ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
8	snmpCommunityTransportTag {snmpCommunityEntry 6}	R/C	[規格] トランスポートエンドポイントのセットを特定するためのタグ値。 [実装] 未サポート。	×
9	snmpCommunityStorageType {snmpCommunityEntry 7}	R/C	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] 未サポート。	×
10	snmpCommunityStatus {snmpCommunityEntry 8}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 未サポート。	×
11	snmpTargetAddrExtTable {snmpCommunityMIBObjects 2}	NA	[規格] snmpTargetAddrTable に結びついたマスクと mms 値のテーブル。 [実装] 未サポート。	×
12	snmpTargetAddrExtEntry {snmpTargetAddrExtTable 1}	NA	[規格] snmpTargetAddrTable に結びついたマスクと mms 値のエントリ。 AUGMENTS {snmpTargetAddrEntry } [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	snmpTargetAddrTMask {snmpTargetAddrExtEntry 1}	R/C	[規格]snmpTargetAddrTable のエン트리と結びついたマスク値 (0 ~ 255 文字)。 '1' のビットは, snmpTargetAddrTAddress のビットに合致するトランスポートアドレスのビットを示します。 '0' のビットは, snmpTargetAddrTAddress のビットに合致しない伝送アドレスのビットを示します。 [実装] 未サポート。	×
14	snmpTargetAddrMMS {snmpTargetAddrExtEntry 2}	R/C	[規格]snmpTargetAddrTable のエン트리と結びついた最大メッセージ・サイズ値。値の範囲は 0 もしくは 484 ~ 2147483647 [実装] 未サポート。	×
15	snmpTrapAddress {snmpCommunityMIBObjects 3}	AN	[規格]SNMPv1 以外の SNMP バージョンを使用した Proxy Forwarding Applications によって転送されるトラップ PDU の agent-addr フィールドの値。 [実装] 未サポート。	×
16	snmpTrapCommunity {snmpCommunityMIBObjects 4}	AN	[規格]SNMPv1 以外の SNMP バージョンを使用した Proxy Forwarding Applications によって転送される, トラップ PDU を含んだ SNMPv1 メッセージのコミュニティ・ストリング・フィールドの値。 [実装] 未サポート。	×

注

R/C は, 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Createであることを示します。

3

プライベート MIB

この章では本装置で使用するプライベート MIB の実装仕様について説明します。

3.1	axrStats グループ (統計情報 MIB)
3.2	axrVpn グループ (VPN 情報 MIB) 【OP-MPLS】
3.3	axrMpls グループ (MPLS 情報 MIB) 【OP-MPLS】
3.4	axrOadp グループ (OADP 情報 MIB)
3.5	axrFlow グループ (FLOW 情報 MIB)
3.6	axrOspfMib グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB)
3.7	axrOspfV3 グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB)
3.8	axrIisisMib グループ (IS-IS 情報 MIB) 【OP-ISIS】
3.9	axrStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)
3.10	axrBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)
3.11	axrLogin グループ (ログイン情報 MIB)
3.12	axrLldp グループ (LLDP 情報 MIB)
3.13	axrBfdMib グループ (BFD 情報 MIB) 【OP-BFD】
3.14	ax7800rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB) 【AX7800R】
3.15	ax7800rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX7800R】
3.16	ax7700rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB) 【AX7700R】
3.17	ax7700rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX7700R】
3.18	icmp グループ (HP プライベート MIB)
3.19	sFlow グループ (InMon プライベート MIB)

3.1 axrStats グループ (統計情報 MIB)

3.1.1 axrPhysStats グループ

次に示す axrPhysStats グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

(1) 識別子

```
axrStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 1}

axrPhysStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrStats 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1
```

(2) 実装仕様

axrPhysStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-1 axrPhysStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrPhysStatsTable {axrPhysStats 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	物理層およびチャネルの統計情報テーブル。	●
2	axrPhysStatsEntry {axrPhysStatsTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	物理層およびチャネルの統計情報エントリ 情報。 [index] {axrPhysStatsIfIndex }	●
3	axrPhysStatsIfIndex {axrPhysStatsEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	POS の物理層およびチャネル層の IfIndex 値。	●
4	axrPhysStatsIfDescr {axrPhysStatsEntry 2}	DisplayStri ng	R/O	このインタフェースの説明。 interface グループの ifDescr と同じ文字列。	●
5	axrPhysStatsIfType {axrPhysStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	ハードウェアのタイプを示す。 other(1) OC-48c/STM-16 POS(103) OC-192c/STM-64 POS(104)	●
6	axrPhysStatsInFCSs {axrPhysStatsEntry 4}	Counter	R/O	FCS エラーフレームの受信数。	●
7	axrPhysStatsInAborts {axrPhysStatsEntry 5}	Counter	R/O	アボートフレームの受信数。	●
8	axrPhysStatsOverrun {axrPhysStatsEntry 6}	Counter	R/O	受信時にオーバーランが発生した回数。 0 固定。	▲
9	axrPhysStatsUnderrun {axrPhysStatsEntry 7}	Counter	R/O	送信時にアンダーランが発生した回数。	●
10	axrPhysStatsInOddbits {axrPhysStatsEntry 8}	Counter	R/O	端数ビット受信数。 0 固定。	▲
11	axrPhysStatsInShortfrms {axrPhysStatsEntry 9}	Counter	R/O	ショートフレーム受信数。	●
12	axrPhysStatsSendTimeout {axrPhysStatsEntry 10}	Counter	R/O	送信完了タイムアウト回数。 0 固定。	▲
13	axrPhysStatsOutAborts {axrPhysStatsEntry 11}	Counter	R/O	アボートフレームの送信数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axrPhysStatsInLongfrms {axrPhysStatsEntry 12}	Counter	R/O	ロングフレーム受信数。	●

3.1.2 axrSonetStats グループ

次に示す axrSonetStats グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

(1) 識別子

axrStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 1}

axrSonetStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrStats 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3

(2) 実装仕様

axrSonetStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-2 axrSonetStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrSonetSectionStatsTable {axrSonetStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET インタフェースセクション統計情報テーブル。	●
2	axrSonetSectionStatsEntry {axrSonetSectionStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET インタフェースセクション統計情報エントリ情報。 [index] {axrSonetSectionStatsIfIndex}	●
3	axrSonetSectionStatsIfIndex {axrSonetSectionStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET を使用するインタフェースの IfIndex 値。	●
4	axrSonetSectionStatsLOS {axrSonetSectionStatsEntry 2}	Counter	R/O	LOS (Loss Of Signal) 受信信号の回数。	●
5	axrSonetSectionStatsLOF {axrSonetSectionStatsEntry 3}	Counter	R/O	LOF (Loss Of Frame) フレームの消失 OOF 状態が 3 ミリ秒継続した回数。	●
6	axrSonetSectionStatsOOF {axrSonetSectionStatsEntry 4}	Counter	R/O	OOF (Out Of Frame) フレーム同期外れの回数。	●
7	axrSonetSectionStatsBIP8 {axrSonetSectionStatsEntry 5}	Counter	R/O	S-BIP8 (Section-Bit Interleaved Parity 8) BIP8 演算エラー発生回数。	●
8	axrSonetSectionStatsB2EBER {axrSonetSectionStatsEntry 6}	Counter	R/O	B2 EBER (Excessive Bit Error Ratio) 発生回数。	●
9	axrSonetSectionStatsB2SD {axrSonetSectionStatsEntry 7}	Counter	R/O	B2 SD (Signal Degrade) 発生回数。	●
10	axrSonetLineStatsTable {axrSonetStats 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET インタフェースライン統計情報テーブル。	●
11	axrSonetLineStatsEntry {axrSonetLineStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET インタフェースライン統計情報エントリ情報。 [index] {axrSonetLineStatsIfIndex}	●
12	axrSonetLineStatsIfIndex {axrSonetLineStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET を使用するインタフェースの IfIndex 値。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axrSonetLineStatsAIS {axrSonetLineStatsEntry 2}	Counter	R/O	L-AIS (Line-Alarm Indication Signal) 送信元装置で L-AIS 発生中となった回数。	●
14	axrSonetLineStatsRDI {axrSonetLineStatsEntry 3}	Counter	R/O	L-RDI (Line-Remote Defect Indication) 送信先装置が LOS, LOF, L-AIS 検出中となった回数。	●
15	axrSonetLineStatsBIP24 {axrSonetLineStatsEntry 4}	Counter	R/O	L-BIP24 (Line-Bit Interleaved Parity 24) BIP24 演算エラー発生回数。 0 固定。	▲
16	axrSonetLineStatsFEFE {axrSonetLineStatsEntry 5}	Counter	R/O	L-FEFE (Line-Far End Block Error) 送信先装置が L-BIP24 の検出回数。 0 固定。	▲
17	axrSonetLineStatsBIP384 {axrSonetLineStatsEntry 6}	Counter	R/O	L-BIP384 (Line-Bit Interleaved Parity 384) BIP384 演算エラー発生回数。 OC-48c/STM-16 POS の場合。	●
18	axrSonetLineStatsBIP1536 {axrSonetLineStatsEntry 7}	Counter	R/O	L-BIP1536 (Line-Bit Interleaved Parity 1536) BIP1536 演算エラー発生回数。 OC-192c/STM-64 POS の場合。	●
19	axrSonetLineStatsREI {axrSonetLineStatsEntry 8}	Counter	R/O	L-REI (Line-Remote Error Indication) 送信先装置が L-BIP384 または L-BIP1536 の検出回数。	●
20	axrSonetPathStatsTable {axrSonetStats 3}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET インタフェースパス統計情報テーブル。	●
21	axrSonetPathStatsEntry {axrSonetPathStatsTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET インタフェースパス統計情報エントリ情報。 [index] {axrSonetPathStatsIfIndex}	●
22	axrSonetPathStatsIfIndex {axrSonetPathStatsEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET を使用するインタフェースの IfIndex 値。	●
23	axrSonetPathStatsLOP {axrSonetPathStatsEntry 2}	Counter	R/O	P-LOP (Path-Loss Of Pointer) ポインタ異常。OOF 検出中は強制的に LOP 状態となった回数。	●
24	axrSonetPathStatsAIS {axrSonetPathStatsEntry 3}	Counter	R/O	P-AIS (Path-Alarm Indication Signal) 送信元装置で P-AIS 発生中となった回数。	●
25	axrSonetPathStatsRDI {axrSonetPathStatsEntry 4}	Counter	R/O	P-RDI (Path-Remote Defect Indication) 送信先装置が LOS, LOF, P-AIS 検出中となった回数。	●
26	axrSonetPathStatsBIP8 {axrSonetPathStatsEntry 5}	Counter	R/O	P-BIP8 (Path-Bit Interleaved Parity 8) BIP8 演算エラー回数。	●
27	axrSonetPathStatsFEFE {axrSonetPathStatsEntry 6}	Counter	R/O	P-FEFE (Path-Far End Block Error) 送信先が P-BIP8 エラーを検出した回数。 0 固定。	▲
28	axrSonetPathStatsREI {axrSonetPathStatsEntry 7}	Counter	R/O	P-REI (Path-Remote Error Indication) 送信先が P-BIP8 エラーを検出した回数。	●
29	axrSonetRDIPathStatsAISLOP {axrSonetPathStatsEntry 8}	Counter	R/O	RDI P-AIS/P-LOP (Remote Defect Indication Path-Alarm Indication Signal/ Path-Loss Of Pointer) 送信元装置で RDI P-AIS/P-LOP 発生中となった回数。	●
30	axrSonetRDIPathStatsUNEQ {axrSonetPathStatsEntry 9}	Counter	R/O	RDI P-UNEQ (Remote Defect Indication Path-UNEQUIPMENT) 送信元装置で RDI P-UNEQ 発生中となった回数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
31	axrSonetRDIPathStatsPLM {axrSonetPathStatsEntry 10}	Counter	R/O	RDI P-PLM (Remote Defect Indication Path-Payload Label Mismatch) 送信元装置で RDI P-PLM 発生中となった回数。	●
32	axrSonetPathStatsUNEQ {axrSonetPathStatsEntry 11}	Counter	R/O	P-UNEQ (Path-UNEQuipment) 送信元装置で P-UNEQ 発生中となった回数。	●
33	axrSonetPathStatsPLM {axrSonetPathStatsEntry 12}	Counter	R/O	P-PLM (Path-Payload Label Mismatch) 送信元装置で P-PLM 発生中となった回数。	●

3.1.3 axrIfStats グループ

(1) 識別子

```
axrStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 1}

axrIfStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrStats 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4
```

(2) 実装仕様

axrIfStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-3 axrIfStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrIfStatsTable {axrIfStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブル。	●
2	axrIfStatsEntry {axrIfStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 [index] {axrIfStatsIndex}	●
3	axrIfStatsIndex {axrIfStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインタフェースインデックス。 IfIndex と同じ。	●
4	axrIfStatsName {axrIfStatsEntry 2}	DisplayString	R/O	インタフェースの名称。ifDescr と同じ。	●
5	axrIfStatsInMegaOctets {axrIfStatsEntry 3}	Counter	R/O	受信した総オクテット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
6	axrIfStatsInUcastMegaPkts {axrIfStatsEntry 4}	Counter	R/O	受信したユニキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
7	axrIfStatsInMulticastMegaPkts {axrIfStatsEntry 5}	Counter	R/O	受信したマルチキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●※
8	axrIfStatsInBroadcastMegaPkts {axrIfStatsEntry 6}	Counter	R/O	受信したブロードキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●※
9	axrIfStatsOutMegaOctets {axrIfStatsEntry 7}	Counter	R/O	送信した総オクテット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
10	axrIfStatsOutUcastMegaPkts {axrIfStatsEntry 8}	Counter	R/O	ユニキャスト送信したパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
11	axrIfStatsOutMulticastMegaPkts {axrIfStatsEntry 9}	Counter	R/O	マルチキャスト送信したパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●※
12	axrIfStatsOutBroadcastMegaPkts {axrIfStatsEntry 10}	Counter	R/O	ブロードキャスト送信したパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●※

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axrIfStatsHighSpeed {axrIfStatsEntry 11}	Counter	R/O	回線スピード (単位: Mbit/s)。Mbit/s 未満は切り捨て。コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。	●

注※ POS の場合, 0 固定になります。

3.1.4 axrQoS グループ

(1) 識別子

```
axrStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 1}

axrQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axrStats 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6

axrEtherTxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axrQoS 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1

axrEthShaper OBJECT IDENTIFIER ::= {axrQoS 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4

axrEthShaperAgQue OBJECT IDENTIFIER ::= {axrQoS 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5
```

(2) 実装仕様

axrQoS グループの実装仕様を「表 3-4 axrQoS グループの実装仕様 (イーサネットワークインタフェースの QoS 統計情報)」, axrEthShaperStats グループの実装仕様を「表 3-5 axrEthShaperStats グループの実装仕様 (Shaper 統計情報)」, axrEthShaperAgQueStats グループの実装仕様を「表 3-6 axrEthShaperAgQueStats グループの実装仕様 (Shaper 統計情報)」に示します。

表 3-4 axrQoS グループの実装仕様 (イーサネットワークインタフェースの QoS 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrEtherTxQoSStatsTable {axrEtherTxQoS 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	QoS 統計情報のテーブル情報。	●
2	axrEtherTxQoSStatsEntry {axrEtherTxQoSStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	イーサネットワークインタフェースごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] {axrEtherTxQoSStatsIndex}	●
3	axrEtherTxQoSStatsIndex {axrEtherTxQoSStatsEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (イーサネットワークの ifIndex 値) を示します。 1 ~ ifNumber までの値。	●
4	axrEtherTxQoSStatsMaxQnum {axrEtherTxQoSStatsEntry 2}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのキュー数の最大値を示します。	●
5	axrEtherTxQoSStatsLimitQlen {axrEtherTxQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	該当インタフェースの出力優先度キュー長の限界値を示します。	●
6	axrEtherTxQoSStatsTotalOutFrames {axrEtherTxQoSStatsEntry 4}	Counter	R/O	該当インタフェースの総送信フレーム数を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axrEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh {axrEtherTxQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	該当インタフェースの総送信バイト数 (上位 4 バイト) を示します。	●
8	axrEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow {axrEtherTxQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	該当インタフェースの総送信バイト数 (下位 4 バイト) を示します。	●
9	axrEtherTxQoSStatsTotalDiscardedFrames {axrEtherTxQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	該当インタフェースの総廃棄フレーム数を示します。	●
10	axrEtherTxQoSStatsQueueTable {axrEtherTxQoS 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。	●
11	axrEtherTxQoSStatsQueueEntry {axrEtherTxQoSStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] {axrEtherTxQoSStatsQueueIndex, axrEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex}	●
12	axrEtherTxQoSStatsQueueIndex {axrEtherTxQoSStatsQueueEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (イーサネットワークの ifIndex 値) を示します。 1 ~ ifNumber までの値。	●
13	axrEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex {axrEtherTxQoSStatsQueueEntry 2}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ~ axrEtherTxQoSStatsMaxQnum までの値。	●
14	axrEtherTxQoSStatsQueueQlen {axrEtherTxQoSStatsQueueEntry 3}	INTEGER	R/O	情報採取時の出力優先度キュー長を示します。	●
15	axrEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen {axrEtherTxQoSStatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去または初期化してからの該当インタフェースの最大の出力優先度キュー長を示します。	●
16	axrEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 {axrEtherTxQoSStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューの廃棄クラス 1 での廃棄フレーム数を示します。	●
17	axrEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 {axrEtherTxQoSStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューの廃棄クラス 2 での廃棄フレーム数を示します。	●
18	axrEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 {axrEtherTxQoSStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューの廃棄クラス 3 での廃棄フレーム数を示します。	●
19	axrEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 {axrEtherTxQoSStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューの廃棄クラス 4 での廃棄フレーム数を示します。	●

表 3-5 axrEthShaperStats グループの実装仕様 (Shaper 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrEthShaperStatsFlowOtherFrmTable {axrEthShaper 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ether Shaper LINE ごとのシェーピング対象外フレーム Shaper 統計情報のテーブル情報。	●
2	axrEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry {axrEthShaperStatsFlowOtherFrmTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ether Shaper LINE ごとのシェーピング対象外フレーム Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axrEthShaperStatsFlowOtherFrmNifIndex, axrEthShaperStatsFlowOtherFrmLineIndex}	●
3	axrEthShaperStatsFlowOtherFrmNifIndex {axrEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 1}	INTEGER	NA	該当 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7800rNifBoardNumber までの値。	●
4	axrEthShaperStatsFlowOtherFrmLineIndex {axrEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 2}	INTEGER	NA	該当物理回線番号の情報を示します。 1 ～ ax7800rNifPhysLineNumber までの値。	●
5	axrEthShaperStatsFlowOtherFrmOutFrames {axrEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 3}	Counter64	R/O	該当 LINE のシェーピング対象外フレーム総送信フレーム数を示します。※	●
6	axrEthShaperStatsFlowOtherFrmOutBytes {axrEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 4}	Counter64	R/O	該当 LINE のシェーピング対象外フレーム総送信バイト数を示します。※	●
7	axrEthShaperStatsFlowOtherFrmDiscardFrames {axrEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 5}	Counter64	R/O	該当 LINE のシェーピング対象外フレーム総廃棄フレーム数を示します。※	●
8	axrEthShaperStatsFlowOtherFrmDiscardBytes {axrEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 6}	Counter64	R/O	該当 LINE のシェーピング対象外フレーム総廃棄バイト数を示します。※	●

注※ clear shaper コマンドを実行した場合、0 クリアします。

表 3-6 axrEthShaperAgQueStats グループの実装仕様 (Shaper 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrEthShaperAgQueStatsTable {axrEthShaperAgQue 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Shaper 統計情報 (Ether Shaper Aggregated Queue) のテーブル情報。	●
2	axrEthShaperAgQueStatsEntry {axrEthShaperAgQueStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ether Shaper アグリゲートキューごとの Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axrEthShaperAgQueStatsNifIndex, axrEthShaperAgQueStatsLineIndex, axrEthShaperAgQueStatsAgNumber}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	axrEthShaperAgQueStatsNifIndex {axrEthShaperAgQueStatsEntry 1}	INTEGER	NA	当該 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7800rNifBoardNumber までの値。	●
4	axrEthShaperAgQueStatsLineIndex {axrEthShaperAgQueStatsEntry 2}	INTEGER	NA	当該物理回線番号の情報を示します。 1 ～ ax7800rNifPhysLineNumber までの値。	●
5	axrEthShaperAgQueStatsAgNumber {axrEthShaperAgQueStatsEntry 3}	INTEGER	NA	アグリゲートキュー番号 1 ～ 1023	●
6	axrEthShaperAgQueStatsTotalOutFrames {axrEthShaperAgQueStatsEntry 4}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの総送信フレーム数を示します。※	●
7	axrEthShaperAgQueStatsTotalOutBytes {axrEthShaperAgQueStatsEntry 5}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの総送信バイト数を示します。※	●
8	axrEthShaperAgQueStatsTotalDiscardFrames {axrEthShaperAgQueStatsEntry 6}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの総廃棄フレーム数を示します。※	●
9	axrEthShaperAgQueStatsTotalDiscardBytes {axrEthShaperAgQueStatsEntry 7}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの総廃棄バイト数を示します。※	●
10	axrEthShaperAgQueStatsQueueTable {axrEthShaperAgQue 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	当該アグリゲートキューの出力優先度キューごとの Shaper 統計情報テーブル情報。	●
11	axrEthShaperAgQueStatsQueueEntry {axrEthShaperAgQueStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	当該アグリゲートキューの出力優先度キューごとの Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axrEthShaperAgQueStatsQueueNifIndex , axrEthShaperAgQueStatsQueueLineIndex, axrEthShaperAgQueStatsQueueAgNumber, axrEthShaperAgQueStatsQueueQueueIndex}	●
12	axrEthShaperAgQueStatsQueueNifIndex {axrEthShaperAgQueStatsQueueEntry 1}	INTEGER	NA	当該 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7800rNifBoardNumber までの値。	●
13	axrEthShaperAgQueStatsQueueLineIndex {axrEthShaperAgQueStatsQueueEntry 2}	INTEGER	NA	当該物理回線番号の情報を示します。 1 ～ ax7800rNifPhysLineNumber までの値。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axrEthShaperAgQueueStatsQueueAgNumber {axrEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 3}	INTEGER	NA	アグリゲートキュー番号 1 ～ 1023	●
15	axrEthShaperAgQueueStatsQueueQueueIndex {axrEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 4}	INTEGER	NA	本テーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ～ 4 までの値。	●
16	axrEthShaperAgQueueStatsQueueOutFrames {axrEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの出力優先度キューの送信フレーム数を示します。※	●
17	axrEthShaperAgQueueStatsQueueOutBytes {axrEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの出力優先度キューの送信バイト数を示します。※	●
18	axrEthShaperAgQueueStatsQueueDiscardFrames {axrEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの出力優先度キューの廃棄フレーム数を示します。※	●
19	axrEthShaperAgQueueStatsQueueDiscardBytes {axrEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの出力優先度キューの廃棄バイト数を示します。※	●
20	axrEthShaperDefAgQueueStatsTable {axrEthShaperAgQueue 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Shaper 統計情報 (Ether Shaper デフォルトの Aggregated Queue) のテーブル情報。	●
21	axrEthShaperDefAgQueueStatsEntry {axrEthShaperDefAgQueueStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ether Shaper デフォルトのアグリゲートキューの Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axrEthShaperDefAgQueueStatsNifIndex, axrEthShaperDefAgQueueStatsLineIndex}	●
22	axrEthShaperDefAgQueueStatsNifIndex {axrEthShaperDefAgQueueStatsEntry 1}	INTEGER	NA	当該 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7800rNifBoardNumber までの値	●
23	axrEthShaperDefAgQueueStatsLineIndex {axrEthShaperDefAgQueueStatsEntry 2}	INTEGER	NA	当該物理回線番号の情報を示します。 1 ～ ax7800rNifPhysLineNumber までの値	●
24	axrEthShaperDefAgQueueStatsTotalOutFrames {axrEthShaperDefAgQueueStatsEntry 3}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの総送信フレーム数を示します。※	●
25	axrEthShaperDefAgQueueStatsTotalOutBytes {axrEthShaperDefAgQueueStatsEntry 4}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの総送信バイト数を示します。※	●
26	axrEthShaperDefAgQueueStatsTotalDiscardFrames {axrEthShaperDefAgQueueStatsEntry 5}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの総廃棄フレーム数を示します。※	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
27	axrEthShaperDefAgQueueStatsTotalDiscardBytes {axrEthShaperDefAgQueueStatsEntry 6}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの総廃棄バイト数を示します。※	●
28	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueTable {axrEthShaperAgQueue 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キュー毎の Shaper 統計情報のテーブル情報。	●
29	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キュー毎の Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueNifIndex, axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueLineIndex, axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueQueueIndex}	●
30	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueNifIndex {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 1}	INTEGER	NA	当該 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7800rNifBoardNumber までの値	●
31	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueLineIndex {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 2}	INTEGER	NA	当該物理回線番号の情報を示します。 1 ～ ax7800rNifPhysLineNumber までの値	●
32	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueQueueIndex {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 3}	INTEGER	NA	本テーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ～ 4 までの値。	●
33	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueOutFrames {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 4}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キューの送信フレーム数を示します。 ※	●
34	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueOutBytes {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キューの送信バイト数を示します。※	●
35	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueDiscardFrames {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キューの廃棄フレーム数を示します。 ※	●
36	axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueDiscardBytes {axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キューの廃棄バイト数を示します。※	●

注※ clear shaper コマンドを実行した場合、0 クリアします。

3.1.5 axrDHCP グループ

(1) 識別子

axrStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 1}

```
axrDHCP OBJECT IDENTIFIER ::= {axrStats 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.10
```

(2) 実装仕様

axrDHCP グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-7 axrDHCP グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrDHCP {axrStats 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	DHCP サーバに関する統計情報。	●
2	axrDHCPAddrValue {axrDHCP 1}	INTEGER	R/O	割当て可能な IP アドレス数。	●
3	axrDHCPFreeAddrValue {axrDHCP 2}	INTEGER	R/O	未割当て IP アドレス数。	●

3.1.6 axrIpStats グループ

(1) 識別子

```
axrStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 1}
axrIpStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrStats 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.12
```

(2) 実装仕様

axrIpStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-8 axrIpStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrIpStats {axrStats 12}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP に関する統計情報。	●
2	axrIpNullInDiscards {axrIpStats 1}	Counter64	R/O	NULL インタフェースによって廃棄された IPv4 パケット数。	●
3	axrIpv6NullInDiscards {axrIpStats 2}	Counter64	R/O	NULL インタフェースによって廃棄された IPv6 パケット数。	●
4	axrIpPimRegisterDiscards {axrIpStats 3} 【OP-MLT】	Counter64	R/O	PIM のレジスタチェックサムエラーによって廃棄された IPv4 パケット数。	●

3.2 axrVpn グループ (VPN 情報 MIB) 【OP-MPLS】

3.2.1 axrVpnIp グループ

(1) 識別子

axrVpn OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2

axrVpnIp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrVpn 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1

(2) 実装仕様

axrVpnIp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-9 axrVpnIp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrVpnIpAddrTable {axrVpnIp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このエンティティの IP アドレスに関連するアドレッシング情報のテーブル (IP アドレス別のアドレス情報テーブル)。	●
2	axrVpnIpAddrEntry {axrVpnIpAddrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このエンティティの IP アドレスの一つのためのアドレッシング情報のリスト [index] {axrVpnIpAddrVpnIndex, axrVpnIpAdEntAddr}	●
3	axrVpnIpAddrVpnIndex {axrVpnIpAddrEntry 1}	INTEGER	R/O	当該 VPN の VPN インデックス。VPN ごとにつけられたユニークな番号。 注 ユーザが指定した当該 VPN の VPN インデックスは, axrVpnIpAdEntDescr で表示されます。	●
4	axrVpnIpAdEntAddr {axrVpnIpAddrEntry 2}	IpAddress	R/O	IP アドレス	●
5	axrVpnIpAdEntIfIndex {axrVpnIpAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェースの ID 番号, ポートの ifIndex。	●
6	axrVpnIpAdEntNetMask {axrPhysStatsEntry 4}	IpAddress	R/O	サブネットマスク, ポートにつけられているサブネットマスク。	●
7	axrVpnIpAdEntBcastAddr {axrPhysStatsEntry 5}	INTEGER	R/O	IP ブロードキャスト送信時のアドレスの最下位ビットの値。	●
8	axrVpnIpAdEntReasmMaxSize {axrPhysStatsEntry 6}	INTEGER	R/O	ポートにて受信した IP フラグメントされたデータグラムからリアセンブルできる最も大きい IP パケットのサイズ。	●
9	axrVpnIpAdEntDescr {axrPhysStatsEntry 7}	DisplayString	R/O	当該 VPN の詳細の説明。vpn コンフィグレーションでユーザが設定した VPN 識別子。	●
10	axrVpnIpNetToMediaTable {axrVpnIp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP アドレスからフィジカルアドレスへのマッピングに使用される IP アドレス変換テーブル。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	axrVpnIpNetToMediaEntry {axrVpnIpNetToMediaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	フィジカルアドレスに対応した一つの IP アドレスのエントリ [index]{ axrVpnIpNetMediaVpnIndex, axrVpnIpNetToMediaIfIndex, axrVpnIpNetToMediaNetAddress }	●
12	axrVpnIpNetMediaVpnIndex {axrVpnIpNetToMediaEntry 1}	INTEGER	R/O	当該 VPN の VPN インデックス。VPN ごとにつけられたユニークな番号。 注 ユーザが指定した当該 VPN の VPN インデックスは, axrVpnIpNetToMediaDescr で表示されます。	●
13	axrVpnIpNetToMediaIfIndex {axrVpnIpNetToMediaEntry 2}	INTEGER	R/O	有効となるインタフェース ID 番号, ipNetToMediaPhysAddress を持つインタフェース ID 番号。	●
14	axrVpnIpNetToMediaPhysAddress {axrVpnIpNetToMediaEntry 3}	PhysAddresses	R/O	メディアに依存した物理アドレス。 ipNetToMediaIfIndex に対応し,IP 直下のアドレス。	●
15	axrVpnIpNetToMediaNetAddress {axrVpnIpNetToMediaEntry 4}	IpAddress	R/O	メディアに依存した物理アドレスに対応する IP アドレス。ipNetToMediaIfIndex に対応する IP アドレス。	●
16	axrVpnIpNetToMediaType {axrVpnIpNetToMediaEntry 5}	INTEGER	R/O	マッピングのタイプ。 { other(1), invalid(2), dynamic(3), static(4) } コンフィグレーションで定義した静的エントリ (4), 動的エントリ (3), 無効エントリ (2), その他, Inverse ARP などのエントリ (1)。	●
17	axrVpnIpNetToMediaDescr {axrVpnIpNetToMediaEntry 6}	DisplayString	R/O	当該 VPN の詳細の説明。vpn コンフィグレーションでユーザが設定した VPN 識別子。	●

3.2.2 axrVpnIpForward グループ

(1) 識別子

axrVpn OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2

axrVpnIpForward OBJECT IDENTIFIER ::= {axrVpn 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2

(2) 実装仕様

axrVpnIpForward グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-10 axrVpnIpForward グループの実装仕様 (VPN 経路情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrVpnIpFwNoTable {axrVpnIpForward 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VPN に関する経路数を格納するテーブル。	●
2	axrVpnIpFwEntry {axrVpnIpNoTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VPN に関する経路数のリスト。 INDEX {axrVpnIpFwNoVpnIndex}	●
3	axrVpnIpFwNoVpnIndex {axrVpnIpFwNoEntry 1}	INTEGER	R/O	当該 VPN の VPN インデックス。VPN ごとに付けられたユニークな番号。 注 ユーザが指定した当該 VPN の VPN インデックスは、 axrVpnIpFwNoDescr で表示されます。	●
4	axrVpnIpFwNo {axrVpnIpFwNoEntry 2}	INTEGER	R/O	この VPN の経路数。	●
5	axrVpnIpFwNoDescr {axrVpnIpFwNoEntry 3}	DisplayString	R/O	当該 VPN の詳細の説明。vpn コンフィグレーションでユーザが設定した VPN 識別子。	●
6	axrVpnIpFwTable {axrVpnIpForward 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VPN に関する経路情報を格納するテーブル。	●
7	axrVpnIpFwEntry {axrVpnIpFwTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VPN に関する経路情報のリスト。 INDEX {axrVpnIpFwVpnIndex, axrVpnIpFwDest, axrVpnIpFwProto, axrVpnIpFwPolicy, axrVpnIpFwNextHop}	●
8	axrVpnIpFwVpnIndex {axrVpnIpFwEntry 1}	INTEGER	R/O	この経路の VPN インデックス。VPN ごとに付けられたユニークな番号。 注 ユーザが指定した当該 VPN の VPN インデックスは、axrVpnIpFwDescr で表示されます。	●
9	axrVpnIpFwDest {axrVpnIpFwEntry 2}	IpAddress	R/O	この経路の宛先アドレス。	●
10	axrVpnIpFwMask {axrVpnIpFwEntry 3}	IpAddress	R/O	この経路の宛先アドレスと論理積をとり、ネットワークを表すためのマスク。	●
11	axrVpnIpFwPolicy {axrVpnIpFwEntry 4}	INTEGER	R/O	この経路の TOS 値。 固定値 (0)。	●
12	axrVpnIpFwNextHop {axrVpnIpFwEntry 5}	IpAddress	R/O	この経路のパス上の次システムのアドレス。	●
13	axrVpnIpFwIfIndex {axrVpnIpFwEntry 6}	INTEGER	R/O	この経路の次ホップと接続されるローカルインタフェースの識別子。	●
14	axrVpnIpFwType {axrVpnIpFwEntry 7}	INTEGER	R/O	この経路のタイプ。 {その他 (1), 無効 (2), ローカル (3), リモート (4)}	●
15	axrVpnIpFwProto {axrVpnIpFwEntry 8}	INTEGER	R/O	この経路を学習したプロトコル。 {other(1), local(2), netmgmt(3), rip(8), ospf(13), bgp(14)}	●

3.2 axrVpn グループ (VPN 情報 MIB) 【OP-MPLS】

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axrVpnIpFwAge {axrVpnIpFwEntry 9}	INTEGER	R/O	この経路が学習，または更新されてからの経過時間 [秒]。	●
17	axrVpnIpFwInfo {axrVpnIpFwEntry 10}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	この経路の protocol 別付加情報。固定値 {0.0}。	●
18	axrVpnIpFwNextHopAS {axrVpnIpFwEntry 11}	INTEGER	R/O	この経路の次ホップの自律システム番号。	●
19	axrVpnIpFwMetric1 {axrVpnIpFwEntry 12}	INTEGER	R/O	この経路に対するメトリック。	●
20	axrVpnIpFwMetric2 {axrVpnIpFwEntry 13}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替ルートのメトリック。	●
21	axrVpnIpFwMetric3 {axrVpnIpFwEntry 14}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替ルートのメトリック。固定値 (-1)。	●
22	axrVpnIpFwMetric4 {axrVpnIpFwEntry 15}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替ルートのメトリック。固定値 (-1)。	●
23	axrVpnIpFwMetric5 {axrVpnIpFwEntry 16}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替ルートのメトリック。固定値 (-1)。	●
24	axrVpnIpFwDescr {axrVpnIpFwEntry 17}	DisplayString	R/O	当該 VPN の詳細の説明。vpn コンフィグレーションでユーザが設定した VPN 識別子。	●

3.3 axrMpls グループ (MPLS 情報 MIB) 【OP-MPLS】

3.3.1 axrMpls グループ

(1) 識別子

```

axrMplsLdpMIB          OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3

axrMplsLdpObjects      OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1

axrMplsLdpNotifications OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.2

axrMplsLdpConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpMIB 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.3

axrMplsLdpLsrObjects   OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.1

axrMplsLdpEntityObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2

axrMplsLdpEntityGenericObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpEntityObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3

axrMplsLdpEntityAtmObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpEntityObjects 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4

axrMplsLdpEntityFrameRelayObjects OBJECT IDENTIFIER ::=
{axrMplsLdpEntityObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5

axrMplsLdpSessionObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3

axrMplsLdpHelloAdjacencyObjects OBJECT IDENTIFIER ::=
{axrMplsLdpSessionObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.2

axrMplsFecObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMplsLdpSessionObjects 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8

```

(2) 実装仕様

axrMpls グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-11 axrMpls グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrMplsLdpLsrId {axrMplsLdpLsrObjects 1}	MplsLsrIdentifier	R/O	[規格] Label Switch Router(LSR) の識別子。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axrMplsLdpLsrLoopDetectionCapable {axrMplsLdpLsrObjects 2}	INTEGER	R/O	[規格] この LSR がループ検出をサポートしているかどうかを表す。 {none(1), other(2), hopCount(3), pathVector(4), hopCountAndPathVector(5)} [実装] hopCountAndPathVector(5) 固定。	●
3	axrMplsLdpEntityIndexNext {axrMplsLdpEntityObjects 1}	Unsigned32	R/O	[規格] mplsLdpEntityTable の中にエントリを作るときの mplsLdpEntityIndex に対して使われた値。 [実装] 規格に同じ。	●
4	axrMplsLdpEntityTable {axrMplsLdpEntityObjects 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] このテーブルは、この LSR 上で存在する MPLS のラベル分配プロトコルのエンティティに関する情報を含んでいる。 [実装] 規格に同じ。	●
5	axrMplsLdpEntityEntry {axrMplsLdpEntityTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] このテーブル中の 1 エントリは一つの LDP エンティティを表す。ネットワーク管理者によって、あるいは LDP によって教えられるような SNMP エージェントによって、エントリを作ることができる。インデックスは、その LDP 識別子によってユニークに LDP エンティティに付けられる。 [実装] 規格に同じ。	●
6	axrMplsLdpEntityLdpId {axrMplsLdpEntityEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] ユニークに LDP エンティティを識別する LDP の識別子。これはある LSR のラベルスペースを識別するために使われる 6 オクテットである。 [実装] 規格に同じ。	●
7	axrMplsLdpEntityIndex {axrMplsLdpEntityEntry 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] この列を独自に識別する第 2 のインデックスとして使用される。 [実装] 規格に同じ。	●
8	axrMplsLdpEntityProtocolVersion {axrMplsLdpEntityEntry 3}	Integer32	R/O	[規格] プロトコルのバージョンナンバー。 [実装] 規格に同じ。	●
9	axrMplsLdpEntityAdminStatus {axrMplsLdpEntityEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] LDP エンティティの管理状態。 {enable(1), disable(2)} [実装] 規格に同じ。	●
10	axrMplsLdpEntityOperStatus {axrMplsLdpEntityEntry 5}	INTEGER	R/O	[規格] LDP エンティティの操作状態。 {unknown(0), enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。	●
11	axrMplsLdpEntityWellKnownTcpDiscoveryPort {axrMplsLdpEntityEntry 6}	Unsigned32	R/O	[規格] LDP に対して既知の TCP 発見ポート。 [実装] 規格に同じ。	●
12	axrMplsLdpEntityWellKnownUdpDiscoveryPort {axrMplsLdpEntityEntry 7}	Unsigned32	R/O	[規格] LDP に対して既知の UDP 発見ポート。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axrMplsLdpEntityMaxPduLength {axrMplsLdpEntityEntry 8}	Unsigned32	R/O	[規格] Initialization メッセージで送られる PDU の最大長。 [実装] 規格に同じ。	●
14	axrMplsLdpEntityKeepAliveHoldTimer {axrMplsLdpEntityEntry 9}	Integer32	R/O	[規格] この LDP エンティティで使用する予定の keepaliveholdtimer の値。 [実装] 規格に同じ。	●
15	axrMplsLdpEntityHelloHoldTimer {axrMplsLdpEntityEntry 10}	Integer32	R/O	[規格] この LDP エンティティで使用する予定の Hello hold timer の値。 [実装] 規格に同じ。	●
16	axrMplsLdpEntityFailedInitSessionTrapEnable {axrMplsLdpEntityEntry 11}	INTEGER	R/O	[規格] 'mplsLdpFailedInitSessionThresholdExceeded' トラップが作られているかどうかを表している。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] enabled(1) 固定。ただし、SNMP トラップは未サポート。	●
17	axrMplsLdpEntityFailedInitSessionThreshold {axrMplsLdpEntityEntry 12}	Integer32	R/O	[規格] 与えられたピアとのセッションを確立しようと試みる回数。このしきい値を超えると、LDP エンティティは 'mplsLdpFailedInitSessionThresholdExceeded' トラップを送出する。 [実装] 規格に同じ。ただし、SNMP トラップは未サポート。	●
18	axrMplsLdpEntityLabelDistributionMethod {axrMplsLdpEntityEntry 13}	INTEGER	R/O	[規格] LDP エンティティラベル分配方法。LDP セッションは、ラベル分配方法が指定されねばならない。 {downstreamOnDemand(1), downstreamUnsolicited(2)} [実装] downstreamUnsolicited(2) 固定。	●
19	axrMplsLdpEntityLabelRetentionMode {axrMplsLdpEntityEntry 14}	INTEGER	R/O	[規格] ラベルの保有モード。 {conservative(1), liberal(2)} [実装] liberal(2) 固定。	●
20	axrMplsLdpEntityPVLimitMismatchTrapEnable {axrMplsLdpEntityEntry 15}	INTEGER	R/O	[規格] "mplsLdpPathVectorLimitMismatch" トラップが作られるかどうかを表している。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] enabled(1) 固定。ただし、SNMP トラップは未サポート。	●
21	axrMplsLdpEntityPathVectorLimit {axrMplsLdpEntityEntry 16}	Integer32	R/O	[規格] このオブジェクトの値が 0 なら経路のベクトルに対してループ検索は無効になる。 0 以上なら経路のベクトルに対してループ検索は可能で、経路ベクトルの限界がこの値になる。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
22	axrMplsLdpEntityHopCountLimit {axrMplsLdpEntityEntry 17}	Integer32	R/O	[規格] このオブジェクトの値が 0 ならホップカウンタを使うループ検索は無効になる。 0 以上ならホップカウンタを使うループ検索は可能で、このオブジェクトはホップカウンタに対するエンティティの最大許容値を指定する。 [実装] 規格に同じ。	●
23	axrMplsLdpEntityTargetedPeer {axrMplsLdpEntityEntry 18}	TruthValue	R/O	[規格] LDP エンティティが Targeted であるかどうかを表す。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	●
24	axrMplsLdpEntityTargetedPeerAddrType {axrMplsLdpEntityEntry 19}	AddressFamilyNumbers	R/O	[規格] 拡張ディスカバリに対して使われるインターネットワークレイヤアドレスの型。 [実装] Ipv4(1) 固定。	●
25	axrMplsLdpEntityTargetedPeerAddr {axrMplsLdpEntityEntry 20}	MplsLdpGenAddr	R/O	[規格] 拡張ディスカバリに対して使われたインターネットレイヤアドレスの値。 [実装] 規格に同じ。	●
26	axrMplsLdpEntityOptionalParameters {axrMplsLdpEntityEntry 21}	MplsLdpLabelTypes	R/O	[規格] LDPInitialization メッセージに対するオプションパラメータを表す。 {generic(1), atmParameters(2), frameRelayParameters(3)} [実装] generic(1) 固定。	●
27	axrMplsLdpEntityDiscontinuityTime {axrMplsLdpEntityEntry 22}	TimeStamp	R/O	[規格] LDP エンティティを作成した sysUpTime。 [実装] 規格に同じ。	●
28	axrMplsLdpEntityStorageType {axrMplsLdpEntityEntry 23}	StorageType	R/O	[規格] このエントリの記憶形式。 {other(1), volatile(2), nonVolatile(3), permanent(4), readOnly(5)} [実装] volatile(2) 固定。	●
29	axrMplsLdpEntityRowStatus {axrMplsLdpEntityEntry 24}	RowStatus	R/O	[規格] RowStatus 規約を使用して、テーブルのエントリの作成、削除を可能にするオブジェクト。 {active(1), notInService(2), notReady(3), createAndGo(4), createAndWait(5), destroy(6)} [実装] active(1) 固定。	●
30	axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeTable {axrMplsLdpEntityGenericObjects 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルは generic ラベルの次の範囲、即ち LDP エンティティに対する 'ラベルレンジ' を特定するためのメカニズムを提供する。 [実装] 規格に同じ。	●
31	axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeEntry {axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] LDP エンティティ Configurable Generic ラベルレンジテーブルの中にある列。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
32	axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeMinimum {axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この範囲に対して作られた最小のラベル。 [実装] 規格に同じ。	●
33	axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeMaximum {axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この範囲に対して作られた最大のラベル。 [実装] 規格に同じ。	●
34	axrMplsLdpEntityConfGenericIfIndexOrZero {axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeEntry 3}	InterfaceIndexOrZero	R/O	[規格] この値は generic ラベルが作られる 'ifLayer' の InterfaceIndex や 0 を表す。0 は InterfaceIndex が未知であることを指す。 [実装] 規格に同じ。	●
35	axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeStorageType {axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeEntry 4}	StorageType	R/O	[規格] このエントリの記憶形式。 {other(1), volatile(2), nonVolatile(3), permanent(4), readOnly(5)} [実装] volatile(2) 固定。	●
36	axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeRowStatus {axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeEntry 5}	RowStatus	R/O	[規格] RowStatus 規約を使うことで、このテーブル内のエントリを作ったり、削除したりするオブジェクト。 {active(1), notInService(2), notReady(3), createAndGo(4), createAndWait(5), destroy(6)} [実装] active(1) 固定。	●
37	axrMplsLdpEntityAtmParmsTable {axrMplsLdpEntityAtmObjects 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 'Optional Parameter' で使われる ATM の情報や別の ATM の情報についての情報を含むテーブル。 [実装] 未実装。	×
38	axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry {axrMplsLdpEntityAtmParmsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この LDP エンティティに対する ATM パラメータと ATM 情報を表すテーブル中のエントリ。 [実装] 未実装。	×
39	axrMplsLdpEntityAtmIfIndexOrZero {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 1}	InterfaceIndexOrZero	R/O	[規格] この値はこのエントリでつくられた ATM ラベルである 'ifLayer' の InterfaceIndex や 0 を表す。0 は InterfaceIndex が未知であることを指す。 [実装] 未実装。	×
40	axrMplsLdpEntityAtmMergeCap {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] このエンティティのマージ能力を示す。 {notSupported(0), vcMerge(2)} [実装] 未実装。	×
41	axrMplsLdpEntityAtmLabelRangeComponents {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 3}	Unsigned32	R/O	[規格] Initialization メッセージ内のラベルレンジ構成要素数。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
42	axrMplsLdpEntityAtmVcDirectionality {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] このオブジェクトの値が 'bidirectional(0)' のとき、与えられた VPI 内の与えられた VCI は独立した双方向に対してのラベルとして使われる。 'unidirectional(1)' のとき、VPI 内の与えられた VCI は片方の方向を指す。 {bidirectional(0), unidirectional(1)} [実装] 未実装。	×
43	axrMplsLdpEntityAtmLsrConnectivity {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 5}	INTEGER	R/O	[規格] ピア LSR は、両端で VPI が異なるために ATM VP によって間接的に接続される可能性がある。 間接的に接続されると、ラベルは VCI フィールド内にコード化される。 {direct(1), indirect(2)} [実装] 未実装。	×
44	axrMplsLdpEntityDefaultControlVpi {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 6}	AtmVpIdentifier	R/O	[規格] MPLS 接続でない VPI のデフォルト値。 [実装] 未実装。	×
45	axrMplsLdpEntityDefaultControlVci {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 7}	MplsAtmVcIdentifier	R/O	[規格] MPLS 接続でない VCI のデフォルト値。 [実装] 未実装。	×
46	axrMplsLdpEntityUnlabTrafVpi {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 8}	AtmVpIdentifier	R/O	[規格] アンラベルドトラフィックをサポートする VCC の VPI 値。 [実装] 未実装。	×
47	axrMplsLdpEntityUnlabTrafVci {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 9}	MplsAtmVcIdentifier	R/O	[規格] アンラベルドトラフィックをサポートする VCC の VCI 値。 [実装] 未実装。	×
48	axrMplsLdpEntityAtmStorageType {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 10}	StorageType	R/O	[規格] このエントリの記憶形式。 {other(1), volatile(2), nonVolatile(3), permanent(4), readOnly(5)} [実装] 未実装。	×
49	axrMplsLdpEntityAtmRowStatus {axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry 11}	RowStatus	R/O	[規格] RowStatus 規約を使うことで、このテーブル内のエントリを作ったり、削除する許可を与えるオブジェクト。 {active(1), notInService(2), notReady(3), createAndGo(4), createAndWait(5), destroy(6)} [実装] 未実装。	×
50	axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeTable {axrMplsLdpEntityAtmObjects2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] MPLS LDP エンティティ コンフィギュラブル ATM ラベル範囲テーブル。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
51	axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeEntry {axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブル中の一つのエントリは、形成された上限および下限 VPI/VCI ペアによって表されるラベルの一つの範囲についての情報を含んでいる。 [実装] 未実装。	×
52	axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeMinimumVpi {axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この範囲に対して作られた最小の VPI 値。 [実装] 未実装。	×
53	axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeMinimumVci {axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この範囲に対して作られた最小の VCI 値。 [実装] 未実装。	×
54	axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeMaximumVpi {axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeEntry 3}	AtmVpIdentifier	R/O	[規格] この範囲内で構成される最大 VPI 数。 [実装] 未実装。	×
55	axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeMaximumVci {axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeEntry 4}	MplsAtmVcIdentifier	R/O	[規格] この範囲内で構成される最大 VCI 数。 [実装] 未実装。	×
56	axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeStorageType {axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeEntry 5}	StorageType	R/O	[規格] このエントリの記憶形式。 {other(1), volatile(2), nonVolatile(3), permanent(4), readOnly(5)} [実装] 未実装。	×
57	axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeRowStatus {axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeEntry 6}	RowStatus	R/O	[規格] RowStatus 規約を使うことで、このテーブル内のエントリを作ったり、削除する許可を与えるオブジェクト。 {active(1), notInService(2), notReady(3), createAndGo(4), createAndWait(5), destroy(6)} [実装] 未実装。	×
58	axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsTable {axrMplsLdpEntityFrameRelayObjects 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] フレームリレーに対する任意のパラメータについての情報を含むテーブル。 [実装] 未実装。	×
59	axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry {axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルのエントリは LDP エンティティに関わるフレームリレーの任意のパラメータを表している。 [実装] 未実装。	×
60	axrMplsLdpEntityFrIfIndexOrZero {axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry 1}	InterfaceIndexOrZero	R/O	[規格] この値はエントリが生成されることで '所有される' フレームリレーラベルがある 'ifLayer' のインタフェースインデックス値か 0 を表している。 [実装] 未実装。	×
61	axrMplsLdpEntityFrMergeCap {axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] フレームリレーのマージ能力がサポートされているかどうか。 {notSupported(0), supported(1)} [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
62	axrMplsLdpEntityFrLabelRangeComponents {axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry 3}	Unsigned32	R/O	[規格] 初期化したラベルレンジの要素数。 [実装] 未実装。	×
63	axrMplsLdpEntityFrLen {axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] DLCI ビットを指定する。 {tenDlciBits(0), twentyThreeDlciBits(2)} [実装] 未実装。	×
64	axrMplsLdpEntityFrVcDirectionality {axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry 5}	INTEGER	R/O	[規格] このオブジェクトの値が 'bidirectional(0)' なら, LSR は独立した双方向のラベルとして与えられた DLCI の使用をサポートする。 'unidirectional(1)' なら, LSR は一方向だけのラベルとして与えられた DLCI を使う。 {bidirectional(0), unidirectional(1)} [実装] 未実装。	×
65	axrMplsLdpEntityFrParmsStorageType {axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry 6}	StorageType	R/O	[規格] このエントリの記憶形式。 {other(1), volatile(2), nonVolatile(3), permanent(4), readOnly(5)} [実装] 未実装。	×
66	axrMplsLdpEntityFrParmsRowStatus {axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry 7}	RowStatus	R/O	[規格] RowStatus の規約を使い, テーブル中のエントリを作ったり, 削除したりする許可を与えるオブジェクト。 {active(1), notInService(2), notReady(3), createAndGo(4), createAndWait(5), destroy(6)} [実装] 未実装。	×
67	axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeTable {axrMplsLdpEntityFrameRelayObjects 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] MPLS LDP Entity フレームリレーラベルレンジ構成テーブル。 [実装] 未実装。	×
68	axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeEntry {axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] MPLS LDP Entity フレームリレーラベルレンジ構成テーブルの行。 [実装] 未実装。	×
69	axrMplsLdpConfFrMinimumDlci {axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] サポートされている下限。 [実装] 未実装。	×
70	axrMplsLdpConfFrMaximumDlci {axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeEntry 2}	Integer32	R/O	[規格] サポートされている上限。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
71	axrMplsLdpConfFrStorageType {axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeEntry 3}	StorageType	R/O	[規格] このエントリの記憶形式。 {other(1), volatile(2), nonVolatile(3), permanent(4), readOnly(5)} [実装] 未実装。	×
72	axrMplsLdpConfFrRowStatus {axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeEntry 4}	RowStatus	R/O	[規格] RowStatus の規約を使い、テーブル中のエントリを作ったり、削除したりする許可を与えるオブジェクト。 {active(1), notInService(2), notReady(3), createAndGo(4), createAndWait(5), destroy(6)} [実装] 未実装。	×
73	axrMplsLdpEntityStatsTable {axrMplsLdpEntityObjects 6}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルは MplsLdpConfEntityTable の増加した分の読み込み専用のテーブル。このテーブルの目的は LSR の LDP エンティティについての統計情報を保持することである。 [実装] 規格に同じ。	●
74	axrMplsLdpEntityStatsEntry {axrMplsLdpEntityStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルの 1 行は一つの LDP エンティティの統計情報を含んでいる。 [実装] 規格に同じ。	●
75	axrMplsLdpAttemptedSessions {axrMplsLdpEntityStatsEntry 1}	Counter32	R/O	[規格] 接続を試みたセッションの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
76	axrMplsLdpSessionRejectedNoHelloErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 2}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティにより送信または受信された SessionRejected/NoHelloError 通知メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
77	axrMplsLdpSessionRejectedAdvertisementErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 3}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティによって送信または受信された SessionRejected/Parameter Advertisement Mode Error 通知メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
78	axrMplsLdpSessionRejectedMaxPduErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 4}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティにより送信または受信された SessionRejected/Parameter Max Pdu Length Error 通知メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
79	axrMplsLdpSessionRejectedLabelRangeErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 5}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティにより送信または受信された SessionRejected/Parameter Label Range 通知メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
80	axrMplsLdpBadLdpIdentifierErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 6}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティに関わるセッションで探知された LDP 識別子のエラー数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
81	axrMplsLdpBadPduLengthErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 7}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティに関わるセッションで探知された PDU Length のエラー数。 [実装] 規格に同じ。	●
82	axrMplsLdpBadMessageLengthErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 8}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティに関わるセッションで探知されたメッセージ長のエラー数。 [実装] 規格に同じ。	●
83	axrMplsLdpBadTlvLengthErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 9}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティに関わるセッションで探知された TLV Length のエラー数。 [実装] 規格に同じ。	●
84	axrMplsLdpMalformedTlvValueErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 10}	Counter32	R/O	[規格] セッションで探知された Malformed TLV 値のエラー数。 [実装] 規格に同じ。	●
85	axrMplsLdpKeepAliveTimerExpiredErrors {axrMplsLdpEntityStatsEntry 11}	Counter32	R/O	[規格] この LDP エンティティに関わるセッションで探知された Keep Alive Timer Expired のエラー数。 [実装] 規格に同じ。	●
86	axrMplsLdpShutdownNotifReceived {axrMplsLdpEntityStatsEntry 12}	Counter32	R/O	[規格] セッションに関わるシャットダウン通知を受け取った数。 [実装] 規格に同じ。	●
87	axrMplsLdpShutdownNotifSent {axrMplsLdpEntityStatsEntry 13}	Counter32	R/O	[規格] セッションに関わるシャットダウン通知を送った数。 [実装] 規格に同じ。	●
88	axrMplsLdpPeerTable {axrMplsLdpSessionObjects 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このエージェントによって管理される LDP エンティティによって発見された、LDP ピアに関する情報。 [実装] 規格に同じ。	●
89	axrMplsLdpPeerEntry {axrMplsLdpPeerTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 一つのピアに関する情報。 [実装] 規格に同じ。	●
90	axrMplsLdpPeerLdpId {axrMplsLdpPeerEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この LDP ピアの LDP 識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
91	axrMplsLdpPeerLabelDistributionMethod {axrMplsLdpPeerEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] LDP エンティティに対しての、ラベル分配方法。 {downstreamOnDemand(1), downstreamUnsolicited(2)} [実装] downstreamUnsolicited(2) 固定	●
92	axrMplsLdpPeerLoopDetectionForPV {axrMplsLdpPeerEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] 経路ベクトルに基づいてこのピアをループ検索可能か不可能かを表す。 {disabled(0), enabled(1)} [実装] 規格に同じ。	●
93	axrMplsLdpPeerPathVectorLimit {axrMplsLdpPeerEntry 4}	Integer32	R/O	[規格] このエントリに対して 'mplsLdpPeerLoopDetectionForPV' の値が 'enabled(1)' なら、このオブジェクトはこのピアに対する経路ベクトル限界を表し、'disabled(0)' なら値は 0 になる。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
94	axrMplsLdpHelloAdjacencyTable {axrMplsLdpHelloAdjacencyObjects 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] ハロー隣接のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
95	axrMplsLdpHelloAdjacencyEntry {axrMplsLdpHelloAdjacencyTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 各行 (Row) は一つの LDP ハロー隣接を表す。 [実装] 規格に同じ。	●
96	axrMplsLdpHelloAdjacencyIndex {axrMplsLdpHelloAdjacencyEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 特定の隣接に対する識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
97	axrMplsLdpHelloAdjacencyHoldTimeRemaining {axrMplsLdpHelloAdjacencyEntry 2}	TimeInterval	R/O	[規格] このハロー隣接のタイムの残り時間。 [実装] 規格に同じ。	●
98	axrMplsLdpHelloAdjacencyType {axrMplsLdpHelloAdjacencyEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] このオブジェクトの値が 'link(1)' なら、この隣接は 'linkHello' の結果で、targeted(2) なら 'targetedHello' になる。 {link(1), targeted(2)} [実装] 規格に同じ。	●
99	axrMplsLdpSessionUpDownTrapEnable {axrMplsLdpSessionObjects 3}	INTEGER	R/O	[規格] "mplsLdpSessionUp"/ "mplsLdpSessionDown" トラップが作られるかどうかを表す。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] disabled(2) 固定。	●
100	axrMplsLdpSessionTable {axrMplsLdpSessionObjects 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] LDP エンティティと LDP ピア間のセッションのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
101	axrMplsLdpSessionEntry {axrMplsLdpSessionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブル中の 1 エントリは、LDP エンティティおよび LDP ピア間の一つのセッションについての情報を表す。 [実装] 規格に同じ。	●
102	axrMplsLdpSessionState {axrMplsLdpSessionEntry 1}	INTEGER	R/O	[規格] セッションネゴシエーションの、ステートマシーンを基礎としたセッションの現在の状態。 {nonexistent(1), initialized(2), openrec(3), opensent(4), operational(5)} [実装] 規格に同じ。	●
103	axrMplsLdpSessionProtocolVersion {axrMplsLdpSessionEntry 2}	Integer32	R/O	[規格] このセッションが使っている LDP プロトコルのバージョン。 [実装] 規格に同じ。	●
104	axrMplsLdpSessionKeepAliveHoldTimeRemaining {axrMplsLdpSessionEntry 3}	TimeInterval	R/O	[規格] このセッションに対するキープアライブホールドタイムの残り時間。 [実装] 規格に同じ。	●
105	axrMplsLdpSessionMaxPduLength {axrMplsLdpSessionEntry 4}	Unsigned32	R/O	[規格] セッションでの LDP PDU に対する最大許容長さの値。 この値はセッション初期化の間に決められる。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
106	axrMplsLdpSessionDiscontinuityTime {axrMplsLdpSessionEntry 5}	TimeStamp	R/O	[規格] セッション生成時の sysUpTime。 [実装] 規格に同じ。	●
107	axrMplsLdpAtmSessionTable {axrMplsLdpSessionObjects 5}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 'mplsLdpSessionTable' 内のセッションに関わるテーブル。 [実装] 未実装。	×
108	axrMplsLdpAtmSessionEntry {axrMplsLdpAtmSessionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルのエントリは LDP エンティティと LDP ピア間の一つのラベルレンジの共通部分上の情報を表している。 [実装] 未実装。	×
109	axrMplsLdpSessionAtmLabelRangeLowerBoundVpi {axrMplsLdpAtmSessionEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この範囲での最小の VPI 数。 [実装] 未実装。	×
110	axrMplsLdpSessionAtmLabelRangeLowerBoundVci {axrMplsLdpAtmSessionEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この範囲での最小の VCI 数。 [実装] 未実装。	×
111	axrMplsLdpSessionAtmLabelRangeUpperBoundVpi {axrMplsLdpAtmSessionEntry 3}	AtmVpIdentifier	R/O	[規格] この範囲での最大の VPI 数。 [実装] 未実装。	×
112	axrMplsLdpSessionAtmLabelRangeUpperBoundVci {axrMplsLdpAtmSessionEntry 4}	MplsAtmVcIdentifier	R/O	[規格] この範囲での最大の VCI 数。 [実装] 未実装。	×
113	axrMplsLdpFrameRelaySessionTable {axrMplsLdpSessionObjects 6}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] LDP エンティティと LDP ピア間のフレームリレーラベルレンジの共通部分のテーブル。 [実装] 未実装。	×
114	axrMplsLdpFrameRelaySessionEntry {axrMplsLdpFrameRelaySessionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルのエントリは LDP エンティティと LDP ピア間の一つのラベルレンジの共通部分上の情報を表している。 [実装] 未実装。	×
115	axrMplsLdpFrSessionMinDlci {axrMplsLdpFrameRelaySessionEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] サポートされている DLCI の下限。 [実装] 未実装。	×
116	axrMplsLdpFrSessionMaxDlci {axrMplsLdpFrameRelaySessionEntry 2}	Integer32	R/O	[規格] サポートされている DLCI の上限。 [実装] 未実装。	×
117	axrMplsLdpFrSessionLen {axrMplsLdpFrameRelaySessionEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] DLCI ビットを指定する。 {tenDlciBits(0), twentyThreeDlciBits(2)} [実装] 未実装。	×
118	axrMplsLdpSessionStatsTable {axrMplsLdpSessionObjects 7}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] LDP エンティティと LDP ピア間のセッションに対する統計テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
119	axrMplsLdpSessionStatsEntry {axrMplsLdpSessionStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルのエントリは LDP エントリと LDP ピア間の一つのセッション上の統計的な情報を表している。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
120	axrMplsLdpSessionStatsUnknownMessageTypeErrors {axrMplsLdpSessionStatsEntry 1}	Counter32	R/O	[規格] このセッションの間に探知した Unknown Message Type Errors の数を数える。 [実装] 規格に同じ。	●
121	axrMplsLdpSessionStatsUnknownTlvErrors {axrMplsLdpSessionStatsEntry 2}	Counter32	R/O	[規格] このセッションの間に探知した Unknown Tlv Errors の数を数える。 [実装] 規格に同じ。	●
122	axrMplsFecIndexNext {axrMplsFecObjects 1}	Unsigned32	R/O	[規格] このオブジェクトの値は mplsFecTable にエントリが作られるとき、mplsFecIndex に使うために割り当てられた値を含む。 [実装] 未実装。	×
123	axrMplsFecTable {axrMplsFecObjects 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] FEC を表しているテーブル。 [実装] 未実装。	×
124	axrMplsFecEntry {axrMplsFecTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 各々の列は一つの FEC の要素を表している。 [実装] 未実装。	×
125	axrMplsFecIndex {axrMplsFecEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 独自にこのエントリを識別するインデックス。 [実装] 未実装。	×
126	axrMplsFecType {axrMplsFecEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] FEC の型。 {prefix(1), hostAddress(2)} [実装] 未実装。	×
127	axrMplsFecAddressLength {axrMplsFecEntry 3}	Integer32	R/O	[規格] 'mplsFecType' の値が 'prefix(1)' なら、このオブジェクトの値が 'mplsFecAddress' で表されるアドレスプレフィックスのビット内の長さとなる。 [実装] 未実装。	×
128	axrMplsFecAddressFamily {axrMplsFecEntry 4}	AddressFamilyNumbers	R/O	[規格] このオブジェクトの値はアドレスファミリの数から決まる。 [実装] 未実装。	×
129	axrMplsFecAddress {axrMplsFecEntry 5}	MplsLdpGenAddr	R/O	[規格] 'mplsFecType' の値が 'prefix(1)' なら、このオブジェクトの値はアドレスプレフィックスとなる。 'mplsFecAddressLength' の値が 0 なら、このオブジェクトの値も 0 となる。 'mplsFecType' の値が 'host(2)' なら、ホストアドレスとなる。 [実装] 未実装。	×
130	axrMplsFecStorageType {axrMplsFecEntry 6}	StorageType	R/O	[規格] このエントリの記憶形式。 {other(1), volatile(2), nonVolatile(3), permanent(4), readOnly(5)} [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
131	axrMplsFecRowStatus {axrMplsFecEntry 7}	RowStatus	R/O	[規格] RowStatus の規約を使い、テーブル中のエントリを作ったり、削除したりする許可を与えるオブジェクト。 {active(1), notInService(2), notReady(3), createAndGo(4), createAndWait(5), destroy(6)} [実装] 未実装。	×
132	axrMplsLdpSessionInLabelMapTable {axrMplsLdpSessionObjects 9}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] LSR MIB の mplsInSegmentTable に割り当てられるセッションの Ingress ラベルのテーブル。 [実装] 未実装。	×
133	axrMplsLdpSessionInLabelMapEntry {axrMplsLdpSessionInLabelMapTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルのエントリは、LSR MIB の mplsInSegmentTable からセッションの三つの Index(mplsLdpEntityLdpId, mplsLdpEntityIndex, mplsLdpPeerLdpId) と 2 種類の Index(mplsLdpSessionInLabel, mplsInSegmentIfIndex) で表される一つの LDP LSP 上の情報を表している。 [実装] 未実装。	×
134	axrMplsLdpSessionInLabelIfIndex {axrMplsLdpSessionInLabelMapEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] LSR MIB の 'mplsInSegmentIfIndex' と同じ値を持つ 'mplsLdpSessionInLabel' の ifIndex。 [実装] 未実装。	×
135	axrMplsLdpSessionInLabel {axrMplsLdpSessionInLabelMapEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] この LSP の入りラベル。 [実装] 未実装。	×
136	axrMplsLdpSessionInLabelType {axrMplsLdpSessionInLabelMapEntry 3}	MplsLdpLabelTypes	R/O	[規格] mplsLdpInLabel' に対するレイヤー 2 のラベルタイプ。 [実装] 未実装。	×
137	axrMplsLdpSessionInLabelConnectionType {axrMplsLdpSessionInLabelMapEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] LSP コネクションの型 (入りラベル)。 {unknown(1), xconnect(2), terminates(3)} [実装] 未実装。	×
138	axrMplsLdpSessionOutLabelMapTable {axrMplsLdpSessionObjects 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] LSR MIB にマッピングされたセッションの Egress のラベルのテーブル。 [実装] 未実装。	×
139	axrMplsLdpSessionOutLabelMapEntry {axrMplsLdpSessionOutLabelMapTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] このテーブルのエントリは LDP エンティティと LDP ピア間の一つのセッション上の情報を表している。 [実装] 未実装。	×
140	axrMplsLdpSessionOutLabelIfIndex {axrMplsLdpSessionOutLabelMapEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 'mplsLdpSessionOutLabel' の ifIndex。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
141	axrMplsLdpSessionOutLabel {axrMplsLdpSessionOutLabel MapEntry 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] この LSP の出ラベル。 [実装] 未実装。	×
142	axrMplsLdpSessionOutLabelT ype {axrMplsLdpSessionOutLabel MapEntry 3}	MplsLdpLa belTypes	R/O	[規格] 'mplsLdpOutLabel' のレイヤー 2 のラベルタイプ。 [実装] 未実装。	×
143	axrMplsLdpSessionOutLabelC onnectionType {axrMplsLdpSessionOutLabel MapEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] LSP コネクションの型 (出ラベル)。 {unknown(1), xconnect(2), starts(3)} [実装] 未実装。	×
144	axrMplsLdpSessionOutSegmen tIndex {axrMplsLdpSessionOutLabel MapEntry 5}	Integer32	R/O	[規格] LSR MIB 内での 'mplsOutSegmentIndex' と同じ値を含む。 [実装] 未実装。	×
145	axrMplsLdpSessionXCMapTab le {axrMplsLdpSessionObjects 11}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] LSR MIB の XConnect テーブルに マッピングされているセッションのラベル のテーブル。 [実装] 未実装。	×
146	axrMplsLdpSessionXCMapEnt ry {axrMplsLdpSessionXCMapTa ble 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] このテーブルのエントリは LDP エ ンティティと LDP ピア間の一つのセッ ション上の情報を表している。 [実装] 未実装。	×
147	axrMplsLdpSessionXCIndex {axrMplsLdpSessionXCMapEn try 1}	Integer32	R/O	[規格] LSR MIB 内の 'mplsXCIndex' と同 じ値を含む。 [実装] 未実装。	×
148	axrMplsXCsfecsTable {axrMplsLdpSessionObjects 13}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] cross-connect と FEC の間の関係 を表すテーブル。 [実装] 未実装。	×
149	axrMplsXCsfecsEntry {axrMplsXCsfecsTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] FEC 関連への一つの cross connect を表しているエントリ。 [実装] 未実装。	×
150	axrMplsXCfecOperStatus {axrMplsXCsfecsEntry 1}	INTEGER	R/O	[規格] この cross connect に関連性のある FEC の使用できる状態を指す。 {unknown(1), inUse(2), notInUse(3)} [実装] 未実装。	×
151	axrMplsXCfecOperStatusLast Change {axrMplsXCsfecsEntry 2}	TimeStamp	R/O	[規格] mplsXCfecPperStatus の状態が最 後に変ったときの sysUpTime の値。 [実装] 未実装。	×
152	axrMplsLdpSessionPeerAddres sTable {axrMplsLdpSessionObjects 12}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] 'mplsLdpSessionTable' を拡張する テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
153	axrMplsLdpSessionPeerAddres sEntry {axrMplsLdpSessionPeerAddre ssTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	[規格] このテーブルのエントリは LDP ピ アからのアドレスメッセージを受けた一つ のネクストホップアドレスに対するセッ ション情報を表している。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
154	axrMplsLdpSessionPeerAddressIndex {axrMplsLdpSessionPeerAddressEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] 与えられたセッション内のエントリを独自に識別するインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
155	axrMplsLdpSessionPeerNextHopAddressType {axrMplsLdpSessionPeerAddressEntry 2}	AddressFamilyNumbers	R/O	[規格] このセッションに関わるラベルアドレスメッセージ内で指定されたネクストホップのインターネットワークレイヤアドレスの型。 [実装] Ipv4(1) 固定。	●
156	axrMplsLdpSessionPeerNextHopAddress {axrMplsLdpSessionPeerAddressEntry 3}	MplsLdpGenAddr	R/O	[規格] ネクストホップアドレスの値。 [実装] 規格に同じ。	●

3.4 axrOadp グループ (OADP 情報 MIB)

3.4.1 axrOadpGlobalInfo グループ

(1) 識別子

axrOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 7}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7

axrOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOadp 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1

axrOadpGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOadpMIBObjects 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1

(2) 実装仕様

axrOadpGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-12 axrOadpGlobalInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOadpGlobalActive {axrOadpGlobalInfo 1}	TruthValue	R/O	OADP 機能の運用状態。oadp コンフィグレーションの enable または disable で設定した状態。 {enable(1), disable(2)}	●
2	axrOadpGlobalCdpActive {axrOadpGlobalInfo 2}	TruthValue	R/O	CDP 受信機能の運用状態。 oadp コンフィグレーションの cdp-listener を設定したかどうかの状態。 {cdp-listener(1), cdp-listener を設定していない (2)}	●
3	axrOadpGlobalMessageInterval {axrOadpGlobalInfo 3}	INTEGER (5..254)	R/O	OADP フレーム送信間隔。oadp コンフィグレーションの interval-time で設定した値。 [単位：秒]	●
4	axrOadpGlobalHoldTime {axrOadpGlobalInfo 4}	INTEGER (10..255)	R/O	本装置が送信した OADP フレームに関して、隣接装置が保持する時間。oadp コンフィグレーションの hold-time で設定した値。 [単位：秒]	●
5	axrOadpGlobalCacheLastChange {axrOadpGlobalInfo 5}	TimeTicks	R/O	axrOadpNeighborTable 情報が更新されたときの sysUpTime の値。	●
6	axrOadpGlobalName {axrOadpGlobalInfo 6}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	本装置の装置識別子。	●
7	axrOadpGlobalNameType {axrOadpGlobalInfo 7}	INTEGER	R/O	axrOadpGlobalName の種類。 • other (1) • sysName (2) • serialNumber (3) • MACaddress (4)	●

3.4.2 axrOadpPortInfo グループ

(1) 識別子

axrOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7

axrOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOadp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1

axrOadpPortInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOadpMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.2

(2) 実装仕様

axrOadpPortInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-13 axrOadpPortInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOadpPortConfigTable {axrOadpPortInfo 1}	SEQUENCE OF OadpPortConfigEntry	NA	OADP ポート情報に関するテーブル。	●
2	axrOadpPortConfigEntry {axrOadpPortConfigTable 1}	OadpPortConfigEntry	NA	OADP ポート情報に関するエントリ (ポートごと)。 INDEX{axrOadpPortConfigIfIndex}	●
3	axrOadpPortConfigIfIndex {axrOadpPortConfigEntry 1}	InterfaceIndex	R/O	ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 ifIndex が付与されている物理ポート, LA ポートが対象。	●
4	axrOadpPortConfigActive {axrOadpPortConfigEntry 2}	TruthValue	R/O	当該ポートに関する運用状態。 {enable(1), disable(2)}	●

3.4.3 axrOadpNeighborInfo グループ

(1) 識別子

axrOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7

axrOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOadp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1

axrOadpNeighborInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOadpMIBObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3

(2) 実装仕様

axrOadpNeighborInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-14 axrOadpNeighborInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOadpNeighborTable {axrOadpNeighborInfo 1}	SEQUENCE OF OadpNeighborEntry	NA	OADP 隣接ノードに関するテーブル。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axrOadpNeighborEntry {axrOadpNeighborTable 1}	OadpNeighborEntry	NA	OADP 隣接ノードに関するエントリ (隣接情報毎)。 INDEX {axrOadpIfIndex, axrOadpTagID, axrOadpNeighborIndex, axrOadpNeighborTagID}	●
3	axrOadpIfIndex {axrOadpNeighborEntry 1}	InterfaceIndex	R/O	受信インタフェースの ifIndex。	●
4	axrOadpTagID {axrOadpNeighborEntry 2}	INTEGER (0..4095)	R/O	MAC フレームに付加されていた IEEE802.1Q のタグ ID(VID)。	●
5	axrOadpNeighborIndex {axrOadpNeighborEntry 3}	INTEGER	R/O	隣接ノードを一意に識別する番号 (1 ~ 2 ³¹ -1)。	●
6	axrOadpNeighborTagID {axrOadpNeighborEntry 4}	INTEGER (0..4095)	R/O	隣接ノードから送信された OADP PDU 内の TagID TLV に設定された値。CDP の場合は常に 0。	●
7	axrOadpNeighborVendorType {axrOadpNeighborEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ノードを発見するために使ったプロトコルタイプ。 • other(1) • OADP(2) • CDP(3)	●
8	axrOadpNeighborSNMPAgentAddressType {axrOadpNeighborEntry 6}	INTEGER	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントアドレスの種類。 • ipv4(1) • ipv6(20) • other-notSupported(65535)	●
9	axrOadpNeighborSNMPAgentAddress {axrOadpNeighborEntry 7}	DisplayString	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントアドレスを DisplayString 化した情報。アドレス情報がない場合 (axrOadpNeighborSNMPAgentAddressType が other-notSupported) は NULL 文字。	●
10	axrOadpNeighborDescr {axrOadpNeighborEntry 8}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysDescr 相当の文字列。	●
11	axrOadpNeighborDeviceID {axrOadpNeighborEntry 9}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの装置識別子。OADP では axrOadpGlobalName で定義される文字列が格納される。	●
12	axrOadpNeighborSlotPort {axrOadpNeighborEntry 10}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの送信インタフェースを一意に識別する文字列。(NIF 番号 /Line 番号)	●
13	axrOadpNeighborIfIndex {axrOadpNeighborEntry 11}	InterfaceIndex	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifIndex。CDP の場合は常に 0。	●
14	axrOadpNeighborIfSpeed {axrOadpNeighborEntry 12}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifSpeed。CDP の場合は常に 0。	●
15	axrOadpNeighborDeviceType {axrOadpNeighborEntry 13}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの装置名称。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axrOadpNeighborService {axrOadpNeighborEntry 14}	OCTET STRING (SIZE(0..4))	R/O	隣接ノードが提供できる機能 (論理和の値)。 - Router (0x01) - Transparent Bridge (0x02) - Source-route Bridge (0x04) - Switch (0x08) - Host (0x10) - IGMP report を forward しない (0x20) - Repeater (0x40)	●
17	axrOadpNeighborVTPMgmtDomain {axrOadpNeighborEntry 15}	DisplayString (SIZE(0..32))	R/O	隣接ノードの送信インタフェースに関連する VTP Management Domain。	●
18	axrOadpNeighborNativeVLAN {axrOadpNeighborEntry 16}	INTEGER (0..4095)	R/O	隣接ノードの送信インタフェースに関連する Native VLAN 番号。	●
19	axrOadpNeighborDuplex {axrOadpNeighborEntry 17}	INTEGER	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの Duplex 情報。 - unknown (1) - HALF (2) - FULL (3)	●
20	axrOadpNeighborApplianceID {axrOadpNeighborEntry 18}	Gauge (0..255)	R/O	隣接ノードの Appliance ID。	●
21	axrOadpNeighborVlanID {axrOadpNeighborEntry 19}	Gauge (0..4095)	R/O	隣接ノードの VoIP 用の VLAN ID。	●
22	axrOadpNeighborPowerConsumption {axrOadpNeighborEntry 20}	Gauge	R/O	隣接ノードの VoIP 消費電力。 [単位 : ミリワット]	●
23	axrOadpNeighborMTU {axrOadpNeighborEntry 21}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの MTU。	●
24	axrOadpNeighborSysName {axrOadpNeighborEntry 22}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysName。	●
25	axrOadpNeighborSysObjectID {axrOadpNeighborEntry 23}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	隣接ノードの sysObjectID。	●
26	axrOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType {axrOadpNeighborEntry 24}	INTEGER	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントセカンダリアドレスの種類。 - ipv4(1) - ipv6(20) - other-notSupported(65535)	●
27	axrOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddress {axrOadpNeighborEntry 25}	DisplayString	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントセカンダリアドレスを DisplayString 化した情報。アドレス情報がない場合 (axrOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType が other-notSupported) は NULL 文字。	●
28	axrOadpNeighborPhysLocation {axrOadpNeighborEntry 26}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysLocation。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
29	axrOadpNeighborCacheLastChange {axrOadpNeighborEntry 27}	TimeTicks	R/O	隣接ノードに関する axrOadpNeighborEntry が更新されたときの sysUpTime。	●
30	axrOadpNeighborIfHighSpeed {axrOadpNeighborEntry 28}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インターフェースの ifHighSpeed。CDP の場合は常に 0。	●

3.5 axrFlow グループ (FLOW 情報 MIB)

3.5.1 axrFlowResources グループ

(1) 識別子

```
axrFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 8}

axrFlowResources OBJECT IDENTIFIER ::= {axrFlow 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2
```

(2) 実装仕様

axrFlowResources グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-15 axrFlowResources グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrFlowResourcesSystemUsed {axrFlowResources 1}	INTEGER	R/O	装置当たりのフローフィルタ機能, フロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に利用しているエントリ数 (0..256,000)	●
2	axrFlowResourcesSystemFree {axrFlowResources 2}	INTEGER	R/O	装置当たりのフローフィルタ機能, フロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に利用可能な空きエントリ数 (0..256,000)	●
3	axrFlowResourcesSystemMax {axrFlowResources 3}	INTEGER	R/O	装置当たりのフローフィルタ機能, フロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に利用可能な最大エントリ数 (0..256,000)	●
4	axrFlowResourcesSystemNetflowUsed {axrFlowResources 4}	INTEGER	R/O	装置当たりの NetFlow 統計情報機能に利用しているエントリ数 (0..100,000)	●
5	axrFlowResourcesSystemPolicyUsed {axrFlowResources 5}	INTEGER	R/O	装置当たりのポリシールーティング機能に利用しているエントリ数 (0..1,000)	●
6	axrFlowResourcesSystemPolicyMax {axrFlowResources 6}	INTEGER	R/O	装置当たりのポリシールーティング機能に利用可能な最大エントリ数 (1,000) 固定	●
7	axrFlowResourcesTable {axrFlowResources 7}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesEntry	NA	FlowResources のテーブル情報	●
8	axrFlowResourcesEntry {axrFlowResourcesTable 1}	axrFlowResourcesEntry	NA	FlowResources に関するエントリ [index]{axrFlowResourcesIndex}	●
9	axrFlowResourcesIndex {axrFlowResourcesEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別する PRU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800rPruBoardNumber までの値。 (PRU 搭載スロット番号 +1 の値)	●
10	axrFlowResourcesFilterUsed {axrFlowResourcesEntry 2}	INTEGER	R/O	PRU 当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数 (0..48,000)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	axrFlowResourcesFilterFree {axrFlowResourcesEntry 3}	INTEGER	R/O	PRU 当たりのフローフィルタ機能に利用可能な空きエントリ数 (0..48,000)	●
12	axrFlowResourcesQosUsed {axrFlowResourcesEntry 4}	INTEGER	R/O	PRU 当たりのフロー QoS 機能に利用しているエントリ数 (0..32,000)	●
13	axrFlowResourcesNetflowUsed {axrFlowResourcesEntry 5}	INTEGER	R/O	PRU 当たりの NetFlow 統計情報機能に利用しているエントリ数 (0..32,000)	●
14	axrFlowResourcesQosFree {axrFlowResourcesEntry 6}	INTEGER	R/O	PRU 当たりのフロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に利用可能な空きエントリ数 (0..32,000)	●
15	axrFlowResourcesUpcUsed {axrFlowResourcesEntry 7}	INTEGER	R/O	PRU 当たりの帯域制御機能 (UPC) に利用しているエントリ数 (0..8,000)	●
16	axrFlowResourcesUpcFree {axrFlowResourcesEntry 8}	INTEGER	R/O	PRU 当たりの帯域制御機能 (UPC) に利用可能な空きエントリ数 (0..8,000)	●
17	axrFlowResourcesPolicyUsed {axrFlowResourcesEntry 9}	INTEGER	R/O	PRU 当たりのポリシーラーティング機能に利用しているエントリ数 (0..1,000)	●
18	axrFlowResourcesPolicyMplsUsed {axrFlowResourcesEntry 10} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	PRU 当たりの MPLS ポリシーラーティング機能に利用しているエントリ数 (0..10,000)	●
19	axrFlowResourcesFilterInterfaceInTable {axrFlowResources 8}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesFilterInterfaceInEntry	NA	インタフェース当たりのフローフィルタ機能の Resources テーブル情報 (Inbound)	●
20	axrFlowResourcesFilterInterfaceInEntry {axrFlowResourcesFilterInterfaceInTable 1}	axrFlowResourcesFilterInterfaceInEntry	NA	FlowResourcesFilterInterface に関するエントリ [index] {axrFlowResourcesFilterInterfaceInifIndex, axrFlowResourcesFilterInterfaceifIndexType}	●
21	axrFlowResourcesFilterInterfaceInifIndex {axrFlowResourcesFilterInterfaceInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
22	axrFlowResourcesFilterInterfaceifIndexType {axrFlowResourcesFilterInterfaceInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定：(1) • インタフェース名称指定：(2) (2) 固定	●
23	axrFlowResourcesFilterInterfaceInUsed {axrFlowResourcesFilterInterfaceInEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェース当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数。	●
24	axrFlowResourcesFilterInterfaceOutTable {axrFlowResources 9}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry	NA	インタフェース当たりのフローフィルタ機能の Resources テーブル情報 (Outbound)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
25	axrFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry {axrFlowResourcesFilterInterfaceOutTable 1}	axrFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry	NA	FlowResourcesFilterInterface に関するエントリ [index] {axrFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndex, axrFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndexType}	●
26	axrFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndex {axrFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
27	axrFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndexType {axrFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定：(1) • インタフェース名称指定：(2) (2) 固定	●
28	axrFlowResourcesFilterInterfaceOutUsed {axrFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェース当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数。	●
29	axrFlowResourcesQosInterfaceInTable {axrFlowResources 10}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesQosInterfaceInEntry	NA	インタフェース当たりのフロー QoS 機能の Resources テーブル情報 (Inbound)	●
30	axrFlowResourcesQosInterfaceInEntry {axrFlowResourcesQosInterfaceInTable 1}	axrFlowResourcesQosInterfaceInEntry	NA	FlowResourcesQosInterface に関するエントリ [index] {axrFlowResourcesQosInterfaceInifIndex, axrFlowResourcesQosInterfaceInifIndexType}	●
31	axrFlowResourcesQosInterfaceInifIndex {axrFlowResourcesQosInterfaceInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
32	axrFlowResourcesQosInterfaceInifIndexType {axrFlowResourcesQosInterfaceInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定：(1) • インタフェース名称指定：(2) (2) 固定	●
33	axrFlowResourcesQosInterfaceInUsed {axrFlowResourcesQosInterfaceInEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェース当たりのフロー QoS 機能に利用しているエントリ数。	●
34	axrFlowResourcesQosInterfaceOutTable {axrFlowResources 11}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesQosInterfaceOutEntry	NA	インタフェース当たりのフロー QoS 機能の Resources テーブル情報 (Outbound)	●
35	axrFlowResourcesQosInterfaceOutEntry {axrFlowResourcesQosInterfaceOutTable 1}	axrFlowResourcesQosInterfaceOutEntry	NA	FlowResourcesQosInterface に関するエントリ [index] {axrFlowResourcesQosInterfaceOutifIndex, axrFlowResourcesQosInterfaceOutifIndexType}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
36	axrFlowResourcesQosInterfaceOutIfIndex {axrFlowResourcesQosInterfaceOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
37	axrFlowResourcesQosInterfaceOutIfIndexType {axrFlowResourcesQosInterfaceOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
38	axrFlowResourcesQosInterfaceOutUsed {axrFlowResourcesQosInterfaceOutEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェース当たりのフロー QoS 機能に利用しているエントリ数。	●
39	axrFlowResourcesFilterListInTable {axrFlowResources 12}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesFilterListInEntry	NA	リスト当たりのフローフィルタ機能の Resources テーブル情報 (Inbound)	●
40	axrFlowResourcesFilterListInEntry {axrFlowResourcesFilterListInTable 1}	axrFlowResourcesFilterListInEntry	NA	FlowResourcesFilterList に関するエントリ [index] {axrFlowResourcesFilterListInIfIndex, axrFlowResourcesFilterListInIfIndexType, axrFlowResourcesFilterListInNumber}	●
41	axrFlowResourcesFilterListInIfIndex {axrFlowResourcesFilterListInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
42	axrFlowResourcesFilterListInIfIndexType {axrFlowResourcesFilterListInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
43	axrFlowResourcesFilterListInNumber {axrFlowResourcesFilterListInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000	●
44	axrFlowResourcesFilterListInUsed {axrFlowResourcesFilterListInEntry 4}	INTEGER	R/O	リスト当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数。	●
45	axrFlowResourcesFilterListOutTable {axrFlowResources 13}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesFilterListOutEntry	NA	リスト当たりのフローフィルタ機能の Resources テーブル情報 (Outbound)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
46	axrFlowResourcesFilterListOutEntry {axrFlowResourcesFilterListOutTable 1}	axrFlowResourcesFilterListOutEntry	NA	FlowResourcesFilterList に関するエントリ [index] {axrFlowResourcesFilterListOutifIndex, axrFlowResourcesFilterListOutifIndexType, axrFlowResourcesFilterListOutNumber}	●
47	axrFlowResourcesFilterListOutifIndex {axrFlowResourcesFilterListOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
48	axrFlowResourcesFilterListOutifIndexType {axrFlowResourcesFilterListOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定：(1) • インタフェース名称指定：(2) (2) 固定	●
49	axrFlowResourcesFilterListOutNumber {axrFlowResourcesFilterListOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000	●
50	axrFlowResourcesFilterListOutUsed {axrFlowResourcesFilterListOutEntry 4}	INTEGER	R/O	リスト当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数。	●
51	axrFlowResourcesQosListInTable {axrFlowResources 14}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesQosListInEntry	NA	リスト当たりのフロー QoS 機能の Resources テーブル情報 (Inbound)	●
52	axrFlowResourcesQosListInEntry {axrFlowResourcesQosListInTable 1}	axrFlowResourcesQosListInEntry	NA	FlowResourcesQosList に関するエントリ [index] {axrFlowResourcesQosListInifIndex, axrFlowResourcesQosListInifIndexType, axrFlowResourcesQosListInNumber}	●
53	axrFlowResourcesQosListInifIndex {axrFlowResourcesQosListInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
54	axrFlowResourcesQosListInifIndexType {axrFlowResourcesQosListInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定：(1) • インタフェース名称指定：(2) (2) 固定	●
55	axrFlowResourcesQosListInNumber {axrFlowResourcesQosListInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
56	axrFlowResourcesQosListInUsed {axrFlowResourcesQosListInEntry 4}	INTEGER	R/O	リスト当たりのフロー QoS 機能に利用しているエン트리数。	●
57	axrFlowResourcesQosListOutTable {axrFlowResources 15}	SEQUENCE OF axrFlowResourcesQosListOutEntry	NA	リスト当たりのフロー QoS 機能の Resources テーブル情報 (Outbound)	●
58	axrFlowResourcesQosListOutEntry {axrFlowResourcesQosListOutTable 1}	axrFlowResourcesQosListOutEntry	NA	FlowResourcesQosList に関するエントリ [index] {axrFlowResourcesQosListOutifIndex, axrFlowResourcesQosListOutifIndexType, axrFlowResourcesQosListOutNumber }	●
59	axrFlowResourcesQosListOutifIndex {axrFlowResourcesQosListOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
60	axrFlowResourcesQosListOutifIndexType {axrFlowResourcesQosListOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
61	axrFlowResourcesQosListOutNumber {axrFlowResourcesQosListOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000	●
62	axrFlowResourcesQosListOutUsed {axrFlowResourcesQosListOutEntry 4}	INTEGER	R/O	リスト当たりのフロー QoS 機能に利用しているエン트리数。	●
63	axrFlowResourcesSystemPolicyMplsUsed {axrFlowResources 16} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	装置当たりの MPLS ポリシールーティング機能に利用しているエン트리数 (0..10,000)	●
64	axrFlowResourcesSystemPolicyMplsMax {axrFlowResources 17} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	装置当たりの MPLS ポリシールーティング機能に利用可能な最大エン트리数。 (10,000) 固定	●

3.5.2 axrFlowFilter グループ

(1) 識別子

```
axrFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 8}

axrFlowFilter OBJECT IDENTIFIER ::= {axrFlow 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3
```

(2) 実装仕様

axrFlowFilter グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-16 axrFlowFilter グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrFlowFilterInTable {axrFlowFilter 1}	SEQUENCE OF axrFlowFilterInEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) の テーブル情報	●
2	axrFlowFilterInEntry {axrFlowFilterInTable 1}	axrFlowFilterInEntry	NA	フローフィルタ検出条件に関するエントリ [index] {axrFlowFilterInifIndex, axrFlowFilterInifIndexType, axrFlowFilterInListNumber}	●
3	axrFlowFilterInifIndex {axrFlowFilterInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するイン デックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
4	axrFlowFilterInifIndexType {axrFlowFilterInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
5	axrFlowFilterInListNumber {axrFlowFilterInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するイン デックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 およ び 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は ,IPv4 および IPv6 という区別はなく優先 順位だけを示します。	●
6	axrFlowFilterInSrcMacOp {axrFlowFilterInEntry 4}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC アドレ スの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指 定 (1), マスクビットを併用して MAC ア ドレスを指定 (2), すべての MAC アドレス を指定 (any)(3)}	●
7	axrFlowFilterInSrcMac {axrFlowFilterInEntry 5}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC アドレ スを示します。 axrFlowFilterInSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	●
8	axrFlowFilterInSrcMacMask {axrFlowFilterInEntry 6}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC のマス ク示します。 axrFlowFilterInSrcMacOp=(2) の場合に 有効。	●
9	axrFlowFilterInDestMacOp {axrFlowFilterInEntry 7}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC アドレス の指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレス を指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5),LLDP プロトコルパケッ トの MAC アドレス (lldp)(7),OADP プロ トコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8),CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9)}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axrFlowFilterInDestMac {axrFlowFilterInEntry 8}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axrFlowFilterInDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	●
11	axrFlowFilterInDestMacMask {axrFlowFilterInEntry 9}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axrFlowFilterInDestMacOp=(2),(4)(マスクビット併用時),(5) の場合に有効。	●
12	axrFlowFilterInEthernetType {axrFlowFilterInEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプを示します。 (0x0600..0xffff) (指定なし (0x0000))	●
13	axrFlowFilterInUserPriority {axrFlowFilterInEntry 11}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。(0..7) (指定なし (-1))	●
14	axrFlowFilterInLowerVlanList {axrFlowFilterInEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の 2 ⁷ ビット)は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
15	axrFlowFilterInHigherVlanList {axrFlowFilterInEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の 2 ⁷ ビット)から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
16	axrFlowFilterInProtocolNumber {axrFlowFilterInEntry 14}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。(0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	●
17	axrFlowFilterInIpAddrType {axrFlowFilterInEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1),ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし,IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも, リスト番号によって示すタイプが異なります。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
18	axrFlowFilterInSrcIpOp {axrFlowFilterInEntry 16}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	●
19	axrFlowFilterInSrcIp {axrFlowFilterInEntry 17}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4, IPv6) axrFlowFilterInSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり, (-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
20	axrFlowFilterInSrcIpLength {axrFlowFilterInEntry 18}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) 示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowFilterInSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) 以外の場合 '0' を示します。	●
21	axrFlowFilterInSrcIpRange {axrFlowFilterInEntry 19}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4, IPv6) axrFlowFilterInSrcIpOp=(3) の場合に有効で, (3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
22	axrFlowFilterInDestIpOp {axrFlowFilterInEntry 20}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
23	axrFlowFilterInDestIp {axrFlowFilterInEntry 21}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axrFlowFilterInDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定(始点)の送信元 IP アドレスとなり,(-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
24	axrFlowFilterInDestIpLength {axrFlowFilterInEntry 22}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長(ipv4)またはプレフィックス長(ipv6)を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowFilterInDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外は '0' を示します。	●
25	axrFlowFilterInDestIpRange {axrFlowFilterInEntry 23}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した範囲指定(終端)の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowFilterInDestIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
26	axrFlowFilterInDscp {axrFlowFilterInEntry 24}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した DSCP 値を示します。(0..63)(指定なし(-1))	●
27	axrFlowFilterInPrecedence {axrFlowFilterInEntry 25}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した precedence 値を示します。(0..7)(指定なし(-1))	●
28	axrFlowFilterInUpperLength {axrFlowFilterInEntry 26}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。(0..65535)(指定なし(-1))	●
29	axrFlowFilterInLowerLength {axrFlowFilterInEntry 27}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限値を示します。(0..65535)(指定なし(-1))	●
30	axrFlowFilterInFragments {axrFlowFilterInEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない(-1), 入れる(1)}	●
31	axrFlowFilterInSrcPortOp {axrFlowFilterInEntry 29}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし(-1), 単一指定(1), 範囲指定(2)}	●
32	axrFlowFilterInSrcPort {axrFlowFilterInEntry 30}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。(0..65535) axrFlowFilterInSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定(始点)の送信元ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	●
33	axrFlowFilterInSrcPortRange {axrFlowFilterInEntry 31}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した範囲指定(終端)の送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowFilterInSrcPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
34	axrFlowFilterInDestPortOp {axrFlowFilterInEntry 32}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
35	axrFlowFilterInDestPort {axrFlowFilterInEntry 33}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。(0..65535) axrFlowFilterInDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で, (2) の場合は範囲指定 (始点) の宛先ポート番号を示し, (-1) の場合 '0' を示します。	●
36	axrFlowFilterInDestPortRange {axrFlowFilterInEntry 34}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先ポート番号を示します。(0..65535) axrFlowFilterInDestPortOp=(2) の場合に有効で, (2) 以外は '0' を示します。	●
37	axrFlowFilterInAckFlag {axrFlowFilterInEntry 35}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
38	axrFlowFilterInSynFlag {axrFlowFilterInEntry 36}	INTEGER	R/O	バーチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
39	axrFlowFilterInIcmpType {axrFlowFilterInEntry 37}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。(0..255) (指定なし (-1))	●
40	axrFlowFilterInIcmpCode {axrFlowFilterInEntry 38}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。(0..255) (指定なし (-1))	●
41	axrFlowFilterInIgmpType {axrFlowFilterInEntry 39}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IGMP タイプを示します。(0..255) (指定なし (-1))	●
42	axrFlowFilterInLabelOp {axrFlowFilterInEntry 40} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値の指定方法を示します。 {ラベル値の指定なし (-1), ラベル値を指定 (1), すべてのラベル値 (any) を指定 (2)}	●
43	axrFlowFilterInLabel {axrFlowFilterInEntry 41} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値を示します。(0..1048575) axrFlowFilterInLabelOp=(1) の場合に有効。	●
44	axrFlowFilterInExp {axrFlowFilterInEntry 42} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	検出条件に指定した shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (指定なし (-1))	●
45	axrFlowFilterOutTable {axrFlowFilter 2}	SEQUENCE OF axrFlowFilterOutEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) のテーブル情報	●
46	axrFlowFilterOutEntry {axrFlowFilterOutTable 1}	axrFlowFilterOutEntry	NA	フローフィルタ検出条件に関するエントリ [index] {axrFlowFilterOutifIndex, axrFlowFilterOutifIndexType, axrFlowFilterOutListNumber}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
47	axrFlowFilterOutifIndex {axrFlowFilterOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
48	axrFlowFilterOutifIndexType {axrFlowFilterOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定: (1) ・ インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
49	axrFlowFilterOutListNumber {axrFlowFilterOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は, IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
50	axrFlowFilterOutSrcMacOp {axrFlowFilterOutEntry 4}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	●
51	axrFlowFilterOutSrcMac {axrFlowFilterOutEntry 5}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axrFlowFilterOutSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	●
52	axrFlowFilterOutSrcMacMask {axrFlowFilterOutEntry 6}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axrFlowFilterOutSrcMacOp=(2) の場合に有効。	●
53	axrFlowFilterOutDestMacOp {axrFlowFilterOutEntry 7}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5)}	●
54	axrFlowFilterOutDestMac {axrFlowFilterOutEntry 8}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axrFlowFilterOutDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	●
55	axrFlowFilterOutDestMacMask {axrFlowFilterOutEntry 9}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axrFlowFilterOutDestMacOp=(2),(4)(マスクビット併用時),(5) の場合に有効。	●
56	axrFlowFilterOutEthernetType {axrFlowFilterOutEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプを示します。 (0x0600..0xffff) 常に (0x0000)	●
57	axrFlowFilterOutUserPriority {axrFlowFilterOutEntry 11}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
58	axrFlowFilterOutLowerVlanList {axrFlowFilterOutEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の 2^7 ビット) は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
59	axrFlowFilterOutHigherVlanList {axrFlowFilterOutEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の 2^7 ビット) から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
60	axrFlowFilterOutProtocolNumber {axrFlowFilterOutEntry 14}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。(0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	●
61	axrFlowFilterOutIpAddressType {axrFlowFilterOutEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1), ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし, IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも, リスト番号によって示すタイプが異なります。	●
62	axrFlowFilterOutSrcIpOp {axrFlowFilterOutEntry 16}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	●
63	axrFlowFilterOutSrcIp {axrFlowFilterOutEntry 17}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4, IPv6) axrFlowFilterOutSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり, (-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
64	axrFlowFilterOutSrcIpLength {axrFlowFilterOutEntry 18}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) 示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowFilterOutSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) 以外の場合 '0' を示します。	●
65	axrFlowFilterOutSrcIpRange {axrFlowFilterOutEntry 19}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowFilterOutSrcIpOp=(3) の場合に有効で, (3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
66	axrFlowFilterOutDestIpOp {axrFlowFilterOutEntry 20}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	●
67	axrFlowFilterOutDestIp {axrFlowFilterOutEntry 21}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axrFlowFilterOutDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり, (-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
68	axrFlowFilterOutDestIpLength {axrFlowFilterOutEntry 22}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) 示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowFilterOutDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) 以外は '0' を示します。	●
69	axrFlowFilterOutDestIpRange {axrFlowFilterOutEntry 23}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowFilterOutDestIpOp=(3) の場合に有効で, (3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
70	axrFlowFilterOutDscp {axrFlowFilterOutEntry 24}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
71	axrFlowFilterOutPrecedence {axrFlowFilterOutEntry 25}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●
72	axrFlowFilterOutUpperLength {axrFlowFilterOutEntry 26}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IP ユーザデータ長 の上限値を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
73	axrFlowFilterOutLowerLength {axrFlowFilterOutEntry 27}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IP ユーザデータ長 の下限値を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
74	axrFlowFilterOutFragments {axrFlowFilterOutEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを検 出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
75	axrFlowFilterOutSrcPortOp {axrFlowFilterOutEntry 29}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元ポート番号の 指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
76	axrFlowFilterOutSrcPort {axrFlowFilterOutEntry 30}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元ポート番号を 示します。(0..65535) axrFlowFilterOutSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指 定(始点)の送信元ポート番号を示し ,(-1) の場合 '0' を示します。	●
77	axrFlowFilterOutSrcPortRange {axrFlowFilterOutEntry 31}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した範囲指定(終端)の 送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowFilterOutSrcPortOp=(2) の場合 に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	●
78	axrFlowFilterOutDestPortOp {axrFlowFilterOutEntry 32}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先ポート番号の指 定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
79	axrFlowFilterOutDestPort {axrFlowFilterOutEntry 33}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先ポート番号を示 します。(0..65535) axrFlowFilterOutDestPortOp=(1) また は(2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲 指定(始点)の宛先ポート番号を示し ,(-1) の場合 '0' を示します。	●
80	axrFlowFilterOutDestPortRang e {axrFlowFilterOutEntry 34}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した範囲指定(終端)の 宛先ポート番号を示します。(0..65535) axrFlowFilterOutDestPortOp=(2) の場 合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	●
81	axrFlowFilterOutAckFlag {axrFlowFilterOutEntry 35}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した TCP 片方向通信許 可(ACK フラグが 1)を検出条件に入れる かどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
82	axrFlowFilterOutSynFlag {axrFlowFilterOutEntry 36}	INTEGER	R/O	バーチャルサーキット確立許可(SYN フ ラグが 1)を検出条件に入れるかどうか を示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
83	axrFlowFilterOutIcmpType {axrFlowFilterOutEntry 37}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
84	axrFlowFilterOutIcmpCode {axrFlowFilterOutEntry 38}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
85	axrFlowFilterOutIcmpType {axrFlowFilterOutEntry 39}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
86	axrFlowFilterOutLabelOp {axrFlowFilterOutEntry 40} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値の指定方法を示します。 {ラベル値の指定なし (-1), ラベル値を指定 (1), すべてのラベル値 (any) を指定 (2)}	●
87	axrFlowFilterOutLabel {axrFlowFilterOutEntry 41} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値を示します。(0..1048575) axrFlowFilterOutLabelOp=(1) の場合に有効。	●
88	axrFlowFilterOutExp {axrFlowFilterOutEntry 42} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	検出条件に指定した shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (指定なし (-1))	●
89	axrFlowFilterInActTable {axrFlowFilter 3}	SEQUENCE OF axrFlowFilterInActEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) に指定した動作パラメータのテーブル情報	●
90	axrFlowFilterInActEntry {axrFlowFilterInActTable 1}	axrFlowFilterInActEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) に指定した動作パラメータに関するエントリ [index] {axrFlowFilterInActIfIndex, axrFlowFilterInActIfIndexType, axrFlowFilterInActListNumber}	●
91	axrFlowFilterInActIfIndex {axrFlowFilterInActEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
92	axrFlowFilterInActIfIndexType {axrFlowFilterInActEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
93	axrFlowFilterInActListNumber {axrFlowFilterInActEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は, IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
94	axrFlowFilterInActInfo {axrFlowFilterInActEntry 4}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した動作パラメータの情報を示します。 【OP-MPLS】 なしの場合 {Drop(1), Forward(2), Policy(3), Policy_Group(4)} 【OP-MPLS】 ありの場合 {Drop(1), Forward(2), Policy(3), Policy_Group(4), Policy-Mpls(5)}	●
95	axrFlowFilterOutActTable {axrFlowFilter 4}	SEQUENCE OF axrFlowFilterOutActEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) に指定した動作パラメータのテーブル情報	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
96	axrFlowFilterOutActEntry {axrFlowFilterOutActTable 1}	axrFlowFilterOutActEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) に指定した動作パラメータに関するエントリ [index] {axrFlowFilterOutActifIndex, axrFlowFilterOutActifIndexType, axrFlowFilterOutActListNumber}	●
97	axrFlowFilterOutActifIndex {axrFlowFilterOutActEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
98	axrFlowFilterOutActifIndexType {axrFlowFilterOutActEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
99	axrFlowFilterOutActListNumber {axrFlowFilterOutActEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、 IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
100	axrFlowFilterOutActInfo {axrFlowFilterOutActEntry 4}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した動作パラメータの情報を示します。 {Drop(1), Forward(2)}	●

3.5.3 axrFlowFilterStats グループ

(1) 識別子

```
axrFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 8}

axrFlowFilterStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrFlow 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4
```

(2) 実装仕様

axrFlowFilterStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-17 axrFlowFilterStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrFlowFilterStatsInTable {axrFlowFilterStats 1}	SEQUENCE OF axrFlowFilterStatsInEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報のテーブル情報	●
2	axrFlowFilterStatsInEntry {axrFlowFilterStatsInTable 1}	axrFlowFilterStatsInEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報に関するエントリ [index] {axrFlowFilterStatsInifIndex, axrFlowFilterStatsInifIndexType, axrFlowFilterStatsInListNumber}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	axrFlowFilterStatsInifIndex {axrFlowFilterStatsInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
4	axrFlowFilterStatsInifIndexType {axrFlowFilterStatsInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定：(1) • インタフェース名称指定：(2) (2) 固定	●
5	axrFlowFilterStatsInListNumber {axrFlowFilterStatsInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
6	axrFlowFilterStatsInDropPackets {axrFlowFilterStatsInEntry 4}	Counter64	R/O	検出条件に一致し廃棄したパケット数 (廃棄パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが Drop(axrFlowFilterInActInfo(1)) または検出条件に IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックス (axrFlowFilterInSrcIpOp(7) または axrFlowFilterInDestIpOp(7)) を指定した場合に有効で無効時は (0) を示します)	●※
7	axrFlowFilterStatsInForwardPackets {axrFlowFilterStatsInEntry 5}	Counter64	R/O	検出条件に一致し中継したパケット数 (中継パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが Forward(axrFlowFilterInActInfo(2)) の場合に有効で無効時は (0) を示します)	●※
8	axrFlowFilterStatsInPolicyRoutedPackets {axrFlowFilterStatsInEntry 6}	Counter64	R/O	検出条件に一致しポリシールーティングされたパケット数 (中継パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが policy(axrFlowFilterInActInfo(3)) または policy_group(axrFlowFilterInActInfo(4)) の場合に有効で無効時は (0) を示します)	●※
9	axrFlowFilterStatsInPolicyMplsRoutedPackets {axrFlowFilterStatsInEntry 10} 【OP-MPLS】	Counter64	R/O	検出条件に一致しポリシールーティングされたパケット数 (中継パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが policy-mpls(axrFlowFilterInActInfo(5)) の場合に有効で無効時は (0) を示します)	●※
10	axrFlowFilterStatsOutTable {axrFlowFilterStats 2}	SEQUENCE OF axrFlowFilterStatsOutEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報のテーブル情報	●
11	axrFlowFilterStatsOutEntry {axrFlowFilterStatsOutTable 1}	axrFlowFilterStatsOutEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報に関するエントリ [index] {axrFlowFilterStatsOutifIndex, axrFlowFilterStatsOutifIndexType, axrFlowFilterStatsOutListNumber}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	axrFlowFilterStatsOutifIndex {axrFlowFilterStatsOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
13	axrFlowFilterStatsOutifIndexType {axrFlowFilterStatsOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
14	axrFlowFilterStatsOutListNumber {axrFlowFilterStatsOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は ,IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
15	axrFlowFilterStatsOutDropPackets {axrFlowFilterStatsOutEntry 4}	Counter64	R/O	検出条件に一致し廃棄したパケット数 (廃棄パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが Drop(axrFlowFilterOutActInfo(1)) または検出条件に IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックス (axrFlowFilterOutSrcIpOp(7) または axrFlowFilterOutDestIpOp(7)) を指定した場合に有効で無効時は (0) を示します)	●※
16	axrFlowFilterStatsOutForwardPackets {axrFlowFilterStatsOutEntry 5}	Counter64	R/O	検出条件に一致し中継したパケット数 (中継パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが Forward(axrFlowFilterOutActInfo(2)) の場合に有効で無効時は (0) を示します)	●※

注※

MIB で指定したインタフェースのパケット数取得と当該指定インタフェースが属する PRU に対する以下のコンフィギュレーションや運用コマンドの操作を同時に行なった場合、オブジェクトの値が「0」を示す場合があります。

1. コンフィギュレーションフローフィルタ情報の追加・削除・変更
2. コンフィギュレーションフロー QoS 情報の追加・削除・変更
3. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報を収容する <LA Name> が属する LA に、新たに PRU をまたがるように aggregated-port を追加した場合、または PRU をまたがらなくなるように aggregated-port を削除した場合
4. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <Line Name> の -r 指定による削除
5. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <Tag-VLAN Name> の -r 指定による削除
6. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <LA Name> の -r 指定による削除
7. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する IP アドレス情報の -r 指定による削除
8. free pru コマンドを実行して PRU を運用状態にする。

3.5.4 axrFlowQos グループ

(1) 識別子

```
axrFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 8}

axrFlowQos OBJECT IDENTIFIER ::= {axrFlow 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5
```

(2) 実装仕様

axrFlowQos グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-18 axrFlowQos グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrFlowQosInTable {axrFlowQos 1}	SEQUENCE OF axrFlowQosInEntry	NA	通常フロー検出条件 (Inbound) のテーブル情報	●
2	axrFlowQosInEntry {axrFlowQosInTable 1}	axrFlowQosInEntry	NA	通常フロー検出条件 (Inbound) に関するエントリ [index] {axrFlowQosInifIndex, axrFlowQosInifIndexType, axrFlowQosInListNumber}	●
3	axrFlowQosInifIndex {axrFlowQosInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
4	axrFlowQosInifIndexType {axrFlowQosInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
5	axrFlowQosInListNumber {axrFlowQosInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
6	axrFlowQosInSrcMacOp {axrFlowQosInEntry 4}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	●
7	axrFlowQosInSrcMac {axrFlowQosInEntry 5}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axrFlowQosInSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	●
8	axrFlowQosInSrcMacMask {axrFlowQosInEntry 6}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axrFlowQosInSrcMacOp=(2) の場合に有効。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axrFlowQosInDestMacOp {axrFlowQosInEntry 7}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5), LLDP プロトコルパケットの MAC アドレス (lldp)(7), OADP プロトコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8), CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9)}	●
10	axrFlowQosInDestMac {axrFlowQosInEntry 8}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axrFlowQosInDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	●
11	axrFlowQosInDestMacMask {axrFlowQosInEntry 9}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axrFlowQosInDestMacOp=(2),(4)(マスクビット併用時),(5) の場合に有効。	●
12	axrFlowQosInEthernetType {axrFlowQosInEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	通常フロー検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプを示します。 (0x0600..0xffff)(指定なし (0x0000))	●
13	axrFlowQosInUserPriority {axrFlowQosInEntry 11}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●
14	axrFlowQosInLowerVlanList {axrFlowQosInEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	通常フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の 2 ⁷ ビット)は untagged 定義の有無を示し、以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効/無効を示す)。 - bit が 0: その VLAN は無効 - bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
15	axrFlowQosInHigherVlanList {axrFlowQosInEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	通常フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の 2 ⁷ ビット)から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効/無効を示す)。 - bit が 0: その VLAN は無効 - bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
16	axrFlowQosInProtocolNumber {axrFlowQosInEntry 14}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。 (0..255)(指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
17	axrFlowQosInIpAddrType {axrFlowQosInEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1),ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし,IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも,リスト番号によって示すタイプが異なります。	●
18	axrFlowQosInSrcIpOp {axrFlowQosInEntry 16}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1),IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	●
19	axrFlowQosInSrcIp {axrFlowQosInEntry 17}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axrFlowQosInSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定(始点)の送信元 IP アドレスとなり,(-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
20	axrFlowQosInSrcIpLength {axrFlowQosInEntry 18}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowQosInSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外の場合 '0' を示します。	●
21	axrFlowQosInSrcIpRange {axrFlowQosInEntry 19}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定(終端)の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowQosInSrcIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
22	axrFlowQosInDestIpOp {axrFlowQosInEntry 20}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	●
23	axrFlowQosInDestIp {axrFlowQosInEntry 21}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4, IPv6) axrFlowQosInDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり, (-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
24	axrFlowQosInDestIpLength {axrFlowQosInEntry 22}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowQosInDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) の以外は '0' を示します。	●
25	axrFlowQosInDestIpRange {axrFlowQosInEntry 23}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4, IPv6) axrFlowQosInDestIpOp=(3) の場合に有効で, (3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
26	axrFlowQosInDscp {axrFlowQosInEntry 24}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	●
27	axrFlowQosInPrecedence {axrFlowQosInEntry 25}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●
28	axrFlowQosInUpperLength {axrFlowQosInEntry 26}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
29	axrFlowQosInLowerLength {axrFlowQosInEntry 27}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
30	axrFlowQosInFragments {axrFlowQosInEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを通常フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
31	axrFlowQosInSrcPortOp {axrFlowQosInEntry 29}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
32	axrFlowQosInSrcPort {axrFlowQosInEntry 30}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosInSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で, (2) の場合は範囲指定 (始点) の送信元ポート番号を示し, (-1) の場合 '0' を示します。	●
33	axrFlowQosInSrcPortRange {axrFlowQosInEntry 31}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosInSrcPortOp=(2) の場合に有効で, (2) 以外は '0' を示します。	●
34	axrFlowQosInDestPortOp {axrFlowQosInEntry 32}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
35	axrFlowQosInDestPort {axrFlowQosInEntry 33}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosInDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で, (2) の場合は範囲指定 (始点) の宛先ポート番号を示し, (-1) の場合 '0' を示します。	●
36	axrFlowQosInDestPortRange {axrFlowQosInEntry 34}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosInDestPortOp=(2) の場合に有効で, (2) 以外は '0' を示します。	●
37	axrFlowQosInAckFlag {axrFlowQosInEntry 35}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
38	axrFlowQosInSynFlag {axrFlowQosInEntry 36}	INTEGER	R/O	バーチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を通常フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
39	axrFlowQosInIcmpType {axrFlowQosInEntry 37}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
40	axrFlowQosInIcmpCode {axrFlowQosInEntry 38}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
41	axrFlowQosInIgmpType {axrFlowQosInEntry 39}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1)) IPv4 だけ	●
42	axrFlowQosInLabelOp {axrFlowQosInEntry 40} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値の指定方法を示し ます。 {ラベル値の指定なし (-1), ラベル値を 指定 (1), すべてのラベル値 (any) を指 定 (2)}	●
43	axrFlowQosInLabel {axrFlowQosInEntry 41} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値を示します。 (0..1048575) axrFlowQosInLabelOp=(1) の場合に 有効。	●
44	axrFlowQosInExp {axrFlowQosInEntry 42} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (指定なし (-1))	●
45	axrFlowQosInPremTable {axrFlowQos 2}	SEQUENCE OF axrFlowQosInPre mEntry	NA	重要フロー検出条件 (Inbound) のテー ブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場 合, テーブル情報を表示しません)	●
46	axrFlowQosInPremEntry {axrFlowQosInPremTable 1}	axrFlowQosInPre mEntry	NA	重要フロー検出条件 (Inbound) に関す るエントリ [index] {axrFlowQosInPremifIndex, axrFlowQosInPremifIndexType, axrFlowQosInPremListNumber}	●
47	axrFlowQosInPremifIndex {axrFlowQosInPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するイン デックス値 (ifIndex と同じ) を示し ます。	●
48	axrFlowQosInPremifIndexType {axrFlowQosInPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
49	axrFlowQosInPremListNumber {axrFlowQosInPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するイン デックス値 (リスト番号) を示しま す。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合 は, IPv4 および IPv6 という区別はな く優先順位だけを示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
50	axrFlowQosInPremSrcMacOp {axrFlowQosInPremEntry 4}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	●
51	axrFlowQosInPremSrcMac {axrFlowQosInPremEntry 5}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axrFlowQosInPremSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	●
52	axrFlowQosInPremSrcMacMask {axrFlowQosInPremEntry 6}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axrFlowQosInPremSrcMacOp=(2) の場合に有効。	●
53	axrFlowQosInPremDestMacOp {axrFlowQosInPremEntry 7}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5), LLDP プロトコルパケットの MAC アドレス (lldp)(7), OADP プロトコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8), CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9)}	●
54	axrFlowQosInPremDestMac {axrFlowQosInPremEntry 8}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axrFlowQosInPremDestMacOp=(1), (2), (4), (5) の場合に有効。	●
55	axrFlowQosInPremDestMacMask {axrFlowQosInPremEntry 9}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axrFlowQosInPremDestMacOp=(2), (4) (マスクビット併用時), (5) の場合に有効。	●
56	axrFlowQosInPremEthernetType {axrFlowQosInPremEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	重要フロー検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/ RFC1042 形式のイーサネットタイプを示します。 (0x0600..0xffff) (指定なし (0x0000))	●
57	axrFlowQosInPremUserPriority {axrFlowQosInPremEntry 11}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
58	axrFlowQosInPremLowerVlanList {axrFlowQosInPremEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	重要フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の 2^7 ビット)は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
59	axrFlowQosInPremHigherVlanList {axrFlowQosInPremEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	重要フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の 2^7 ビット)から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
60	axrFlowQosInPremProtocolNumber {axrFlowQosInPremEntry 14}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。(0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	●
61	axrFlowQosInPremIpAddressType {axrFlowQosInPremEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1), ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし, IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも, リスト番号によって示すタイプが異なります。	●
62	axrFlowQosInPremSrcIpOp {axrFlowQosInPremEntry 16}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6)}	●
63	axrFlowQosInPremSrcIp {axrFlowQosInPremEntry 17}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4, IPv6) axrFlowQosInPremSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定(始点)の送信元 IP アドレスを示し, (-1),(4) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
64	axrFlowQosInPremSrcIpLength {axrFlowQosInPremEntry 18}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowQosInPremSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) 以外は '0' を示します。	●
65	axrFlowQosInPremSrcIpRange {axrFlowQosInPremEntry 19}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axrFlowQosInPremSrcIpOp=(3) の場合に有効で, (3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
66	axrFlowQosInPremDestIpOp {axrFlowQosInPremEntry 20}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6)}	●
67	axrFlowQosInPremDestIp {axrFlowQosInPremEntry 21}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axrFlowQosInPremDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスを示し, (-1),(4) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
68	axrFlowQosInPremDestIpLength {axrFlowQosInPremEntry 22}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowQosInPremDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) 以外は '0' を示します。	●
69	axrFlowQosInPremDestIpRange {axrFlowQosInPremEntry 23}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axrFlowQosInPremDestIpOp=(3) の場合に有効で, (3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
70	axrFlowQosInPremDscp {axrFlowQosInPremEntry 24}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
71	axrFlowQosInPremPrecedence {axrFlowQosInPremEntry 25}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●
72	axrFlowQosInPremUpperLength {axrFlowQosInPremEntry 26}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
73	axrFlowQosInPremLowerLength {axrFlowQosInPremEntry 27}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
74	axrFlowQosInPremFragments {axrFlowQosInPremEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを重要フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
75	axrFlowQosInPremSrcPortOp {axrFlowQosInPremEntry 29}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
76	axrFlowQosInPremSrcPort {axrFlowQosInPremEntry 30}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。(0..65535) axrFlowQosInPremSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定(始点)の送信元ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	●
77	axrFlowQosInPremSrcPortRange {axrFlowQosInPremEntry 31}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定(終端)の送信元ポート番号を示します。(0..65535) axrFlowQosInPremSrcPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	●
78	axrFlowQosInPremDestPortOp {axrFlowQosInPremEntry 32}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
79	axrFlowQosInPremDestPort {axrFlowQosInPremEntry 33}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosInPremDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定(始点)の宛先ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	●
80	axrFlowQosInPremDestPortRange {axrFlowQosInPremEntry 34}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定(終端)の宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosInPremDestPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は場合 '0' を示します。	●
81	axrFlowQosInPremAckFlag {axrFlowQosInPremEntry 35}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
82	axrFlowQosInPremSynFlag {axrFlowQosInPremEntry 36}	INTEGER	R/O	バーチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を重要フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
83	axrFlowQosInPremIcmpType {axrFlowQosInPremEntry 37}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
84	axrFlowQosInPremIcmpCode {axrFlowQosInPremEntry 38}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
85	axrFlowQosInPremIgmpType {axrFlowQosInPremEntry 39}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1)) IPv4 だけ	●
86	axrFlowQosInPremLabelOp {axrFlowQosInPremEntry 40} [OP-MPLS]	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値の指定方法を示します。 {ラベル値の指定なし (-1), ラベル値を指定 (1), すべてのラベル値 (any) を指定 (2)}	●
87	axrFlowQosInPremLabel {axrFlowQosInPremEntry 41} [OP-MPLS]	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値を示します。 (0..1048575) axrFlowQosInPremLabelOp=(1) の場合に有効。	●
88	axrFlowQosInPremExp {axrFlowQosInPremEntry 42} [OP-MPLS]	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (指定なし (-1))	●
89	axrFlowQosOutTable {axrFlowQos 3}	SEQUENCE OF axrFlowQosOutEntry	NA	通常フロー検出条件 (Outbound) のテーブル情報	●
90	axrFlowQosOutEntry {axrFlowQosOutTable 1}	axrFlowQosOutEntry	NA	通常フロー検出条件 (Outbound) に関するエントリ [index] {axrFlowQosOutifIndex, axrFlowQosOutifIndexType, axrFlowQosOutListNumber}	●
91	axrFlowQosOutifIndex {axrFlowQosOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
92	axrFlowQosOutifIndexType {axrFlowQosOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定: (1) ・ インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
93	axrFlowQosOutListNumber {axrFlowQosOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は, IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
94	axrFlowQosOutSrcMacOp {axrFlowQosOutEntry 4}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	●
95	axrFlowQosOutSrcMac {axrFlowQosOutEntry 5}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axrFlowQosOutSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	●
96	axrFlowQosOutSrcMacMask {axrFlowQosOutEntry 6}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axrFlowQosOutSrcMacOp=(2) の場合に有効。	●
97	axrFlowQosOutDestMacOp {axrFlowQosOutEntry 7}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5)}	●
98	axrFlowQosOutDestMac {axrFlowQosOutEntry 8}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axrFlowQosOutDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	●
99	axrFlowQosOutDestMacMask {axrFlowQosOutEntry 9}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axrFlowQosOutDestMacOp=(2),(4)(マスクビット併用時),(5) の場合に有効。	●
100	axrFlowQosOutEthernetType {axrFlowQosOutEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	通常フロー検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/ RFC1042 形式のイーサネットタイプを示します。 (0x0600..0xffff) 常に (0x0000)	●
101	axrFlowQosOutUserPriority {axrFlowQosOutEntry 11}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
102	axrFlowQosOutLowerVlanList {axrFlowQosOutEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	通常フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の 2^7 ビット) は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
103	axrFlowQosOutHigherVlanList {axrFlowQosOutEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	通常フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の 2^7 ビット) から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
104	axrFlowQosOutProtocolNumber {axrFlowQosOutEntry 14}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。 (0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	●
105	axrFlowQosOutIpAddrType {axrFlowQosOutEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1), ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし, IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも, リスト番号によって示すタイプが異なります。	●
106	axrFlowQosOutSrcIpOp {axrFlowQosOutEntry 16}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	●
107	axrFlowQosOutSrcIp {axrFlowQosOutEntry 17}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4, IPv6) axrFlowQosOutSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり, (-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
108	axrFlowQosOutSrcIpLength {axrFlowQosOutEntry 18}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowQosOutSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) 以外の場合 '0' を示します。	●
109	axrFlowQosOutSrcIpRange {axrFlowQosOutEntry 19}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowQosOutSrcIpOp=(3) の場合に有効で, (3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
110	axrFlowQosOutDestIpOp {axrFlowQosOutEntry 20}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	●
111	axrFlowQosOutDestIp {axrFlowQosOutEntry 21}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowQosOutDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり, (-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
112	axrFlowQosOutDestIpLength {axrFlowQosOutEntry 22}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowQosOutDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) 以外は '0' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
113	axrFlowQosOutDestIpRange {axrFlowQosOutEntry 23}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowQosOutDestIpOp=(3) の場合に有効で ,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
114	axrFlowQosOutDscp {axrFlowQosOutEntry 24}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した DSCP 値を示します。(0..63) (指定なし (-1))	●
115	axrFlowQosOutPrecedence {axrFlowQosOutEntry 25}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●
116	axrFlowQosOutUpperLength {axrFlowQosOutEntry 26}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
117	axrFlowQosOutLowerLength {axrFlowQosOutEntry 27}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
118	axrFlowQosOutFragments {axrFlowQosOutEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを通常フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
119	axrFlowQosOutSrcPortOp {axrFlowQosOutEntry 29}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
120	axrFlowQosOutSrcPort {axrFlowQosOutEntry 30}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosOutSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で ,(2) の場合は範囲指定 (始点) の送信元ポート番号を示し ,(-1) の場合 '0' を示します。	●
121	axrFlowQosOutSrcPortRange {axrFlowQosOutEntry 31}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosOutSrcPortOp=(2) の場合に有効で ,(2) 以外は '0' を示します。	●
122	axrFlowQosOutDestPortOp {axrFlowQosOutEntry 32}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
123	axrFlowQosOutDestPort {axrFlowQosOutEntry 33}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosOutDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で ,(2) の場合は範囲指定 (始点) の宛先ポート番号を示し ,(-1) の場合 '0' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
124	axrFlowQosOutDestPortRange {axrFlowQosOutEntry 34}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosOutDestPortOp=(2) の場合に有効で ,(2) 以外は '0' を示します。	●
125	axrFlowQosOutAckFlag {axrFlowQosOutEntry 35}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
126	axrFlowQosOutSynFlag {axrFlowQosOutEntry 36}	INTEGER	R/O	バーチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を通常フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
127	axrFlowQosOutIcmpType {axrFlowQosOutEntry 37}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
128	axrFlowQosOutIcmpCode {axrFlowQosOutEntry 38}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
129	axrFlowQosOutIgmptype {axrFlowQosOutEntry 39}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1)) IPv4 だけ	●
130	axrFlowQosOutLabelOp {axrFlowQosOutEntry 40} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値の指定方法を示します。 {ラベル値の指定なし (-1), ラベル値を指定 (1), すべてのラベル値 (any) を指定 (2)}	●
131	axrFlowQosOutLabel {axrFlowQosOutEntry 41} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値を示します。 (0..1048575) axrFlowQosOutLabelOp=(1) の場合に有効。	●
132	axrFlowQosOutExp {axrFlowQosOutEntry 42} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (指定なし (-1))	●
133	axrFlowQosOutPremTable {axrFlowQos 4}	SEQUENCE OF axrFlowQosOutPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Outbound) のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合、テーブル情報を表示しません)	●
134	axrFlowQosOutPremEntry {axrFlowQosOutPremTable 1}	axrFlowQosOutPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Outbound) に関するエントリ [index] {axrFlowQosOutPremifIndex, axrFlowQosOutPremifIndexType, axrFlowQosOutPremListNumber}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
135	axrFlowQosOutPremifIndex {axrFlowQosOutPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
136	axrFlowQosOutPremifIndexType {axrFlowQosOutPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
137	axrFlowQosOutPremListNumber {axrFlowQosOutPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は, IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
138	axrFlowQosOutPremSrcMacOp {axrFlowQosOutPremEntry 4}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	●
139	axrFlowQosOutPremSrcMac {axrFlowQosOutPremEntry 5}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axrFlowQosOutPremSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	●
140	axrFlowQosOutPremSrcMacMask {axrFlowQosOutPremEntry 6}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axrFlowQosOutPremSrcMacOp=(2) の場合に有効。	●
141	axrFlowQosOutPremDestMacOp {axrFlowQosOutPremEntry 7}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5)}	●
142	axrFlowQosOutPremDestMac {axrFlowQosOutPremEntry 8}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axrFlowQosOutPremDestMacOp=(1), (2), (4), (5) の場合に有効。	●
143	axrFlowQosOutPremDestMacMask {axrFlowQosOutPremEntry 9}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axrFlowQosOutPremDestMacOp=(2), (4) (マスクビット併用時), (5) の場合に有効。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
144	axrFlowQosOutPremEthernetType {axrFlowQosOutPremEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	重要フロー検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプを示します。 (0x0600..0xffff)(指定なし (0x0000))	●
145	axrFlowQosOutPremUserPriority {axrFlowQosOutPremEntry 11}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●
146	axrFlowQosOutPremLowerVlanList {axrFlowQosOutPremEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	重要フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の 2 ⁷ ビット)は untagged 定義の有無を示し、以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
147	axrFlowQosOutPremHigherVlanList {axrFlowQosOutPremEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	重要フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の 2 ⁷ ビット)から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効/無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	●
148	axrFlowQosOutPremProtocolNumber {axrFlowQosOutPremEntry 14}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。 (0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	●
149	axrFlowQosOutPremIpAddressType {axrFlowQosOutPremEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1),ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし、IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも、リスト番号によって示すタイプが異なります。	●
150	axrFlowQosOutPremSrcIpOp {axrFlowQosOutPremEntry 16}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6)}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
151	axrFlowQosOutPremSrcIp {axrFlowQosOutPremEntry 17}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axrFlowQosOutPremSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定(始点)の送信元 IP アドレスを示し,(-1),(4) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
152	axrFlowQosOutPremSrcIpLength {axrFlowQosOutPremEntry 18}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowQosOutPremSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外は '0' を示します。	●
153	axrFlowQosOutPremSrcIpRange {axrFlowQosOutPremEntry 19}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定(終端)の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowQosOutPremSrcIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
154	axrFlowQosOutPremDestIpOp {axrFlowQosOutPremEntry 20}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1),IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6)}	●
155	axrFlowQosOutPremDestIp {axrFlowQosOutPremEntry 21}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowQosOutPremDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定(始点)の送信元 IP アドレスを示し,(-1),(4) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
156	axrFlowQosOutPremDestIpLength {axrFlowQosOutPremEntry 22}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axrFlowQosOutPremDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外は '0' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
157	axrFlowQosOutPremDestIpRange {axrFlowQosOutPremEntry 23}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axrFlowQosOutPremDestIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	●
158	axrFlowQosOutPremDscp {axrFlowQosOutPremEntry 24}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	●
159	axrFlowQosOutPremPrecedence {axrFlowQosOutPremEntry 25}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	●
160	axrFlowQosOutPremUpperLength {axrFlowQosOutPremEntry 26}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
161	axrFlowQosOutPremLowerLength {axrFlowQosOutPremEntry 27}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	●
162	axrFlowQosOutPremFragments {axrFlowQosOutPremEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを重要フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
163	axrFlowQosOutPremSrcPortOp {axrFlowQosOutPremEntry 29}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
164	axrFlowQosOutPremSrcPort {axrFlowQosOutPremEntry 30}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosOutPremSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定 (始点) の送信元ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	●
165	axrFlowQosOutPremSrcPortRange {axrFlowQosOutPremEntry 31}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosOutPremSrcPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	●
166	axrFlowQosOutPremDestPortOp {axrFlowQosOutPremEntry 32}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	●
167	axrFlowQosOutPremDestPort {axrFlowQosOutPremEntry 33}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosOutPremDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定 (始点) の宛先ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
168	axrFlowQosOutPremDestPortRange {axrFlowQosOutPremEntry 34}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axrFlowQosOutPremDestPortOp=(2) の場合に有効で ,(2) 以外は場合 '0' を示します。	●
169	axrFlowQosOutPremAckFlag {axrFlowQosOutPremEntry 35}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
170	axrFlowQosOutPremSynFlag {axrFlowQosOutPremEntry 36}	INTEGER	R/O	バーチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を重要フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	●
171	axrFlowQosOutPremIcmpType {axrFlowQosOutPremEntry 37}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
172	axrFlowQosOutPremIcmpCode {axrFlowQosOutPremEntry 38}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	●
173	axrFlowQosOutPremIgmptype {axrFlowQosOutPremEntry 39}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1)) IPv4 だけ	●
174	axrFlowQosOutPremLabelOp {axrFlowQosOutPremEntry 40} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値の指定方法を示します。 {ラベル値の指定なし (-1), ラベル値を指定 (1), すべてのラベル値 (any) を指定 (2)}	●
175	axrFlowQosOutPremLabel {axrFlowQosOutPremEntry 41} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内のラベル値を示します。 (0..1048575) axrFlowQosOutPremLabelOp=(1) の場合に有効。	●
176	axrFlowQosOutPremExp {axrFlowQosOutPremEntry 42} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (指定なし (-1))	●
177	axrFlowQosInActTable {axrFlowQos 5}	SEQUENCE OF axrFlowQosInAct Entry	NA	通常フロー検出条件 (Inbound) に一致したパケットの動作情報のテーブル情報	●
178	axrFlowQosInActEntry {axrFlowQosInActTable 1}	axrFlowQosInAct Entry	NA	通常フロー検出条件 (Inbound) に一致したパケットの動作情報に関するエントリ [index] {axrFlowQosInActifIndex, axrFlowQosInActifIndexType, axrFlowQosInActListNumber}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
179	axrFlowQosInActifIndex {axrFlowQosInActEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
180	axrFlowQosInActifIndexType {axrFlowQosInActEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
181	axrFlowQosInActListNumber {axrFlowQosInActEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は, IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
182	axrFlowQosInActMaxRate {axrFlowQosInActEntry 4}	INTEGER	R/O	最大帯域制御での監視帯域値 (kbit/s) を示します。* ³ (4..10,000,000) (指定なし (-1))	●
183	axrFlowQosInActMaxRateBurst {axrFlowQosInActEntry 5}	INTEGER	R/O	最大帯域制御でのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072) (指定なし (-1))	●
184	axrFlowQosInActMaxUpcRedMinBurst {axrFlowQosInActEntry 6}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最小バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	●
185	axrFlowQosInActMaxUpcRedMaxBurst {axrFlowQosInActEntry 7}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最大バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	●
186	axrFlowQosInActMaxUpcRedProbability {axrFlowQosInActEntry 8}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最大違反率 (1/10%) を示します。 (0..1000) (指定なし (-1))	●
187	axrFlowQosInActMinRate {axrFlowQosInActEntry 9}	INTEGER	R/O	最低帯域監視での監視帯域値 (kbit/s) を示します。* ³ (4..10,000,000) (指定なし (-1))	●
188	axrFlowQosInActMinRateBurst {axrFlowQosInActEntry 10}	INTEGER	R/O	最低帯域監視でのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072) (指定なし (-1))	●
189	axrFlowQosInActMinUpcRedMinBurst {axrFlowQosInActEntry 11}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最小バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
190	axrFlowQosInActMinUpcRedMaxBurst {axrFlowQosInActEntry 12}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最大バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	●
191	axrFlowQosInActMinUpcRedProbability {axrFlowQosInActEntry 13}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最大違反率 (1/10%) を示します。 (0..1000) (指定なし (-1))	●
192	axrFlowQosInActAgQueueOp {axrFlowQosInActEntry 14}	INTEGER	R/O	階層化シェーパのアグリゲートキュー番号の指定方法を示します。 (0) 固定	●
193	axrFlowQosInActAgQueue {axrFlowQosInActEntry 15}	INTEGER	R/O	階層化シェーパのアグリゲートキュー番号を示します。 (-1) 固定	●
194	axrFlowQosInActPriority {axrFlowQosInActEntry 16}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	●※ 1
195	axrFlowQosInActMaxUnderPriority {axrFlowQosInActEntry 17}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合や axrFlowQosInActMinOverPriority と axrFlowQosInActMinUnderPriority の示す値が異なる場合に無効 (-1))	●※ 1
196	axrFlowQosInActMinOverPriority {axrFlowQosInActEntry 18}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの出力優先度を示します。(1..8)	●※ 1
197	axrFlowQosInActMinUnderPriority {axrFlowQosInActEntry 19}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	●※ 1
198	axrFlowQosInActDiscard {axrFlowQosInActEntry 20}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時のキューイング優先度を示します。 (1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
199	axrFlowQosInActMaxUnderDiscard {axrFlowQosInActEntry 21}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットのキューイング優先度を示します。 (1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合や axrFlowQosInActMinOverDiscard と axrFlowQosInActMinUnderDiscard の示す値が異なる場合に無効 (-1))	●
200	axrFlowQosInActMinOverDiscard {axrFlowQosInActEntry 22}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットのキューイング優先度を示します。 (1..4)	●
201	axrFlowQosInActMinUnderDiscard {axrFlowQosInActEntry 23}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットのキューイング優先度を示します。 (1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	●
202	axrFlowQosInActDscpOp {axrFlowQosInActEntry 24}	INTEGER	R/O	DSCP マッピング指定の有無を示します。 {DSCP マッピング指定なし (0), DSCP マッピング指定あり (1)}	●
203	axrFlowQosInActDscp {axrFlowQosInActEntry 25}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の DSCP 値を示します。 (0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
204	axrFlowQosInActMaxUnderDscp {axrFlowQosInActEntry 26}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの DSCP 値を示します。 (0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
205	axrFlowQosInActMinOverDscp {axrFlowQosInActEntry 27}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの DSCP 値を示します。 (0..63)	●
206	axrFlowQosInActMinUnderDscp {axrFlowQosInActEntry 28}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの DSCP 値を示します。 (0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
207	axrFlowQosInActUserPriority {axrFlowQosInActEntry 29}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時のユーザ優先度を示します。 (0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
208	axrFlowQosInActMaxUnderUserPriority {axrFlowQosInActEntry 30}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットのユーザ優先度を示します。 (0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
209	axrFlowQosInActMinOverUserPriority {axrFlowQosInActEntry 31}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットのユーザ優先度を示します。 (0..7) (penalty_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
210	axrFlowQosInActMinUnderUserPriority {axrFlowQosInActEntry 32}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットのユーザ優先度を示します。 (0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
211	axrFlowQosInActExp {axrFlowQosInActEntry 33} [OP-MPLS]	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (無効時 (-1))	●
212	axrFlowQosInActMaxUnderExp {axrFlowQosInActEntry 34} [OP-MPLS]	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (無効時 (-1))	●
213	axrFlowQosInActMinOverExp {axrFlowQosInActEntry 35} [OP-MPLS]	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (無効時 (-1))	●
214	axrFlowQosInActMinUnderExp {axrFlowQosInActEntry 36} [OP-MPLS]	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (無効時 (-1))	●
215	axrFlowQosInActPremTable {axrFlowQos 6}	SEQUENCE OF axrFlowQosInActPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Inbound) に一致したパケットの動作情報のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合、テーブル情報を表示しません)	●
216	axrFlowQosInActPremEntry {axrFlowQosInActPremTable 1}	axrFlowQosInActPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Inbound) に一致したパケットの動作情報に関するエントリ [index] {axrFlowQosInActPremifIndex, axrFlowQosInActPremifIndexType, axrFlowQosInActPremListNumber}	●
217	axrFlowQosInActPremifIndex {axrFlowQosInActPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
218	axrFlowQosInActPremifIndexType {axrFlowQosInActPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定: (1) ・ インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
219	axrFlowQosInActPremListNumber {axrFlowQosInActPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は, IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
220	axrFlowQosInActPremMaxRateBurst {axrFlowQosInActPremEntry 4}	INTEGER	R/O	最大帯域制御での重要フローのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072)	●
221	axrFlowQosInActPremMinRateBurst {axrFlowQosInActPremEntry 5}	INTEGER	R/O	最低帯域監視での重要フローのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072)	●
222	axrFlowQosOutActTable {axrFlowQos 7}	SEQUENCE OF axrFlowQosOutActEntry	NA	通常フロー検出条件 (Outbound) に一致したパケットの動作情報のテーブル情報	●
223	axrFlowQosOutActEntry {axrFlowQosOutActTable 1}	axrFlowQosOutActEntry	NA	通常フロー検出条件 (Outbound) に一致したパケットの動作情報に関するエントリ [index] {axrFlowQosOutActifIndex, axrFlowQosOutActifIndexType, axrFlowQosOutActListNumber}	●
224	axrFlowQosOutActifIndex {axrFlowQosOutActEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
225	axrFlowQosOutActifIndexType {axrFlowQosOutActEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
226	axrFlowQosOutActListNumber {axrFlowQosOutActEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は, IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
227	axrFlowQosOutActMaxRate {axrFlowQosOutActEntry 4}	INTEGER	R/O	最大帯域制御での監視帯域値 (kbit/s) を示します。 ※ 3 (4..10,000,000) (指定なし (-1))	●
228	axrFlowQosOutActMaxRateBurst {axrFlowQosOutActEntry 5}	INTEGER	R/O	最大帯域制御でのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072) (指定なし (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
229	axrFlowQosOutActMaxUpcRedMinBurst {axrFlowQosOutActEntry 6}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最小バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	●
230	axrFlowQosOutActMaxUpcRedMaxBurst {axrFlowQosOutActEntry 7}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最大バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	●
231	axrFlowQosOutActMaxUpcRedProbability {axrFlowQosOutActEntry 8}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最大違反率 (1/10%) を示します。 (0..1000) (指定なし (-1))	●
232	axrFlowQosOutActMinRate {axrFlowQosOutActEntry 9}	INTEGER	R/O	最低帯域監視での監視帯域値 (kbit/s) を示します。※ ³ (4..10,000,000) (指定なし (-1))	●
233	axrFlowQosOutActMinRateBurst {axrFlowQosOutActEntry 10}	INTEGER	R/O	最低帯域監視でのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072) (指定なし (-1))	●
234	axrFlowQosOutActMinUpcRedMinBurst {axrFlowQosOutActEntry 11}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最小バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	●
235	axrFlowQosOutActMinUpcRedMaxBurst {axrFlowQosOutActEntry 12}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最大バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	●
236	axrFlowQosOutActMinUpcRedProbability {axrFlowQosOutActEntry 13}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最大違反率 (1/10%) を示します。 (0..1000) (指定なし (-1))	●
237	axrFlowQosOutActAgQueueOp {axrFlowQosOutActEntry 14}	INTEGER	R/O	階層化シェーパのアグリゲートキュー番号の指定方法を示します。 {指定なし (0), アグリゲートキュー番号を指定 (1), auto 指定 (2)}	●
238	axrFlowQosOutActAgQueue {axrFlowQosOutActEntry 15}	INTEGER	R/O	階層化シェーパのアグリゲートキュー番号を示します。 (1..1023) axrFlowQosOutActAgQueueOp=(1),(2) の場合に有効で ,(0) の場合は無効 (-1) を示します。	●
239	axrFlowQosOutActPriority {axrFlowQosOutActEntry 16}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	●※ 2

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
240	axrFlowQosOutActMaxUnderPriority {axrFlowQosOutActEntry 17}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合や axrFlowQosOutActMinOverPriority と axrFlowQosOutActMinUnderPriority の示す値が異なる場合に無効 (-1))	●※ 2
241	axrFlowQosOutActMinOverPriority {axrFlowQosOutActEntry 18}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの出力優先度を示します。 (1..8)	●※ 2
242	axrFlowQosOutActMinUnderPriority {axrFlowQosOutActEntry 19}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	●※ 2
243	axrFlowQosOutActDiscard {axrFlowQosOutActEntry 20}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時のキューイング優先度を示します。 (1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	●
244	axrFlowQosOutActMaxUnderDiscard {axrFlowQosOutActEntry 21}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットのキューイング優先度を示します。 (1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合や axrFlowQosOutActMinOverDiscard と axrFlowQosOutActMinUnderDiscard の示す値が異なる場合に無効 (-1))	●
245	axrFlowQosOutActMinOverDiscard {axrFlowQosOutActEntry 22}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットのキューイング優先度を示します。 (1..4)	●
246	axrFlowQosOutActMinUnderDiscard {axrFlowQosOutActEntry 23}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットのキューイング優先度を示します。 (1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	●
247	axrFlowQosOutActDscpOp {axrFlowQosOutActEntry 24}	INTEGER	R/O	DSCP マッピング指定の有無を示します。 {DSCP マッピング指定なし (0), DSCP マッピング指定あり (1)}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
248	axrFlowQosOutActDscp {axrFlowQosOutActEntry 25}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の DSCP 値を示します。 (0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
249	axrFlowQosOutActMaxUnderDscp {axrFlowQosOutActEntry 26}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの DSCP 値を示します。 (0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
250	axrFlowQosOutActMinOverDscp {axrFlowQosOutActEntry 27}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの DSCP 値を示します。 (0..63)	●
251	axrFlowQosOutActMinUnderDscp {axrFlowQosOutActEntry 28}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの DSCP 値を示します。 (0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
252	axrFlowQosOutActUserPriority {axrFlowQosOutActEntry 29}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時のユーザ優先度を示します。 (0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
253	axrFlowQosOutActMaxUnderUserPriority {axrFlowQosOutActEntry 30}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットのユーザ優先度を示します。 (0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
254	axrFlowQosOutActMinOverUserPriority {axrFlowQosOutActEntry 31}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットのユーザ優先度を示します。 (0..7) (penalty_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
255	axrFlowQosOutActMinUnderUserPriority {axrFlowQosOutActEntry 32}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットのユーザ優先度を示します。 (0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	●
256	axrFlowQosOutActExp {axrFlowQosOutActEntry 33} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (無効時 (-1))	●
257	axrFlowQosOutActMaxUnderExp {axrFlowQosOutActEntry 34} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (無効時 (-1))	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
258	axrFlowQosOutActMinOverExp {axrFlowQosOutActEntry 35} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (無効時 (-1))	●
259	axrFlowQosOutActMinUnderExp {axrFlowQosOutActEntry 36} 【OP-MPLS】	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの shim ヘッダ内の EXP 値を示します。(0..7) (無効時 (-1))	●
260	axrFlowQosOutActPremTable {axrFlowQos 8}	SEQUENCE OF axrFlowQosOutActPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Outbound) に一致したパケットの動作情報のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合、テーブル情報を表示しません)	●
261	axrFlowQosOutActPremEntry {axrFlowQosOutActPremTable 1}	axrFlowQosOutActPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Outbound) に一致したパケットの動作情報に関するエントリ [index] {axrFlowQosOutActPremifIndex, axrFlowQosOutActPremifIndexType, axrFlowQosOutActPremListNumber }	●
262	axrFlowQosOutActPremifIndex {axrFlowQosOutActPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
263	axrFlowQosOutActPremifIndexType {axrFlowQosOutActPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
264	axrFlowQosOutActPremListNumber {axrFlowQosOutActPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
265	axrFlowQosOutActPremMaxRateBurst {axrFlowQosOutActPremEntry 4}	INTEGER	R/O	最大帯域制御での重要フローのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072)	●
266	axrFlowQosOutActPremMinRateBurst {axrFlowQosOutActPremEntry 5}	INTEGER	R/O	最低帯域監視での重要フローのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072)	●

注※ 1

表示する出力優先度の値はコンフィグレーションのフロー QoS 情報に指定した値となります。

注※ 2

複数の物理ポートが属するインタフェース名称に対して実施した場合、表示する出力優先度の値はコンフィグレーションのフロー QoS 情報に指定した値となります。

注※ 3

4kbit/s 以下の値が設定された場合は 4 と表示されます。なお、実際の動作値としては 4.1kbit/s です。

3.5.5 axrFlowQosStats グループ

(1) 識別子

axrFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 8}

axrFlowQosStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrFlow 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6

(2) 実装仕様

axrFlowQosStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-19 axrFlowQosStats の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrFlowQosStatsInTable {axrFlowQosStats 1}	SEQUENCE OF axrFlowQosSta tsInEntry	NA	通常フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報	●
2	axrFlowQosStatsInEntry {axrFlowQosStatsInTable 1}	axrFlowQosSta tsInEntry	NA	通常フロー検出条件に一致した統計情報に関するエントリ [index] {axrFlowQosStatsInifIndex, axrFlowQosStatsInifIndexType, axrFlowQosStatsInListNumber}	●
3	axrFlowQosStatsInifIndex {axrFlowQosStatsInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
4	axrFlowQosStatsInifIndexType {axrFlowQosStatsInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
5	axrFlowQosStatsInListNumber {axrFlowQosStatsInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は ,IPv4 および IPv6 という区別はなく優先 順位だけを示します。	●
6	axrFlowQosStatsInHitPackets {axrFlowQosStatsInEntry 4}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致したパケット数 を示します。 (帯域制御機能使用時は無効 (0))	●※
7	axrFlowQosStatsInMaxOverPackets {axrFlowQosStatsInEntry 5}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最大契約帯 域に違反したパケット数 を示します。 (最大帯域制御未使用時は無効 (0))	●※
8	axrFlowQosStatsInMaxUnderPackets {axrFlowQosStatsInEntry 6}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最大契約帯 域を遵守したパケット数 を示します。 (最大帯域制御未使用時は無効 (0))	●※

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axrFlowQosStatsInMinOverPackets {axrFlowQosStatsInEntry 7}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最低契約帯域に違反したパケット数を示します。 (最低帯域制御未使用時は無効 (0))	●※
10	axrFlowQosStatsInMinUnderPackets {axrFlowQosStatsInEntry 8}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最低契約帯域を遵守したパケット数を示します。 (最低帯域制御未使用時は無効 (0))	●※
11	axrFlowQosStatsInPremTable {axrFlowQosStats 2}	SEQUENCE OF axrFlowQosStatsInPremEntry	NA	重要フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合、テーブル情報を表示しません)	●
12	axrFlowQosStatsInPremEntry {axrFlowQosStatsInPremTable 1}	axrFlowQosStatsInPremEntry	NA	重要フロー検出条件に一致した統計情報に関するエントリ [index] {axrFlowQosStatsInPremifIndex, axrFlowQosStatsInPremifIndexType, axrFlowQosStatsInPremListNumber}	●
13	axrFlowQosStatsInPremifIndex {axrFlowQosStatsInPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
14	axrFlowQosStatsInPremifIndexType {axrFlowQosStatsInPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定: (1) ・ インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
15	axrFlowQosStatsInPremListNumber {axrFlowQosStatsInPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
16	axrFlowQosStatsInPremMaxOverPackets {axrFlowQosStatsInPremEntry 4}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最大契約帯域に違反したパケット数を示します。	●※
17	axrFlowQosStatsInPremMaxUnderPackets {axrFlowQosStatsInPremEntry 5}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最大契約帯域を遵守したパケット数を示します。	●※
18	axrFlowQosStatsInPremMinOverPackets {axrFlowQosStatsInPremEntry 6}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最低契約帯域に違反したパケット数を示します。	●※
19	axrFlowQosStatsInPremMinUnderPackets {axrFlowQosStatsInPremEntry 7}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最低契約帯域を遵守したパケット数を示します。	●※
20	axrFlowQosStatsOutTable {axrFlowQosStats 3}	SEQUENCE OF axrFlowQosStatsOutEntry	NA	通常フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
21	axrFlowQosStatsOutEntry {axrFlowQosStatsOutTable 1}	axrFlowQosStatsOutEntry	NA	通常フロー検出条件に一致した統計情報に関するエントリ [index] {axrFlowQosStatsOutifIndex, axrFlowQosStatsOutifIndexType, axrFlowQosStatsOutListNumber}	●
22	axrFlowQosStatsOutifIndex {axrFlowQosStatsOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●
23	axrFlowQosStatsOutifIndexType {axrFlowQosStatsOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2) (2) 固定	●
24	axrFlowQosStatsOutListNumber {axrFlowQosStatsOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は ,IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
25	axrFlowQosStatsOutHitPackets {axrFlowQosStatsOutEntry 4}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致したパケット数を示します。 (帯域制御機能使用時は無効 (0))	●※
26	axrFlowQosStatsOutMaxOverPackets {axrFlowQosStatsOutEntry 5}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最大契約帯域に違反したパケット数を示します。 (最大帯域制御未使用時は無効 (0))	●※
27	axrFlowQosStatsOutMaxUnderPackets {axrFlowQosStatsOutEntry 6}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最大契約帯域を遵守したパケット数を示します。 (最大帯域制御未使用時は無効 (0))	●※
28	axrFlowQosStatsOutMinOverPackets {axrFlowQosStatsOutEntry 7}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最低契約帯域に違反したパケット数を示します。 (最低帯域制御未使用時は無効 (0))	●※
29	axrFlowQosStatsOutMinUnderPackets {axrFlowQosStatsOutEntry 8}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最低契約帯域を遵守したパケット数を示します。 (最低帯域制御未使用時は無効 (0))	●※
30	axrFlowQosStatsOutPremTable {axrFlowQosStats 4}	SEQUENCE OF axrFlowQosStatsOutPremEntry	NA	重要フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合、 テーブル情報を表示しません)	●
31	axrFlowQosStatsOutPremEntry {axrFlowQosStatsOutPremTable 1}	axrFlowQosStatsOutPremEntry	NA	重要フロー検出条件に一致した統計情報に関するエントリ [index] {axrFlowQosStatsOutPremifIndex, axrFlowQosStatsOutPremifIndexType, axrFlowQosStatsOutPremListNumber}	●
32	axrFlowQosStatsOutPremifIndex {axrFlowQosStatsOutPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
33	axrFlowQosStatsOutPremIndexType {axrFlowQosStatsOutPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定：(1) ・ インタフェース名称指定：(2) (2) 固定	●
34	axrFlowQosStatsOutPremListNumber {axrFlowQosStatsOutPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 および 1,000,001 ~ 5,000,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 および 6,000,001 ~ 10,000,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	●
35	axrFlowQosStatsOutPremMaxOverPackets {axrFlowQosStatsOutPremEntry 4}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最大契約帯域に違反したパケット数を示します。	●※
36	axrFlowQosStatsOutPremMaxUnderPackets {axrFlowQosStatsOutPremEntry 5}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最大契約帯域を遵守したパケット数を示します。	●※
37	axrFlowQosStatsOutPremMinOverPackets {axrFlowQosStatsOutPremEntry 6}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最低契約帯域に違反したパケット数を示します。	●※
38	axrFlowQosStatsOutPremMinUnderPackets {axrFlowQosStatsOutPremEntry 7}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最低契約帯域を遵守したパケット数を示します。	●※

注※

MIB で指定したインタフェースのパケット数取得と当該指定インタフェースが属する PRU に対する以下のコンフィグレーションや運用コマンドの操作を同時に行なった場合、オブジェクトの値が「0」を示す場合があります。

1. コンフィグレーションフローフィルタ情報の追加・削除・変更
2. コンフィグレーションフロー QoS 情報の追加・削除・変更
3. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報を収容する <LA Name> が属する LA に、新たに PRU をまたがるように aggregated-port を追加した場合、または PRU をまたがらなくなるように aggregated-port を削除した場合
4. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <Line Name> の -r 指定による削除
5. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <Tag-VLAN Name> の -r 指定による削除
6. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <LA Name> の -r 指定による削除
7. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する IP アドレス情報の -r 指定による削除
8. free pru コマンドを実行して PRU を運用状態にする。

3.6 axrOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB)

3.6.1 axrOspfGeneralTable

(1) 識別子

```
axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfGeneralTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1
```

(2) 実装仕様

axrOspfGeneralTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-20 axrOspfGeneralTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfGeneralTable {axrOspf 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfGeneralEntry {axrOspfGeneralTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 情報のリスト。 INDEX {axrOspfGeneralDomainNumber}	●
3	axrOspfGeneralDomainNumber {axrOspfGeneralEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfRouterId {axrOspfGeneralEntry 2}	IpAddress	R/O	ルータのルータ識別子。	●
5	axrOspfAdminStat {axrOspfGeneralEntry 3}	INTEGER	R/O	ルータの OSPF 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)}	●
6	axrOspfVersionNumber {axrOspfGeneralEntry 4}	INTEGER	R/O	OSPF プロトコルのバージョン番号。(2) 固定。	●
7	axrOspfAreaBdrRtrStatus {axrOspfGeneralEntry 5}	INTEGER	R/O	そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)}	●
8	axrOspfASBdrRtrStatus {axrOspfGeneralEntry 6}	INTEGER	R/O	そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)}	●
9	axrOspfExternLsaCount {axrOspfGeneralEntry 7}	Gauge	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。	●
10	axrOspfExternLsaCksumSum {axrOspfGeneralEntry 8}	INTEGER	R/O	LSDB 中の外部 LSA の LS チェックサムの合計。	●
11	axrOspfTOSSupport {axrOspfGeneralEntry 9}	INTEGER	R/O	そのルータが TOS ベースルーティングをサポートするかどうかのフラグ。false(2) 固定。 {true(1), false(2)}	●
12	axrOspfOriginateNewLsas {axrOspfGeneralEntry 10}	Counter	R/O	生成された新しい LSA の数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axrOspfRxNewLsas {axrOspfGeneralEntry 11}	Counter	R/O	新しい情報を持った LSA を受信した回数。	●
14	axrOspfExtLsdbLimit {axrOspfGeneralEntry 12}	INTEGER	R/O	LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。(-1) 固定。	●
15	axrOspfMulticastExtensions {axrOspfGeneralEntry 13}	INTEGER	R/O	マルチキャスト拡張版 OSPF のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。ただし、マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。	●

3.6.2 axrOspfAreaTable

(1) 識別子

```
axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2
```

(2) 実装仕様

axrOspfAreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-21 axrOspfAreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfAreaTable {axrOspf 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfAreaEntry {axrOspfAreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各エリアの情報リスト。 INDEX {axrOspfAreaDomainNumber, axrOspfAreaId}	●
3	axrOspfAreaDomainNumber {axrOspfAreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfAreaId {axrOspfAreaEntry 2}	IpAddress	R/O	エリアを識別する番号。	●
5	axrOspfAuthType {axrOspfAreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのエリアで採用する認証のタイプ。 {なし (0), シンプルパスワード (1), md5(2)}	●
6	axrOspfImportAsExtern {axrOspfAreaEntry 4}	INTEGER	R/O	そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 {importExternal (1), importNoExternal (2), importNssa (3)}	●
7	axrOspfSpfRuns {axrOspfAreaEntry 5}	Counter	R/O	このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。	●
8	axrOspfAreaBdrRtrCount {axrOspfAreaEntry 6}	Gauge	R/O	このエリア内に到達できるエリアボーダ ルータの合計数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axrOspfAsBdrRtrCount {axrOspfAreaEntry 7}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。	●
10	axrOspfAreaLsaCount {axrOspfAreaEntry 8}	Gauge	R/O	AS 外部 LSA を除く、このエリアの LSDB 中の LSA の数。	●
11	axrOspfAreaLsaCksumSum {axrOspfAreaEntry 9}	INTEGER	R/O	このエリアの LSDB に含まれる LSA の LS チェックサムの合計。	●
12	axrOspfAreaSummary {axrOspfAreaEntry 10}	INTEGER	R/O	スタブエリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。ただし、sendAreaSummary(2) 固定。 {noAreaSummary(1), sendAreaSummary(2)}	●
13	axrOspfAreaStatus {axrOspfAreaEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●

3.6.3 axrOspfStubAreaTable

(1) 識別子

axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfStubAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3

(2) 実装仕様

axrOspfStubAreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-22 axrOspfStubAreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfStubAreaTable {axrOspf 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブル。	●
2	axrOspfStubAreaEntry {axrOspfStubAreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各スタブエリアの情報リスト。 INDEX {axrOspfStubDomainNumber, axrOspfStubAreaId, axrOspfStubTOS}	●
3	axrOspfStubDomainNumber {axrOspfStubAreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfStubAreaId {axrOspfStubAreaEntry 2}	IpAddress	R/O	スタブエリアの ID。	●
5	axrOspfStubTOS {axrOspfStubAreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのスタブエリアでのサービスのタイプ。 ただし、(0) 固定。	●
6	axrOspfStubMetric {axrOspfStubAreaEntry 4}	INTEGER	R/O	そのスタブエリアでのサービスタイプに対応したメトリック。	●
7	axrOspfStubStatus {axrOspfStubAreaEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●
8	axrOspfStubMetricType {axrOspfStubAreaEntry 6}	INTEGER	R/O	デフォルトルートとして広告したメトリックのタイプを示します。 {ospfMetric(1), comparableCost(2), nonComparable(3)}	●

3.6.4 axrOspfLsdbTable

(1) 識別子

```
axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4
```

(2) 実装仕様

axrOspfLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-23 axrOspfLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfLsdbTable {axrOspf 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfLsdbEntry {axrOspfLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axrOspfLsdbDomainNumber, axrOspfLsdbAreaId, axrOspfLsdbType, axrOspfLsdbLsid, axrOspfLsdbRouterId}	●
3	axrOspfLsdbDomainNumber {axrOspfLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfLsdbAreaId {axrOspfLsdbEntry 2}	IpAddress	R/O	この LSA の受信元エリアのエリア ID。	●
5	axrOspfLsdbType {axrOspfLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 { ルータ (1), ネットワーク (2), サマリー (3), AS サマリー (4), AS 外部リンク (5), マルチキャスト (6), nssa 外部リンク (7)}	●
6	axrOspfLsdbLsid {axrOspfLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	個々のルーティングドメインを識別する ID。	●
7	axrOspfLsdbRouterId {axrOspfLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	●
8	axrOspfLsdbSequence {axrOspfLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
9	axrOspfLsdbAge {axrOspfLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間。 [単位：秒]	●
10	axrOspfLsdbChecksum {axrOspfLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	●
11	axrOspfLsdbAdvertisement {axrOspfLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	●

3.6.5 axrOspfAreaRangeTable

(1) 識別子

axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfAreaRangeTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 5}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5

(2) 実装仕様

axrOspfAreaRangeTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-24 axrOspfAreaRangeTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
1	axrOspfAreaRangeTable {axrOspf 5}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続するエリア内に存在するアド レスの範囲の情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfAreaRangeEntry {axrOspfAreaRangeTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続するエリア内に存在するアド レスの範囲の情報を格納するリスト。 INDEX {axrOspfAreaRangeDomainNumber, axrOspfAreaRangeAreaId, axrOspfAreaRangeNet}	●
3	axrOspfAreaRangeDomainNum ber {axrOspfAreaRangeEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfAreaRangeAreaId {axrOspfAreaRangeEntry 2}	IpAddress	R/O	属するエリアの ID。	●
5	axrOspfAreaRangeNet {axrOspfAreaRangeEntry 3}	IpAddress	R/O	この範囲内のネット / サブネットの IP アド レス。	●
6	axrOspfAreaRangeMask {axrOspfAreaRangeEntry 4}	IpAddress	R/O	axrOspfAreaRangeNet にかけるべきサブ ネットマスク。	●
7	axrOspfAreaRangeStatus {axrOspfAreaRangeEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●
8	axrOspfAreaRangeEffect {axrOspfAreaRangeEntry 6}	INTEGER	R/O	広告するエリアの範囲を示します。 {エリア外に広告されるサブネット (1) エリア外に広告しないサブネット (2)}	●

3.6.6 axrOspfIfTable

(1) 識別子

axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 7}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7

(2) 実装仕様

axrOspfIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-25 axrOspfIfTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
1	axrOspfIfTable {axrOspf 7}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報 を格納するテーブル。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axrOspfIfEntry {axrOspfIfEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {axrOspfIfDomainNumber, axrOspfIfIpAddress, axrOspfAddressLessIf}	●
3	axrOspfIfDomainNumber {axrOspfIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfIfIpAddress {axrOspfIfEntry 2}	IpAddress	R/O	この OSPF インタフェースの IP アドレス。	●
5	axrOspfAddressLessIf {axrOspfIfEntry 3}	INTEGER	R/O	このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。	●
6	axrOspfIfAreaId {axrOspfIfEntry 4}	IpAddress	R/O	このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。	●
7	axrOspfIfType {axrOspfIfEntry 5}	INTEGER	R/O	インタフェースタイプ。 {ブロードキャスト (1), ノンブロードキャスト (2), Point-Point(3), Point-Multipoint(5)}	●
8	axrOspfIfAdminStat {axrOspfIfEntry 6}	INTEGER	R/O	インタフェースの管理状態。 {enabled(1), disabled(2)}	●
9	axrOspfIfRtrPriority {axrOspfIfEntry 7}	INTEGER	R/O	このインタフェースのプライオリティ。	●
10	axrOspfIfTransitDelay {axrOspfIfEntry 8}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。 [単位: 秒]	●
11	axrOspfIfRetransInterval {axrOspfIfEntry 9}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。 [単位: 秒]	●
12	axrOspfIfHelloInterval {axrOspfIfEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔。[単位: 秒]	●
13	axrOspfIfRtrDeadInterval {axrOspfIfEntry 11}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔。 [単位: 秒]	●
14	axrOspfIfPollInterval {axrOspfIfEntry 12}	INTEGER	R/O	非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔。 [単位: 秒]	●
15	axrOspfIfState {axrOspfIfEntry 13}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 {down(1), loopback(2), waiting(3), PtoP(4), DR(5), BDR(6), other(7)}	●
16	axrOspfIfDesignatedRouter {axrOspfIfEntry 14}	IpAddress	R/O	ディジグネーテッドルータの IP アドレス。	●
17	axrOspfIfBackupDesignatedRouter {axrOspfIfEntry 15}	IpAddress	R/O	バックアップディジグネーテッドルータの IP アドレス。	●
18	axrOspfIfEvents {axrOspfIfEntry 16}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
19	axrOspfIfAuthKey {axrOspfIfEntry 17}	OCTET STRING	R/O	このインタフェースでの認証キー。	●
20	axrOspfIfStatus {axrOspfIfEntry 18}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●
21	axrOspfIfMulticastForwarding {axrOspfIfEntry 19}	INTEGER	R/O	このインタフェースでマルチキャストする 方法。blocked(1) 固定。 {blocked(1), multicast(2), unicast(3)}	●

3.6.7 axrOspfIfMetricTable

(1) 識別子

axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfIfMetricTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8

(2) 実装仕様

axrOspfIfMetricTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-26 axrOspfIfMetricTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfIfMetricTable {axrOspf 8}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfIfMetricEntry {axrOspfIfMetricTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各インタフェースのサービスタイプメトリックの情報リスト。 INDEX {axrOspfIfMetricDomainNumber, axrOspfIfMetricIpAddress, axrOspfIfMetricAddressLessIf, axrOspfIfMetricTOS}	●
3	axrOspfIfMetricDomainNumber {axrOspfIfMetricEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfIfMetricIpAddress {axrOspfIfMetricEntry 2}	IpAddress	R/O	この OSPF インタフェースの IP アドレス。	●
5	axrOspfIfMetricAddressLessIf {axrOspfIfMetricEntry 3}	INTEGER	R/O	このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。	●
6	axrOspfIfMetricTOS {axrOspfIfMetricEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェースのサービスのタイプ。 (0) 固定。	●
7	axrOspfIfMetricValue {axrOspfIfMetricEntry 5}	INTEGER	R/O	このインタフェースのこのサービスタイプのメトリック。	●
8	axrOspfIfMetricStatus {axrOspfIfMetricEntry 6}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●

3.6.8 axrOspfVirtIfTable

(1) 識別子

axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfVirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9

(2) 実装仕様

axrOspfVirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-27 axrOspfVirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfVirtIfTable {axrOspf 9}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfVirtIfEntry {axrOspfVirtIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX {axrOspfVirtIfDomainNumber, axrOspfVirtIfAreaId, axrOspfVirtIfNeighbor}	●
3	axrOspfVirtIfDomainNumber {axrOspfVirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfVirtIfAreaId {axrOspfVirtIfEntry 2}	IpAddress	R/O	その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。	●
5	axrOspfVirtIfNeighbor {axrOspfVirtIfEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想の隣接ルータのルータ ID。	●
6	axrOspfVirtIfTransitDelay {axrOspfVirtIfEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するために必要とされる時間。[単位：秒]	●
7	axrOspfVirtIfRetransInterval {axrOspfVirtIfEntry 5}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。 [単位：秒]	●
8	axrOspfVirtIfHelloInterval {axrOspfVirtIfEntry 6}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔。[単位：秒]	●
9	axrOspfVirtIfRtrDeadInterval {axrOspfVirtIfEntry 7}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔。 [単位：秒]	●
10	axrOspfVirtIfState {axrOspfVirtIfEntry 8}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 {down(1), PtoP(4)}	●
11	axrOspfVirtIfEvents {axrOspfVirtIfEntry 9}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。	●
12	axrOspfVirtIfAuthKey {axrOspfVirtIfEntry 10}	OCTET STRING	R/O	このインタフェースでの認証キー。	●
13	axrOspfVirtIfStatus {axrOspfVirtIfEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●

3.6.9 axrOspfNbrTable

(1) 識別子

axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 10}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10

(2) 実装仕様

axrOspfNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-28 axrOspfNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfNbrTable {axrOspf 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfNbrEntry {axrOspfNbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各隣接局の情報リスト。 INDEX {axrOspfNbrDomainNumber, axrOspfNbrIpAddress, axrOspfNbrAddressLessIndex}	●
3	axrOspfNbrDomainNumber {axrOspfNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfNbrIpAddress {axrOspfNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	隣接ルータの IP アドレス。	●
5	axrOspfNbrAddressLessIndex {axrOspfNbrEntry 3}	INTEGER	R/O	隣接ルータのインタフェースがアドレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。	●
6	axrOspfNbrRtrId {axrOspfNbrEntry 4}	IpAddress	R/O	隣接ルータのルータ ID。	●
7	axrOspfNbrOptions {axrOspfNbrEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ルータのオプション実行能力。 Bit 0, サービスタイプベースルーティング Bit 1, 外部エリアの処理 Bit 2, IP マルチキャストルーティング Bit 3, NSSA と関係したエリア	●
8	axrOspfNbrPriority {axrOspfNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接ルータのプライオリティ。	●
9	axrOspfNbrState {axrOspfNbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)}	●
10	axrOspfNbrEvents {axrOspfNbrEntry 8}	Counter	R/O	隣接ルータとの関係で、状態が変わったか、エラーが発生した回数。	●
11	axrOspfNbrLsRetransQLen {axrOspfNbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	●
12	axrOspfNbmaNbrStatus {axrOspfNbrEntry 10}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。 axrOspfIfType が nbma 時だけアクセス可。	●
13	axrOspfNbmaNbrPermanence {axrOspfNbrEntry 11}	INTEGER	R/O	隣接ルータとルーティングする方法。 {dynamic(1) permanent(2)}	●

3.6.10 axrOspfVirtNbrTable

(1) 識別子

```
axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfVirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11
```

(2) 実装仕様

axrOspfVirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-29 axrOspfVirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfVirtNbrTable {axrOspf 11}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfVirtNbrEntry {axrOspfVirtNbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX {axrOspfVirtNbrDomainNumber, axrOspfVirtNbrArea, axrOspfVirtNbrRtrId}	●
3	axrOspfVirtNbrDomainNumber {axrOspfVirtNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfVirtNbrArea {axrOspfVirtNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	通過するエリアのエリア ID。	●
5	axrOspfVirtNbrRtrId {axrOspfVirtNbrEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータのルータ ID。	●
6	axrOspfVirtNbrIpAddr {axrOspfVirtNbrEntry 4}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータの IP アドレス。	●
7	axrOspfVirtNbrOptions {axrOspfVirtNbrEntry 5}	INTEGER	R/O	仮想隣接ルータのオプション実行能力。 Bit 1, サービスタイプベースルーティング Bit 2, IP マルチキャストルーティング	●
8	axrOspfVirtNbrState {axrOspfVirtNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)}	●
9	axrOspfVirtNbrEvents {axrOspfVirtNbrEntry 7}	Counter	R/O	この仮想リンクの状態が変化した, または エラーが発生した回数。	●
10	axrOspfVirtNbrLsRetransQLen {axrOspfVirtNbrEntry 8}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	●

3.6.11 axrOspfExtLsdbTable

(1) 識別子

```
axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfExtLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12
```

(2) 実装仕様

axrOspfExtLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-30 axrOspfExtLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfExtLsdbTable {axrOspf 12}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブル。	●
2	axrOspfExtLsdbEntry {axrOspfExtLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axrOspfExtLsdbDomainNumber, axrOspfExtLsdbType, axrOspfExtLsdbLsid, axrOspfExtLsdbRouterId}	●
3	axrOspfExtLsdbDomainNumber {axrOspfExtLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfExtLsdbType {axrOspfExtLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 {asExternalLink(5)}	●
5	axrOspfExtLsdbLsid {axrOspfExtLsdbEntry 3}	IpAddress	R/O	リンクステータス ID。リンクステータス ID はルータ ID または IP アドレスのどちらかを含むフィールドです。	●
6	axrOspfExtLsdbRouterId {axrOspfExtLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	自律システム内の生成元ルータを一意に識別するための 32 ビット番号。	●
7	axrOspfExtLsdbSequence {axrOspfExtLsdbEntry 5}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
8	axrOspfExtLsdbAge {axrOspfExtLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA が生成されてからの経過時間。 [単位 : 秒]	●
9	axrOspfExtLsdbChecksum {axrOspfExtLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	Age フィールドを含めない、広告内容のチェックサム。	●
10	axrOspfExtLsdbAdvertisement {axrOspfExtLsdbEntry 8}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む完全な全体 LSA。	●

3.6.12 axrOspfAreaAggregateTable

(1) 識別子

axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfAreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 14}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14

(2) 実装仕様

axrOspfAreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-31 axrOspfAreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfAreaAggregateTable {axrOspf 14}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブル。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axrOspfAreaAggregateEntry {axrOspfAreaAggregateTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのリスト。 INDEX {axrOspfAreaAggregateDomainNumber, axrOspfAreaAggregateAreaID, axrOspfAreaAggregateLsdbType, axrOspfAreaAggregateNet, axrOspfAreaAggregateMask}	●
3	axrOspfAreaAggregateDomainN umber {axrOspfAreaAggregateEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfAreaAggregateAreaID {axrOspfAreaAggregateEntry 2}	IpAddress	R/O	アドレス集約したエリア。	●
5	axrOspfAreaAggregateLsdbType {axrOspfAreaAggregateEntry 3}	INTEGER	R/O	アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 {summaryLink(3), nssaExternalLink(7)}	●
6	axrOspfAreaAggregateNet {axrOspfAreaAggregateEntry 4}	IpAddress	R/O	ネットワークまたはサブネットの IP アドレス。	●
7	axrOspfAreaAggregateMask {axrOspfAreaAggregateEntry 5}	IpAddress	R/O	ネットワークまたはサブネットに関するサブネットマスク。	●
8	axrOspfAreaAggregateStatus {axrOspfAreaAggregateEntry 6}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●
9	axrOspfAreaAggregateEffect {axrOspfAreaAggregateEntry 7}	INTEGER	R/O	範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 {advertiseMatching(1), doNotAdvertiseMatching(2)}	●

3.6.13 axrOspfTrap

(1) 識別子

```
axrOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 14}

axrOspfTrap OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspf 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16

axrOspfTrapControlTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfTrap 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.1
```

(2) 実装仕様

axrOspfTrap グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-32 axrOspfTrap グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfTrapControlTable {axrOspfTrap 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	トラップに関する取得情報。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
2	axrOspfTrapControlEntry {axrOspfTrapControlTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	トラップに関する取得情報リスト。 [INDEX {axrOspfTrapDomainNumber}]	●
3	axrOspfTrapDomainNumber {axrOspfTrapControlEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axrOspfSetTrap {axrOspfTrapControlEntry 2}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	トラップ可能なイベントを示すビットマップ。 各ビットが axrOspfTraps のオブジェクトを示す (0x100fe 固定)。 2 ¹ ビット (0x00000002) : axrOspfVirtIfStateChange ～ 2 ¹⁶ ビット (0x00010000) : axrOspfIfStateChange	●
5	axrOspfConfigErrorType {axrOspfTrapControlEntry 3}	INTEGER	R/O	最後に発生したエラーイベント。 noError (0), badVersion (1), areaMismatch (2), unknownNbmaNbr (3), unknownVirtualNbr (4), authTypeMismatch (5), authFailure (6), netMaskMismatch (7), helloIntervalMismatch (8), deadIntervalMismatch (9), optionMismatch (10)	●
6	axrOspfPacketType {axrOspfTrapControlEntry 4}	INTEGER	R/O	最後のエラーパケット種別。 noError (0), hello (1), dbDescript (2), lsReq (3), lsUpdate (4), lsAck (5)	●
7	axrOspfPacketSrc {axrOspfTrapControlEntry 5}	IpAddress	R/O	最後のエラーパケットの送信元アドレス。 エラーイベントが発生していない場合は 0.0.0.0 です。	●
8	axrOspfTraps {axrOspfTrap 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	トラップ広告。	●

3.7 axrOspfV3 グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB)

3.7.1 axrOspfV3GeneralTable

(1) 識別子

```
axrOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfV3GeneralTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfV3 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1
```

(2) 実装仕様

axrOspfV3GeneralTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-33 axrOspfV3GeneralTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfV3GeneralTable {axrOspfV3 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfV3GeneralEntry {axrOspfV3GeneralTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 情報のリスト。 INDEX {axrOspfV3GeneralDomainNumber}	●
3	axrOspfV3GeneralDomainNumber {axrOspfV3GeneralEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfV3RouterId {axrOspfV3GeneralEntry 2}	IpAddress	R/O	ルータのルータ識別子。	●
5	axrOspfV3AdminStat {axrOspfV3GeneralEntry 3}	INTEGER	R/O	ルータの OSPFv3 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)}	●
6	axrOspfV3VersionNumber {axrOspfV3GeneralEntry 4}	INTEGER	R/O	OSPFv3 プロトコルのバージョン番号。 (3) 固定。	●
7	axrOspfV3AreaBdrRtrStatus {axrOspfV3GeneralEntry 5}	INTEGER	R/O	そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)}	●
8	axrOspfV3ASBdrRtrStatus {axrOspfV3GeneralEntry 6}	INTEGER	R/O	そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)}	●
9	axrOspfV3AsScopeLsaCount {axrOspfV3GeneralEntry 7}	Gauge	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。	●
10	axrOspfV3AsScopeLsaChecksumSum {axrOspfV3GeneralEntry 8}	INTEGER	R/O	LSDB 中の AsScopeLSA の LS チェックサム の合計。	●
11	axrOspfV3OriginateNewLsas {axrOspfV3GeneralEntry 9}	Counter	R/O	生成された新しい LSA の数。	●
12	axrOspfV3RxNewLsas {axrOspfV3GeneralEntry 10}	Counter	R/O	新しい情報を持った LSA を受信した回数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axrOspfV3ExtAreaLsdbLimit {axrOspfV3GeneralEntry 11}	INTEGER	R/O	LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。 -1 の場合、制限なし。(0) 固定。	●
14	axrOspfV3MulticastExtensions {axrOspfV3GeneralEntry 12}	INTEGER	R/O	マルチキャスト拡張版 OSPFv3 のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。ただし、マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。	●
15	axrOspfV3DemandExtensions {axrOspfV3GeneralEntry 14}	INTEGER	R/O	このルータでの Demand ルーティングのサポート。 false(2) 固定。	●
16	axrOspfV3TrafficEngineeringSupport {axrOspfV3GeneralEntry 15}	INTEGER	R/O	このルータでのトラフィックエンジニアリング拡張のサポート。 false(2) 固定。	●

3.7.2 axrOspfV3AreaTable

(1) 識別子

```
axrOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfV3AreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfV3 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2
```

(2) 実装仕様

axrOspfV3AreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-34 axrOspfV3AreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfV3AreaTable {axrOspfV3 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfV3AreaEntry {axrOspfV3AreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各エリアの情報リスト。 INDEX {axrOspfV3AreaDomainNumber, axrOspfV3AreaId}	●
3	axrOspfV3AreaDomainNumber {axrOspfV3AreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfV3AreaId {axrOspfV3AreaEntry 2}	IpAddress	R/O	エリアを識別する番号。	●
5	axrOspfV3ImportAsExtern {axrOspfV3AreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 {importExternal (1), importNoExternal (2), importNssa (3)}	●
6	axrOspfV3SpfRuns {axrOspfV3AreaEntry 4}	Counter	R/O	このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。	●
7	axrOspfV3AreaBdrRtrCount {axrOspfV3AreaEntry 5}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axrOspfV3AsBdrRtrCount {axrOspfV3AreaEntry 6}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。	●
9	axrOspfV3AreaScopeLsaCount {axrOspfV3AreaEntry 7}	Gauge	R/O	このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の数。	●
10	axrOspfV3AreaScopeLsaCksumSum {axrOspfV3AreaEntry 8}	INTEGER	R/O	このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の LS チェックサムの合計。	●
11	axrOspfV3AreaSummary {axrOspfV3AreaEntry 9}	INTEGER	R/O	スタブエリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。ただし、sendAreaSummary(2) 固定。 {noAreaSummary(1), sendAreaSummary(2)}	●
12	axrOspfV3AreaStatus {axrOspfV3AreaEntry 10}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●
13	axrOspfV3StubMetric {axrOspfV3AreaEntry 11}	INTEGER	R/O	Stub または NSSA エリアに広告するデフォルトルートメトリック値。	●

3.7.3 axrOspfV3AsLsdbTable

(1) 識別子

axrOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfV3AsLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfV3 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3

(2) 実装仕様

axrOspfV3AsLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-35 axrOspfV3AsLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfV3AsLsdbTable {axrOspfV3 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfV3AsLsdbEntry {axrOspfV3AsLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axrOspfV3AsLsdbDomainNumber, axrOspfV3AsLsdbType, axrOspfV3AsLsdbRouterId, axrOspfV3AsLsdbLsid}	●
3	axrOspfV3AsLsdbDomainNumber {axrOspfV3AsLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfV3AsLsdbType {axrOspfV3AsLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 {asExternal(0x4005)}	●
5	axrOspfV3AsLsdbRouterId {axrOspfV3AsLsdbEntry 3}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	●
6	axrOspfV3AsLsdbLsid {axrOspfV3AsLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axrOspfv3AsLsdbSequence {axrOspfv3AsLsdbEntry 5}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
8	axrOspfv3AsLsdbAge {axrOspfv3AsLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間。 [単位：秒]	●
9	axrOspfv3AsLsdbChecksum {axrOspfv3AsLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	●
10	axrOspfv3AsLsdbAdvertisement {axrOspfv3AsLsdbEntry 8}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	●

3.7.4 axrOspfv3AreaLsdbTable

(1) 識別子

axrOspfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfv3AreaLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfv3 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4

(2) 実装仕様

axrOspfv3AreaLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-36 axrOspfv3AreaLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfv3AreaLsdbTable {axrOspfv3 4}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfv3AreaLsdbEntry {axrOspfv3AreaLsdbTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axrOspfv3AreaLsdbDomainNumber, axrOspfv3AreaLsdbAreaId, axrOspfv3AreaLsdbType, axrOspfv3AreaLsdbRouterId, axrOspfv3AreaLsdbLsid}	●
3	axrOspfv3AreaLsdbDomainNum ber {axrOspfv3AreaLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfv3AreaLsdbAreaId {axrOspfv3AreaLsdbEntry 2}	IpAddress	R/O	この LSA の受信元エリアのエリア ID。	●
5	axrOspfv3AreaLsdbType {axrOspfv3AreaLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 { ルータ (8193=0x2001), ネットワーク (8194=0x2002), interAreaPrefix(8195=0x2003), interAreaRouter(8196=0x2004), マルチキャスト (8198=0x2006), nssa 外部リンク (8199=0x2007), intraAreaPrefix(8201=0x2009)}	●
6	axrOspfv3AreaLsdbRouterId {axrOspfv3AreaLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	●
7	axrOspfv3AreaLsdbLsid {axrOspfv3AreaLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axrOspfV3AreaLsdbSequence {axrOspfV3AreaLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
9	axrOspfV3AreaLsdbAge {axrOspfV3AreaLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間。 [単位：秒]	●
10	axrOspfV3AreaLsdbChecksum {axrOspfV3AreaLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	●
11	axrOspfV3AreaLsdbAdvertiseme nt {axrOspfV3AreaLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	●

3.7.5 axrOspfV3LinkLsdbTable

(1) 識別子

axrOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfV3LinkLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfV3 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5

(2) 実装仕様

axrOspfV3LinkLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-37 axrOspfV3LinkLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfV3LinkLsdbTable {axrOspfV3 5}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfV3LinkLsdbEntry {axrOspfV3LinkLsdbTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axrOspfV3LinkLsdbDomainNumber, axrOspfV3LinkLsdbIfIndex, axrOspfV3LinkLsdbType, axrOspfV3LinkLsdbRouterId, axrOspfV3LinkLsdbLsid}	●
3	axrOspfV3LinkLsdbDomainNum ber {axrOspfV3LinkLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfV3LinkLsdbIfIndex {axrOspfV3LinkLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA を受信したリンクの識別子。	●
5	axrOspfV3LinkLsdbType {axrOspfV3LinkLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 {Link(0x0008)}	●
6	axrOspfV3LinkLsdbRouterId {axrOspfV3LinkLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	●
7	axrOspfV3LinkLsdbLsid {axrOspfV3LinkLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	●
8	axrOspfV3LinkLsdbSequence {axrOspfV3LinkLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
9	axrOspfV3LinkLsdbAge {axrOspfV3LinkLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間。 [単位：秒]	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axrOspfv3LinkLsdbChecksum {axrOspfv3LinkLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	●
11	axrOspfv3LinkLsdbAdvertise- ment {axrOspfv3LinkLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	●

3.7.6 axrOspfv3IfTable

(1) 識別子

```
axrOspfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfv3IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfv3 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7
```

(2) 実装仕様

axrOspfv3IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-38 axrOspfv3IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfv3IfTable {axrOspfv3 7}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfv3IfEntry {axrOspfv3IfTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {axrOspfv3IfDomainNumber, axrOspfv3IfIndex}	●
3	axrOspfv3IfDomainNumber {axrOspfv3IfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfv3IfIndex {axrOspfv3IfEntry 2}	INTEGER	R/O	この OSPFv3 インタフェースのインタフェース Index。	●
5	axrOspfv3IfAreaId {axrOspfv3IfEntry 3}	IpAddress	R/O	このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。	●
6	axrOspfv3IfType {axrOspfv3IfEntry 4}	INTEGER	R/O	インタフェースタイプ。 {ブロードキャスト (1), ノンブロードキャスト (2), Point-Point(3), Point-Multipoint(5)}	●
7	axrOspfv3IfAdminStat {axrOspfv3IfEntry 5}	INTEGER	R/O	インタフェースの管理状態。 {enabled(1), disabled(2)}	●
8	axrOspfv3IfRtrPriority {axrOspfv3IfEntry 6}	INTEGER	R/O	このインタフェースのプライオリティ。	●
9	axrOspfv3IfTransitDelay {axrOspfv3IfEntry 7}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。 [単位：秒]	●
10	axrOspfv3IfRetransInterval {axrOspfv3IfEntry 8}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。 [単位：秒]	●
11	axrOspfv3IfHelloInterval {axrOspfv3IfEntry 9}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔。[単位：秒]	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	axrOspfV3IfRtrDeadInterval {axrOspfV3IfEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔。 [単位 : 秒]	●
13	axrOspfV3IfPollInterval {axrOspfV3IfEntry 11}	INTEGER	R/O	非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔。 [単位 : 秒]	●
14	axrOspfV3IfState {axrOspfV3IfEntry 12}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 {down(1), loopback(2), waiting(3), PtoP(4), DR(5), BDR(6), other(7) }	●
15	axrOspfV3IfDesignatedRouter {axrOspfV3IfEntry 13}	IpAddress	R/O	ディジグネーテッドルータのルータ ID。	●
16	axrOspfV3IfBackupDesignatedRouter {axrOspfV3IfEntry 15}	IpAddress	R/O	バックアップディジグネーテッドルータのルータ ID。	●
17	axrOspfV3IfEvents {axrOspfV3IfEntry 16}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
18	axrOspfV3IfStatus {axrOspfV3IfEntry 18}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●
19	axrOspfV3IfMulticastForwarding {axrOspfV3IfEntry 19}	INTEGER	R/O	このインタフェースでマルチキャストする方法。 blocked(1) 固定。 {blocked(1), multicast(2), unicast(3)}	●
20	axrOspfV3IfDemand {axrOspfV3IfEntry 20}	INTEGER	R/O	このインタフェースで Demand OSPFv3 手順を行うかどうかを示します。false(2) 固定。 {true(1), false(2)}	●
21	axrOspfV3IfMetricValue {axrOspfV3IfEntry 21}	INTEGER	R/O	このインタフェースのメトリック。	●
22	axrOspfV3IfLinkScopeLsaCount {axrOspfV3IfEntry 22}	INTEGER	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。	●
23	axrOspfV3IfLinkLsaChecksumSum {axrOspfV3IfEntry 23}	INTEGER	R/O	LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。	●
24	axrOspfV3IfInstId {axrOspfV3IfEntry 24}	INTEGER	R/O	この OSPFv3 インタフェースの InstanceID。	●

3.7.7 axrOspfV3VirtIfTable

(1) 識別子

axrOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfV3VirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfV3 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8

(2) 実装仕様

axrOspfv3VirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-39 axrOspfv3VirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfv3VirtIfTable {axrOspfv3 8}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfv3VirtIfEntry {axrOspfv3VirtIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX {axrOspfv3VirtIfDomainNumber, axrOspfv3VirtIfAreaId, axrOspfv3VirtIfNeighbor}	●
3	axrOspfv3VirtIfDomainNumber {axrOspfv3VirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfv3VirtIfAreaId {axrOspfv3VirtIfEntry 2}	IpAddress	R/O	その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。	●
5	axrOspfv3VirtIfNeighbor {axrOspfv3VirtIfEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想の隣接ルータのルータ ID。	●
6	axrOspfv3VirtIfIndex {axrOspfv3VirtIfEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェースのインタフェース Index。	●
7	axrOspfv3VirtIfTransitDelay {axrOspfv3VirtIfEntry 5}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するために必要とされる時間。[単位：秒]	●
8	axrOspfv3VirtIfRetransInterval {axrOspfv3VirtIfEntry 6}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。 [単位：秒]	●
9	axrOspfv3VirtIfHelloInterval {axrOspfv3VirtIfEntry 7}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔。[単位：秒]	●
10	axrOspfv3VirtIfRtrDeadInterval {axrOspfv3VirtIfEntry 8}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位：秒]	●
11	axrOspfv3VirtIfState {axrOspfv3VirtIfEntry 9}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 {down(1), PtoP(4)}	●
12	axrOspfv3VirtIfEvents {axrOspfv3VirtIfEntry 10}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
13	axrOspfv3VirtIfStatus {axrOspfv3VirtIfEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●
14	axrOspfv3VirtIfLinkScopeLsaCount {axrOspfv3VirtIfEntry 12}	INTEGER	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。	●
15	axrOspfv3VirtIfLinkLsaChecksumSum {axrOspfv3VirtIfEntry 13}	INTEGER	R/O	LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。	●

3.7.8 axrOspfv3NbrTable

(1) 識別子

axrOspfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfv3NbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfv3 9}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9

(2) 実装仕様

axrOspfV3NbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-40 axrOspfV3NbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfV3NbrTable {axrOspfV3 9}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfV3NbrEntry {axrOspfV3NbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各隣接局の情報リスト。 INDEX {axrOspfV3NbrDomainNumber, axrOspfV3NbrIfIndex, axrOspfV3NbrIpv6Addr}	●
3	axrOspfV3NbrDomainNumber {axrOspfV3NbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfV3NbrIfIndex {axrOspfV3NbrEntry 2}	INTEGER	R/O	隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。	●
5	axrOspfV3NbrIpv6Addr {axrOspfV3NbrEntry 3}	Ipv6Address	R/O	隣接ルータの IPv6 アドレス。	●
6	axrOspfV3NbrRtrId {axrOspfV3NbrEntry 4}	IpAddress	R/O	隣接ルータのルータ ID。	●
7	axrOspfV3NbrOptions {axrOspfV3NbrEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ルータのオプションフィールド。	●
8	axrOspfV3NbrPriority {axrOspfV3NbrEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接ルータのプライオリティ。	●
9	axrOspfV3NbrState {axrOspfV3NbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)}	●
10	axrOspfV3NbrEvents {axrOspfV3NbrEntry 8}	Counter	R/O	隣接ルータとの関係で、状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
11	axrOspfV3NbrLsRetransQLen {axrOspfV3NbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	●
12	axrOspfV3NbrHelloSuppressed {axrOspfV3NbrEntry 12}	INTEGER	R/O	Hello が隣接に抑止されているかを示します。	●
13	axrOspfV3NbrIfId {axrOspfV3NbrEntry 13}	INTEGER	R/O	隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している Interface ID。	●

3.7.9 axrOspfV3VirtNbrTable

(1) 識別子

axrOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfV3VirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfV3 10}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10

(2) 実装仕様

axrOspfv3VirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-41 axrOspfv3VirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axrOspfv3VirtNbrTable {axrOspfv3 10}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。	●
2	axrOspfv3VirtNbrEntry {axrOspfv3VirtNbrTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX {axrOspfv3VirtNbrDomainNumber, axrOspfv3VirtNbrArea, axrOspfv3VirtNbrRtrId}	●
3	axrOspfv3VirtNbrDomainNumber {axrOspfv3VirtNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfv3VirtNbrArea {axrOspfv3VirtNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	通過するエリアのエリア ID。	●
5	axrOspfv3VirtNbrRtrId {axrOspfv3VirtNbrEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータのルータ ID。	●
6	axrOspfv3VirtNbrIfIndex {axrOspfv3VirtNbrEntry 4}	INTEGER	R/O	隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。	●
7	axrOspfv3VirtNbrIpv6Addr {axrOspfv3VirtNbrEntry 5}	Ipv6Address	R/O	仮想隣接ルータの IPv6 アドレス。	●
8	axrOspfv3VirtNbrOptions {axrOspfv3VirtNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	仮想隣接ルータのオプションフィールド。	●
9	axrOspfv3VirtNbrState {axrOspfv3VirtNbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)}	●
10	axrOspfv3VirtNbrEvents {axrOspfv3VirtNbrEntry 8}	Counter	R/O	この仮想リンクの状態が変化した、または エラーが発生した回数。	●
11	axrOspfv3VirtNbrLsRetransQLen {axrOspfv3VirtNbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	●
12	axrOspfv3VirtNbrHelloSuppressed {axrOspfv3VirtNbrEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello が隣接に抑止されているかを示します。	●
13	axrOspfv3VirtNbrIfId {axrOspfv3VirtNbrEntry 11}	INTEGER	R/O	隣接がこのリンクに Hello パケットで広告 している InterfaceID。	●

3.7.10 axrOspfv3AreaAggregateTable

(1) 識別子

axrOspfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 15}

axrOspfv3AreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrOspfv3 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11

(2) 実装仕様

axrOspfV3AreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-42 axrOspfV3AreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrOspfV3AreaAggregateTable {axrOspfV3 11}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブル。	●
2	axrOspfV3AreaAggregateEntry {axrOspfV3AreaAggregateTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のリスト。 INDEX {axrOspfV3AreaAggregateDomainNumber, axrOspfV3AreaAggregateAreaID, axrOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType, axrOspfV3AreaAggregateIndex}	●
3	axrOspfV3AreaAggregateDomainNumber {axrOspfV3AreaAggregateEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axrOspfV3AreaAggregateAreaID {axrOspfV3AreaAggregateEntry 2}	IpAddress	R/O	アドレス集約したエリア。	●
5	axrOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType {axrOspfV3AreaAggregateEntry 3}	INTEGER	R/O	アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 {interAreaPrefixLsa(0x2003), nssaExternalLink(0x2007)}	●
6	axrOspfV3AreaAggregateIndex {axrOspfV3AreaAggregateEntry 4}	INTEGER	R/O	アグリゲートテーブルの識別子。	●
7	axrOspfV3AreaAggregatePrefix {axrOspfV3AreaAggregateEntry 5}	Ipv6Address	R/O	IPv6 Prefix。	●
8	axrOspfV3AreaAggregatePrefixLength {axrOspfV3AreaAggregateEntry 6}	INTEGER	R/O	IPv6 Prefix 長。	●
9	axrOspfV3AreaAggregateStatus {axrOspfV3AreaAggregateEntry 7}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	●
10	axrOspfV3AreaAggregateEffect {axrOspfV3AreaAggregateEntry 8}	INTEGER	R/O	範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 {advertiseMatching(1), doNotAdvertiseMatching(2)}	●

3.8 axrlsisMib グループ (IS-IS 情報 MIB) 【OP-ISIS】

axrlsisMIB グループは、axrlsisAdjacencyChange トラップの variable として使用する Object を集めた MIB グループです。どの Object もトラップ以外の方法でデータ取得することはできません。

3.8.1 axrlsisSysTable グループ

(1) 識別子

```
axrlsisMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 37}

axrlsisObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrlsisMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1

axrlsisSystem OBJECT IDENTIFIER ::= {axrlsisObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.1

axrlsisSysTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrlsisSystem 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.1.1
```

(2) 実装仕様

axrlsisSysTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-43 axrlsisSysTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実 装 有 無
1	axrlsisSysTable {axrlsisSystem 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS 情報を格納するテーブル。	●
2	axrlsisSysEntry {axrlsisSysTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS 情報のリスト。 INDEX {axrlsisSysInstance}	●
3	axrlsisSysInstance {axrlsisSysEntry 1}	INTEGER (1..10000)	AN	IS-IS プロトコルエンジンの番号。本装置 の場合は常に 1。	●

3.8.2 axrlsisSysLevelTable グループ

(1) 識別子

```
axrlsisMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 37}

axrlsisObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrlsisMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1

axrlsisSysLevel OBJECT IDENTIFIER ::= {axrlsisObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.2

axrlsisSysLevelTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrlsisSysLevel 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.2.1
```

(2) 実装仕様

axrlsisSysLevelTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-44 axrIisSysLevelTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrIisSysLevelTable {axrIisSysLevel 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS プロトコルのレベル情報を格納するテーブル。	●
2	axrIisSysLevelEntry {axrIisSysLevelTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS プロトコルのレベル情報のリスト。 INDEX {axrIisSysInstance, axrIisSysLevelIndex}	●
3	axrIisSysLevelIndex {axrIisSysLevelEntry 1}	INTEGER {level1IS (1), level2IS (2)}	AN	IS-IS プロトコルのレベル情報のレベル。	●

3.8.3 axrIisCircTable グループ

(1) 識別子

```
axrIisMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 37}

axrIisObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrIisMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1

axrIisCirc OBJECT IDENTIFIER ::= {axrIisObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.3

axrIisCircTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrIisCirc 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.3.1
```

(2) 実装仕様

axrIisCircTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-45 axrIisCircTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrIisCircTable {axrIisCirc 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS インタフェース情報を格納するテーブル。	●
2	axrIisCircEntry {axrIisCircTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS インタフェース情報のリスト。 INDEX {axrIisSysInstance, axrIisCircIndex}	●
3	axrIisCircIndex {axrIisCircEntry 1}	INTEGER {1..2000000 000}	AN	IS-IS インタフェースの MIB リスト上の識別子。	●

3.8.4 axrIisNotificationTable グループ

(1) 識別子

```
axrIisMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 37}

axrIisObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrIisMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1

axrIisNotification OBJECT IDENTIFIER ::= {axrIisObjects 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.10
```

axrIisNotificationTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrIisNotification 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.10.1

(2) 実装仕様

axrIisNotificationTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-46 axrIisNotificationTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実 装 有 無
1	axrIisNotificationTable {axrIisNotification 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS トラップ付随情報を格納するテー ブル。	●
2	axrIisNotificationEntry {axrIisNotificationTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS トラップ専用 Object のリスト。 INDEX {axrIisSysInstance}	●
3	axrIisPduLspId {axrIisNotificationEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(0 8))	AN	IS-IS トラップ通知時に付随するルー タの system ID。	●
4	axrIisAdjState {axrIisNotificationEntry 9}	INTEGER {down (1) initializing (2) up (3) failed(4)}	AN	IS-IS トラップ通知時に付随する隣接ルー タの状態。	●

3.9 axrStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)

axrStatic グループは、axrStaticGatewayStateChange トラップの variable として使用する Object を集めた MIB グループです。どの Object も、トラップ以外の方法でデータ取得することはできません。

3.9.1 axrStaticTable グループ

(1) 識別子

```
axrStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 38}

axrStaticTable Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrStatic 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.1
```

(2) 実装仕様

axrStaticTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-47 axrStaticTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrStaticTable {axrStatic 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタティック情報を格納するテーブル。	●
2	axrStaticGatewayEntry {axrStaticTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタティック情報のリスト。 INDEX {axrStaticGatewayAddr}	●
3	axrStaticGatewayAddr {axrStaticGatewayEntry 1}	Ip Address	AN	ゲートウェイの IP アドレス。	●
4	axrStaticGatewayState {axrStaticGatewayEntry 2}	INTEGER	AN	ゲートウェイの状態。 {reachable(1), unreachable(2)}	●

3.9.2 axrStaticIpv6Table グループ

(1) 識別子

```
axrStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 38}

axrStaticIpv6Table Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrStatic 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.3
```

(2) 実装仕様

axrStaticIpv6Table の実装仕様を次の表に示します。

表 3-48 axrStaticIpv6Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrStaticIpv6Table {axrStatic 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ipv6 スタティック情報を格納するテーブル。	●
2	axrStaticIpv6GatewayEntry {axrStaticIpv6Table 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ipv6 スタティック情報のリスト。 INDEX {axrStaticIpv6Ifindex, axrStaticIpv6GatewayAddr}	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
3	axrStaticIpv6Ifindex {axrStaticIpv6GatewayEntry 1}	INTEGER	AN	ゲートウェイのインタフェース index。 gateway 指定: インタフェース index 番号 remote-gateway 指定: 0 固定	●
4	axrStaticIpv6GatewayAddr {axrStaticIpv6GatewayEntry 2}	Ipv6 Address	AN	ゲートウェイの IPv6 アドレス。	●
5	axrStaticIpv6GatewayState {axrStaticIpv6GatewayEntry 3}	INTEGER	AN	ゲートウェイの状態。 {reachable(1), unreachable(2)}	●

3.10 axrBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)

(1) 識別子

axrBootManagement OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 51}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.51

(2) 実装仕様

axrBootManagement の実装仕様を次の表に示します。

表 3-49 axrBootManagement の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrBootReason {axrBootManagement 1}	INTEGER	R/O	システムが起動した要因 • power-on(1)：電源オンによる起動 • reload(2)：コマンドによる起動 • system-fault(3)：障害による起動 • system-stall(4)：WDT タイムアウトによる起動 • reset(5)：HW リセットによる起動 • fail-over(6)：SWAP による起動 • default-restart(7)：デフォルトリスタートによる起動 本装置では power-on(1), reload(2), system-fault(3), reset(5), または default-restart(7) を返す。	●

3.11 axrLogin グループ (ログイン情報 MIB)

(1) 識別子

axrLogin OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 52}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52

(2) 実装仕様

axrLogin の実装仕様を次の表に示します。

表 3-50 axrLogin の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrLoginName {axrLogin 1}	DisplayString	NA	ログインユーザ名。	●
2	axrLoginTime {axrLogin 2}	DisplayString	NA	ユーザがログインした時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。 "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。 • YYYY：西暦 • MM：月（01～12） • DD：日（01～31） • hh：時（00～23） • mm：分（00～59） • ss：秒（00～59） • XXXXXX：タイムゾーン DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。 （例 2004/10/09 10:23:10 JST）	●
3	axrLogoutTime {axrLogin 3}	DisplayString	NA	ユーザがログアウトした時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。 "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。 • YYYY：西暦 • MM：月（01～12） • DD：日（01～31） • hh：時（00～23） • mm：分（00～59） • ss：秒（00～59） • XXXXXX：タイムゾーン DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。 （例 2004/10/09 10:23:10 JST）	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axrLoginFailureTime {axrLogin 4}	DisplayString	NA	ユーザがログインに失敗した時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。 "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。 • YYYY：西暦 • MM：月（01～12） • DD：日（01～31） • hh：時（00～23） • mm：分（00～59） • ss：秒（00～59） • XXXXXX：タイムゾーン DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。 (例 2004/10/09 10:23:10 JST)	●
5	axrLoginLocation {axrLogin 5}	DisplayString	NA	ログインユーザの接続形式情報を以下形式で表示します。 • コンソールの場合 "console" • aux の場合 "aux" • その他の場合 "XXXX(YYYY)" と表示します。 • XXXX：IP アドレス • YYYY：アプリケーション (telnet, rlogin, ftp) (例 "console", "aux", "192.168.1.1(telnet)", "2001:02C0:0001:0100:0000:0000:0000:0053(telnet)")	●
6	axrLoginLine {axrLogin 6}	DisplayString	NA	ログインユーザの端末識別子情報を以下形式で表示します。 • コンソールの場合 "console" • aux の場合 "aux" • その他の場合 "XXXX(YYYY)" と表示します。 • XXXX：端末 • YYYY：アプリケーション (telnet, rlogin, ftp) (例 "console", "aux", "tty1(telnet)")	●
7	axrLogoutStatus {axrLogin 7}	INTEGER	NA	ログアウト要因 • error(1)：下記要因以外のログアウト (例：内部不正によるシステムアウト等) • success(2)：コマンドによるログアウト • timeout(3)：auto-logout によるログアウト • disconnect(4)：回線切断によるログアウト • force(5)：他のユーザによる強制ログアウト 本装置では固定値 (2) を返す。	●

3.12 axrldp グループ (LLDP 情報 MIB)

3.12.1 axrldpConfiguration グループ

(1) 識別子

axrldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 100}

axrldpConfiguration OBJECT IDENTIFIER ::= {axrldp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1

axrldpMessageTxInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {axrldpConfiguration 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.1

(2) 実装仕様

axrldpConfiguration グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-51 axrldpConfiguration グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrldpMessageTxInterval {axrldpConfiguration 1}	Integer32 (5..32768)	R/NW	[規格] LDPDU 送信間隔。コンフィグレーションコマンド lldp の interval-time で設定した値。 単位：秒 デフォルト：30（秒） [実装] 規格と同じ。	●
2	axrldpMessageTxHoldMultiplier {axrldpConfiguration 2}	Integer32 (2..10)	R/NW	[規格] 本装置が送信した LLDP フレームに関して、隣接装置が保持する時間係数。実際に保持される時間は axrldpMessageTxInterval と本 MIB 値の積。 コンフィグレーションコマンド lldp の hold-count で設定した値。 デフォルト：4 [実装] 規格と同じ。	●
3	axrldpReinitDelay {axrldpConfiguration 3}	Integer32 (1..10)	R/W	[規格] ポート状態が disable に遷移してから再初期化されるまでの遅延時間。 単位：秒 デフォルト：1（秒） [実装] 未サポート。	×
4	axrldpTxDelay {axrldpConfiguration 4}	Integer32 (1..8192)	R/W	[規格] axrldpLocalSystemData グループのオブジェクトのどれかで値が変更された後に LDPDU が送信されるまでの遅延時間。 推奨値は以下の式で求めることができる。 $\text{axrldpTxDelay} = \max(1, (0.25 \times \text{axrldpMessageTxInterval}))$ 単位：秒 デフォルト：8（秒） [実装] 未サポート。	×
5	axrldpPortConfigTable {axrldpConfiguration 6}	SEQUENCE OF axrldpPortConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axrldpPortConfigEntry {axrldpPortConfigTable 1}	axrldpPortConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するエントリ (ポートごと)。 Index {axrldpPortConfigPortNum} [実装] 規格と同じ。	●
7	axrldpPortConfigPortNum {axrldpPortConfigEntry 2}	Integer32 (1..384)	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifindex と同じ。 [実装] 規格と同じ。	●
8	axrldpPortConfigAdminStatus {axrldpPortConfigEntry 3}	INTEGER	R/NW	[規格] LDPDU の送受信に関する本装置のポート状態。 {txOnly(1) rxOnly(2) txAndRx(3) disabled(4)} [実装] txAndRx(3),disabled(4) だけ使用できる。	●
9	axrldpPortConfigTLVsTxEnable {axrldpPortConfigEntry 4}	BITS	R/NW	[規格] 当該ポートに関する送信可能 TLV。 {portDesc(4), sysName(5), sysDesc(6), sysCap(7)} [実装] 0x0e(portDesc(4), sysName(5), sysDesc(6) の論理和) 固定。	●
10	axrldpPortConfigRowStatus {axrldpPortConfigEntry 5}	RowStatus	R/O	[規格] 本エントリの状態。 active(1) : axrldpPortConfigAdminStatus が txAndRx の場合 notReady(3) : axrldpPortConfigAdminStatus が disabled の場合 [実装] 規格と同じ。	●
11	axrldpConfigManAddrTable {axrldpConfiguration 7}	SEQUENCE OF axrldpConfigManAddrEntry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
12	axrldpConfigManAddrEntry {axrldpConfigManAddrTable 1}	axrldpConfigManAddrEntry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合を表すエントリ。 [実装] 未サポート。	×
13	axrldpConfigManAddrPortsTxEnable {axrldpConfigManAddrEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(48))	R/W	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合をビットマップで表したもの。 [実装] 未サポート。	×

3.12.2 axrldpStats グループ

(1) 識別子

axrldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 100}

axrldpStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axrldp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2

axrldpStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axrldpStats 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1

(2) 実装仕様

axrldpStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-52 axrldpStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrldpStatsTable {axrldpStats 1}	SEQUENCE OF axrldpStatsEntry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
2	axrldpStatsEntry {axrldpStatsTable 1}	axrldpStatsEntry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するエントリ (ポートごと)。 Index {axrldpStatsPortNum} [実装] 規格と同じ。	●
3	axrldpStatsPortNum {axrldpStatsEntry 2}	Integer32 (1..384)	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifindex と同じ。 [実装] 規格と同じ。ただし enable-port 定義 されているポートが対象になる。	●
4	axrldpStatsOperStatus {axrldpStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] 当該ポートに関する運用状態。 {portUp(1), portDown(2)} [実装] 規格と同じ。	●
5	axrldpStatsFramesInErrors {axrldpStatsEntry 4}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する不正 LDPDU 受信数。 [実装] 規格と同じ。	●
6	axrldpStatsFramesInTotal {axrldpStatsEntry 5}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総 LDPDU 受 信数。 [実装] 規格と同じ。	●
7	axrldpStatsFramesOutTotal {axrldpStatsEntry 6}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総 LDPDU 送 信数。 [実装] 規格と同じ。	●
8	axrldpStatsTLVsInErrors {axrldpStatsEntry 7}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する不正 TLV 受信 数。 [実装] 規格と同じ。	●
9	axrldpStatsTLVsDiscardedTotal {axrldpStatsEntry 8}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総廃棄 TLV 数。 [実装] 規格と同じ。	●
10	axrldpStatsCounterDiscontinuityTime {axrldpStatsEntry 9}	TimeStamp	R/O	[規格] 当該ポートの統計カウンタの連続 性が失われた時刻。 [実装] 未サポート。	×

3.12.3 axrldpLocalSystemData グループ

(1) 識別子

axrldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 100}

axrldpLocalSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axrldp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3

axrldpLocChassisType ::= {axrldpLocalSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.1

(2) 実装仕様

axrldpLocalSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-53 axrldpLocalSystemData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrldpLocChassisType {axrldpLocalSystemData 1}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置に関するシャシータイプ。 {entPhysicalAlias(1), ifAlias(2), portEntPhysicalAlias(3), backplaneEntPhysicalAlias(4), macAddress(5), networkAddress(6)} [実装] macAddress(5) 固定。	●
2	axrldpLocChassisId {axrldpLocalSystemData 2}	OCTET STRING (SIZE(1..255)	R/O	[規格] 本装置に関するシャシー ID (文字列)。 [実装] 装置の MAC アドレス。	●
3	axrldpLocSysName {axrldpLocalSystemData 3}	OCTET STRING (SIZE(0..255)	R/O	[規格] 本装置に関するシステムネーム (文字列)。system グループの sysName と同じ。 [実装] 規格と同じ。	●
4	axrldpLocSysDesc {axrldpLocalSystemData 4}	DisplayString (SIZE(0..255)	R/O	[規格] 本装置に関するシステム情報 (文字列)。system グループの sysDesc と同じ。 [実装] 規格と同じ。	●
5	axrldpLocSysCapSupported {axrldpLocalSystemData 5}	BITS	R/O	[規格] 当該装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 {repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [実装] 未サポート。	×
6	axrldpLocSysCapEnabled {axrldpLocalSystemData 6}	BITS	R/O	[規格] 当該装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 {repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [実装] 未サポート。	×
7	axrldpLocPortTable {axrldpLocalSystemData 7}	SEQUENCE OF axrldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
8	axrldpLocPortEntry {axrldpLocPortTable 1}	axrldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するエントリ (ポートごと)。 Index {axrldpLocPortNum} [実装] 規格と同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axrldpLocPortNum {axrldpLocPortEntry 1}	Integer32 (1..384)	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifindex と同じ。 [実装] 規格と同じ。ただし enable-port 定義されているポートが対象になる。	●
10	axrldpLocPortType {axrldpLocPortEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポートタイプ。 {ifAlias(1), portEntPhysicalAlias(2), backplaneEntPhysicalAlias(3), macAddress(4), networkAddress(5), local(6)} [実装] macAddress(4) 固定。	●
11	axrldpLocPortId {axrldpLocPortEntry 3}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] ポートの MAC アドレス。	●
12	axrldpLocPortDesc {axrldpLocPortEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポート情報 (文字列)。ポートの ifDescr と同じ。 [実装] 規格と同じ。	●
13	axrldpLocManAddrTable {axrldpLocalSystemData 8}	SEQUENCE OF axrldpLocManAddrEntry	NA	[規格] 当該装置の管理アドレスに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
14	axrldpLocManAddrEntry {axrldpLocManAddrTable 1}	axrldpLocManAddrEntry	NA	[規格] シャシーごとの管理アドレスに関する情報。 INDEX {axrldpLocManAddrType, axrldpLocManAddr} [実装] 未サポート。	×
15	axrldpLocManAddrType {axrldpLocManAddrEntry 1}	AddressFamilyNumbers	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
16	axrldpLocManAddr {axrldpLocManAddrEntry 2}	OCTET STRING (SIZE(1..31))	NA	[規格] 当該装置の管理アドレス [実装] 未サポート。	×
17	axrldpLocManAddrIfSubtype {axrldpLocManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ。 {unknown(1), ifIndex(2), systemPortNumber(3)} [実装] 未サポート。	×
18	axrldpLocManAddrIfId {axrldpLocManAddrEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	[規格] 管理アドレスに対応するインタフェース番号。 [実装] 未サポート。	×
19	axrldpLocManAddrOID {axrldpLocManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 管理アドレスに関連するハードウェア、またはプロトコルの OID。 [実装] 未サポート。	×

3.12.4 axrldpRemoteSystemData グループ

(1) 識別子

```
axrldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 100}

axrldpRemoteSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axrldp 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4

axrldpRemTable ::= {axrldpRemoteSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1
```

(2) 実装仕様

axrldpRemoteSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-54 axrldpRemoteSystemData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrldpRemTable {axrldpRemoteSystemData 1}	SEQUENCE OF axrldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
2	axrldpRemEntry {axrldpRemTable 1}	axrldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するエントリ。 Index {axrldpRemLocalPortNum, axrldpRemIndex}※	●
3	axrldpRemTimeMark {axrldpRemEntry 1}	TimeFilter	NA	[規格] 当該隣接装置の情報を取得してから の時間。 [実装] 未サポート。	×
4	axrldpRemLocalPortNum {axrldpRemEntry 2}	Integer32 (1..384)	NA	[規格] 隣接装置に関する情報を受信した 本装置のポートの識別インデックス。 ifindex と同じ。 [実装] 規格と同じ。ただし、コンフィグ レーションコマンドである lldp enable-port を設定したポートが対象にな る。	●
5	axrldpRemIndex {axrldpRemEntry 3}	Integer32 (1..2147483 647)	NA	[規格] 隣接装置に関するインデックス。 [実装] 規格と同じ。	●
6	axrldpRemRemoteChassisType {axrldpRemEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャシータイプ。 {entPhysicalAlias(1), ifAlias(2), portEntPhysicalAlias(3), backplaneEntPhysicalAlias(4), macAddress(5), networkAddress(6)} [実装] 規格と同じ。	●
7	axrldpRemRemoteChassis {axrldpRemEntry 5}	OCTET STRING (SIZE(1..255)	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャシー ID (文 字列)。 [実装] 規格と同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axrldpRemRemotePortType {axrldpRemEntry 6}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置の当該ポートに関するポートタイプ。 {ifAlias(1), portEntPhysicalAlias(2), backplaneEntPhysicalAlias(3), macAddress(4), networkAddress(5), local(6)} [実装] 規格と同じ。	●
9	axrldpRemRemotePort {axrldpRemEntry 7}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[規格] 隣接装置の当該ポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] 規格と同じ。	●
10	axrldpRemPortDesc {axrldpRemEntry 8}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 隣接装置の当該ポートに関する情報 (文字列)。 [実装] 規格と同じ。	●
11	axrldpRemSysName {axrldpRemEntry 9}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 隣接装置に関するシステムネーム (文字列)。 [実装] 規格と同じ。	●
12	axrldpRemSysDesc {axrldpRemEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 隣接装置に関するシステム情報 (文字列)。 [実装] 規格と同じ。	●
13	axrldpRemSysCapSupported {axrldpRemEntry 11}	BITS	R/O	[規格] 隣接装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 {repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [実装] 未サポート。	×
14	axrldpRemSysCapEnabled {axrldpRemEntry 12}	BITS	R/O	[規格] 隣接装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 {repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [実装] 未サポート。	×
15	axrldpRemManAddrTable {axrldpRemoteSystemsData 2}	SEQUENCE OF axrldpRemManAddrEntry	NA	[規格] 当該装置が学習した隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axrldpRemManAddrEntry {axrldpRemManAddrTable 1}	axrldpRemManAddrEntry	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。 INDEX {axrldpRemTimeMark, axrldpRemLocalPortNum, axrldpRemIndex, axrldpRemManAddrType, axrldpRemManAddr} [実装] 未サポート。	×
17	axrldpRemManAddrType {axrldpRemManAddrEntry 1}	AddressFamilyNumbers	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
18	axrldpRemManAddr {axrldpRemManAddrEntry 2}	OCTET STRING (SIZE (1..31))	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレス。 [実装] 未サポート。	×
19	axrldpRemManAddrIfSubtype {axrldpRemManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ。 {unknown(1), ifIndex(2), systemPortNumber(3)} [実装] 未サポート。	×
20	axrldpRemManAddrIfId {axrldpRemManAddrEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに対応するインタフェース番号。 [実装] 未サポート。	×
21	axrldpRemManAddrOID {axrldpRemManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関連するハードウェア、またはプロトコルの OID。 [実装] 未サポート。	×
22	axrldpRemOrgDefInfoTable {axrldpRemoteSystemsData 3}	SEQUENCE OF axrldpRemOrgDefInfoEntry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	×
23	axrldpRemOrgDefInfoEntry {axrldpRemOrgDefTable 1}	axrldpRemOrgDefInfoEntry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するエントリ。 Index {axrldpRemTimeMark, axrldpRemLocalPortNum, axrldpRemIndex, axrldpRemOrgDefOUI, axrldpRemOrgDefSubtype, axrldpRemOrgDefIndex} [実装] 未サポート。	×
24	axrldpRemOrgDefInfoOUI {axrldpRemOrgDefEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(3))	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する OUI。 [実装] 未サポート。	×
25	axrldpRemOrgDefInfoSubtype {axrldpRemOrgDefEntry 2}	Integer32 (1..255)	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するサブタイプ。 [実装] 未サポート。	×
26	axrldpRemOrgDefInfoIndex {axrldpRemOrgDefEntry 3}	Integer32 (1..2147483647)	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する ID。 [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
27	axrldpRemOrgDefInfo {axrldpRemOrgDefEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(0..507))	R/O	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する情報。 [実装] 未サポート。	×

注※ 規格では axrldpRemTimeMark がありますが、未サポートのため除いてあります。

3.12.5 axrldpRemoteOriginInfoData グループ

(1) 識別子

axrldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 100}

axrldpRemoteOriginInfoData OBJECT IDENTIFIER ::= {axrldp 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20

axrldpRemOriginInfoTable ::= {axrldpRemoteOriginInfoData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1

(2) 実装仕様

axrldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-55 axrldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrldpRemOriginInfoTable {axrldpRemoteOriginInfoData 1}	SEQUENCE OF axrldpRemOriginInfoTable	NA	隣接装置の弊社独自 TLV に関するテーブル。	●
2	axrldpRemOriginInfoEntry {axrldpRemOriginInfoTable 1}	axrldpRemOriginInfoEntry	NA	隣接装置に関するエントリ。 Index {axrldpRemOriginInfoPortNum, axrldpRemOriginInfoIndex}	●
3	axrldpRemOriginInfoPortNum {axrldpRemOriginInfoEntry 1}	Integer32 (1..384)	NA	隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。ifindex と同じ。	●
4	axrldpRemOriginInfoIndex {axrldpRemOriginInfoEntry 2}	INTEGER	NA	隣接装置に関するインデックス。	●
5	axrldpRemOriginInfoLowerVlanList {axrldpRemOriginInfoEntry 3}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	VLAN 1 ～ 2047 で隣接装置の当該ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの（先頭のビット (0 バイト目の 2 ⁷ ビット) は untagged 定義の有無を示し、以下 VLAN 1 ～ 2047 の有効／無効を示す）。 - bit が 0: その VLAN は無効 - bit が 1: その VLAN は有効	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axrldpRemOriginInfoHigherVlanList {axrldpRemOriginInfoEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	VLAN 2048 ～ 4095 で隣接装置の当該ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの（先頭のビット (0 バイト目の 2^7 ビット) から順に VLAN 2048 ～ 4095 の有効／無効を示す）。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効	●
7	axrldpRemOriginInfoIPv4Address {axrldpRemOriginInfoEntry 5}	OCTET STRING (SIZE(0..15))	R/O	[axrldpRemOriginInfoLowerVlanList に untagged だけ設定されているとき] 隣接装置の当該ポートに付与されている IPv4 アドレス（文字列）。 [上記以外の場合] 隣接装置の当該ポートで有効であり、かつ IPv4 アドレスが付与されている VLAN のうち、最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv4 アドレス（文字列）。	●
8	axrldpRemOriginInfoIPv4PortType {axrldpRemOriginInfoEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接装置の当該ポートのポート種別。 {ブリッジポート (0), ルータポート (1)} • ブリッジポート = IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート • ルータポート = 上記以外のポート	●
9	axrldpRemOriginInfoIPv4VlanId {axrldpRemOriginInfoEntry 7}	INTEGER	R/O	[axrldpRemOriginInfoIPv4PortType がブリッジポートのとき] IPv4 アドレスが付与されている VLAN ID のうち、最も小さいもの。 [axrldpRemOriginInfoIPv4PortType がルータポートのとき] 0 固定。	●
10	axrldpRemOriginInfoIPv6Address {axrldpRemOriginInfoEntry 8}	OCTET STRING (SIZE(0..45))	R/O	[axrldpRemOriginInfoLowerVlanList に untagged だけ設定されているとき] 隣接装置の当該ポートに付与されている IPv6 アドレス（文字列）。 [上記以外の場合] 隣接装置の当該ポートで有効であり、かつ IPv6 アドレスが付与されている VLAN のうち、最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv6 アドレス（文字列）。	●
11	axrldpRemOriginInfoIPv6PortType {axrldpRemOriginInfoEntry 9}	INTEGER	R/O	隣接装置の当該ポートのポート種別。 {ブリッジポート (0), ルータポート (1)} • ブリッジポート = IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート • ルータポート = 上記以外のポート	●
12	axrldpRemOriginInfoIPv6VlanId {axrldpRemOriginInfoEntry 10}	INTEGER	R/O	[axrldpRemOriginInfoIPv6PortType がブリッジポートのとき] IPv6 アドレスが付与されている VLAN ID のうち、最も小さいもの。 [axrldpRemOriginInfoIPv6PortType がルータポートのとき] 0 固定。	●

3.13 axrBfdMIB グループ (BFD 情報 MIB) 【OP-BFD】

3.13.1 axrBfdScalarObjects グループ

(1) 識別子

```
axrBfdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 201}

axrBfdObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrBfdMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1

axrBfdScalarObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrBfdObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.1
```

(2) 実装仕様

axrBfdScalarObjects グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-56 axrBfdScalarObjects グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrBfdAdminStatus {axrBfdScalarObjects 1}	INTEGER	R/O	ルータ内の BFD 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} enabled(1) 固定。	●
2	axrBfdVersionNumber {axrBfdScalarObjects 3}	Unsigned32	R/O	BFD プロトコルのバージョン。 1 固定。	●
3	axrBfdSessNotificationsEnable {axrBfdScalarObjects 4}	TruthValue	R/O	トラップの通知を行うかを示す。 {true(1), false(0)} false(0) 固定。	●

3.13.2 axrBfdSessTable グループ

(1) 識別子

```
axrBfdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 201}

axrBfdObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrBfdMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1

axrBfdSessTable OBJECT-TYPE ::= {axrBfdObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2
```

(2) 実装仕様

axrBfdSessTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-57 axrBfdSessTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrBfdSessTable {axrBfdScalarObjects 2}	SEQUENCE OF axrBfdSess Entry	NA	BFD セッションテーブル。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axrBfdSessEntry {axrBfdSessTable 1}	axrBfdSessEntry	NA	BFD セッションのエントリ情報。 INDEX {axrBfdSessIndex}	●
3	axrBfdSessIndex {axrBfdSessEntry 1}	Unsigned32	NA	デバイスの BFD セッション番号。(1..256)	●
4	axrBfdSessApplicationId {axrBfdSessEntry 2}	Unsigned32	R/O	BFD セッションを張っている、ルーティングプロトコルの識別子。 {static(1), ospf(2) staticAndOspf(3)} staticAndOspf(3) は、Static と OSPF によって、同一セッションが張られていることを示す。	●
5	axrBfdSessDiscriminator {axrBfdSessEntry 3}	Unsigned32	R/O	BFD セッションを特定するための識別子 (discriminator)。	●
6	axrBfdSessRemoteDiscr {axrBfdSessEntry 4}	Unsigned32	R/O	リモートシステム側の識別子 (discriminator)。	●
7	axrBfdSessUdpPort {axrBfdSessEntry 5}	InetPortNumber	R/O	BFD 用の UDP ポート番号 (well-known ポート)。 3784 固定。	●
8	axrBfdSessState {axrBfdSessEntry 6}	INTEGER	R/O	BFD セッションの状態。 {adminDown(1), down(2), init(3), up(4)}	●
9	axrBfdSessRemoteHeardFlag {axrBfdSessEntry 7}	TruthValue	R/O	リモートシステムからの BFD パケット受信状態を示すフラグ。 {true(1), false(0)}	●
10	axrBfdSessDiag {axrBfdSessEntry 8}	Unsigned32	NA	ローカルシステムの up(1) 状態からほかの状態に遷移 (最後の状態遷移) した際の、遷移した理由を示す診断コード。 {noDiagnostic(1), controlDetectionTimeExpired(2), echoFunctionFailed(3), neighborSignaledSessionDown(4), forwardingPlaneReset(5), pathDown(6), concatenatedPathDown(7), administrativelyDown(8)}	×
11	axrBfdSessOperMode {axrBfdSessEntry 9}	INTEGER	R/O	現在の BFD セッションの運用モード。 {asynchModeWEchoFun(1), asynchModeWOEchoFun(2), demandModeWEchoFunction(3), demandModeWOEchoFunction(4)} asynchModeWOEchoFun(2) 固定。	●
12	axrBfdSessDemandModeDesiredFlag {axrBfdSessEntry 10}	TruthValue	R/O	ローカルシステムが Demand モードの使用を希望することを示すフラグ。 {true(1), false(0)} false(0) 固定。	●
13	axrBfdSessEchoFuncModeDesiredFlag {axrBfdSessEntry 11}	TruthValue	R/O	ローカルシステムが Echo モードの使用を希望することのフラグ。 {true(1), false(0)} false(0) 固定。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axrBfdSessControlPlanIndepFlag {axrBfdSessEntry 12}	TruthValue	R/O	コントロールプレーンとの独立性を示すフラグ。 {true(1), false(0)} true(1) 固定。	●
15	axrBfdSessAddrType {axrBfdSessEntry 13}	InetAddressType	R/O	BFD セッションに関連づけられているインタフェースのアドレス (IPv4,IPv6) の種別。 {ipv4(1), ipv6(2)}	●
16	axrBfdSessAddr {axrBfdSessEntry 14}	InetAddress	R/O	BFD セッションに関連づけられているインタフェースのアドレス (IPv4,IPv6)。	●
17	axrBfdSessDesiredMinTxInterval {axrBfdSessEntry 15}	Unsigned32	R/O	ローカルシステムが BFD コントロールパケットを送信するときの最小間隔 (単位: マイクロ秒)。	●
18	axrBfdSessDesiredMinRxInterval {axrBfdSessEntry 16}	Unsigned32	R/O	ローカルシステムが BFD コントロールパケットを受信するときの最小間隔 (単位: マイクロ秒)。	●
19	axrBfdSessDesiredMinEchoRxInterval {axrBfdSessEntry 17}	Unsigned32	R/O	ローカルシステムが BFD エコーパケットを受信するときの最小間隔 (単位: マイクロ秒)。 0 固定。	●
20	axrBfdSessDetectMult {axrBfdSessEntry 18}	Unsigned32	R/O	障害検出時間を算出するための乗数。	●
21	axrBfdSessStorType {axrBfdSessEntry 19}	StorageType	R/O	オブジェクトタイプの storage type を示す。 readOnly(5) 固定。	●
22	axrBfdSessRowStatus {axrBfdSessEntry 20}	RowStatus	R/O	テーブルで行の作成, 修正, 削除できるかを示す状態。 notReady(3) 固定。	●
23	axrBfdSessAuthPresFlag {axrBfdSessEntry 21}	TruthValue	R/O	ローカルシステムが認証を要求することを表すフラグ。 {true(1), false(0)} false(0) 固定。	●
24	axrBfdSessAuthenticationType {axrBfdSessEntry 22}	INTEGER	R/O	BFD セッションが使用する認証タイプ。 {simplePassword(1), keyedMD5(2), meticulousKeyedMD5(3), keyedSHA1(4), meticulousKeyedSHA1(5)}	×

3.13.3 axrBfdSessPerfTable グループ

(1) 識別子

```

axrBfdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 201}

axrBfdObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrBfdMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1

axrBfdSessPerfTable OBJECT-TYPE ::= {axrBfdObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3

```

(2) 実装仕様

axrBfdSessPerfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-58 axrBfdSessPerfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrBfdSessPerfTable {axrBfdObjects 3}	SEQUENCE OF axrBfdSessPerfEntry	NA	BFD セッションごとの性能パフォーマンスステータブル。	●
2	axrBfdSessPerfEntry {axrBfdSessPerfTable 1}	axrBfdSessPerfEntry	NA	BFD 通信可のノードによって構成されているパフォーマンスエントリ (すべての BFD セッションは BFD 通信可のノードによって構成されている)。 AUGMENTS {axrBfdSessEntry}	●
3	axrBfdSessPerfPktIn {axrBfdSessPerfEntry 1}	Counter32	R/O	BFD セッションで受信した BFD メッセージのパケット数。	●
4	axrBfdSessPerfPktOut {axrBfdSessPerfEntry 2}	Counter32	R/O	BFD セッションで送信する BFD メッセージのパケット数。	●
5	axrBfdSessUpTime {axrBfdSessPerfEntry 3}	TimeStamp	R/O	最後に BFD セッションが確立したときの sysUpTime 値。	●
6	axrBfdSessPerfLastSessDownTime {axrBfdSessPerfEntry 4}	TimeStamp	R/O	最後にセッションが切断されたときの sysUpTime 値。	●
7	axrBfdSessPerfLastCommLostDiagnostic {axrBfdSessPerfEntry 5}	INTEGER	R/O	セッションが最後に切断された時の診断コード。 {noDiagnostic(1), controlDetectionTimeExpired(2), echoFunctionFailed(3), neighborSignaledSessionDown(4), forwardingPlaneReset(5), pathDown(6), concatenatedPathDown(7), administrativelyDown(8)}	●
8	axrBfdSessPerfSessUpCount {axrBfdSessPerfEntry 6}	Counter32	R/O	プログラムが起動してからセッションが "UP" 状態になった回数。	●
9	axrBfdSessPerfDiscTime {axrBfdSessPerfEntry 7}	TimeStamp	R/O	セッションカウンタ情報が不連続になったときの sysUpTime 値。	●
10	axrBfdSessPerfPktInHC {axrBfdSessPerfEntry 8}	Counter64	R/O	BFD セッションで受信した BFD パケット数。	●
11	axrBfdSessPerfPktOutHC {axrBfdSessPerfEntry 9}	Counter64	R/O	BFD セッションで送信する BFD パケット数。	●

3.13.4 axrBfdSessMapTable グループ

(1) 識別子

axrBfdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axrMib 201}

axrBfdObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axrBfdMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1

axrBfdSessMapTable OBJECT-TYPE ::= {axrBfdObjects 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.4

(2) 実装仕様

axrBfdSessMapTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-59 axrBfdSessMapTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axrBfdSessMapTable {axrBfdObjects 4}	SEQUENCE OF axrBfdSessMapEntry	NA	BFD セッションマッピングテーブル。	●
2	axrBfdSessMapEntry {axrBfdSessMapTable 1}	axrBfdSessMapEntry	NA	セッションマッピングテーブルのエントリ。 INDEX {axrBfdSessApplicationId, axrBfdSessDiscriminator, axrBfdSessAddrType, axrBfdSessAddr}	●
3	axrBfdSessMapBfdIndex {axrBfdSessMapEntry 1}	Unsigned32	R/O	マッピングした BFD セッションテーブルのインデックス。(1..256)	●

3.14 ax7800rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB) 【AX7800R】

(1) 識別子

ax7800rRouter OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1

(2) 実装仕様

ax7800rRouter グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-60 ax7800rRouter グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rModelType {ax7800rRouter 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報 (数値) - AX7804R-AC(100) - AX7804R-DC(101) - AX7808R-AC(102) - AX7808R-DC(103) - AX7816R-DC(104) - AX7816R-AC(105)	●
2	ax7800rSoftware {ax7800rRouter 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	本装置のソフトウェア情報。	●
3	ax7800rSoftwareName {ax7800rSoftware 1}	DisplayStri ng	R/O	運用中のソフトウェア型名を文字列で示 します (最大 16 文字)。	●
4	ax7800rSoftwareAbbreviation {ax7800rSoftware 2}	DisplayStri ng	R/O	運用中のソフトウェアの略称を文字列で示 します (最大 16 文字)。	●
5	ax7800rSoftwareVersion {ax7800rSoftware 3}	DisplayStri ng	R/O	運用中のソフトウェアのバージョンを文字 列で示します (最大 16 文字)。	●
6	ax7800rSystemMsg {ax7800rRouter 3}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	システムメッセージ関連情報	●
7	ax7800rSystemMsgText {ax7800rSystemMsg 1}	DisplayStri ng	R/O	運用ログ上の最新ログ情報 (文字列)。 システムメッセージログの最新エントリ情 報 (最大 256 文字)。*	●
8	ax7800rSystemMsgType {ax7800rSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	イベント種別を 1 バイトで示します。 イベントが発生した (01) イベントが回復した (02)	●
9	ax7800rSystemMsgTimeStamp {ax7800rSystemMsg 3}	DisplayStri ng	R/O	イベント発生時刻 (月日時分秒) を 14 バ イトの文字列で示します。 "MM/DD hh:mm:ss" で表示します。 - MM: 月 (01 ~ 12) - DD: 日 (01 ~ 31) - hh: 時 (00 ~ 23) - mm: 分 (00 ~ 59) - ss: 秒 (00 ~ 59) DD と hh の間は、1 バイトのスペース文 字が入ります。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ax7800rSystemMsgLevel {ax7800rSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。 - 致命的障害 (9) - 重度障害 (8) - RM 部障害 (7) - NIF 障害 (6) - 待機系障害 (5) - ネットワーク系障害 (4) - 警告 (3) - 予備 (2) - 予備 (1)	●
11	ax7800rSystemMsgEventPoint {ax7800rSystemMsg 5}	DisplayString	R/O	システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。 イベント発生部位の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(3) イベント発生部位」に対応します。	●
12	ax7800rSystemMsgEventInterfaceID {ax7800rSystemMsg 6}	DisplayString	R/O	システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します (最大 40 文字)。 識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(4) イベント発生インタフェース識別子」に対応します。	●
13	ax7800rSystemMsgEventCode {ax7800rSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します。 0x00000000 ~ 0xFFFFFFFF コードの内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(5) メッセージ識別子および付加情報」に対応します。	●
14	ax7800rSystemMsgAdditionalCode {ax7800rSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します。 0x000000000000 ~ 0xFFFFFFFFFFFFFFF コードの内容は、保守用のため公開していません。	●
15	ax7800rSnmpAgent {ax7800rRouter 4}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SNMP 関連情報	●
16	ax7800rSnmpSendReceiveSize {ax7800rSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信できる SNMP パケットサイズ。[単位: バイト数]	●
17	ax7800rSnmpReceiveDelay {ax7800rSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケット推奨受信遅延間隔。 [単位: ミリ秒]	●
18	ax7800rSnmpContinuousSend {ax7800rSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット連続送信数。	●
19	ax7800rSnmpObjectMaxNumber {ax7800rSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	推奨 1SNMP パケット当たりのオブジェクト数。	●
20	ax7800rLicense {ax7800rRouter 6}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ライセンス情報。	●
21	ax7800rLicenseNumber {ax7800rLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	●
22	ax7800rLicenseTable {ax7800rLicense 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ライセンス情報のテーブル。	●
23	ax7800rLicenseEntry {ax7800rLicenseTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ライセンス情報のエントリ。 INDEX {ax7800rLicenseIndex}	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
24	ax7800rLicenseIndex {ax7800rLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	BCU のシリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。1 ～ ax7800rBcuLicenseNumber までの数。	●
25	ax7800rLicenseSerialNumber {ax7800rLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	●
26	ax7800rLicenseOptionNumber {ax7800rLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス数。	●
27	ax7800rLicenseOptionTable {ax7800rLicense 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のテーブル。	●
28	ax7800rLicenseOptionEntry {ax7800rLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のエントリ。 INDEX {ax7800rLicenseOptionIndex, ax7800rLicenseOptionNumberIndex}	●
29	ax7800rLicenseOptionIndex {ax7800rLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。 ax7800rLicenseIndex と同じ番号。	●
30	ax7800rLicenseOptionNumberIndex {ax7800rLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のインデックス番号。 1 ～ ax7800rLicenseOptionNumber までの数。	●
31	ax7800rLicenseOptionSoftwareName {ax7800rLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア型名。	●
32	ax7800rLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax7800rLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア略称。	●

注※ ログフォーマットは、「メッセージ・ログレファレンス 1.4 ログの確認」を参照してください。

3.15 ax7800rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX7800R】

3.15.1 ax7800rChassis グループ (筐体情報)

(1) 識別子

ax7800rChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 1}

ax7800rChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.1

ax7800rChassisTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2

(2) 実装仕様

ax7800rChassis グループの実装仕様 (筐体情報) を次の表に示します。

表 3-61 ax7800rChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rChassisMaxNumber {ax7800rChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。 AX7804R-AC, AX7804R-DC, AX7808R-AC, AX7808R-DC, AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 1 固定	●
2	ax7800rChassisTable {ax7800rChassis 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	●
3	ax7800rChassisEntry {ax7800rChassisTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex}	●
4	ax7800rChassisIndex {ax7800rChassisEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ax7800rChassisEntry を特定するための番号。 1 固定。	●
5	ax7800rChassisType {ax7800rChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプを示します。 - AX7804R-AC(100) - AX7804R-DC(101) - AX7808R-AC(102) - AX7808R-AC(103) - AX7816R-DC(104) - AX7816R-AC(105)	●
6	ax7800rChassisStatus {ax7800rChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	●
7	ax7800rBcuBoardDuplexMode {ax7800rChassisEntry 4}	INTEGER	R/O	BCU の二重化モードを示します。 - BCU 一重化構成 (1) - BCU 二重化構成 (2)	●
8	ax7800rPowerUnitNumber {ax7800rChassisEntry 5}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源の数。 - AX7804R-AC の場合 : 2 または 3 - AX7804R-DC, AX7808R-DC の場合 : 2 - AX7808R-AC, AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 : 4	●※

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	ax7800rFanNumber {ax7800rChassisEntry 6}	INTEGER	R/O	この筐体のメインファンの数。 - AX7804R-AC, AX7804R-DC の場合 : 3 - AX7808R-AC, AX7808R-DC の場合 : 6 - AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 : 12	●
10	ax7800rCifNumber {ax7800rChassisEntry 7}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大クラスタインタフェース (CIF) の数。0 固定。	●
11	ax7800rBcuBoardNumber {ax7800rChassisEntry 8}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大ベースコントロールユニット (BCU) の数。 - AX7804R-AC, AX7804R-DC の場合 : 1 - AX7808R-AC, AX7808R-DC の場合 : 2 - AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 : 2	●
12	ax7800rPruBoardNumber {ax7800rChassisEntry 9}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できる PRU ボードの数。 - AX7804R-AC, AX7804R-DC の場合 : 2 - AX7808R-AC, AX7808R-DC の場合 : 4 - AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 : 8	●
13	ax7800rNifBoardNumber {ax7800rChassisEntry 10}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できるネットワークインタフェース (NIF) ボードの数。 - AX7804R-AC, AX7804R-DC の場合 : 4 - AX7808R-AC, AX7808R-DC の場合 : 8 - AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 : 16	●

注※

AX7804R-AC では、PRU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されているかどうかによって、筐体に搭載できる電源の数が異なります。

- PRU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されていない場合
 POW2 が未実装の場合は電源の数が 2 個となります。
 POW2 が実装の場合は電源の数が 3 個となります。
- PRU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されている場合
 電源の数が 3 個となります。

3.15.2 ax7800rChassis グループ (電源情報)

(1) 識別子

```
ax7800rChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 1}
```

```
ax7800rPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rChassis 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.3
```


(2) 実装仕様

ax7800rChassis グループの実装仕様 (電源情報) を次の表に示します。

表 3-62 ax7800rChassis グループの実装仕様 (電源情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	ax7800rPowerUnitTable {ax7800rChassis 3}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	電源情報のテーブル。	●
2	ax7800rPowerUnitEntry {ax7800rPowerUnitTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	電源情報エントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex, ax7800rPowerUnitIndex}	●
3	ax7800rPowerUnitIndex {ax7800rPowerUnitEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	電源位置を示すインデックスです。 1 ～ ax7800rPowerUnitNumber までの 値。 • AX7804R-AC の場合：2 または 3 • AX7804R-DC, AX7808R-DC の場合： 2 • AX7808R-AC, AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合：4	●※
4	ax7800rPowerConnectStatus {ax7800rPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源の実装状態を示します。 • 実装 (2) • 未実装 (32)	●
5	ax7800rPowerSupplyStatus {ax7800rPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源の運用状態を示します。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4) 電源未実装時は、-1 で応答します。	●

注※

AX7804R-AC では、PRU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されているかどうかによって、筐体に搭載できる電源の数が異なります。

- PRU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されていない場合
POW2 が未実装の場合は電源の数が 2 個となります。
POW2 が実装の場合は電源の数が 3 個となります。
- PRU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されている場合
電源の数が 3 個となります。

3.15.3 ax7800rChassis グループ (ファン情報)

(1) 識別子

```
ax7800rChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 1}

ax7800rFanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rChassis 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.4
```

(2) 実装仕様

ax7800rChassis グループの実装仕様 (ファン情報) を次の表に示します。

表 3-63 ax7800rChassis グループの実装仕様 (ファン情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rFanTable {ax7800rChassis 4}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ファン情報のテーブル。	●
2	ax7800rFanEntry {ax7800rFanTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ファン情報エントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex, ax7800rFanIndex}	●
3	ax7800rFanIndex {ax7800rFanEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	メインファン位置を示すインデックスです。 - AX7804R-AC, AX7804R-DC の場合 : 3 - AX7808R-AC, AX7808R-DC の場合 : 6 - AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 : 12	●
4	ax7800rFanStatus {ax7800rFanEntry 2}	INTEGER	R/O	メインファンの運用状態を示します。 - 稼働中 (2) - 高速回転中 (3) - 障害中 (4)	●

3.15.4 ax7800rBcuBoard グループ (BCU 情報)

(1) 識別子

ax7800rBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 2}

ax7800rBcuBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rBcuBoard 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1

(2) 実装仕様

ax7800rBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報) を次の表に示します。

表 3-64 ax7800rBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rBcuBoardTable {ax7800rBcuBoard 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU 搭載情報テーブル。	●
2	ax7800rBcuBoardEntry {ax7800rBcuBoardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU エントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex, ax7800rBcuBoardIndex}	●
3	ax7800rBcuBoardIndex {ax7800rBcuBoardEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	BCU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800rBcuBoardNumber までの値。 (BCU 搭載スロット番号 +1 の値) - AX7804R-AC, AX7804R-DC の場合 : 1 固定 - AX7808R-AC, AX7808R-DC, AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 : 1 ~ 2	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
4	ax7800rBcuIoBoardType {ax7800rBcuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	BCU(IO) ボード ID を示します。 - AX7804R-AC, AX7804R-DC 用 BCU-RH8MS (0x00000008)(8) - AX7804R-AC, AX7804R-DC 用 BCU-RH8MS2 (0x00000009)(9) - AX7804R-AC, AX7804R-DC 用 BCU-RM1GS3 (0x0000000a)(10) - AX7808R-AC, AX7808R-DC 用 BCU-RM8MS (0x00000108)(264) - AX7808R-AC, AX7808R-DC 用 BCU-RM8MS2 (0x00000109)(265) - AX7808R-AC, AX7808R-DC 用 BCU-RM1GS3 (0x0000010a)(266) - AX7816R-AC, AX7816R-DC 用 BCU-RL8MS (0x00000208)(520) - AX7816R-AC, AX7816R-DC 用 BCU-RL8MS2 (0x00000209)(521) - AX7816R-AC, AX7816R-DC 用 BCU-RL1GS3 (0x0000020a)(522) BCU(IO) ボード未実装時は、-1 で応答します。	●
5	ax7800rBcuCpuBoardType {ax7800rBcuBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	BCU(CPU) ボード ID を示します。 BCU, BCU-2 用 BCU(CPU) ボード ID 0x0300(768) BCU-3 用 BCU(CPU) ボード ID 0x0500(1280) BCU(CPU) ボード未実装時は、-1 で応答します。	●
6	ax7800rBcuOperStatus {ax7800rBcuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	BCU の STATUS LED の状態を示します。 - other (1) - 稼働中 (2) - 障害中 (4) - 保守中 (5) - 未実装 (32)	●
7	ax7800rBcuOperModeStatus {ax7800rBcuBoardEntry 5}	INTEGER	R/O	BCU の運用状態を示します。 - other(1) - 運用系 BCU として稼働中 (2) - 待機系 BCU として稼働中 (3) - コンフィグレーション不一致による非同期中 (4) - ソフトウェアバージョン不一致による非同期中 (5) - 障害中 (6) - 保守中 (メンテナンス) (7) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ax7800rBcuActiveLedStatus {ax7800rBcuBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	装置の ACTIVE LED の状態を示します。 - 緑点灯 (2) - 消灯 (6) BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	●
9	ax7800rBcuReadyLedStatus {ax7800rBcuBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	装置の READY LED の状態を示します。 - 緑点灯 (2) - 消灯 (6) BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	●
10	ax7800rBcuAlarmLedStatus {ax7800rBcuBoardEntry 8}	INTEGER	R/O	装置の ALARM LED の状態を示します。 - 赤点灯 (4) - 消灯 (6) BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	●
11	ax7800rBcuErrorLedStatus {ax7800rBcuBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	装置の ERROR LED の状態を示します。 - 黄点灯 (5) - 消灯 (6) BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	●
12	ax7800rBcuEmaLedStatus {ax7800rBcuBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	装置の EMA READY LED の状態を示します。 - 黄点灯 (5) - 消灯 (6) BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	●
13	ax7800rBcuRmEthernetStatus {ax7800rBcuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	RM イーサネットポートの状態を示します。 - other(1) - 稼働中 (2) - 障害中 (4) - コンフィグレーションで運用停止中 (6) - 保守中 (メンテナンス) (7) - 回線テスト中 (9) - 未使用 (コンフィグレーション未設定) (10) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
14	ax7800rBcuAtaCardNumber {ax7800rBcuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	MC のスロットの数を示します。BCU 未実装時は、0 で応答します。	●
15	ax7800rBcuAtaBootDev {ax7800rBcuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	ブート MC のスロット位置の情報を数値で示します (MC スロット番号 +1 の値)。 - MC スロット #0(1) - MC スロット #1(2) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
16	ax7800rBcuBoardName {ax7800rBcuBoardEntry 15}	DisplayString	R/O	BCU ボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。 BCU 未実装時は、長さ 0 で応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ax7800rBcuBoardAbbreviation {ax7800rBcuBoardEntry 16}	DisplayString	R/O	BCU ボードの略称を最大 16 文字の文字列で示します。 BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	●
18	ax7800rBcuIoBoardProductCode {ax7800rBcuBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	BCU(IO) ボードの製造管理番号を示します。 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
19	ax7800rBcuCpuBoardProductCode {ax7800rBcuBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	BCU(CPU) ボードの製造管理番号を示します。 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
20	ax7800rBcuRmCpuName {ax7800rBcuBoardEntry 19}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 CPU 名称を最大 16 文字の文字列で示します。(例: "AMD K5") BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	●
21	ax7800rBcuRmCpuClock {ax7800rBcuBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	BCU 搭載 CPU クロックを数値で示します。 [単位: MHz] (例: 200) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
22	ax7800rBcuRmMemoryTotalSize {ax7800rBcuBoardEntry 21}	INTEGER	R/O	搭載メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
23	ax7800rBcuRmMemoryUsedSize {ax7800rBcuBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
24	ax7800rBcuRmMemoryFreeSize {ax7800rBcuBoardEntry 23}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
25	ax7800rBcuRmRomVersion {ax7800rBcuBoardEntry 24}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 ROM のバージョンを文字列で示します。 (例: "ROM 01-01 Rev0 BIOS Rev:R1.02.E4") BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	●
26	ax7800rBcuRmCpuLoad1m {ax7800rBcuBoardEntry 25}	INTEGER	R/O	1 分間の BCU CPU 使用率を数値 (0 ~ 100) で示します。	●
27	ax7800rBcuTemperatureStatusNumber {ax7800rBcuBoardEntry 26}	INTEGER	R/O	この BCU での最大の ax7800rTemperatureStatus の数。該当 BCU が温度測定機能をサポートしない場合、または BCU 未実装時は 0 で応答します。	●
28	ax7800rBcuCpOperStatus {ax7800rBcuBoardEntry 27}	INTEGER	R/O	CP の状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 未実装 (32)	●
29	ax7800rBcuCpCpuName {ax7800rBcuBoardEntry 28}	DisplayString	R/O	CP CPU 名称を最大 16 文字の文字列で示します。 (例: "MIPS RM5261") 待機系 BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
30	ax7800rBcuCpCpuClock {ax7800rBcuBoardEntry 29}	INTEGER	R/O	CP CPU クロックを数値で示します。 [単位：MHz] (例：250) 待機系 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
31	ax7800rBcuCpMemoryTotalSize {ax7800rBcuBoardEntry 30}	INTEGER	R/O	CP のメインメモリサイズを数値で示します。 [単位：kB] (例：32768)	●
32	ax7800rBcuCpCpuLoad1m {ax7800rBcuBoardEntry 33}	INTEGER	R/O	1 分間の CP CPU 使用率を数値 (0 ~ 100) で示します。CP の状態が運用中以外は、CPU 使用率は、0 で応答します。 また、待機系 BCU 内の CP CPU 使用率は、0 を応答します。	●
33	ax7800rBcuSerialNumber {ax7800rBcuBoardEntry 34}	DisplayString	R/O	BCU ボードのカード管理情報 (シリアル番号) 最大 30 文字の文字列で示します。 未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●
34	ax7800rBcuVoltage150 {ax7800rBcuBoardEntry 35}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位：10mV] (例：148) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
35	ax7800rBcuVoltage180 {ax7800rBcuBoardEntry 36}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位：10mV] (例：183) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
36	ax7800rBcuVoltage250 {ax7800rBcuBoardEntry 37}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位：10mV] (例：250) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
37	ax7800rBcuVoltage330 {ax7800rBcuBoardEntry 38}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位：10mV] (例：328) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
38	ax7800rBcuVoltage500 {ax7800rBcuBoardEntry 39}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位：10mV] (例：493) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
39	ax7800rBcuVoltage130 {ax7800rBcuBoardEntry 40}	INTEGER	R/O	1.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位：10mV] (例：133) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
40	ax7800rBcuVoltage105 {ax7800rBcuBoardEntry 41}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.05V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位：10mV] (例：102) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
41	ax7800rBcuVoltage120 {ax7800rBcuBoardEntry 42}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位：10mV] (例：121) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
42	ax7800rBcuPbmCpuCoreVoltage {ax7800rBcuBoardEntry 43}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の CpuCore 電圧 (1.2V ~ 1.3V) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位: 10mV] (例: 125) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
43	ax7800rBcuPbmVoltage150 {ax7800rBcuBoardEntry 44}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位: 10mV] (例: 148) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●
44	ax7800rBcuPbmVoltage180 {ax7800rBcuBoardEntry 45}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[単位: 10mV] (例: 183) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	●

3.15.5 ax7800rBcuBoard グループ (MC 情報)

(1) 識別子

```
ax7800rBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 2}

ax7800rAtaCardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rBcuBoard 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2
```

(2) 実装仕様

ax7800rBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) を次の表に示します。

表 3-65 ax7800rBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rAtaCardTable {ax7800rBcuBoard 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	MC 情報のテーブル。	●
2	ax7800rAtaCardEntry {ax7800rAtaCardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	MC 情報エントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex, ax7800rBcuBoardIndex, ax7800rAtaCardIndex}	●
3	ax7800rAtaCardIndex {ax7800rAtaCardEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	MC 挿入スロットの接続位置を示します。 (MC 挿入スロット番号 +1 の値) 1 ~ ax7800rBcuAtaCardNumber までの 値。 AX7800R 全モデル共通: 1 ~ 2	●
4	ax7800rAtaCardConnection {ax7800rAtaCardEntry 2}	INTEGER	R/O	MC 接続状態を示します。 接続 (2) 未接続 (32)	●
5	ax7800rAtaCardTotalSize {ax7800rAtaCardEntry 3}	INTEGER	R/O	MC の総容量を数値で示します。[単位: kB] MC 未接続の場合, -1 で応答します。	●
6	ax7800rAtaCardUsedSize {ax7800rAtaCardEntry 4}	INTEGER	R/O	MC の使用容量を数値で示します。[単位: kB] MC 未接続の場合, -1 で応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax7800rAtaCardFreeSize {ax7800rAtaCardEntry 5}	INTEGER	R/O	MC の残容量を数値で示します。[単位 : kB] MC 未接続の場合、-1 で応答します。	●
8	ax7800rAtaCardName {ax7800rAtaCardEntry 6}	DisplayString	R/O	MC の型名を最大 16 文字の文字列で示します。 不明 MC の場合、"unknown" を示します。 MC 未接続の場合は、レングス 0 で応答します。	●
9	ax7800rAtaCardAbbreviation {ax7800rAtaCardEntry 7}	DisplayString	R/O	MC の種別を最大 16 文字の文字列で示します。 (例 : "MC256","unknown") MC 未接続の場合は、レングス 0 で応答します。	●
10	ax7800rAtaCardMountStatus {ax7800rAtaCardEntry 8}	INTEGER	R/O	MC のマウント状態を示します。 • アンマウント (1) • マウント (2) MC 未接続の場合、-1 で応答します。	●

3.15.6 ax7800rBcuBoard グループ (温度情報)

(1) 識別子

ax7800rBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 2}

ax7800rTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rBcuBoard 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3

(2) 実装仕様

ax7800rBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報) を次の表に示します。

表 3-66 ax7800rBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rTemperatureStatusTable {ax7800rBcuBoard 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU についての温度状態のテーブル	●
2	ax7800rTemperatureStatusEntry {ax7800rTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU についての温度状態のエントリ。 INDEX {ax7800rChassisIndex, ax7800rBcuBoardIndex, ax7800rTemperatureStatusIndex}	●
3	ax7800rTemperatureStatusIndex {ax7800rTemperatureStatusEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU の温度監視部分ごとに付けられたユニークなインデックス番号。	●
4	ax7800rTemperatureStatusDescr {ax7800rTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	この温度監視部分の説明。 • "BCU board Temperature" : BCU ボードの温度	●
5	ax7800rTemperatureStatusValue {ax7800rTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	この温度監視部分の現在の温度。	●
6	ax7800rTemperatureThreshold {ax7800rTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が停止状態になる、この温度監視部分の温度。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax7800rTemperatureState {ax7800rTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	この温度監視部分の現在の温度状態。 { 正常 (1), 注意 (2), 警告 (3), 異常 (4)}	●

3.15.7 ax7800rBcuBoard グループ (SOP 情報)

(1) 識別子

```
ax7800rBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 2}

ax7800rSopTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rBcuBoard 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.4
```

(2) 実装仕様

ax7800rBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) を次の表に示します。

表 3-67 ax7800rBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rSopTable {ax7800rBcuBoard 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のテーブル。	●
2	ax7800rSopEntry {ax7800rSopTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のエントリ。 INDEX { ax7800rChassisIndex, ax7800rBcuBoardIndex }	●
3	ax7800rSopAlarmLevel {ax7800rSopEntry 1}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のエラーレベルを文字列で表示します。 - 致命的障害 (E9) - 重度障害 (E8) - RM 部障害 (E7) - NIF 障害 (E6) - 待機系障害 (E5)	●
4	ax7800rSopAlarmEventPoint {ax7800rSopEntry 2}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害発生部位を文字列で表示します。	●
5	ax7800rSopAlarmEventCode {ax7800rSopEntry 3}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージ識別子を表示します。識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 3. 装置関連の障害およびイベント情報」に対応します。	●
6	ax7800rSopAlarmEventInterface ID {ax7800rSopEntry 4}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害発生部位のインタフェース識別子を表示します。識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(4) イベント発生インタフェース識別子」に対応します。	●
7	ax7800rSopAlarmMsgText {ax7800rSopEntry 5}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージテキストを表示します。	●

3.15.8 ax7800rPruBoard グループ (PRU 情報)

(1) 識別子

ax7800rPruBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 3}

ax7800rPruBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rPruBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1

(2) 実装仕様

ax7800rPruBoard グループの実装仕様 (PRU 情報) を次の表に示します。

表 3-68 ax7800rPruBoard グループの実装仕様 (PRU 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rPruBoardTable {ax7800rPruBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての PRU 情報のテーブル。	●
2	ax7800rPruBoardEntry {ax7800rPruBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての PRU 情報エントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex, ax7800rPruBoardIndex}	●
3	ax7800rPruBoardIndex {ax7800rPruBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	PRU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7800rPruBoardNumber までの値。 (PRU 搭載スロット番号 +1 の値) - AX7804R-AC, AX7804R-DC の場合 : 2 - AX7808R-AC, AX7808R-DC の場合 : 4 - AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 : 8	●
4	ax7800rPruBoardType {ax7800rPruBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	PRU ボードのタイプを数値で示します。 pru-b2(0x4500) (17664) pru-b2b(0x4d01) (19713) pru-c2(0x4800) (18432) pru-d2(0x4b00) (19200) pru-d2b(0x4d00) (19712) rb2-10g4rx(0x5700) (22272) PRU 未実装時または、実装している PRU ボードを特定できない場合、-1 で応答します。	●
5	ax7800rPruOperStatus {ax7800rPruBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	PRU の STATUS LED の状態を示します。 - other(1) - 稼働中 (2) - 初期化中 (3) - 障害中 (4) - 保守中 (5) - コンフィグレーションで運用停止中 (6) - 未実装 (32) 実装している PRU ボードの状態が特定できない場合、other(1) を応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax7800rPruBoardName {ax7800rPruBoardEntry 4}	DisplayString	R/O	PRU のボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。(例: "AX-xxxxxx-xx") PRU 未実装時または、実装している PRU ボードを特定できない場合、レンジ 0 で応答します。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF の場合は ax7800rNifBoardName 値と同じになります。	●
7	ax7800rPruBoardAbbreviation {ax7800rPruBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	PRU のボード略称を最大 16 文字の文字列で示します。(例: "PRU-B2") PRU 未実装時または、実装している PRU ボードを特定できない場合、レンジ 0 で応答します。	●
8	ax7800rPruBoardProductCode {ax7800rPruBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	PRU のボードのレビジョンを最大 16 文字の文字列で示します。 PRU 未実装時または、実装している PRU ボードを特定できない場合、-1 で応答します。	●
9	ax7800rPruSerialNumber {ax7800rPruBoardEntry 7}	DisplayString	R/O	PRU ボードのカード管理情報 (シリアル番号) 最大 30 文字の文字列で示します。 未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●
10	ax7800rPruVoltage120 {ax7800rPruBoardEntry 8}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
11	ax7800rPruVoltage150 {ax7800rPruBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
12	ax7800rPruVoltage180 {ax7800rPruBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 183) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
13	ax7800rPruVoltage250 {ax7800rPruBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 250) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
14	ax7800rPruVoltage330 {ax7800rPruBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 328) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
15	ax7800rPruVoltage500 {ax7800rPruBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 493) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ax7800rPruVoltage120-2 {ax7800rPruBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 2 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
17	ax7800rPruVoltage120-3 {ax7800rPruBoardEntry 15}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 3 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
18	ax7800rPruVoltage120-4 {ax7800rPruBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 4 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
19	ax7800rPruVoltage120-5 {ax7800rPruBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 5 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
20	ax7800rPruVoltage120-6 {ax7800rPruBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 6 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
21	ax7800rPruVoltage120-7 {ax7800rPruBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 7 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
22	ax7800rPruVoltage120-8 {ax7800rPruBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 8 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●

3.15.9 ax7800rNifBoard グループ (NIF 情報)

(1) 識別子

ax7800rNifBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 4}

ax7800rNifBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rNifBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1

(2) 実装仕様

ax7800rNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) を次の表に示します。ax7800rNifBoardType 値を「表 3-70 ax7800rNifBoardType 値」に示します。

表 3-69 ax7800rNifBoard グループ MIB 一覧 (NIF 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rNifBoardTable {ax7800rNifBoard 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	スロットに搭載した NIF ボード情報のテーブル。	●
2	ax7800rNifBoardEntry {ax7800rNifBoardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体の NIF 情報エントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex, ax7800rNifBoardSlotIndex}	●
3	ax7800rNifBoardSlotIndex {ax7800rNifBoardEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7800rNifBoardNumber までの値 (NIF 搭載スロット番号+1 の値)。 • AX7804R-AC, AX7804R-DC の場合： 1 ～ 4 • AX7808R-AC, AX7808R-DC の場合： 1 ～ 8 • AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合： 1 ～ 16	●
4	ax7800rNifBoardType {ax7800rNifBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	実装している NIF ボードのタイプを示します。 値は「表 3-70 ax7800rNifBoardType 値」を参照してください。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、-1 で応答します。	●
5	ax7800rNifBoardOperStatus {ax7800rNifBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	NIF の STATUS LED の状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32) PRU が UP 時以外は (32) で応答します。	●
6	ax7800rNifBoardName {ax7800rNifBoardEntry 4}	DisplayString	R/O	NIF ボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの場合は ax7800rPruBoardName 値と同じになります。	●
7	ax7800rNifBoardAbbreviation {ax7800rNifBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	NIF ボード略称を最大 16 文字の文字列で示します。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●
8	ax7800rNifBoardProductCode {ax7800rNifBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	NIF ボード製造管理コードを示します。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、-1 で応答します。	●
9	ax7800rNifPhysLineNumber {ax7800rNifBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	NIF の物理回線数 (最大 48)。 ax7800rNifBoardType の値が -1, または other(1) のとき、-1 で応答します。	●
10	ax7800rNifSerialNumber {ax7800rNifBoardEntry 8}	DisplayString	R/O	NIF ボードのカード管理情報 (シリアル番号) 最大 30 文字の文字列で示します。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	ax7800rNifVoltageAM520 {ax7800rNifBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	アナログ -5.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：-515) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
12	ax7800rNifVoltage150 {ax7800rNifBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：148) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
13	ax7800rNifVoltage180 {ax7800rNifBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：183) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
14	ax7800rNifVoltageA180 {ax7800rNifBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	アナログ 1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：184) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
15	ax7800rNifVoltage250 {ax7800rNifBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：250) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
16	ax7800rNifVoltage330 {ax7800rNifBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：328) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
17	ax7800rNifVoltageA330 {ax7800rNifBoardEntry 15}	INTEGER	R/O	アナログ 3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：328) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
18	ax7800rNifVoltageA500 {ax7800rNifBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。10GBASE-R および 10GBASE-W の場合、アナログ 5V 電圧になります。 [単位：10mV] (例：493) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
19	ax7800rNifVoltage330S {ax7800rNifBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧 (2 系) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：328) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●
20	ax7800rNifVoltage500S {ax7800rNifBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	5.0V 電圧 (2 系) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：493) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
21	ax7800rNifVoltage120 {ax7800rNifBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●
22	ax7800rNifVoltageA500-2 {ax7800rNifBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	5V 電圧の 2 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。10GBASE-R および 10GBASE-W の場合、アナログ 5V 電圧になります。 [単位：10mV] (例：493) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●
23	ax7800rNifVoltage150S {ax7800rNifBoardEntry 21}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧 (2 系) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：148) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●

表 3-70 ax7800rNifBoardType 値

NIF 名称	ax7800rNifBoardName 値	ax7800rNifBoardType 値	
		16 進	10 進
12-port 1000BASE-X(SFP) VRRP 機能拡張	AX-F6244-361SA	0x8002	32770
6-port 1000BASE-X(GBIC) VRRP 機能拡張	AX-F6244-361GA	0x8004	32772
12-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T VRRP 機能拡張	AX-F6244-361TA	0x800A	32778
48-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	AX-F6244-366T	0x8036	32822
1-port 10GBASE-ER	AX-F6244-362E	0x8012	32786
1-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6244-362XFP	0x8014	32788
1-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6244-362XFPA	0x8018	32792
1-port 10GBASE-LW	AX-F6244-363LW	0x8021	32801
1-port 10GBASE-EW	AX-F6244-363EW	0x8022	32802
4-port 10GBASE-R(XFP) (PRU-B2 内蔵)	AX-F6544-367XB2	0x8016	32790
8-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T + 4-port 1000BASE-X(SFP)	AX-F6244-361M	0x8037	32823
4-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6244-364SHP	0x800F	32783
8-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6244-364SHPA	0x800E	32782
4-port OC-48c/STM-16 POS(SFP,single-mode)	AX-F6244-352S	0xA010	40976
1-port OC-192c/STM-64 POS(G.652 single-mode,2km)	AX-F6244-351S	0xA000	40960
1-port OC-192c/STM-64 POS(G.652 single-mode,40km)	AX-F6244-351S4	0xA001	40961

3.15.10 ax7800rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)

(1) 識別子

ax7800rPhysLine OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 5}

ax7800rPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rPhysLine 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5.1

(2) 実装仕様

ax7800rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報) を次の表に示します。

表 3-71 ax7800rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rPhysLineTable {ax7800rPhysLine 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線情報のテーブル。	●
2	ax7800rPhysLineEntry {ax7800rPhysLineTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線についての情報エントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex, ax7800rNifBoardSlotIndex, ax7800rPhysLineIndex}	●
3	ax7800rPhysLineIndex {ax7800rPhysLineEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線番号の情報を示します。 1 ～ ax7800rNifLineNumber までの値。 (Line 番号 +1 の値)	●
4	ax7800rPhysLineConnectorType {ax7800rPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中の場合に示します。 種別が不明または交換不可のトランシーバ、物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中以外の場合は other(1) を応答します。 • other(1) • type1000BASE-LX(301) • type1000BASE-SX(302) • type1000BASE-LH(303) • type1000BASE-LHB(310) • type10GBASE-SR(401) • type10GBASE-LR(402) • type10GBASE-ER(403) • type10GBASE-ZR(404) • typeOC-48c/STM-16 POS 2km(103) • typeOC-48c/STM-16 POS 40km(104)	●
5	ax7800rPhysLineOperStatus {ax7800rPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	物理回線の状態を示します。 • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス) (7) • 運用中 (回線障害発生中) (8) • 回線テスト中 (9) • 未使用 (コンフィグレーション未設定) (10)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax7800rPhysLineIfIndexNumber {ax7800rPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	物理回線に含まれる ifIndex 数を示します。 PRU 未実装時、または NIF 未実装時は、 -1 で応答します。	●
7	ax7800rPhysLineTransceiverStatus {ax7800rPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバの種別と実装状態を示します。物理回線状態が稼働中、運用中（回線障害発生中）および回線テスト中の場合に表示します。 - 交換可能なトランシーバではない (1) - GBIC 実装 (10) - GBIC 未実装 (11) - 未サポートの GBIC 実装 (12) - GBIC の実装状態が不明 (13) - SFP 実装 (20) - SFP 未実装 (21) - 未サポートの SFP 実装 (22) - SFP の実装状態が不明 (23) - XFP 実装 (30) - XFP 未実装 (31) - 未サポートの XFP 実装 (32) - XFP の実装状態が不明 (33)	●

3.15.11 ax7800rInterface グループ (インタフェースインデックス情報)

(1) 識別子

ax7800rInterface OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rDevice 6}

ax7800rLineIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800rInterface 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.6.1

(2) 実装仕様

ax7800rInterface グループ (インタフェースインデックス情報) を次の表に示します。

表 3-72 ax7800rInterface グループ (インタフェースインデックス情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800rLineIfTable {ax7800rInterface 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線 ifIndex 対応のテーブル情報。	●
2	ax7800rLineIfEntry {ax7800rLineIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線に割り当てられている ifIndex に関するエントリ。 [index] {ax7800rChassisIndex, ax7800rNifBoardSlotIndex, ax7800rPhysLineIndex, ax7800rLineIfIndex}	●
3	ax7800rLineIfIndex {ax7800rLineIfEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ～ ax7800rPhysLineIfIndexNumber までの値。	●
4	ax7800rIfIndex {ax7800rLineIfEntry 2}	INTEGER	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex の値を示します。このインタフェースに、 ifIndex 未割り当ての場合は、0 を応答します。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
5	ax7800rIfIpAddress {ax7800rLineIfEntry 3}	IpAddress	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex に対応する IP アドレスを示します。IP アドレス未割り当ての場合、または IPv6 アドレスが割り当てられている場合、0.0.0.0 とします。	●
6	ax7800rIfIpv6Address {ax7800rLineIfEntry 4}	OCTET STRING	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex に対応する IPv6 アドレスを示します。IPv6 アドレス未割り当ての場合または、IPv4 アドレスだけが割り当てられている場合、00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 とします。	●

3.16 ax7700rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB) 【AX7700R】

(1) 識別子

ax7700rRouter OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1

(2) 実装仕様

ax7700rRouter グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-73 ax7700rRouter グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実 装 有 無
1	ax7700rModelType {ax7700rRouter 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報 (数値) • AX7702R-AC(300)	●
2	ax7700rSoftware {ax7700rRouter 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	本装置のソフトウェア情報。	●
3	ax7700rSoftwareName {ax7700rSoftware 1}	DisplayStri ng	R/O	運用中のソフトウェア型名を文字列で示 します (最大 16 文字)。	●
4	ax7700rSoftwareAbbreviation {ax7700rSoftware 2}	DisplayStri ng	R/O	運用中のソフトウェアの略称を文字列で示 します (最大 16 文字)。	●
5	ax7700rSoftwareVersion {ax7700rSoftware 3}	DisplayStri ng	R/O	運用中のソフトウェアのバージョンを文字 列で示します (最大 16 文字)。	●
6	ax7700rSystemMsg {ax7700rRouter 3}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	システムメッセージ関連情報	●
7	ax7700rSystemMsgText {ax7700rSystemMsg 1}	DisplayStri ng	R/O	運用ログ上の最新ログ情報 (文字列)。 システムメッセージログの最新エントリ情 報 (最大 256 文字)。*	●
8	ax7700rSystemMsgType {ax7700rSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	イベント種別を 1 バイトで示します。 イベントが発生した (01) イベントが回復した (02)	●
9	ax7700rSystemMsgTimeStamp {ax7700rSystemMsg 3}	DisplayStri ng	R/O	イベント発生時刻 (月日時分秒) を 14 バ イトの文字列で示します。 "MM/DD hh:mm:ss" で表示します。 • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) DD と hh の間は、1 バイトのスペース文 字が入ります。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ax7700rSystemMsgLevel {ax7700rSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。 - 致命的障害 (9) - 重度障害 (8) - RM 部障害 (7) - NIF 障害 (6) - ネットワーク系障害 (4) - 警告 (3) - 予備 (2) - 予備 (1)	●
11	ax7700rSystemMsgEventPoint {ax7700rSystemMsg 5}	DisplayStri ng	R/O	システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。 イベント発生部位の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(3) イベント発生部位」に対応します。	●
12	ax7700rSystemMsgEventInterfa ceID {ax7700rSystemMsg 6}	DisplayStri ng	R/O	システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します (最大 40 文字)。 識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(4) イベント発生インタフェース識別子」に対応します。	●
13	ax7700rSystemMsgEventCode {ax7700rSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します。 0x00000000 ~ 0xFFFFFFFF コードの内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(5) メッセージ識別子および付加情報」に対応します。	●
14	ax7700rSystemMsgAdditionalCo de {ax7700rSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します。 0x000000000000 ~ 0xFFFFFFFFFFFF コードの内容は、保守用のため公開していません。	●
15	ax7700rSnmpAgent {ax7700rRouter 4}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SNMP 関連情報	●
16	ax7700rSnmpSendReceiveSize {ax7700rSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信できる SNMP パケットサイズ。[単位: バイト数]	●
17	ax7700rSnmpReceiveDelay {ax7700rSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケット推奨受信遅延間隔。 [単位: ミリ秒]	●
18	ax7700rSnmpContinuousSend {ax7700rSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット連続送信数。	●
19	ax7700rSnmpObjectMaxNumber {ax7700rSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	推奨 1SNMP パケット当たりのオブジェクト数。	●
20	ax7700rLicense {ax7700rRouter 6}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ライセンス情報。	●
21	ax7700rLicenseNumber {ax7700rLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	●
22	ax7700rLicenseTable {ax7700rLicense 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ライセンス情報のテーブル。	●
23	ax7700rLicenseEntry {ax7700rLicenseTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ライセンス情報のエントリ。 INDEX {ax7700rLicenseIndex}	●
24	ax7700rLicenseIndex {ax7700rLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	BCU のシリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。1 ~ ax7700rBcuLicenseNumber までの数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
25	ax7700rLicenseSerialNumber {ax7700rLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	●
26	ax7700rLicenseOptionNumber {ax7700rLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス数。	●
27	ax7700rLicenseOptionTable {ax7700rLicense 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のテーブル。	●
28	ax7700rLicenseOptionEntry {ax7700rLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のエントリ。 INDEX {ax7700rLicenseOptionIndex, ax7700rLicenseOptionNumberIndex}	●
29	ax7700rLicenseOptionIndex {ax7700rLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 ax7700rLicenseIndex と同じ番号。	●
30	ax7700rLicenseOptionNumberIndex {ax7700rLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のインデックス番号。 1 ～ ax7700rLicenseOptionNumber までの数。	●
31	ax7700rLicenseOptionSoftwareName {ax7700rLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア型名。	●
32	ax7700rLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax7700rLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア略称。	●

注※ ログフォーマットは、「メッセージ・ログレファレンス 1.4 ログの確認」を参照してください。

3.17 ax7700rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX7700R】

3.17.1 ax7700rChassis グループ (筐体情報)

(1) 識別子

```
ax7700rChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 1}

ax7700rChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.1

ax7700rChassisTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2
```

(2) 実装仕様

ax7700rChassis グループの実装仕様 (筐体情報) を次の表に示します。

表 3-74 ax7700rChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rChassisMaxNumber {ax7700rChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。 AX7702R-AC の場合 1 固定	●
2	ax7700rChassisTable {ax7700rChassis 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	●
3	ax7700rChassisEntry {ax7700rChassisTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex}	●
4	ax7700rChassisIndex {ax7700rChassisEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ax7700rChassisEntry を特定するための番号。 1 固定。	●
5	ax7700rChassisType {ax7700rChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプを示します。 • AX7702R-AC(300)	●
6	ax7700rChassisStatus {ax7700rChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	●
7	ax7700rBcuBoardDuplexMode {ax7700rChassisEntry 4}	INTEGER	R/O	BCU の二重化モードを示します。 • BCU 一重化構成 (1)	●
8	ax7700rPowerUnitNumber {ax7700rChassisEntry 5}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源の数。 • AX7702R-AC の場合 : 2	●
9	ax7700rFanNumber {ax7700rChassisEntry 6}	INTEGER	R/O	この筐体のメインファンの数。 • AX7702R-AC の場合 : 4	●
10	ax7700rCifNumber {ax7700rChassisEntry 7}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大クラスラインタフェース (CIF) の数。0 固定。	●
11	ax7700rBcuBoardNumber {ax7700rChassisEntry 8}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大ルーティングマネージャボード (BCU) の数。 • AX7702R-AC の場合 : 1	●
12	ax7700rPruBoardNumber {ax7700rChassisEntry 9}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できる PRU ボードの数。 • AX7702R-AC の場合 : 1	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ax7700rNifBoardNumber {ax7700rChassisEntry 10}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できるネットワークインタフェース (NIF) ボードの数。 • AX7702R-AC の場合: 2	●

3.17.2 ax7700rChassis グループ (電源情報)

(1) 識別子

```
ax7700rChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 1}

ax7700rPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rChassis 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.3
```

(2) 実装仕様

ax7700rChassis グループの実装仕様 (電源情報) を次の表に示します。

表 3-75 ax7700rChassis グループの実装仕様 (電源情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rPowerUnitTable {ax7700rChassis 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報のテーブル。	●
2	ax7700rPowerUnitEntry {ax7700rPowerUnitTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報エントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex, ax7700rPowerUnitIndex}	●
3	ax7700rPowerUnitIndex {ax7700rPowerUnitEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源位置を示すインデックスです。 1 ~ ax7700rPowerUnitNumber までの値。 • AX7702R-AC の場合: 2	●
4	ax7700rPowerConnectStatus {ax7700rPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源の実装状態を示します。 • 実装 (2) • 未実装 (32)	●
5	ax7700rPowerSupplyStatus {ax7700rPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源の運用状態を示します。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4) 電源未実装時は, -1 で応答します。	●

3.17.3 ax7700rChassis グループ (ファン情報)

(1) 識別子

```
ax7700rChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 1}

ax7700rFanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rChassis 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.4
```

(2) 実装仕様

ax7700rChassis グループの実装仕様 (ファン情報) を次の表に示します。

表 3-76 ax7700rChassis グループの実装仕様 (ファン情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rFanTable {ax7700rChassis 4}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ファン情報のテーブル。	●
2	ax7700rFanEntry {ax7700rFanTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ファン情報エントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex, ax7700rFanIndex}	●
3	ax7700rFanIndex {ax7700rFanEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	メインファン位置を示すインデックスです。 • AX7702R-AC の場合：4	●
4	ax7700rFanStatus {ax7700rFanEntry 2}	INTEGER	R/O	メインファンの運用状態を示します。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4)	●

3.17.4 ax7700rBcuBoard グループ (BCU 情報)

(1) 識別子

ax7700rBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 2}

ax7700rBcuBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rBcuBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1

(2) 実装仕様

ax7700rBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報) を次の表に示します。

表 3-77 ax7700rBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rBcuBoardTable {ax7700rBcuBoard 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU 搭載情報テーブル。	●
2	ax7700rBcuBoardEntry {ax7700rBcuBoardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU エントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex, ax7700rBcuBoardIndex}	●
3	ax7700rBcuBoardIndex {ax7700rBcuBoardEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	BCU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7700rBcuBoardNumber までの値。 (BCU 搭載スロット番号 +1 の値) • AX7702R-AC の場合：1 固定	●
4	ax7700rBcuIoBoardType {ax7700rBcuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	BCU(IO) ボード ID を示します。 • AX7702R-AC 用 BCU-RH8MS (0x00000408)(1032) • AX7702R 用 BCU-RS8MS2 (0x00000309)(777) BCU(IO) ボード未実装時は、-1 で応答します。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
5	ax7700rBcuCpuBoardType {ax7700rBcuBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	BCU(CPU) ボード ID を示します。 BCU, BCU-2 用 BCU(CPU) ボード ID 0x0300(768) BCU(CPU) ボード未実装時は, -1 で応答 します。	●
6	ax7700rBcuOperStatus {ax7700rBcuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	BCU の STATUS LED の状態を示します。 • other (1) • 稼働中 (2) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • 未実装 (32)	●
7	ax7700rBcuOperModeStatus {ax7700rBcuBoardEntry 5}	INTEGER	R/O	BCU の運用状態を示します。 • other(1) • 運用系 BCU として稼働中 (2) • コンフィグレーション不一致による非同 期中 (4) • ソフトウェアバージョン不一致による非同 同期中 (5) • 障害中 (6) • 保守中 (メンテナンス) (7) BCU 未実装時は, -1 で応答します。	●
8	ax7700rBcuActiveLedStatus {ax7700rBcuBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	装置の ACTIVE LED の状態を示します。 • 緑点灯 (2) • 消灯 (6) BCU 未実装時, または LED 状態が不明の とき, -1 で応答します。	●
9	ax7700rBcuReadyLedStatus {ax7700rBcuBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	装置の READY LED の状態を示します。 • 緑点灯 (2) • 消灯 (6) BCU 未実装時, または LED 状態が不明の とき, -1 で応答します。	●
10	ax7700rBcuAlarmLedStatus {ax7700rBcuBoardEntry 8}	INTEGER	R/O	装置の ALARM LED の状態を示します。 • 赤点灯 (4) • 消灯 (6) BCU 未実装時, または LED 状態が不明の とき, -1 で応答します。	●
11	ax7700rBcuErrorLedStatus {ax7700rBcuBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	装置の ERROR LED の状態を示します。 • 黄点灯 (5) • 消灯 (6) BCU 未実装時, または LED 状態が不明の とき, -1 で応答します。	●
12	ax7700rBcuEmaLedStatus {ax7700rBcuBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	装置の EMA READY LED の状態を示し ます。 • 黄点灯 (5) • 消灯 (6) BCU 未実装時, または LED 状態が不明の とき, -1 で応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ax7700rBcuRmEthernetStatus {ax7700rBcuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	RM イーサネットポートの状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス)(7) • 回線テスト中 (9) • 未使用 (コンフィグレーション未設定)(10) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
14	ax7700rBcuAtaCardNumber {ax7700rBcuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	MC のスロットの数を示します。BCU 未実装時は、0 で応答します。	●
15	ax7700rBcuAtaBootDev {ax7700rBcuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	ブート MC のスロット位置の情報を数値で示します (MC スロット番号 +1 の値)。 • MC スロット #0(1) • MC スロット #1(2) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
16	ax7700rBcuBoardName {ax7700rBcuBoardEntry 15}	DisplayString	R/O	BCU ボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。 BCU 未実装時は、長さ 0 で応答します。	●
17	ax7700rBcuBoardAbbreviation {ax7700rBcuBoardEntry 16}	DisplayString	R/O	BCU ボードの略称を最大 16 文字の文字列で示します。 BCU 未実装時は、長さ 0 で応答します。	●
18	ax7700rBcuIoBoardProductCode {ax7700rBcuBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	BCU(IO) ボードの製造管理番号を示します。 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
19	ax7700rBcuCpuBoardProductCode {ax7700rBcuBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	BCU(CPU) ボードの製造管理番号を示します。 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
20	ax7700rBcuRmCpuName {ax7700rBcuBoardEntry 19}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 CPU 名称を最大 16 文字の文字列で示します。 (例: "AMD K5") BCU 未実装時は、長さ 0 で応答します。	●
21	ax7700rBcuRmCpuClock {ax7700rBcuBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	BCU 搭載 CPU クロックを数値で示します。 [単位: MHz] (例: 200) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
22	ax7700rBcuRmMemoryTotalSize {ax7700rBcuBoardEntry 21}	INTEGER	R/O	搭載メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
23	ax7700rBcuRmMemoryUsedSize {ax7700rBcuBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●
24	ax7700rBcuRmMemoryFreeSize {ax7700rBcuBoardEntry 23}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
25	ax7700rBcuRmRomVersion {ax7700rBcuBoardEntry 24}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 ROM のバージョンを文字列で示します。 (例: "ROM 01-01 Rev0 BIOS Rev:R1.02.E4") BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	●
26	ax7700rBcuRmCpuLoad1m {ax7700rBcuBoardEntry 25}	INTEGER	R/O	1 分間の BCU CPU 使用率を数値 (0 ~ 100) で示します。	●
27	ax7700rBcuTemperatureStatusNumber {ax7700rBcuBoardEntry 26}	INTEGER	R/O	この BCU での最大の ax7700rTemperatureStatus の数。該当 BCU が温度測定機能をサポートしない場合、または BCU 未実装時は 0 で応答します。	●
28	ax7700rBcuCpOperStatus {ax7700rBcuBoardEntry 27}	INTEGER	R/O	CP の状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 未実装 (32)	●
29	ax7700rBcuCpCpuName {ax7700rBcuBoardEntry 28}	DisplayString	R/O	CP CPU 名称を最大 16 文字の文字列で示します。 (例: "MIPS RM5261")	●
30	ax7700rBcuCpCpuClock {ax7700rBcuBoardEntry 29}	INTEGER	R/O	CP CPU クロックを数値で示します。 [単位: MHz] (例: 250)	●
31	ax7700rBcuCpMemoryTotalSize {ax7700rBcuBoardEntry 30}	INTEGER	R/O	CP のメインメモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] (例: 32768)	●
32	ax7700rBcuCpCpuLoad1m {ax7700rBcuBoardEntry 33}	INTEGER	R/O	1 分間の CP CPU 使用率を数値 (0 ~ 100) で示します。CP の状態が運用中以外、CPU 使用率は、0 で応答します。	●
33	ax7700rBcuSerialNumber {ax7700rBcuBoardEntry 34}	DisplayString	R/O	BCU ボードのカード管理情報 (シリアル番号) 最大 30 文字の文字列で示します。 未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●
34	ax7700rBcuVoltage150 {ax7700rBcuBoardEntry 35}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148)	●
35	ax7700rBcuVoltage180 {ax7700rBcuBoardEntry 36}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 183)	●
36	ax7700rBcuVoltage250 {ax7700rBcuBoardEntry 37}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 250)	●
37	ax7700rBcuVoltage330 {ax7700rBcuBoardEntry 38}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 328)	●
38	ax7700rBcuVoltage500 {ax7700rBcuBoardEntry 39}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 493)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
39	ax7700rBcuVoltage130 {ax7700rBcuBoardEntry 40}	INTEGER	R/O	1.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：133)	●
40	ax7700rBcuPbmVoltage105 {ax7700rBcuBoardEntry 41}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.05V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：102)	●
41	ax7700rBcuPbmVoltage120 {ax7700rBcuBoardEntry 42}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：121)	●
42	ax7700rBcuPbmCpuCoreVoltage {ax7700rBcuBoardEntry 43}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の CpuCore 電圧 (1.2V ～ 1.3V) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：125)	●
43	ax7700rBcuPbmVoltage150 {ax7700rBcuBoardEntry 44}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：148)	●
44	ax7700rBcuPbmVoltage180 {ax7700rBcuBoardEntry 45}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：183)	●

3.17.5 ax7700rBcuBoard グループ (MC 情報)

(1) 識別子

```
ax7700rBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 2}

ax7700rAtaCardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rBcuBoard 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2
```

(2) 実装仕様

ax7700rBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) を次の表に示します。

表 3-78 ax7700rDevice グループの実装仕様 (MC 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rAtaCardTable {ax7700rBcuBoard 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	MC 情報のテーブル。	●
2	ax7700rAtaCardEntry {ax7700rAtaCardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	MC 情報エントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex, ax7700rBcuBoardIndex, ax7700rAtaCardIndex}	●
3	ax7700rAtaCardIndex {ax7700rAtaCardEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	MC 挿入スロットの接続位置を示します。 (MC 挿入スロット番号 +1 の値) 1 ～ ax7700rBcuAtaCardNumber までの 値。 AX7700R 全モデル共通：1 ～ 2	●
4	ax7700rAtaCardConnection {ax7700rAtaCardEntry 2}	INTEGER	R/O	MC 接続状態を示します。 接続 (2) 未接続 (32)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ax7700rAtaCardTotalSize {ax7700rAtaCardEntry 3}	INTEGER	R/O	MC の総容量を数値で示します。[単位：kB] MC 未接続の場合、-1 で応答します。	●
6	ax7700rAtaCardUsedSize {ax7700rAtaCardEntry 4}	INTEGER	R/O	MC の使用容量を数値で示します。[単位：kB] MC 未接続の場合、-1 で応答します。	●
7	ax7700rAtaCardFreeSize {ax7700rAtaCardEntry 5}	INTEGER	R/O	MC の残容量を数値で示します。[単位：kB] MC 未接続の場合、-1 で応答します。	●
8	ax7700rAtaCardName {ax7700rAtaCardEntry 6}	DisplayString	R/O	MC の型名を最大 16 文字の文字列で示します。 不明 MC の場合、"unknown" を示します。 MC 未接続の場合は、レングス 0 で応答します。	●
9	ax7700rAtaCardAbbreviation {ax7700rAtaCardEntry 7}	DisplayString	R/O	MC の種別を最大 16 文字の文字列で示します。 (例: "MC256","unknown") MC 未接続の場合は、レングス 0 で応答します。	●
10	ax7700rAtaCardMountStatus {ax7700rAtaCardEntry 8}	INTEGER	R/O	MC のマウント状態を示します。 • アンマウント (1) • マウント (2) MC 未接続の場合、-1 で応答します。	●

3.17.6 ax7700rBcuBoard グループ (温度情報)

(1) 識別子

```
ax7700rBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 2}

ax7700rTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rBcuBoard 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.3
```

(2) 実装仕様

ax7700rBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報) を次の表に示します。

表 3-79 ax7700rBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rTemperatureStatusTable {ax7700rBcuBoard 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU についての温度状態のテーブル	●
2	ax7700rTemperatureStatusEntry {ax7700rTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU についての温度状態のエントリ。 INDEX {ax7700rChassisIndex, ax7700rBcuBoardIndex, ax7700rTemperatureStatusIndex}	●
3	ax7700rTemperatureStatusIndex {ax7700rTemperatureStatusEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU の温度監視部分ごとにつけられたユニークなインデックス番号。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax7700rTemperatureStatusDescr {ax7700rTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	この温度監視部分の説明。 • "BCU board Temperature" : BCU ボードの温度	●
5	ax7700rTemperatureStatusValue {ax7700rTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	この温度監視部分の現在の温度。	●
6	ax7700rTemperatureThreshold {ax7700rTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が停止状態になる, この温度監視部分の温度。	●
7	ax7700rTemperatureState {ax7700rTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	この温度監視部分の現在の温度状態。 { 正常 (1), 注意 (2), 警告 (3), 異常 (4)}	●

3.17.7 ax7700rBcuBoard グループ (SOP 情報)

(1) 識別子

ax7700rBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 2}

ax7700rSopTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rBcuBoard 4}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.4

(2) 実装仕様

ax7700rBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) を次の表に示します。

表 3-80 ax7700rBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rSopTable {ax7700rBcuBoard 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のテーブル。	●
2	ax7700rSopEntry {ax7700rSopTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のエントリ。 INDEX { ax7700rChassisIndex, ax7700rBcuBoardIndex }	●
3	ax7700rSopAlarmLevel {ax7700rSopEntry 1}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のエラーレベルを文字列で表示します。 • 致命的障害 (E9) • 重度障害 (E8) • RM 部障害 (E7) • NIF 障害 (E6)	●
4	ax7700rSopAlarmEventPoint {ax7700rSopEntry 2}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害発生部位を文字列で表示します。	●
5	ax7700rSopAlarmEventCode {ax7700rSopEntry 3}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージ識別子を表示します。識別子の内容は, 「メッセージ・ログレファレンス 3. 装置関連の障害およびイベント情報」に対応します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax7700rSopAlarmEventInterfaceID {ax7700rSopEntry 4}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害発生部位のインタフェース識別子を表示します。識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(4) イベント発生インタフェース識別子」に対応します。	●
7	ax7700rSopAlarmMsgText {ax7700rSopEntry 5}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージテキストを表示します。	●

3.17.8 ax7700rPruBoard グループ (PRU 情報)

(1) 識別子

ax7700rPruBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 3}

ax7700rPruBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rPruBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1

(2) 実装仕様

ax7700rPruBoard グループの実装仕様 (PRU 情報) を次の表に示します。

表 3-81 ax7700rPruBoard グループの実装仕様 (PRU 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rPruBoardTable {ax7700rPruBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての PRU 情報のテーブル。	●
2	ax7700rPruBoardEntry {ax7700rPruBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての PRU 情報エントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex, ax7700rPruBoardIndex}	●
3	ax7700rPruBoardIndex {ax7700rPruBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	PRU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7700rPruBoardNumber までの値。 (PRU 搭載スロット番号 +1 の値) • AX7702R-AC の場合: 1	●
4	ax7700rPruBoardType {ax7700rPruBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	PRU ボードのタイプを数値で示します。 pru-e2(0x4a00) (18944) pru-d2(0x4b00) (19200) re1-10g4rx(0x5600) (22016) PRU 未実装時または、実装している PRU ボードを特定できない場合、-1 で応答します。	●
5	ax7700rPruOperStatus {ax7700rPruBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	PRU の STATUS LED の状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32) 実装している PRU ボードの状態が特定できない場合、other(1) を応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax7700rPruBoardName {ax7700rPruBoardEntry 4}	DisplayString	R/O	PRU のボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。 (例: "AX-xxxxxxx-xx") PRU 未実装時または、実装している PRU ボードを特定できない場合、レンジ 0 で応答します。	●
7	ax7700rPruBoardAbbreviation {ax7700rPruBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	PRU のボード略称を最大 16 文字の文字列で示します。(例: "PRU-B2") PRU 未実装時または、実装している PRU ボードを特定できない場合、レンジ 0 で応答します。	●
8	ax7700rPruBoardProductCode {ax7700rPruBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	PRU のボードのレビジョンを最大 16 文字の文字列で示します。 PRU 未実装時または、実装している PRU ボードを特定できない場合、-1 で応答します。	●
9	ax7700rPruSerialNumber {ax7700rPruBoardEntry 7}	DisplayString	R/O	PRU ボードのカード管理情報 (シリアル番号) 最大 30 文字の文字列で示します。 未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●
10	ax7700rPruVoltage120 {ax7700rPruBoardEntry 8}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
11	ax7700rPruVoltage150 {ax7700rPruBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
12	ax7700rPruVoltage180 {ax7700rPruBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 183) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
13	ax7700rPruVoltage250 {ax7700rPruBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 250) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
14	ax7700rPruVoltage330 {ax7700rPruBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 328) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
15	ax7700rPruVoltage500 {ax7700rPruBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 493) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ax7700rPruVoltage120-2 {ax7700rPruBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 2 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
17	ax7700rPruVoltage120-3 {ax7700rPruBoardEntry 15}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 3 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
18	ax7700rPruVoltage120-4 {ax7700rPruBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 4 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
19	ax7700rPruVoltage120-5 {ax7700rPruBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 5 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
20	ax7700rPruVoltage120-6 {ax7700rPruBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 6 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
21	ax7700rPruVoltage120-7 {ax7700rPruBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 7 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●
22	ax7700rPruVoltage120-8 {ax7700rPruBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 8 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：123) PRU 未実装または close 時は 0 を応答します。	●

3.17.9 ax7700rNifBoard グループ (NIF 情報)

(1) 識別子

```
ax7700rNifBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 4}
ax7700rNifBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rNifBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1
```

(2) 実装仕様

ax7700rNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) を次の表に示します。ax7700rNifBoardType 値を「表 3-83 ax7700rNifBoardType 値」に示します。

表 3-82 ax7700rNifBoard グループ MIB 一覧 (NIF 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rNifBoardTable {ax7700rNifBoard 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	スロットに搭載した NIF ボード情報の テーブル。	●
2	ax7700rNifBoardEntry {ax7700rNifBoardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体の NIF 情報エントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex, ax7700rNifBoardSlotIndex}	●
3	ax7700rNifBoardSlotIndex {ax7700rNifBoardEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ～ ax7700rNifBoardNumber までの値 (NIF 搭載スロット番号 +1 の値)。 • AX7702R-AC の場合：1 ～ 2	●
4	ax7700rNifBoardType {ax7700rNifBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	実装している NIF ボードのタイプを示し ます。 値は「表 3-83 ax7700rNifBoardType 値」を参照してください。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、-1 で応答します。	●
5	ax7700rNifBoardOperStatus {ax7700rNifBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	NIF の STATUS LED の状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32) PRU が UP 時以外は (32) で応答します。	●
6	ax7700rNifBoardName {ax7700rNifBoardEntry 4}	DisplayStri ng	R/O	NIF ボード型名を最大 16 文字の文字列で 示します。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●
7	ax7700rNifBoardAbbreviation {ax7700rNifBoardEntry 5}	DisplayStri ng	R/O	NIF ボード略称を最大 16 文字の文字列で 示します。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●
8	ax7700rNifBoardProductCode {ax7700rNifBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	NIF ボード製造管理コードを示します。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、-1 で応答します。	●
9	ax7700rNifPhysLineNumber {ax7700rNifBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	NIF の物理回線数 (最大 48)。 ax7700rNifBoardType の値が -1, または other(1) のとき、-1 で応答します。	●
10	ax7700rNifSerialNumber {ax7700rNifBoardEntry 8}	DisplayStri ng	R/O	NIF ボードのカード管理情報 (シリアル番 号) 最大 30 文字の文字列で示します。 PRU または NIF が、未実装または close 時は、レンジ 0 で応答します。	●
11	ax7700rNifVoltageAM520 {ax7700rNifBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	アナログ -5.2V 電圧の観測ポイントでの電 圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：-515) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ax7700rNifVoltage150 {ax7700rNifBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 148) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
13	ax7700rNifVoltage180 {ax7700rNifBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 183) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
14	ax7700rNifVoltageA180 {ax7700rNifBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	アナログ 1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 184) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
15	ax7700rNifVoltage250 {ax7700rNifBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 250) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
16	ax7700rNifVoltage330 {ax7700rNifBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 328) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
17	ax7700rNifVoltageA330 {ax7700rNifBoardEntry 15}	INTEGER	R/O	アナログ 3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 328) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
18	ax7700rNifVoltageA500 {ax7700rNifBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。10GBASE-R および 10GBASE-W の場合、アナログ 5V 電圧になります。 [単位 : 10mV] (例 : 493) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●
19	ax7700rNifVoltage330S {ax7700rNifBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧 (2 系) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 328) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●
20	ax7700rNifVoltage500S {ax7700rNifBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	5.0V 電圧 (2 系) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 493) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●
21	ax7700rNifVoltage120 {ax7700rNifBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位 : 10mV] (例 : 123) PRU または NIF が、未実装または close 時は、0 を応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
22	ax7700rNifVoltageA500-2 {ax7700rNifBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	5V 電圧の 2 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。10GBASE-R の場合、アナログ 5V 電圧になります。 [単位：10mV] (例：493) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●
23	ax7700rNifVoltage150S {ax7700rNifBoardEntry 21}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧 (2 系) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位：10mV] (例：148) PRU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、0 を応答します。	●

表 3-83 ax7700rNifBoardType 値

NIF 名称	ax7700rNifBoardName 値	ax7700rNifBoardType 値	
		16 進	10 進
12-port 1000BASE-X(SFP) VRRP 機能拡張	AX-F6244-361SA	0x8002	32770
6-port 1000BASE-X(GBIC) VRRP 機能拡張	AX-F6244-361GA	0x8004	32772
12-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T VRRP 機能拡張	AX-F6244-361TA	0x800A	32778
48-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	AX-F6244-366T	0x8036	32822
1-port 10GBASE-ER	AX-F6244-362E	0x8012	32786
1-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6244-362XFP	0x8014	32788
1-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6244-362XFPA	0x8018	32792
1-port 10GBASE-LW	AX-F6244-363LW	0x8021	32801
1-port 10GBASE-EW	AX-F6244-363EW	0x8022	32802
4-port 10GBASE-R(XFP) (PRU-B2 内蔵)	AX-F6544-367XB2	0x8016	32790
4-port 10GBASE-R(XFP) (PRU-E1 内蔵)	AX-F6543-367XE1	0x8015	32789
4-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6244-364SHP	0x800F	32783
8-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6244-364SHPA	0x800E	32782
4-port OC-48c/STM-16 POS(SFP,single-mode)	AX-F6244-352S	0xA010	40976
1-port OC-192c/STM-64 POS(G.652 single-mode,2km)	AX-F6244-351S	0xA000	40960
1-port OC-192c/STM-64 POS(G.652 single-mode,40km)	AX-F6244-351S4	0xA001	40961
8-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T + 4-port 1000BASE-X(SX/LX) SFP	AX-F6244-361M	0x8037	32823

3.17.10 ax7700rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)

(1) 識別子

ax7700rPhysLine OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 5}

ax7700rPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rPhysLine 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5.1

(2) 実装仕様

ax7700rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報) を次の表に示します。

表 3-84 ax7700rPhysLine グループ (line(物理回線) 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rPhysLineTable {ax7700rPhysLine 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	物理回線情報のテーブル。	●
2	ax7700rPhysLineEntry {ax7700rPhysLineTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	物理回線についての情報エントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex, ax7700rNifBoardSlotIndex, ax7700rPhysLineIndex}	●
3	ax7700rPhysLineIndex {ax7700rPhysLineEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	物理回線番号の情報を示します。 1 ～ ax7700rNifLineNumber までの値。 (Line 番号 +1 の値)	●
4	ax7700rPhysLineConnectorType {ax7700rPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中の場合に示します。 種別が不明または交換不可のトランシーバ、物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中以外の場合は other(1) を応答します。 • other(1) • type1000BASE-LX(301) • type1000BASE-SX(302) • type1000BASE-LH(303) • type1000BASE-LHB(310) • type10GBASE-SR(401) • type10GBASE-LR(402) • type10GBASE-ER(403) • type10GBASE-ZR(404) • typeOC-48c/STM-16 POS 2km(103) • typeOC-48c/STM-16 POS 40km(104)	●
5	ax7700rPhysLineOperStatus {ax7700rPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	物理回線の状態を示します。 • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス) (7) • 運用中 (回線障害発生中) (8) • 回線テスト中 (9) • 未使用 (コンフィグレーション未設定) (10)	●
6	ax7700rPhysLineIfIndexNumber {ax7700rPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	物理回線に含まれる ifIndex 数を示します。 PRU 未実装時、または NIF 未実装時は、-1 で応答します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax7700rPhysLineTransceiverStatus {ax7700rPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバの種別と実装状態を示します。物理回線状態が稼働中、運用中（回線障害発生中）および回線テスト中の場合に表示します。 - 交換可能なトランシーバではない (1) - GBIC 実装 (10) - GBIC 未実装 (11) - 未サポートの GBIC 実装 (12) - GBIC の実装状態が不明 (13) - SFP 実装 (20) - SFP 未実装 (21) - 未サポートの SFP 実装 (22) - SFP の実装状態が不明 (23) - XFP 実装 (30) - XFP 未実装 (31) - 未サポートの XFP 実装 (32) - XFP の実装状態が不明 (33)	●

3.17.11 ax7700rInterface グループ (インタフェースインデックス情報)

(1) 識別子

```
ax7700rInterface OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rDevice 6}
ax7700rLineIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7700rInterface 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.6.1
```

(2) 実装仕様

ax7700rInterface グループ (インタフェースインデックス情報) を次の表に示します。

表 3-85 ax7700rInterface グループ (インタフェースインデックス情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7700rLineIfTable {ax7700rInterface 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線 ifIndex 対応のテーブル情報。	●
2	ax7700rLineIfEntry {ax7700rLineIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線に割り当てられている ifIndex に関するエントリ。 [index] {ax7700rChassisIndex, ax7700rNifBoardSlotIndex, ax7700rPhysLineIndex, ax7700rLineIfIndex}	●
3	ax7700rLineIfIndex {ax7700rLineIfEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ～ ax7700rPhysLineIfIndexNumber までの値。	●
4	ax7700rIfIndex {ax7700rLineIfEntry 2}	INTEGER	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex の値を示します。このインタフェースに、ifIndex 未割り当ての場合は、0 を応答します。	●
5	ax7700rIfIpAddress {ax7700rLineIfEntry 3}	IpAddress	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex に対応する IP アドレスを示します。IP アドレス未割り当ての場合、または IPv6 アドレスが割り当てられている場合、0.0.0.0 とします。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
6	ax7700rIfIpv6Address {ax7700rLineIfEntry 4}	OCTET STRING	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex に対応する IPv6 アドレスを示します。IPv6 アドレス未割り当ての場合または、IPv4 アドレスだけが割り当てられている場合、00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 とします。	●

3.18 icmp グループ (HP プライベート MIB)

(1) 識別子

```

hp OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 11}
nm OBJECT IDENTIFIER ::= {hp 2}

icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {nm 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.11.2.7

```

(2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-86 icmp グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
1	icmpEchoReq {icmp 1}	INTEGER	R/O	ICMP Echo Reply を受信するのに要した時間。 [単位：ミリ秒] INDEX[PacketSize, TimeOut, IPAddress] PacketSize：32 ～ 2048 TimeOut ：1 ～ 60[Second] IP Address：対象 IP アドレス ICMP Echo Reply を正しく受信しなかった場合、次に示す値を応答します。 -1：内部エラー -2：タイムアウト -3：ICMP Echo Reply の値不正 -4：送信パケットサイズエラー -5：設定タイムアウト値不正	●

3.19 sFlow グループ (InMon プライベート MIB)

(1) 識別子

```
InMon OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 4300}
sFlowMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {InMon 1}
sFlowAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {sFlowMIB 1}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.4300.1.1

(2) 実装仕様

sFlow グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-87 sFlow グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
1	sFlowVersion { sFlowAgent 1 }	SnmpAdmin String	R/O	[規格] sFlow のバージョン文字列を示す。 "<MIB Version>;<Organization>;<Software Revision>" の形式で表記する。 [実装] 規格に同じ。ただし, "1.2;" 固定値 とする。	●
2	sFlowAgentAddressType { sFlowAgent 2 }	InetAddress Type	R/O	[規格] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレスタイプを示す。 {ipv4(1), ipv6(2)} [実装] 規格に同じ。	●※ 1
3	sFlowAgentAddress { sFlowAgent 3 }	InetAddress	R/O	[規格] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレスを示す。(IPv4,IPv6) [実装] 規格に同じ。	●※ 1 ※ 2
4	sFlowTable { sFlowAgent 4 }	NOT-ACCE SSIBLE	不可	[規格] sFlow datagram に関する情報を格 納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	sFlowEntry { sFlowTable 1 }	NOT-ACCE SSIBLE	不可	[規格] sFlow datagram の情報リスト。 INDEX {sFlowDataSource} [実装] 規格に同じ。	●
6	sFlowDataSource { sFlowEntry 1 }	OBJECT IDENTIFIE R	R/O	[規格] sFlow datagram の情報源を示す。 上位 1 バイト : 情報源のタイプ 0 = ifIndex 1 = smonVlanDataSource 下位 3 バイト : Index 値 [実装] 規格に同じ。	●
7	sFlowOwner { sFlowEntry 2 }	OwnerStrin g	R/NW	[規格] sFlow サンプラを利用しているオー ナー [実装] 規格に同じ。ただし, " " 固定値とす る。	●
8	sFlowTimeout { sFlowEntry 3 }	Integer32	R/NW	[規格] サンプラが開放され停止するまでの 時間 (秒単位) [実装] 規格に同じ。ただし, "0" 固定値と する。	●
9	sFlowPacketSamplingRate { sFlowEntry 4 }	Integer32	R/NW	[規格] sFlow datagram のサンプリング間 隔。 [実装] 規格に同じ。	●※ 1

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	sFlowCounterSamplingInterval { sFlowEntry 5 }	Integer32	R/NW	[規格] カウンタサンプルのコレクタへの送信間隔を示す。 [実装] 規格に同じ。	●※ 1
11	sFlowMaximumHeaderSize { sFlowEntry 6 }	Integer32	R/NW	[規格] サンプルパケットの先頭からコピーされる最大バイト数を示す。 [実装] 規格に同じ。	●※ 1
12	sFlowMaximumDatagramSize { sFlowEntry 7 }	Integer32	R/NW	[規格] サンプルデータグラムで送ることができる最大データバイト数を示す。 [実装] 規格に同じ。	●※ 1
13	sFlowCollectorAddressType { sFlowEntry 8 }	InetAddress Type	R/NW	[規格] コレクタの IP アドレスタイプを示す。 {ipv4(1), ipv6(2)} [実装] 規格に同じ。	●※ 1
14	sFlowCollectorAddress { sFlowEntry 9 }	InetAddress	R/NW	[規格] コレクタの IP アドレスを示す。 [実装] 規格に同じ。	●※ 1 ※ 2
15	sFlowCollectorPort { sFlowEntry 10 }	Integer32	R/NW	[規格] sFlow datagram の宛先ポートを示す。 [実装] 規格に同じ。	●※ 1 ※ 2
16	sFlowDatagramVersion { sFlowEntry 11 }	Integer32	R/NW	[規格] sFlow datagram のバージョンを示す。Version=4 をサポートする。 [実装] 規格に同じ。ただし、4 固定値とする。	●※ 1

注※ 1

sFlow 統計のコンフィグレーションコマンドで設定した値になります。

注※ 2

複数コレクタを設定時は一番最後に定義されているコレクタの情報が入ります。

4

サポート MIB トラップ

この章ではサポート MIB のトラップについて説明しています。

4.1 サポートトラップおよび発行契機

4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ

4.1 サポートトラップおよび発行契機

サポートトラップおよび発行契機を次の表に示します。

coldStart トラップ以外のトラップは、装置の起動（装置電源オンまたは運用系 BCU を再起動）時から coldStart トラップの発行契機までの間は送信しません。また、coldStart トラップの発行契機前に各トラップの発行契機が発生しても、あとから coldStart トラップと同時に各トラップの送信はしません。

表 4-1 サポートトラップおよび発行契機

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
1	coldStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更される可能性がある	次に示す 1 ～ 5 の契機で、cold start trap を発行します。 1. 装置を起動（装置電源オンまたは運用系 BCU を再起動）したとき。 2. copy backup-config コマンドによってスタートアップコンフィグレーションファイルを変更したとき。 3. IP のコンフィグレーション（config ip コマンド）を追加、削除したとき。 4. 運用系 BCU から待機系 BCU へ系切替したとき。 【AX7800R】 5. set calendar コマンド、または rdate コマンドで時間を変更したとき。 • 1 の事象が発生してからログインプロンプト表示後、約 5 分後にトラップを送信します。 2, 4 は、事象が発生してから 5 分後にトラップを送信します。 3, 5 は、事象が発生時にトラップを送信します。 • IP のコンフィグレーション（config ip コマンド）の追加、削除とは、あるインタフェースに対して、初めて ip を定義した場合または ip の定義を削除した場合が該当します。すでに ip の定義があり、ip のパラメータを変更した場合は該当（トラップを発行）しません。 - また、ip 以外のコンフィグレーションの追加、削除も、cold start trap の発行契機の対象とはなりません。 • 2, 3, 5 は、SNMP のコンフィグレーションの unlimited_coldstart_trap を設定した場合にだけ cold start trap を発行します。	●
2	warmStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更されない	次に示す 1 ～ 2 の事象が発生した時点で、warm start trap を発行します。 1. SNMP のコンフィグレーションを追加、変更または削除したとき。 2. snmpd (MIB を応答するプログラム) を再起動したとき。	●
3	linkDown	回線障害検出	cold start trap 発行後に、インタフェースの動作状態が ACTIVE（通信可能状態）から DISABLE（通信不可状態）に変化したとき。	●
4	linkUp	回線障害回復	cold start trap 発行後に、インタフェースの動作状態が DISABLE（通信不可状態）から ACTIVE（通信可能状態）に変化したとき。	●
5	authentication Failure	確認エラー	不正なコミュニティから SNMP パケットを受信したとき（認証エラー発生時）。	●
6	egpNeighborLoss	EGP プロトコルでネイバルータとのリンクが切れた	—	×

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
7	ospfVirtNbrStateChange	仮想リンクの隣接状態の遷移	仮想リンクにおいて、次に示す 1～4 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、仮想リンクの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 1. Full になったとき（隣接関係確立）。 2. ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り）。 3. Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り）。 4. Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り）。	●
8	ospfNbrStateChange	OSPF の隣接状態の遷移	仮想リンク以外のインタフェースにおいて、次に示す 1～5 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、OSPF インタフェースの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 1. Full になったとき（隣接関係確立）。 2. ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り）。 3. Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り）。 4. Full から 2Way へ逆行したとき（代表ルータ変更による隣接関係打ち切り）。 5. Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り）。	●
9	ospfVirtIfStateChange	仮想リンクのインタフェース状態の遷移	次に示す 1～2 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 1. 仮想リンクが Up したとき（仮想リンク上で OSPF 動作を開始）。 2. 仮想リンクが Down したとき（通過エリアの障害や仮想リンクのコンフィグレーション削除等により、仮想リンク上で OSPF 動作を停止）。	●
10	ospfIfStateChange	OSPF インタフェース状態の遷移	次に示す 1～3 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 1. ポイントポイント型の OSPF インタフェースが Up したとき。 2. ブロードキャスト型インタフェースにおいて、DR, Backup, DROther 状態になったとき（代表ルータの決定や Wait タイマーのタイムアウト等）。 3. OSPF インタフェース（仮想リンク除く）が Down したとき（物理的なダウンや OSPF インタフェースのコンフィグレーション削除等）。	●
11	ospfVirtIfConfigError	仮想リンクで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	次に示す 1～4 のエラーパケットの受信契機で発行します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. 送信元がコンフィグレーションで指定した仮想リンクの隣接ルータでない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval）が一致していない。 4. Hello パケットまたは Database Description パケットのオプションフィールドがコンフィグレーションの定義内容と一致していない。	●

4. サポート MIB トラップ

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装 有無
12	ospfIfConfigError	OSPF インタフェースで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	次に示す 1～5 のエラーパケットの受信契機で発行します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. OSPF ヘッダのエリア ID が OSPF パケットを受信したインタフェースに定義されているエリア ID と一致しない。 3. NBMA であるインタフェースで DR である際、未定義の相手ルータからパケットを受信したとき。 4. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval, ネットマスク）が一致していない。 5. Hello パケットまたは Database Description パケットのオプションフィールドがコンフィグレーションの定義内容と一致していない。	●
13	ospfVirtIfAuthFailure	仮想リンクで受信したパケットの認証エラー	仮想リンクにおいて、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で、発行します。	●
14	ospfIfAuthFailure	OSPF インタフェースで受信したパケットの認証エラー	仮想リンク以外のインタフェースにおいて、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行します。	●
15	bgpEstablished 【OP-BGP】	BGP リンク確立	BGP プロトコルで FSM（Finite State Machine）が、Establish 状態になったとき。	●
16	bgpBackwardTransitions 【OP-BGP】	BGP リンク切断	BGP プロトコルで FSM が closed 状態になったとき。	●
17	risingAlarm	上方閾値を超えた	RMON のアラームの上方閾値を超えたとき。	●
18	fallingAlarm	下方閾値を下回った	RMON のアラームの下方閾値を下回ったとき。	●
19	vrrpTrapNewMaster	仮想ルータのマスター通知	仮想ルータがマスター状態に遷移したとき。	●
20	vrrpTrapAuthFailure	VRRP パケット認証エラー	- 受信したパケットの認証タイプが異なるとき。 - 受信したパケットの認証に失敗したとき。	●
21	vrrpTrapProtoError	VRRP プロトコルエラー	受信したパケットで次に示すエラーを検出したとき。 - ホップリミットエラー - バージョンエラー - チェックサムエラー - VRRPID エラー	●
22	axrOspfVirtNeighborStateChange	仮想リンクの隣接状態の遷移	仮想リンクにおいて、次に示す 1～4 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、仮想リンクの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 - Full になったとき（隣接関係確立）。 - ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り）。 - Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り）。 - Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り）。	●

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装 有無
23	axrOspfNbrSta teChange	OSPF の隣接状態の 遷移	仮想リンク以外のインタフェースにおいて、次に示す 1～5 の 隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、OSPF インタ フェースの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しま せん。 1. Full になったとき（隣接関係確立）。 2. ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パ ケット未受信による隣接関係打ち切り）。 3. Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致など による隣接関係打ち切り）。 4. Full から 2Way へ逆行したとき（代表ルータ変更による隣 接関係打ち切り）。 5. Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる 隣接関係打ち切り）。	●
24	axrOspfVirtIfs tateChange	仮想リンクのインタ フェース状態の遷移	次に示す 1～2 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 1. 仮想リンクが Up したとき（仮想リンク上で OSPF 動作を開 始）。 2. 仮想リンクが Down したとき（通過エリアの障害や仮想リン クのコンフィグレーション削除等により、仮想リンク上で OSPF 動作を停止）。	●
25	axrOspfIfState Change	OSPF インタフェー ス状態の遷移	次に示す 1～3 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 1. ポイントーポイント型の OSPF インタフェースが Up したと き。 2. ブロードキャスト型インタフェースにおいて、DR, Backup, DROther 状態になったとき（代表ルータの決定や Wait タイマーのタイムアウト等）。 3. OSPF インタフェース（仮想リンク除く）が Down したとき （物理的なダウンや OSPF インタフェースのコンフィグレー ション削除等）。	●
26	axrOspfVirtIfC onfigError	仮想リンクで受信し たパケットのコン フィグレーションエ ラー	次に示す 1～4 のエラーパケットの受信契機で発行します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. 送信元がコンフィグレーションで指定した仮想リンクの隣接 ルータでない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval）が一致していない。 4. Hello パケットまたは Database Description パケットのオブ ションフィールドがコンフィグレーションの定義内容と一致 していない。	●
27	axrOspfIfConfi gError	OSPF インタフェー スで受信したパケッ トのコンフィグレー ションエラー	次に示す 1～5 のエラーパケットの受信契機で発行します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. OSPF ヘッダのエリア ID が OSPF パケットを受信したイン タフェースに定義されているエリア ID と一致しない。 3. NBMA であるインタフェースで DR である際、未定義の相 手ルータからパケットを受信したとき。 4. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval, ネットマスク）が一致していない。 5. Hello パケットまたは Database Description パケットのオブ ションフィールドがコンフィグレーションの定義内容と一致 していない。	●
28	axrOspfVirtIfA uthFailure	仮想リンクで受信し たパケットの認証エ ラー	仮想リンクにおいて、受信した OSPF パケットの認証方式の不 一致、または認証失敗の検出契機で発行します。	●
29	axrOspfIfAuth Failure	OSPF インタフェー スで受信したパケッ トの認証エラー	仮想リンク以外のインタフェースにおいて、受信した OSPF パ ケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行 します。	●

4. サポート MIB トラップ

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
30	axrIsisAdjacencyChange 【OP-ISIS】	IS-IS 隣接ルータ状態変更	- IS-IS 隣接ルータの状態が変わったとき。 - IS-IS 隣接ルータが新たにできたとき。 - IS-IS 隣接ルータがなくなったとき。	●
31	axrStaticGatewayStateChange	スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態変更	IPv4 スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態が到達不可能から到達可能へ遷移したとき、または到達可能から到達不可能へ遷移したときを契機に発行します。	●
32	axrStaticIpv6GatewayStateChange	スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態変更	IPv6 スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態が到達不可能から到達可能へ遷移したとき、または到達可能から到達不可能へ遷移したときを契機に発行します。	●
33	axrOadpNeighborCachelastrChangeTrap	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された。	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された場合。	●
34	ax7800rAirFanStopTrap 【AX7800R】 ax7700rAirFanStopTrap 【AX7700R】	ファンが故障した。	ファンの故障を検出した場合。	●
35	ax7800rPowerSupplyFailureTrap 【AX7800R】 ax7700rPowerSupplyFailureTrap 【AX7700R】	電源が故障した。	- 実装された電源のうちひとつでも異常が発生した場合。 - 装置から電源を抜いた場合。	●
36	ax7800rLoginSuccessTrap 【AX7800R】 ax7700rLoginSuccessTrap 【AX7700R】	装置利用者がログインに成功した。	console, aux, telnet, rlogin, ftp によるログインに成功した場合。	●
37	ax7800rLoginFailureTrap 【AX7800R】 ax7700rLoginFailureTrap 【AX7700R】	装置利用者のログインが失敗した。	- console, aux, telnet, rlogin, ftp によるログインにおいて、同一セッションで 3 回の認証に失敗したときに 1 回送信する。 - リモートアクセス制限による切断や、login: または Password: プロンプト表示状態でのタイムアウトや強制切断時には送信しない (login: プロンプト出力状態での Enter キーだけ入力も送信しない)。	●
38	ax7800rLogoutTrap 【AX7800R】 ax7700rLogoutTrap 【AX7700R】	装置利用者がログアウトした。	console, aux, telnet, rlogin, ftp によるログアウトが成功した場合。	●
39	ax7800rMemoryUsageTrap 【AX7800R】 ax7700rMemoryUsageTrap 【AX7700R】	使用可能なメモリが少なくなった。	使用可能なメモリが下限値を下回った場合。	●

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
40	ax7800rSystemMsgTrap 【AX7800R】 ax7700rSystemMsgTrap 【AX7700R】	システムメッセージ出力	システムメッセージを出力したとき。	●
41	ax7800rStandbySystemUpTrap 【AX7800R】	待機系 BCU 正常再起動	BCU 二重化装置で、Cold Start 以降に待機系 BCU が正常動作中であると判断したとき（運用状態が simplex でない場合に、待機系 BCU がアップしたとき、または CSW 障害の回復によって待機系 BCU がアップしたときに発行します）。	●
42	ax7800rStandbySystemDownTrap 【AX7800R】	待機系 BCU 異常検出	BCU 二重化装置で、Cold Start 以降に待機系 BCU が障害であると判断したとき（運用状態が simplex でない場合に、待機系 BCU がダウンしたとき、または待機系で CSW 障害を検出したときに発行します）。	●
43	ax7800rTemperatureTrap 【AX7800R】 ax7700rTemperatureTrap 【AX7700R】	温度状態の遷移	BCU の監視している温度が、正常、注意、警告、異常の各状態に遷移したとき。	●
44	ax7800rFrameErrorReceiveTrap 【AX7800R】 ax7700rFrameErrorReceiveTrap 【AX7700R】	フレーム受信エラーが発生	フレーム受信エラーが発生した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で行うことができます。	●
45	ax7800rFrameErrorSendTrap 【AX7800R】 ax7700rFrameErrorSendTrap 【AX7700R】	フレーム送信エラーが発生	フレーム送信エラーが発生した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で行うことができます。	●
46	ax7800rEfmoamUddPortInactivateTrap 【AX7800R】 ax7700rEfmoamUddPortInactivateTrap 【AX7700R】	片方向リンク障害検出によるポート close	片方向リンク障害を検出し、ポートを close した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoam で行うことができます。	●
47	ax7800rEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX7800R】 ax7700rEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX7700R】	ループ検出によるポート close	ループ状態を検出し、ポートを close した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoam で行うことができます。	●
48	axrPimNeighborFound	PIM 隣接ノードの検出	PIM 隣接ノードの検出契機で発行します。 検出した隣接ノードの IP アドレスを、付加する MIB (pimNeighborIfIndex) のオブジェクト識別子に格納して通知します。	●

4. サポート MIB トラップ

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装 有無
49	axrPimNeighborLoss	PIM 隣接ノードの喪失	PIM 隣接ノードの喪失契機で発行します。 喪失した隣接ノードの IP アドレスを、付加する MIB (pimNeighborIfIndex) のオブジェクト識別子に格納して通知します。 • PIM 隣接ノードタイムアウト時 • Holdtime 値 0 の Hello パケット受信時	●

(凡例)

- ：本装置でサポート（応答）するトラップを示しています。
- ×：本装置でサポート（応答）しないトラップを示しています。
- －：該当しません。

4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ

サポートトラップ -PDU 内パラメータについて、SNMPv1 の場合を「表 4-2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合)」に、SNMPv2/SNMPv3 の場合を「表 4-3 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv2c/SNMPv3 の場合)」に示します。

表 4-2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合)

項 番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
1	coldStart	本装置の sysObjectID AX7800R の場合 : 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合 : 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	0	0	sysUpTime の値	なし
2	warmStart	本装置の sysObjectID AX7800R の場合 : 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合 : 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	1	0	sysUpTime の値	なし
3	linkDown	本装置の sysObjectID AX7800R の場合 : 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合 : 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	2	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、下記の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	本装置の sysObjectID AX7800R の場合 : 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合 : 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	3	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、下記の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
5	authenticationFailure	本装置の sysObjectID AX7800R の場合：1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合：1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	4	0	sysUpTime の値	なし
6	ospfVirtIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
7	ospfNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
8	ospfVirtNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	3	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
9	ospfIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	4	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
10	ospfVirtIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	5	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
11	ospfIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	6	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
12	ospfVirtIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	7	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
13	ospfIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	16	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
14	bgpEstablished 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState
15	bgpBackwardTransitions 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState
16	risingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
17	fallingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
18	vrrpTrapNewMaster	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	vrrpOperationsMasterIpAddress, vrrpTrapNewMasterReason
19	vrrpTrapAuthFailure	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
20	vrrpTrapProtoError	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス※	6	3	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoErrorReason
21	axrOspfVirtIfStateChange	axrOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	axrOspfVirtIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfVirtIfAreaId, axrOspfVirtIfNeighbor, axrOspfVirtIfState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
22	axrOspfNbrStateChange	axrOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	axrOspfNbrDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfNbrIpAddress, axrOspfNbrAddressLessIndex, axrOspfNbrRtrId, axrOspfNbrState
23	axrOspfVirtNbrStateChange	axrOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	3	sysUpTime の値	axrOspfVirtNbrDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfVirtNbrArea , axrOspfVirtNbrRtrId, axrOspfVirtNbrState
24	axrOspfIfConfigError	axrOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	4	sysUpTime の値	axrOspfIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfIfIpAddress, axrOspfAddressLessIf, axrOspfPacketSrc, axrOspfConfigErrorType, axrOspfPacketType
25	axrOspfVirtIfConfigError	axrOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	5	sysUpTime の値	axrOspfVirtIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfVirtIfAreaId, axrOspfVirtIfNeighbor, axrOspfConfigErrorType, axrOspfPacketType
26	axrOspfIfAuthFailure	axrOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	6	sysUpTime の値	axrOspfIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfIfIpAddress, axrOspfAddressLessIf, axrOspfPacketSrc, axrOspfConfigErrorType, axrOspfPacketType
27	axrOspfVirtIfAuthFailure	axrOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	7	sysUpTime の値	axrOspfVirtIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfVirtIfAreaId, axrOspfVirtIfNeighbor, axrOspfConfigErrorType, axrOspfPacketType

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
28	axrOspfIfStateChange	axrOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	16	sysUpTime の値	axrOspfIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfIfIpAddress, axrOspfAddressLessIf, axrOspfIfState
29	axrIisAdjacencyChange 【OP-ISIS】	axrIisNotifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.3.7.2	特定の IP アドレス※	6	17	sysUpTime の値	axrIisSysInstance axrIisSysLevelIndex axrIisCircIfIndex axrIisPduLspId axrIisAdjState
30	axrStaticGatewayStateChangeTrap	axrStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.3.8.2	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	axrStaticGatewayAddr axrStaticGatewayState
31	axrStaticIpv6GatewayStateChangeTrap	axrStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.3.8.2	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	axrStaticIpv6Ifindex axrStaticIpv6GatewayAddr axrStaticIpv6GatewayState
32	axrOadpNeighborCacheLastChangeTrap	axrOadpMI Notifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.7.2	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	axrOadpNeighborCacheLastChange
33	ax7800rAirFanStopTrap 【AX7800R】 ax7700rAirFanStopTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	8	sysUpTime の値	なし
34	ax7800rPowerSupplyFailureTrap 【AX7800R】 ax7700rPowerSupplyFailureTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	9	sysUpTime の値	なし

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
35	ax7800rLoginSuccessTrap 【AX7800R】 ax7700rLoginSuccessTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	10	sysUpTime の値	axrLoginName, axrLoginTime, axrLoginLocation, axrLoginLine
36	ax7800rLoginFailureTrap 【AX7800R】 ax7700rLoginFailureTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	11	sysUpTime の値	axrLoginName, axrLoginFailureTime, axrLoginLocation, axrLoginLine
37	ax7800rLogoutTrap 【AX7800R】 ax7700rLogoutTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	12	sysUpTime の値	axrLoginName, axrLoginTime, axrLogoutTime, axrLoginLocation, axrLoginLine, axrLogoutStatus
38	ax7800rMemoryUsageTrap 【AX7800R】 ax7700rMemoryUsageTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	13	sysUpTime の値	なし

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
39	ax7800rSystemMsgTrap 【AX7800R】 ax7700rSystemMsgTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	AX7800R の場合 ax7800rSystemMsgType ax7800rSystemMsgTimeStamps ax7800rSystemMsgLevel ax7800rSystemMsgEventPoint ax7800rSystemMsgEventInterfaceID ax7800rSystemMsgEventCode ax7800rSystemMsgAdditionalCode ax7800rSystemMsgText AX7700R の場合 ax7700rSystemMsgType ax7700rSystemMsgTimeStamps ax7700rSystemMsgLevel ax7700rSystemMsgEventPoint ax7700rSystemMsgEventInterfaceID ax7700rSystemMsgEventCode ax7700rSystemMsgAdditionalCode ax7700rSystemMsgText
40	ax7800rStandbySystemUpTrap 【AX7800R】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	AX7800R の場合 ax7800rChassisIndex ax7800rBcuBoardIndex
41	ax7800rStandbySystemDownTrap 【AX7800R】	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2	特定の IP アドレス※	6	3	sysUpTime の値	AX7800R の場合 ax7800rChassisIndex ax7800rBcuBoardIndex

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
42	ax7800rTemperatureTrap 【AX7800R】 ax7700rTemperatureTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	4	sysUpTime の値	AX7800R の場合 ax7800rChassisIndex ax7800rBcuBoardIndex ax7800rTemperatureStatusIndex ax7800rTemperatureStatusDescr ax7800rTemperatureStatusValue ax7800rTemperatureState AX7700R の場合 ax7700rChassisIndex ax7700rBcuBoardIndex ax7700rTemperatureStatusIndex ax7700rTemperatureStatusDescr ax7700rTemperatureStatusValue ax7700rTemperatureState
43	ax7800rFrameErrorReceiveTrap 【AX7800R】 ax7700rFrameErrorReceiveTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	18	sysUpTime の値	ifIndex
44	ax7800rFrameErrorSendTrap 【AX7800R】 ax7700rFrameErrorSendTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	19	sysUpTime の値	ifIndex
45	ax7800rEfmoamUldPortInactivateTrap 【AX7800R】 ax7700rEfmoamUldPortInactivateTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	29	sysUpTime の値	ifIndex

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
46	ax7800rEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX7800R】 ax7700rEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX7700R】	本装置の sysObjectID AX7800R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.2 AX7700R の場合： 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.1.5	特定の IP アドレス※	6	30	sysUpTime の値	ifIndex
47	axrPimNeighborFound	axrPimMIB Objects のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.2.4.1	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	pimNeighborIfIndex
48	axrPimNeighborLoss	axrPimMIB Objects のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.1.1.2.4.1	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	pimNeighborIfIndex

注※

コンフィグレーションに SNMP の agent-addr が設定されている場合は、その IP アドレスを使用します。SNMP の agent-addr が設定されていない場合は、次のどちらかになります。

- ローカルアドレスが定義されている場合は、その IP アドレスを使用します（ローカルアドレスは、JP1/Cm2 からの管理可能）。
- ローカルアドレスが定義されていない場合は、最若番ポートの IP アドレスを使用します。

表 4-3 サポートトラップ-PDU 内パラメーター一覧（SNMPv2c/SNMPv3 の場合）

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ～]
1	coldStart	sysUpTime の値	coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1)	なし
2	warmStart	sysUpTime の値	warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2)	なし

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
3	linkDown	sysUpTime の値	linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、下記の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	sysUpTime の値	linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、下記の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	sysUpTime の値	authenticationFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5)	なし
6	ospfVirtIfState Change	sysUpTime の値	ospfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.1)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
7	ospfNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.2)	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
8	ospfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.3)	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
9	ospfIfConfigError	sysUpTime の値	ospfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.4)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
10	ospfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	ospfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.5)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
11	ospfIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.6)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
12	ospfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.7)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
13	ospfIfStateChange	sysUpTime の値	ospfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.16)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
14	bgpEstablished 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpEstablished のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.1)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
15	bgpBackwardTransitions 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpBackwardTransitions のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.2)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
16	risingAlarm	sysUpTime の値	risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1)	alarmIndex,alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
17	fallingAlarm	sysUpTime の値	fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
18	vrrpTrapNewMaster	sysUpTime の値	vrrpTrapNewMaster のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.1)	vrrpOperationsMasterIpAddress, vrrpTrapNewMasterReason
19	vrrpTrapAuthFailure	sysUpTime の値	vrrpTrapAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.2)	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
20	vrrpTrapProtoError	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.3)	vrrpTrapProtoErrReason
21	axrOspfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	axrOspfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2.0.1)	axrOspfVirtIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfVirtIfAreaId, axrOspfVirtIfNeighbor, axrOspfVirtIfState
22	axrOspfNbrStateChange	sysUpTime の値	axrOspfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2.0.2)	axrOspfNbrDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfNbrIpAddress, axrOspfNbrAddressLessIndex, axrOspfNbrRtrId, axrOspfNbrState
23	axrOspfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	axrOspfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2.0.3)	axrOspfVirtNbrDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfVirtNbrAreaId, axrOspfVirtNbrRtrId, axrOspfVirtNbrState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
24	axrOspfIfConfigError	sysUpTime の値	axrOspfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2.0.4)	axrOspfIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfIfIpAddress, axrOspfAddressLessIf, axrOspfPacketSrc, axrOspfConfigErrorType, axrOspfPacketType
25	axrOspfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	axrOspfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2.0.5)	axrOspfVirtIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfVirtIfAreaId, axrOspfVirtIfNeighbor, axrOspfConfigErrorType, axrOspfPacketType
26	axrOspfIfAuthFailure	sysUpTime の値	axrOspfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2.0.6)	axrOspfIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfIfIpAddress, axrOspfAddressLessIf, axrOspfPacketSrc, axrOspfConfigErrorType, axrOspfPacketType
27	axrOspfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	axrOspfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2.0.7)	axrOspfVirtIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfVirtIfAreaId, axrOspfVirtIfNeighbor, axrOspfConfigErrorType, axrOspfPacketType
28	axrOspfIfStateChange	sysUpTime の値	axrOspfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2.0.16)	axrOspfIfDomainNumber, axrOspfRouterId, axrOspfIfIpAddress, axrOspfAddressLessIf, axrOspfIfState
29	axrIisisAdjacencyChange 【OP-ISIS】	sysUpTime の値	axrIisisAdjacencyChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.2.0.17)	axrIisisSysInstance axrIisisSysLevelIndex axrIisisCircIfIndex axrIisisPduLspId axrIisisAdjState
30	axrStaticGatewayStateChange	sysUpTime の値	axrStaticGatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.2.0.1)	axrStaticGatewayAddr axrStaticGatewayState
31	axrStaticIpv6GatewayStateChange	sysUpTime の値	axrStaticIpv6GatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.2.0.2)	axrStaticIpv6Ifindex axrStaticIpv6GatewayAddr axrStaticIpv6GatewayState
32	axrOadpNeighborCacheLastChangeTrap	sysUpTime の値	axrOadpNeighborCacheLastChangeTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.2.0.1)	axrOadpNeighborCacheLastChange

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
33	ax7800rAirFanStopTrap 【AX7800R】 ax7700rAirFanStopTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.8) AX7700R の場合： ax7700rAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.8)	なし
34	ax7800rPowerSupplyFailureTrap 【AX7800R】 ax7700rPowerSupplyFailureTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.9) AX7700R の場合： ax7700rPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.9)	なし
35	ax7800rLoginSuccessTrap 【AX7800R】 ax7700rLoginSuccessTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.10) AX7700R の場合： ax7700rLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.10)	axrLoginName, axrLoginTime, axrLoginLocation, axrLoginLine
36	ax7800rLoginFailureTrap 【AX7800R】 ax7700rLoginFailureTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.11) AX7700R の場合： ax7700rLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.11)	axrLoginName, axrLoginFailureTime, axrLoginLocation, axrLoginLine
37	ax7800rLogoutTrap 【AX7800R】 ax7700rLogoutTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.12) AX7700R の場合： ax7700rLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.12)	axrLoginName, axrLoginTime, axrLogoutTime, axrLoginLocation, axrLoginLine, axrLogoutStatus

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
38	ax7800rMemoryUsageTrap 【AX7800R】 ax7700rMemoryUsageTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rMemoryUsageTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.13) AX7700R の場合： ax7700rMemoryUsageTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.13)	なし
39	ax7800rSystemMsgTrap 【AX7800R】 ax7700rSystemMsgTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.1) AX7700R の場合： ax7700rSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.1)	AX7800R の場合 ax7800rSystemMsgType ax7800rSystemMsgTimeStamp ax7800rSystemMsgLevel ax7800rSystemMsgEventPoint ax7800rSystemMsgEventInterfaceID ax7800rSystemMsgEventCode ax7800rSystemMsgAdditionalCode ax7800rSystemMsgText AX7700R の場合 ax7700rSystemMsgType ax7700rSystemMsgTimeStamp ax7700rSystemMsgLevel ax7700rSystemMsgEventPoint ax7700rSystemMsgEventInterfaceID ax7700rSystemMsgEventCode ax7700rSystemMsgAdditionalCode ax7700rSystemMsgText
40	ax7800rStandbySystemUpTrap 【AX7800R】	sysUpTime の値	ax7800rStandbySystemUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.2)	ax7800rChassisIndex ax7800rBcuBoardIndex
41	ax7800rStandbySystemDownTrap 【AX7800R】	sysUpTime の値	ax7800rStandbySystemDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.3)	ax7800rChassisIndex ax7800rBcuBoardIndex
42	ax7800rTemperatureTrap 【AX7800R】 ax7700rTemperatureTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.4) AX7700R の場合： ax7700rTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.4)	AX7800R の場合 ax7800rChassisIndex ax7800rBcuBoardIndex ax7800rTemperatureStatusIndex ax7800rTemperatureStatusDescr ax7800rTemperatureStatusValue ax7800rTemperatureState AX7700R の場合 ax7700rChassisIndex ax7700rBcuBoardIndex ax7700rTemperatureStatusIndex ax7700rTemperatureStatusDescr ax7700rTemperatureStatusValue ax7700rTemperatureState

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
43	ax7800rFrameErrorReceiveTrap 【AX7800R】 ax7700rFrameErrorReceiveTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rFrameErrorReceiveTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.18) AX7700R の場合： ax7700rFrameErrorReceiveTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.18)	ifIndex
44	ax7800rFrameErrorSendTrap 【AX7800R】 ax7700rFrameErrorSendTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rFrameErrorSendTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.19) AX7700R の場合： ax7700rFrameErrorSendTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.19)	ifIndex
45	ax7800rEfmoamUddPortInactivateTrap 【AX7800R】 ax7700rEfmoamUddPortInactivateTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rEfmoamUddPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.29) AX7700R の場合： ax7700rEfmoamUddPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.29)	ifIndex
46	ax7800rEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX7800R】 ax7700rEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX7700R】	sysUpTime の値	AX7800R の場合： ax7800rEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.2.0.30) AX7700R の場合： ax7700rEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.1.5.0.30)	ifIndex
47	axrPimNeighborFound	sysUpTime の値	axrPimNeighborFound のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.24.1.0.1)	pimNeighborIfIndex
48	axrPimNeighborLoss	sysUpTime の値	axrPimNeighborLoss のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.24.1.0.2)	pimNeighborIfIndex

付録

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

本装置で使用するプライベート MIB, HP プライベート MIB および InMon プライベート MIB について, MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

付録 A.1 プライベート MIB

プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

(1) axrStats グループ

axrStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-1 axrStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1
axrPhysStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1
axrPhysStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1
axrPhysStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1
axrPhysStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.1
axrPhysStatsIfDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.2
axrPhysStatsIfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.3
axrPhysStatsInFCs	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.4
axrPhysStatsInAborts	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.5
axrPhysStatsOverrun	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.6
axrPhysStatsUnderrun	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.7
axrPhysStatsInOddbits	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.8
axrPhysStatsInShortfrms	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.9
axrPhysStatsSendTimeout	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.10
axrPhysStatsOutAborts	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.11
axrPhysStatsInLongfrms	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.1.1.1.12
axrSonetStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3
axrSonetSectionStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1
axrSonetSectionStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1.1
axrSonetSectionStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1.1.1
axrSonetSectionStatsLOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1.1.2
axrSonetSectionStatsLOF	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1.1.3
axrSonetSectionStatsOOF	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1.1.4
axrSonetSectionStatsBIP8	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1.1.5
axrSonetSectionStatsB2EBER	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1.1.6
axrSonetSectionStatsB2SD	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.1.1.7
axrSonetLineStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2
axrSonetLineStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrSonetLineStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1.1
axrSonetLineStatsAIS	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1.2
axrSonetLineStatsRDI	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1.3
axrSonetLineStatsBIP24	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1.4
axrSonetLineStatsFEBE	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1.5
axrSonetLineStatsBIP384	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1.6
axrSonetLineStatsBIP1536	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1.7
axrSonetLineStatsREI	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.2.1.8
axrSonetPathStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3
axrSonetPathStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1
axrSonetPathStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.1
axrSonetPathStatsLOP	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.2
axrSonetPathStatsAIS	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.3
axrSonetPathStatsRDI	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.4
axrSonetPathStatsBIP8	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.5
axrSonetPathStatsFEBE	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.6
axrSonetPathStatsREI	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.7
axrSonetRDIPathStatsAISLOP	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.8
axrSonetRDIPathStatsUNEQ	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.9
axrSonetRDIPathStatsPLM	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.10
axrSonetPathStatsUNEQ	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.11
axrSonetPathStatsPLM	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.3.3.1.12
axrIfStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4
axrIfStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1
axrIfStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1
axrIfStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.1
axrIfStatsName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.2
axrIfStatsInMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.3
axrIfStatsInUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.4
axrIfStatsInMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.5
axrIfStatsInBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.6
axrIfStatsOutMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.7
axrIfStatsOutUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.8
axrIfStatsOutMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.9
axrIfStatsOutBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.10
axrIfStatsHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.4.1.1.11
axrQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6
axrEtherTxQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1
axrEtherTxQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1
axrEtherTxQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrEtherTxQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1.1.1
axrEtherTxQoSStatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1.1.2
axrEtherTxQoSStatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1.1.3
axrEtherTxQoSStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1.1.4
axrEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1.1.5
axrEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1.1.6
axrEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.1.1.7
axrEtherTxQoSStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2
axrEtherTxQoSStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1
axrEtherTxQoSStatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1.1
axrEtherTxQoSStatsQueueQueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1.2
axrEtherTxQoSStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1.3
axrEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1.4
axrEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1.5
axrEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1.6
axrEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1.7
axrEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.1.2.1.8
axrEthShaper	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4
axrEthShaperStatsFlowOtherFrmTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4.3
axrEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4.3.1
axrEthShaperStatsFlowOtherFrmNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4.3.1.1
axrEthShaperStatsFlowOtherFrmLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4.3.1.2
axrEthShaperStatsFlowOtherFrmOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4.3.1.3
axrEthShaperStatsFlowOtherFrmOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4.3.1.4
axrEthShaperStatsFlowOtherFrmDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4.3.1.5
axrEthShaperStatsFlowOtherFrmDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.4.3.1.6
axrEthShaperAgQue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5
axrEthShaperAgQueStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1
axrEthShaperAgQueStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1.1
axrEthShaperAgQueStatsNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1.1.1
axrEthShaperAgQueStatsLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1.1.2
axrEthShaperAgQueStatsAgNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1.1.3
axrEthShaperAgQueStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1.1.4
axrEthShaperAgQueStatsTotalOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1.1.5
axrEthShaperAgQueStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1.1.6
axrEthShaperAgQueStatsTotalDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.1.1.7
axrEthShaperAgQueStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2
axrEthShaperAgQueStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1
axrEthShaperAgQueStatsQueueNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1.1
axrEthShaperAgQueStatsQueueLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axrEthShaperAgQueueStatsQueueAgNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1.3
axrEthShaperAgQueueStatsQueueQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1.4
axrEthShaperAgQueueStatsQueueOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1.5
axrEthShaperAgQueueStatsQueueOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1.6
axrEthShaperAgQueueStatsQueueDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1.7
axrEthShaperAgQueueStatsQueueDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.2.1.8
axrEthShaperDefAgQueueStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.3
axrEthShaperDefAgQueueStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.3.1
axrEthShaperDefAgQueueStatsNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.3.1.1
axrEthShaperDefAgQueueStatsLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.3.1.2
axrEthShaperDefAgQueueStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.3.1.3
axrEthShaperDefAgQueueStatsTotalOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.3.1.4
axrEthShaperDefAgQueueStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.3.1.5
axrEthShaperDefAgQueueStatsTotalDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.3.1.6
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4.1
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4.1.1
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4.1.2
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4.1.3
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4.1.4
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4.1.5
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4.1.6
axrEthShaperDefAgQueueStatsQueueDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.6.5.4.1.7
axrDHCP	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.10
axrDHCPAddrValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.10.1
axrDHCPFreeAddrValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.10.2
axrIpStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.12
axrIpNullInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.12.1
axrIpv6NullInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.12.2
axrIpPimRegisterDiscards 【OP-MLT】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.1.12.3

(2) axrVpn グループ **【OP-MPLS】**

axrVpn グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-2 axrVpn グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrVpn	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2
axrVpnIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1
axrVpnIpAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1
axrVpnIpAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrVpnIpAddrVpnIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1.1.1
axrVpnIpAdEntAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1.1.2
axrVpnIpAdEntIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1.1.3
axrVpnIpAdEntNetMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1.1.4
axrVpnIpAdEntBcastAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1.1.5
axrVpnIpAdEntReasmMaxSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1.1.6
axrVpnIpAdEntDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.1.1.7
axrVpnIpNetToMediaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.2
axrVpnIpNetToMediaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.2.1
axrVpnIpNetMediaVpnIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.2.1.1
axrVpnIpNetToMediaIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.2.1.2
axrVpnIpNetToMediaPhysAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.2.1.3
axrVpnIpNetToMediaNetAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.2.1.4
axrVpnIpNetToMediaType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.2.1.5
axrVpnIpNetToMediaDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.1.2.1.6
axrVpnIpForward	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2
axrVpnIpFwNoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.1
axrVpnIpFwNoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.1.1
axrVpnIpFwNoVpnIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.1.1.1
axrVpnIpFwNo	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.1.1.2
axrVpnIpFwNoDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.1.1.3
axrVpnIpFwTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2
axrVpnIpFwEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1
axrVpnIpFwVpnIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.1
axrVpnIpFwDest	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.2
axrVpnIpFwMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.3
axrVpnIpFwPolicy	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.4
axrVpnIpFwNextHop	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.5
axrVpnIpFwIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.6
axrVpnIpFwType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.7
axrVpnIpFwProto	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.8
axrVpnIpFwAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.9
axrVpnIpFwInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.10
axrVpnIpFwNextHopAS	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.11
axrVpnIpFwMetric1	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.12
axrVpnIpFwMetric2	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.13
axrVpnIpFwMetric3	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.14
axrVpnIpFwMetric4	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.15
axrVpnIpFwMetric5	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.16
axrVpnIpFwDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.2.2.2.1.17

(3) axrMpls グループ【OP-MPLS】

axrMpls グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-3 axrMpls グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrMplsLdpMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3
axrMplsLdpObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1
axrMplsLdpLsrObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.1
axrMplsLdpLsrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.1.1
axrMplsLdpLsrLoopDetectionCapable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.1.2
axrMplsLdpEntityObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2
axrMplsLdpEntityIndexNext	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.1
axrMplsLdpEntityTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2
axrMplsLdpEntityEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1
axrMplsLdpEntityLdpId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.1
axrMplsLdpEntityIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.2
axrMplsLdpEntityProtocolVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.3
axrMplsLdpEntityAdminStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.4
axrMplsLdpEntityOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.5
axrMplsLdpEntityWellKnownTcpDiscoveryPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.6
axrMplsLdpEntityWellKnownUdpDiscoveryPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.7
axrMplsLdpEntityMaxPduLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.8
axrMplsLdpEntityKeepAliveHoldTimer	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.9
axrMplsLdpEntityHelloHoldTimer	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.10
axrMplsLdpEntityFailedInitSessionTrapEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.11
axrMplsLdpEntityFailedInitSessionThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.12
axrMplsLdpEntityLabelDistributionMethod	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.13
axrMplsLdpEntityLabelRetentionMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.14
axrMplsLdpEntityPVLimitMismatchTrapEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.15
axrMplsLdpEntityPathVectorLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.16
axrMplsLdpEntityHopCountLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.17
axrMplsLdpEntityTargetedPeer	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.18
axrMplsLdpEntityTargetedPeerAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.19
axrMplsLdpEntityTargetedPeerAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.20
axrMplsLdpEntityOptionalParameters	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.21
axrMplsLdpEntityDiscontinuityTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.22
axrMplsLdpEntityStorageType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.23
axrMplsLdpEntityRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.2.1.24
axrMplsLdpEntityGenericObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3
axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3.1
axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeMinimum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3.1.1.1
axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeMaximum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3.1.1.2
axrMplsLdpEntityConfGenericIfIndexOrZero	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3.1.1.3
axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeStorageType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3.1.1.4
axrMplsLdpEntityConfGenericLabelRangeRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.3.1.1.5
axrMplsLdpEntityAtmObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4
axrMplsLdpEntityAtmParmsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1
axrMplsLdpEntityAtmParmsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1
axrMplsLdpEntityAtmIfIndexOrZero	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.1
axrMplsLdpEntityAtmMergeCap	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.2
axrMplsLdpEntityAtmLabelRangeComponents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.3
axrMplsLdpEntityAtmVcDirectionality	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.4
axrMplsLdpEntityAtmLsrConnectivity	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.5
axrMplsLdpEntityDefaultControlVpi	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.6
axrMplsLdpEntityDefaultControlVci	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.7
axrMplsLdpEntityUnlabTrafVpi	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.8
axrMplsLdpEntityUnlabTrafVci	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.9
axrMplsLdpEntityAtmStorageType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.10
axrMplsLdpEntityAtmRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.1.1.11
axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.2
axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.2.1
axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeMinimumVpi	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.2.1.1
axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeMinimumVci	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.2.1.2
axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeMaximumVpi	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.2.1.3
axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeMaximumVci	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.2.1.4
axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeStorageType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.2.1.5
axrMplsLdpEntityConfAtmLabelRangeRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.4.2.1.6
axrMplsLdpEntityFrameRelayObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5
axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1
axrMplsLdpEntityFrameRelayParmsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1.1
axrMplsLdpEntityFrIfIndexOrZero	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1.1.1
axrMplsLdpEntityFrMergeCap	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1.1.2
axrMplsLdpEntityFrLabelRangeComponents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1.1.3
axrMplsLdpEntityFrLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1.1.4
axrMplsLdpEntityFrVcDirectionality	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1.1.5

MIB 名称	オブジェクト ID
axrMplsLdpEntityFrParmsStorageType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1.1.6
axrMplsLdpEntityFrParmsRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.1.1.7
axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.2
axrMplsLdpEntityConfFrLabelRangeEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.2.1
axrMplsLdpConfFrMinimumDlci	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.2.1.1
axrMplsLdpConfFrMaximumDlci	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.2.1.2
axrMplsLdpConfFrStorageType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.2.1.3
axrMplsLdpConfFrRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.5.2.1.4
axrMplsLdpEntityStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6
axrMplsLdpEntityStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1
axrMplsLdpAttemptedSessions	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.1
axrMplsLdpSessionRejectedNoHelloErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.2
axrMplsLdpSessionRejectedAdvertisementErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.3
axrMplsLdpSessionRejectedMaxPduErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.4
axrMplsLdpSessionRejectedLabelRangeErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.5
axrMplsLdpBadLdpIdentifierErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.6
axrMplsLdpBadPduLengthErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.7
axrMplsLdpBadMessageLengthErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.8
axrMplsLdpBadTlvLengthErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.9
axrMplsLdpMalformedTlvValueErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.10
axrMplsLdpKeepAliveTimerExpiredErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.11
axrMplsLdpShutdownNotifReceived	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.12
axrMplsLdpShutdownNotifSent	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.2.6.1.13
axrMplsLdpSessionObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3
axrMplsLdpPeerTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.1
axrMplsLdpPeerEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.1.1
axrMplsLdpPeerLdpId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.1.1.1
axrMplsLdpPeerLabelDistributionMethod	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.1.1.2
axrMplsLdpPeerLoopDetectionForPV	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.1.1.3
axrMplsLdpPeerPathVectorLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.1.1.4
axrMplsLdpHelloAdjacencyObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.2
axrMplsLdpHelloAdjacencyTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.2.1
axrMplsLdpHelloAdjacencyEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.2.1.1
axrMplsLdpHelloAdjacencyIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.2.1.1.1
axrMplsLdpHelloAdjacencyHoldTimeRemaining	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.2.1.1.2
axrMplsLdpHelloAdjacencyType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.2.1.1.3
axrMplsLdpSessionUpDownTrapEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.3
axrMplsLdpSessionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.4
axrMplsLdpSessionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.4.1
axrMplsLdpSessionState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.4.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrMplsLdpSessionProtocolVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.4.1.2
axrMplsLdpSessionKeepAliveHoldTimeRemaining	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.4.1.3
axrMplsLdpSessionMaxPduLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.4.1.4
axrMplsLdpSessionDiscontinuityTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.4.1.5
axrMplsLdpAtmSessionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.5
axrMplsLdpAtmSessionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.5.1
axrMplsLdpSessionAtmLabelRangeLowerBoundVp i	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.5.1.1
axrMplsLdpSessionAtmLabelRangeLowerBoundVc i	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.5.1.2
axrMplsLdpSessionAtmLabelRangeUpperBoundVp i	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.5.1.3
axrMplsLdpSessionAtmLabelRangeUpperBoundVc i	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.5.1.4
axrMplsLdpFrameRelaySessionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.6
axrMplsLdpFrameRelaySessionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.6.1
axrMplsLdpFrSessionMinDlci	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.6.1.1
axrMplsLdpFrSessionMaxDlci	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.6.1.2
axrMplsLdpFrSessionLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.6.1.3
axrMplsLdpSessionStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.7
axrMplsLdpSessionStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.7.1
axrMplsLdpSessionStatsUnknownMessageTypeErr ors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.7.1.1
axrMplsLdpSessionStatsUnknownTlvErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.7.1.2
axrMplsFecObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8
axrMplsFecIndexNext	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.1
axrMplsFecTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2
axrMplsFecEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2.1
axrMplsFecIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2.1.1
axrMplsFecType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2.1.2
axrMplsFecAddressLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2.1.3
axrMplsFecAddressFamily	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2.1.4
axrMplsFecAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2.1.5
axrMplsFecStorageType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2.1.6
axrMplsFecRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.8.2.1.7
axrMplsLdpSessionInLabelMapTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.9
axrMplsLdpSessionInLabelMapEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.9.1
axrMplsLdpSessionInLabelIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.9.1.1
axrMplsLdpSessionInLabel	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.9.1.2
axrMplsLdpSessionInLabelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.9.1.3
axrMplsLdpSessionInLabelConnectionType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.9.1.4
axrMplsLdpSessionOutLabelMapTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.10

MIB 名称	オブジェクト ID
axrMplsLdpSessionOutLabelMapEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.10.1
axrMplsLdpSessionOutLabelIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.10.1.1
axrMplsLdpSessionOutLabel	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.10.1.2
axrMplsLdpSessionOutLabelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.10.1.3
axrMplsLdpSessionOutLabelConnectionType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.10.1.4
axrMplsLdpSessionOutSegmentIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.10.1.5
axrMplsLdpSessionXCMapTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.11
axrMplsLdpSessionXCMapEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.11.1
axrMplsLdpSessionXCIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.11.1.1
axrMplsXCsfecsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.13
axrMplsXCsfecsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.13.1
axrMplsXCfecOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.13.1.1
axrMplsXCfecOperStatusLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.13.1.2
axrMplsLdpSessionPeerAddressTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.12
axrMplsLdpSessionPeerAddressEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.12.1
axrMplsLdpSessionPeerAddressIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.12.1.1
axrMplsLdpSessionPeerNextHopAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.12.1.2
axrMplsLdpSessionPeerNextHopAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.3.1.3.12.1.3

(4) axrOadp グループ

axrOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-4 axrOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOadp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7
axrOadpMIBObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1
axrOadpGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1
axrOadpGlobalActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1.1
axrOadpGlobalCdpActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1.2
axrOadpGlobalMessageInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1.3
axrOadpGlobalHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1.4
axrOadpGlobalCacheLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1.5
axrOadpGlobalName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1.6
axrOadpGlobalNameType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.1.7
axrOadpPortInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.2
axrOadpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.2.1
axrOadpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.2.1.1
axrOadpPortConfigIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.2.1.1.1
axrOadpPortConfigActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.2.1.1.2
axrOadpNeighborInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOadpNeighborTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1
axrOadpNeighborEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1
axrOadpIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.1
axrOadpTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.2
axrOadpNeighborIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.3
axrOadpNeighborTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.4
axrOadpNeighborVendorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.5
axrOadpNeighborSNMPAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.6
axrOadpNeighborSNMPAgentAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.7
axrOadpNeighborDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.8
axrOadpNeighborDeviceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.9
axrOadpNeighborSlotPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.10
axrOadpNeighborIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.11
axrOadpNeighborIfSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.12
axrOadpNeighborDeviceType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.13
axrOadpNeighborService	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.14
axrOadpNeighborVTPMgmtDomain	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.15
axrOadpNeighborNativeVLAN	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.16
axrOadpNeighborDuplex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.17
axrOadpNeighborApplianceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.18
axrOadpNeighborVlanID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.19
axrOadpNeighborPowerConsumption	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.20
axrOadpNeighborMTU	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.21
axrOadpNeighborSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.22
axrOadpNeighborSysObjectID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.23
axrOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.24
axrOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.25
axrOadpNeighborPhysLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.26
axrOadpNeighborCacheLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.27
axrOadpNeighborIfHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.7.1.3.1.1.28

(5) axrFlow グループ

axrFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-5 axrFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlow	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8
axrFlowResources	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2
axrFlowResourcesSystemUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.1
axrFlowResourcesSystemFree	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowResourcesSystemMax	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.3
axrFlowResourcesSystemNetflowUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.4
axrFlowResourcesSystemPolicyUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.5
axrFlowResourcesSystemPolicyMax	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.6
axrFlowResourcesTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7
axrFlowResourcesEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1
axrFlowResourcesIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.1
axrFlowResourcesFilterUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.2
axrFlowResourcesFilterFree	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.3
axrFlowResourcesQosUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.4
axrFlowResourcesNetflowUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.5
axrFlowResourcesQosFree	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.6
axrFlowResourcesUpcUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.7
axrFlowResourcesUpcFree	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.8
axrFlowResourcesPolicyUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.9
axrFlowResourcesPolicyMplsUsed 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.7.1.10
axrFlowResourcesFilterInterfaceInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.8
axrFlowResourcesFilterInterfaceInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.8.1
axrFlowResourcesFilterInterfaceInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.8.1.1
axrFlowResourcesFilterInterfaceifInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.8.1.2
axrFlowResourcesFilterInterfaceInUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.8.1.3
axrFlowResourcesFilterInterfaceOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.9
axrFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.9.1
axrFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.9.1.1
axrFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.9.1.2
axrFlowResourcesFilterInterfaceOutUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.9.1.3
axrFlowResourcesQosInterfaceInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.10
axrFlowResourcesQosInterfaceInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.10.1
axrFlowResourcesQosInterfaceInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.10.1.1
axrFlowResourcesQosInterfaceInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.10.1.2
axrFlowResourcesQosInterfaceInUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.10.1.3
axrFlowResourcesQosInterfaceOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.11
axrFlowResourcesQosInterfaceOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.11.1
axrFlowResourcesQosInterfaceOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.11.1.1
axrFlowResourcesQosInterfaceOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.11.1.2
axrFlowResourcesQosInterfaceOutUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.11.1.3
axrFlowResourcesFilterListInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.12
axrFlowResourcesFilterListInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.12.1
axrFlowResourcesFilterListInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.12.1.1
axrFlowResourcesFilterListInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.12.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowResourcesFilterListInNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.12.1.3
axrFlowResourcesFilterListInUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.12.1.4
axrFlowResourcesFilterListOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.13
axrFlowResourcesFilterListOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.13.1
axrFlowResourcesFilterListOutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.13.1.1
axrFlowResourcesFilterListOutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.13.1.2
axrFlowResourcesFilterListOutNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.13.1.3
axrFlowResourcesFilterListOutUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.13.1.4
axrFlowResourcesQosListInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.14
axrFlowResourcesQosListInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.14.1
axrFlowResourcesQosListInIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.14.1.1
axrFlowResourcesQosListInIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.14.1.2
axrFlowResourcesQosListInNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.14.1.3
axrFlowResourcesQosListInUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.14.1.4
axrFlowResourcesQosListOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.15
axrFlowResourcesQosListOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.15.1
axrFlowResourcesQosListOutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.15.1.1
axrFlowResourcesQosListOutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.15.1.2
axrFlowResourcesQosListOutNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.15.1.3
axrFlowResourcesQosListOutUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.15.1.4
axrFlowResourcesSystemPolicyMplsUsed 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.16
axrFlowResourcesSystemPolicyMplsMax 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.2.17
axrFlowFilter	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3
axrFlowFilterInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1
axrFlowFilterInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1
axrFlowFilterInIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.1
axrFlowFilterInIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.2
axrFlowFilterInListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.3
axrFlowFilterInSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.4
axrFlowFilterInSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.5
axrFlowFilterInSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.6
axrFlowFilterInDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.7
axrFlowFilterInDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.8
axrFlowFilterInDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.9
axrFlowFilterInEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.10
axrFlowFilterInUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.11
axrFlowFilterInLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.12
axrFlowFilterInHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.13
axrFlowFilterInProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.14
axrFlowFilterInIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.15

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowFilterInSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.16
axrFlowFilterInSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.17
axrFlowFilterInSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.18
axrFlowFilterInSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.19
axrFlowFilterInDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.20
axrFlowFilterInDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.21
axrFlowFilterInDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.22
axrFlowFilterInDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.23
axrFlowFilterInDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.24
axrFlowFilterInPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.25
axrFlowFilterInUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.26
axrFlowFilterInLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.27
axrFlowFilterInFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.28
axrFlowFilterInSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.29
axrFlowFilterInSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.30
axrFlowFilterInSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.31
axrFlowFilterInDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.32
axrFlowFilterInDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.33
axrFlowFilterInDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.34
axrFlowFilterInAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.35
axrFlowFilterInSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.36
axrFlowFilterInIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.37
axrFlowFilterInIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.38
axrFlowFilterInIgmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.39
axrFlowFilterInLabelOp [OP-MPLS]	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.40
axrFlowFilterInLabel [OP-MPLS]	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.41
axrFlowFilterInExp [OP-MPLS]	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.1.1.42
axrFlowFilterOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2
axrFlowFilterOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1
axrFlowFilterOutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.1
axrFlowFilterOutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.2
axrFlowFilterOutListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.3
axrFlowFilterOutSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.4
axrFlowFilterOutSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.5
axrFlowFilterOutSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.6
axrFlowFilterOutDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.7
axrFlowFilterOutDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.8
axrFlowFilterOutDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.9
axrFlowFilterOutEthernetType}	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.10
axrFlowFilterOutUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.11

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowFilterOutLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.12
axrFlowFilterOutHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.13
axrFlowFilterOutProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.14
axrFlowFilterOutIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.15
axrFlowFilterOutSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.16
axrFlowFilterOutSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.17
axrFlowFilterOutSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.18
axrFlowFilterOutSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.19
axrFlowFilterOutDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.20
axrFlowFilterOutDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.21
axrFlowFilterOutDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.22
axrFlowFilterOutDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.23
axrFlowFilterOutDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.24
axrFlowFilterOutPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.25
axrFlowFilterOutUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.26
axrFlowFilterOutLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.27
axrFlowFilterOutFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.28
axrFlowFilterOutSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.29
axrFlowFilterOutSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.30
axrFlowFilterOutSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.31
axrFlowFilterOutDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.32
axrFlowFilterOutDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.33
axrFlowFilterOutDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.34
axrFlowFilterOutAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.35
axrFlowFilterOutSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.36
axrFlowFilterOutIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.37
axrFlowFilterOutIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.38
axrFlowFilterOutIgmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.39
axrFlowFilterOutLabelOp [OP-MPLS]	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.40
axrFlowFilterOutLabel [OP-MPLS]	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.41
axrFlowFilterOutExp [OP-MPLS]	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.2.1.42
axrFlowFilterInActTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.3
axrFlowFilterInActEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.3.1
axrFlowFilterInActifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.3.1.1
axrFlowFilterInActifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.3.1.2
axrFlowFilterInActListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.3.1.3
axrFlowFilterInActInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.3.1.4
axrFlowFilterOutActTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.4
axrFlowFilterOutActEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.4.1
axrFlowFilterOutActifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.4.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowFilterOutActifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.4.1.2
axrFlowFilterOutActListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.4.1.3
axrFlowFilterOutActInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.3.4.1.4
axrFlowFilterStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4
axrFlowFilterStatsInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1
axrFlowFilterStatsInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1.1
axrFlowFilterStatsInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1.1.1
axrFlowFilterStatsInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1.1.2
axrFlowFilterStatsInListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1.1.3
axrFlowFilterStatsInDropPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1.1.4
axrFlowFilterStatsInForwardPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1.1.5
axrFlowFilterStatsInPolicyRoutedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1.1.6
axrFlowFilterStatsInPolicyMplsRoutedPackets 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.1.1.10
axrFlowFilterStatsOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.2
axrFlowFilterStatsOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.2.1
axrFlowFilterStatsOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.2.1.1
axrFlowFilterStatsOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.2.1.2
axrFlowFilterStatsOutListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.2.1.3
axrFlowFilterStatsOutDropPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.2.1.4
axrFlowFilterStatsOutForwardPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.4.2.1.5
axrFlowQos	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5
axrFlowQosInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1
axrFlowQosInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1
axrFlowQosInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.1
axrFlowQosInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.2
axrFlowQosInListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.3
axrFlowQosInSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.4
axrFlowQosInSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.5
axrFlowQosInSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.6
axrFlowQosInDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.7
axrFlowQosInDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.8
axrFlowQosInDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.9
axrFlowQosInEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.10
axrFlowQosInUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.11
axrFlowQosInLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.12
axrFlowQosInHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.13
axrFlowQosInProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.14
axrFlowQosInIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.15
axrFlowQosInSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.16
axrFlowQosInSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.17

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowQosInSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.18
axrFlowQosInSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.19
axrFlowQosInDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.20
axrFlowQosInDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.21
axrFlowQosInDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.22
axrFlowQosInDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.23
axrFlowQosInDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.24
axrFlowQosInPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.25
axrFlowQosInUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.26
axrFlowQosInLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.27
axrFlowQosInFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.28
axrFlowQosInSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.29
axrFlowQosInSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.30
axrFlowQosInSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.31
axrFlowQosInDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.32
axrFlowQosInDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.33
axrFlowQosInDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.34
axrFlowQosInAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.35
axrFlowQosInSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.36
axrFlowQosInIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.37
axrFlowQosInIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.38
axrFlowQosInIgmptype	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.39
axrFlowQosInLabelOp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.40
axrFlowQosInLabel 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.41
axrFlowQosInExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.1.1.42
axrFlowQosInPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2
axrFlowQosInPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1
axrFlowQosInPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.1
axrFlowQosInPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.2
axrFlowQosInPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.3
axrFlowQosInPremSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.4
axrFlowQosInPremSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.5
axrFlowQosInPremSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.6
axrFlowQosInPremDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.7
axrFlowQosInPremDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.8
axrFlowQosInPremDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.9
axrFlowQosInPremEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.10
axrFlowQosInPremUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.11
axrFlowQosInPremLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.12
axrFlowQosInPremHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.13

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowQosInPremProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.14
axrFlowQosInPremIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.15
axrFlowQosInPremSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.16
axrFlowQosInPremSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.17
axrFlowQosInPremSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.18
axrFlowQosInPremSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.19
axrFlowQosInPremDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.20
axrFlowQosInPremDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.21
axrFlowQosInPremDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.22
axrFlowQosInPremDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.23
axrFlowQosInPremDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.24
axrFlowQosInPremPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.25
axrFlowQosInPremUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.26
axrFlowQosInPremLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.27
axrFlowQosInPremFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.28
axrFlowQosInPremSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.29
axrFlowQosInPremSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.30
axrFlowQosInPremSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.31
axrFlowQosInPremDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.32
axrFlowQosInPremDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.33
axrFlowQosInPremDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.34
axrFlowQosInPremAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.35
axrFlowQosInPremSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.36
axrFlowQosInPremIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.37
axrFlowQosInPremIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.38
axrFlowQosInPremIgmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.39
axrFlowQosInPremLabelOp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.40
axrFlowQosInPremLabel 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.41
axrFlowQosInPremExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.2.1.42
axrFlowQosOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3
axrFlowQosOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1
axrFlowQosOutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.1
axrFlowQosOutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.2
axrFlowQosOutListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.3
axrFlowQosOutSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.4
axrFlowQosOutSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.5
axrFlowQosOutSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.6
axrFlowQosOutDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.7
axrFlowQosOutDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.8
axrFlowQosOutDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.9

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowQosOutEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.10
axrFlowQosOutUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.11
axrFlowQosOutLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.12
axrFlowQosOutHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.13
axrFlowQosOutProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.14
axrFlowQosOutIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.15
axrFlowQosOutSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.16
axrFlowQosOutSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.17
axrFlowQosOutSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.18
axrFlowQosOutSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.19
axrFlowQosOutDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.20
axrFlowQosOutDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.21
axrFlowQosOutDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.22
axrFlowQosOutDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.23
axrFlowQosOutDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.24
axrFlowQosOutPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.25
axrFlowQosOutUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.26
axrFlowQosOutLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.27
axrFlowQosOutFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.28
axrFlowQosOutSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.29
axrFlowQosOutSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.30
axrFlowQosOutSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.31
axrFlowQosOutDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.32
axrFlowQosOutDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.33
axrFlowQosOutDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.34
axrFlowQosOutAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.35
axrFlowQosOutSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.36
axrFlowQosOutIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.37
axrFlowQosOutIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.38
axrFlowQosOutIgmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.39
axrFlowQosOutLabelOp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.40
axrFlowQosOutLabel 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.41
axrFlowQosOutExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.3.1.42
axrFlowQosOutPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4
axrFlowQosOutPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1
axrFlowQosOutPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.1
axrFlowQosOutPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.2
axrFlowQosOutPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.3
axrFlowQosOutPremSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.4
axrFlowQosOutPremSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.5

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowQosOutPremSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.6
axrFlowQosOutPremDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.7
axrFlowQosOutPremDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.8
axrFlowQosOutPremDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.9
axrFlowQosOutPremEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.10
axrFlowQosOutPremUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.11
axrFlowQosOutPremLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.12
axrFlowQosOutPremHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.13
axrFlowQosOutPremProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.14
axrFlowQosOutPremIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.15
axrFlowQosOutPremSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.16
axrFlowQosOutPremSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.17
axrFlowQosOutPremSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.18
axrFlowQosOutPremSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.19
axrFlowQosOutPremDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.20
axrFlowQosOutPremDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.21
axrFlowQosOutPremDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.22
axrFlowQosOutPremDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.23
axrFlowQosOutPremDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.24
axrFlowQosOutPremPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.25
axrFlowQosOutPremUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.26
axrFlowQosOutPremLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.27
axrFlowQosOutPremFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.28
axrFlowQosOutPremSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.29
axrFlowQosOutPremSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.30
axrFlowQosOutPremSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.31
axrFlowQosOutPremDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.32
axrFlowQosOutPremDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.33
axrFlowQosOutPremDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.34
axrFlowQosOutPremAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.35
axrFlowQosOutPremSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.36
axrFlowQosOutPremIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.37
axrFlowQosOutPremIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.38
axrFlowQosOutPremIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.39
axrFlowQosOutPremLabelOp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.40
axrFlowQosOutPremLabel 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.41
axrFlowQosOutPremExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.4.1.42
axrFlowQosInActTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5
axrFlowQosInActEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1
axrFlowQosInActIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowQosInActIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.2
axrFlowQosInActListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.3
axrFlowQosInActMaxRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.4
axrFlowQosInActMaxRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.5
axrFlowQosInActMaxUpcRedMinBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.6
axrFlowQosInActMaxUpcRedMaxBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.7
axrFlowQosInActMaxUpcRedProbability	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.8
axrFlowQosInActMinRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.9
axrFlowQosInActMinRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.10
axrFlowQosInActMinUpcRedMinBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.11
axrFlowQosInActMinUpcRedMaxBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.12
axrFlowQosInActMinUpcRedProbability	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.13
axrFlowQosInActAgQueueOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.14
axrFlowQosInActAgQueue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.15
axrFlowQosInActPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.16
axrFlowQosInActMaxUnderPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.17
axrFlowQosInActMinOverPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.18
axrFlowQosInActMinUnderPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.19
axrFlowQosInActDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.20
axrFlowQosInActMaxUnderDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.21
axrFlowQosInActMinOverDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.22
axrFlowQosInActMinUnderDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.23
axrFlowQosInActDscpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.24
axrFlowQosInActDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.25
axrFlowQosInActMaxUnderDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.26
axrFlowQosInActMinOverDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.27
axrFlowQosInActMinUnderDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.28
axrFlowQosInActUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.29
axrFlowQosInActMaxUnderUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.30
axrFlowQosInActMinOverUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.31
axrFlowQosInActMinUnderUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.32
axrFlowQosInActExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.33
axrFlowQosInActMaxUnderExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.34
axrFlowQosInActMinOverExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.35
axrFlowQosInActMinUnderExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.5.1.36
axrFlowQosInActPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.6
axrFlowQosInActPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.6.1
axrFlowQosInActPremIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.6.1.1
axrFlowQosInActPremIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.6.1.2
axrFlowQosInActPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.6.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowQosInActPremMaxRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.6.1.4
axrFlowQosInActPremMinRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.6.1.5
axrFlowQosOutActTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7
axrFlowQosOutActEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1
axrFlowQosOutActifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.1
axrFlowQosOutActifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.2
axrFlowQosOutActListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.3
axrFlowQosOutActMaxRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.4
axrFlowQosOutActMaxRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.5
axrFlowQosOutActMaxUpcRedMinBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.6
axrFlowQosOutActMaxUpcRedMaxBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.7
axrFlowQosOutActMaxUpcRedProbability	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.8
axrFlowQosOutActMinRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.9
axrFlowQosOutActMinRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.10
axrFlowQosOutActMinUpcRedMinBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.11
axrFlowQosOutActMinUpcRedMaxBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.12
axrFlowQosOutActMinUpcRedProbability	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.13
axrFlowQosOutActAgQueueOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.14
axrFlowQosOutActAgQueue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.15
axrFlowQosOutActPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.16
axrFlowQosOutActMaxUnderPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.17
axrFlowQosOutActMinOverPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.18
axrFlowQosOutActMinUnderPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.19
axrFlowQosOutActDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.20
axrFlowQosOutActMaxUnderDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.21
axrFlowQosOutActMinOverDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.22
axrFlowQosOutActMinUnderDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.23
axrFlowQosOutActDscpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.24
axrFlowQosOutActDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.25
axrFlowQosOutActMaxUnderDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.26
axrFlowQosOutActMinOverDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.27
axrFlowQosOutActMinUnderDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.28
axrFlowQosOutActUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.29
axrFlowQosOutActMaxUnderUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.30
axrFlowQosOutActMinOverUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.31
axrFlowQosOutActMinUnderUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.32
axrFlowQosOutActExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.33
axrFlowQosOutActMaxUnderExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.34
axrFlowQosOutActMinOverExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.35
axrFlowQosOutActMinUnderExp 【OP-MPLS】	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.7.1.36

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowQosOutActPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.8
axrFlowQosOutActPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.8.1
axrFlowQosOutActPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.8.1.1
axrFlowQosOutActPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.8.1.2
axrFlowQosOutActPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.8.1.3
axrFlowQosOutActPremMaxRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.8.1.4
axrFlowQosOutActPremMinRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.5.8.1.5
axrFlowQosStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6
axrFlowQosStatsInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1
axrFlowQosStatsInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1
axrFlowQosStatsInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1.1
axrFlowQosStatsInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1.2
axrFlowQosStatsInListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1.3
axrFlowQosStatsInHitPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1.4
axrFlowQosStatsInMaxOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1.5
axrFlowQosStatsInMaxUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1.6
axrFlowQosStatsInMinOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1.7
axrFlowQosStatsInMinUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.1.1.8
axrFlowQosStatsInPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2
axrFlowQosStatsInPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2.1
axrFlowQosStatsInPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2.1.1
axrFlowQosStatsInPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2.1.2
axrFlowQosStatsInPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2.1.3
axrFlowQosStatsInPremMaxOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2.1.4
axrFlowQosStatsInPremMaxUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2.1.5
axrFlowQosStatsInPremMinOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2.1.6
axrFlowQosStatsInPremMinUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.2.1.7
axrFlowQosStatsOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3
axrFlowQosStatsOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1
axrFlowQosStatsOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1.1
axrFlowQosStatsOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1.2
axrFlowQosStatsOutListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1.3
axrFlowQosStatsOutHitPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1.4
axrFlowQosStatsOutMaxOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1.5
axrFlowQosStatsOutMaxUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1.6
axrFlowQosStatsOutMinOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1.7
axrFlowQosStatsOutMinUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.3.1.8
axrFlowQosStatsOutPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4
axrFlowQosStatsOutPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4.1
axrFlowQosStatsOutPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrFlowQosStatsOutPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4.1.2
axrFlowQosStatsOutPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4.1.3
axrFlowQosStatsOutPremMaxOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4.1.4
axrFlowQosStatsOutPremMaxUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4.1.5
axrFlowQosStatsOutPremMinOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4.1.6
axrFlowQosStatsOutPremMinUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.8.6.4.1.7

(6) axrOspf グループ

axrOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-6 axrOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspf	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14
axrOspfGeneralTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1
axrOspfGeneralEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1
axrOspfGeneralDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.1
axrOspfRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.2
axrOspfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.3
axrOspfVersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.4
axrOspfAreaBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.5
axrOspfASBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.6
axrOspfExternLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.7
axrOspfExternLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.8
axrOspfTOSSupport	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.9
axrOspfOriginateNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.10
axrOspfRxNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.11
axrOspfExtLsdbLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.12
axrOspfMulticastExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.1.1.13
axrOspfAreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2
axrOspfAreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1
axrOspfAreaDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.1
axrOspfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.2
axrOspfAuthType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.3
axrOspfImportAsExtern	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.4
axrOspfSpfRuns	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.5
axrOspfAreaBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.6
axrOspfAsBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.7
axrOspfAreaLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.8
axrOspfAreaLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.9
axrOspfAreaSummary	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.10

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspfAreaStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.2.1.11
axrOspfStubAreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3
axrOspfStubAreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3.1
axrOspfStubDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3.1.1
axrOspfStubAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3.1.2
axrOspfStubTOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3.1.3
axrOspfStubMetric	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3.1.4
axrOspfStubStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3.1.5
axrOspfStubMetricType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.3.1.6
axrOspfLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4
axrOspfLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1
axrOspfLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.1
axrOspfLsdbAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.2
axrOspfLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.3
axrOspfLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.4
axrOspfLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.5
axrOspfLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.6
axrOspfLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.7
axrOspfLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.8
axrOspfLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.4.1.9
axrOspfAreaRangeTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5
axrOspfAreaRangeEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5.1
axrOspfAreaRangeDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5.1.1
axrOspfAreaRangeAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5.1.2
axrOspfAreaRangeNet	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5.1.3
axrOspfAreaRangeMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5.1.4
axrOspfAreaRangeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5.1.5
axrOspfAreaRangeEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.5.1.6
axrOspfIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7
axrOspfIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1
axrOspfIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.1
axrOspfIfIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.2
axrOspfAddressLessIf	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.3
axrOspfIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.4
axrOspfIfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.5
axrOspfIfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.6
axrOspfIfRtrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.7
axrOspfIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.8
axrOspfIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.9
axrOspfIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.10

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspfIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.11
axrOspfIfPollInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.12
axrOspfIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.13
axrOspfIfDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.14
axrOspfIfBackupDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.15
axrOspfIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.16
axrOspfIfAuthKey	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.17
axrOspfIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.18
axrOspfIfMulticastForwarding	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.7.1.19
axrOspfIfMetricTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8
axrOspfIfMetricEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8.1
axrOspfIfMetricDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8.1.1
axrOspfIfMetricIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8.1.2
axrOspfIfMetricAddressLessIf	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8.1.3
axrOspfIfMetricTOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8.1.4
axrOspfIfMetricValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8.1.5
axrOspfIfMetricStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.8.1.6
axrOspfVirtIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9
axrOspfVirtIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1
axrOspfVirtIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.1
axrOspfVirtIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.2
axrOspfVirtIfNeighbor	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.3
axrOspfVirtIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.4
axrOspfVirtIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.5
axrOspfVirtIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.6
axrOspfVirtIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.7
axrOspfVirtIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.8
axrOspfVirtIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.9
axrOspfVirtIfAuthKey	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.10
axrOspfVirtIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.9.1.11
axrOspfNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10
axrOspfNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1
axrOspfNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.1
axrOspfNbrIpAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.2
axrOspfNbrAddressLessIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.3
axrOspfNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.4
axrOspfNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.5
axrOspfNbrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.6
axrOspfNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.7
axrOspfNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.8

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspfNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.9
axrOspfNbmaNbrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.10
axrOspfNbmaNbrPermanence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.10.1.11
axrOspfVirtNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11
axrOspfVirtNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1
axrOspfVirtNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1.1
axrOspfVirtNbrArea	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1.2
axrOspfVirtNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1.3
axrOspfVirtNbrIpAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1.4
axrOspfVirtNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1.5
axrOspfVirtNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1.6
axrOspfVirtNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1.7
axrOspfVirtNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.11.1.8
axrOspfExtLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12
axrOspfExtLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1
axrOspfExtLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1.1
axrOspfExtLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1.2
axrOspfExtLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1.3
axrOspfExtLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1.4
axrOspfExtLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1.5
axrOspfExtLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1.6
axrOspfExtLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1.7
axrOspfExtLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.12.1.8
axrOspfAreaAggregateTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14
axrOspfAreaAggregateEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14.1
axrOspfAreaAggregateDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14.1.1
axrOspfAreaAggregateAreaID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14.1.2
axrOspfAreaAggregateLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14.1.3
axrOspfAreaAggregateNet	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14.1.4
axrOspfAreaAggregateMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14.1.5
axrOspfAreaAggregateStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14.1.6
axrOspfAreaAggregateEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.14.1.7
axrOspfTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16
axrOspfTrapControlTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.1
axrOspfTrapControlEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.1.1
axrOspfTrapDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.1.1.1
axrOspfSetTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.1.1.2
axrOspfConfigErrorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.1.1.3
axrOspfPacketType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.1.1.4
axrOspfPacketSrc	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.1.1.5

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspfTraps	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.14.16.2

(7) axrOspfv3MIB グループ

axrOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-7 axrOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspfv3	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15
axrOspfv3GeneralTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1
axrOspfv3GeneralEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1
axrOspfv3GeneralDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.1
axrOspfv3RouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.2
axrOspfv3AdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.3
axrOspfv3VersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.4
axrOspfv3AreaBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.5
axrOspfv3ASBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.6
axrOspfv3AsScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.7
axrOspfv3AsScopeLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.8
axrOspfv3OriginateNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.9
axrOspfv3RxNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.10
axrOspfv3ExtAreaLsdbLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.11
axrOspfv3MulticastExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.12
axrOspfv3DemandExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.14
axrOspfv3TrafficEngineeringSupport	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.1.1.15
axrOspfv3AreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2
axrOspfv3AreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1
axrOspfv3AreaDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.1
axrOspfv3AreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.2
axrOspfv3ImportAsExtern	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.3
axrOspfv3SpfRuns	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.4
axrOspfv3AreaBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.5
axrOspfv3AsBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.6
axrOspfv3AreaScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.7
axrOspfv3AreaScopeLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.8
axrOspfv3AreaSummary	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.9
axrOspfv3AreaStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.10
axrOspfv3StubMetric	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.2.1.11
axrOspfv3AsLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3
axrOspfv3AsLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1
axrOspfv3AsLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspfV3AsLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1.2
axrOspfV3AsLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1.3
axrOspfV3AsLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1.4
axrOspfV3AsLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1.5
axrOspfV3AsLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1.6
axrOspfV3AsLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1.7
axrOspfV3AsLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.3.1.8
axrOspfV3AreaLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4
axrOspfV3AreaLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1
axrOspfV3AreaLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.1
axrOspfV3AreaLsdbAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.2
axrOspfV3AreaLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.3
axrOspfV3AreaLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.4
axrOspfV3AreaLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.5
axrOspfV3AreaLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.6
axrOspfV3AreaLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.7
axrOspfV3AreaLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.8
axrOspfV3AreaLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.4.1.9
axrOspfV3LinkLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5
axrOspfV3LinkLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1
axrOspfV3LinkLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.1
axrOspfV3LinkLsdbIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.2
axrOspfV3LinkLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.3
axrOspfV3LinkLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.4
axrOspfV3LinkLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.5
axrOspfV3LinkLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.6
axrOspfV3LinkLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.7
axrOspfV3LinkLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.8
axrOspfV3LinkLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.5.1.9
axrOspfV3IfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7
axrOspfV3IfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1
axrOspfV3IfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.1
axrOspfV3IfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.2
axrOspfV3IfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.3
axrOspfV3IfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.4
axrOspfV3IfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.5
axrOspfV3IfRtrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.6
axrOspfV3IfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.7
axrOspfV3IfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.8
axrOspfV3IfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.9

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspfV3IfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.10
axrOspfV3IfPollInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.11
axrOspfV3IfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.12
axrOspfV3IfDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.13
axrOspfV3IfBackupDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.15
axrOspfV3IfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.16
axrOspfV3IfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.18
axrOspfV3IfMulticastForwarding	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.19
axrOspfV3IfDemand	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.20
axrOspfV3IfMetricValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.21
axrOspfV3IfLinkScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.22
axrOspfV3IfLinkLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.23
axrOspfV3IfInstId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.7.1.24
axrOspfV3VirtIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8
axrOspfV3VirtIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1
axrOspfV3VirtIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.1
axrOspfV3VirtIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.2
axrOspfV3VirtIfNeighbor	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.3
axrOspfV3VirtIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.4
axrOspfV3VirtIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.5
axrOspfV3VirtIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.6
axrOspfV3VirtIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.7
axrOspfV3VirtIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.8
axrOspfV3VirtIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.9
axrOspfV3VirtIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.10
axrOspfV3VirtIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.11
axrOspfV3VirtIfLinkScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.12
axrOspfV3VirtIfLinkLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.8.1.13
axrOspfV3NbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9
axrOspfV3NbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1
axrOspfV3NbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.1
axrOspfV3NbrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.2
axrOspfV3NbrIpv6Addr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.3
axrOspfV3NbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.4
axrOspfV3NbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.5
axrOspfV3NbrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.6
axrOspfV3NbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.7
axrOspfV3NbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.8
axrOspfV3NbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.9
axrOspfV3NbrHelloSuppressed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.12

MIB 名称	オブジェクト ID
axrOspf3NbrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.9.1.13
axrOspf3VirtNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10
axrOspf3VirtNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1
axrOspf3VirtNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.1
axrOspf3VirtNbrArea	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.2
axrOspf3VirtNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.3
axrOspf3VirtNbrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.4
axrOspf3VirtNbrIpv6Addr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.5
axrOspf3VirtNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.6
axrOspf3VirtNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.7
axrOspf3VirtNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.8
axrOspf3VirtNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.9
axrOspf3VirtNbrHelloSuppressed	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.10
axrOspf3VirtNbrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.10.1.11
axrOspf3AreaAggregateTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11
axrOspf3AreaAggregateEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1
axrOspf3AreaAggregateDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1.1
axrOspf3AreaAggregateAreaID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1.2
axrOspf3AreaAggregateAreaLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1.3
axrOspf3AreaAggregateIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1.4
axrOspf3AreaAggregatePrefix	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1.5
axrOspf3AreaAggregatePrefixLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1.6
axrOspf3AreaAggregateStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1.7
axrOspf3AreaAggregateEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.15.11.1.8

(8) axrIisMIB グループ【OP-ISIS】

axrIisMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-8 axrIisMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrIisMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37
axrIisObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1
axrIisSystem	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.1
axrIisSysTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.1.1
axrIisSysEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.1.1.1
axrIisSysInstance	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.1.1.1.1
axrIisSysLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.2
axrIisSysLevelTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.2.1
axrIisSysLevelEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.2.1.1
axrIisSysLevelIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.2.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axrIsisCirc	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.3
axrIsisCircTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.3.1
axrIsisCircEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.3.1.1
axrIsisCircIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.3.1.1.1
axrIsisNotification	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.10
axrIsisNotificationTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.10.1
axrIsisNotificationEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.10.1.1
axrIsisPduLspId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.10.1.1.1
axrIsisAdjState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.37.1.10.1.1.9

(9) axrStatic グループ

axrStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-9 axrStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrStatic	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38
axrStaticTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.1
axrStaticGatewayEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.1.1
axrStaticGatewayAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.1.1.1
axrStaticGatewayState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.1.1.2
axrStaticIpv6Table	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.3
axrStaticIpv6GatewayEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.3.1
axrStaticIpv6Ifindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.3.1.1
axrStaticIpv6GatewayAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.3.1.2
axrStaticIpv6GatewayState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.38.3.1.3

(10) axrBootManagement グループ

axrBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-10 axrBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrBootManagement	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.51
axrBootReason	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.51.1

(11) axrLogin グループ

axrLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-11 axrLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrLogin	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52

MIB 名称	オブジェクト ID
axrLoginName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52.1
axrLoginTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52.2
axrLogoutTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52.3
axrLoginFailureTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52.4
axrLoginLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52.5
axrLoginLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52.6
axrLogoutStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.52.7

(12) axrldp グループ

axrldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-12 axrldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrldp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100
axrldpConfiguration	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1
axrldpMessageTxInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.1
axrldpMessageTxHoldMultiplier	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.2
axrldpReinitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.3
axrldpTxDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.4
axrldpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.6
axrldpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.6.1
axrldpPortConfigPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.6.1.2
axrldpPortConfigAdminStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.6.1.3
axrldpPortConfigTLVsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.6.1.4
axrldpPortConfigRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.6.1.5
axrldpConfigManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.7
axrldpConfigManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.7.1
axrldpConfigManAddrPortsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.1.7.1.1
axrldpStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2
axrldpStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1
axrldpStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1
axrldpStatsPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1.2
axrldpStatsOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1.3
axrldpStatsFramesInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1.4
axrldpStatsFramesInTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1.5
axrldpStatsFramesOutTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1.6
axrldpStatsTLVsInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1.7
axrldpStatsTLVsDiscardedTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1.8
axrldpStatsCounterDiscontinuityTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.2.1.1.9
axrldpLocalSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axrldpLocChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.1
axrldpLocChassisId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.2
axrldpLocSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.3
axrldpLocSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.4
axrldpLocSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.5
axrldpLocSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.6
axrldpLocPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.7
axrldpLocPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.7.1
axrldpLocPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.7.1.1
axrldpLocPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.7.1.2
axrldpLocPortId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.7.1.3
axrldpLocPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.7.1.4
axrldpLocManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.8
axrldpLocManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.8.1
axrldpLocManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.8.1.1
axrldpLocManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.8.1.2
axrldpLocManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.8.1.3
axrldpLocManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.8.1.4
axrldpLocManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.3.8.1.5
axrldpRemoteSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4
axrldpRemTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1
axrldpRemEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1
axrldpRemTimeMark	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.1
axrldpRemLocalPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.2
axrldpRemIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.3
axrldpRemRemoteChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.4
axrldpRemRemoteChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.5
axrldpRemRemotePortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.6
axrldpRemRemotePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.7
axrldpRemPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.8
axrldpRemSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.9
axrldpRemSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.10
axrldpRemSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.11
axrldpRemSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.1.1.12
axrldpRemManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.2
axrldpRemManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.2.1
axrldpRemManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.2.1.1
axrldpRemManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.2.1.2
axrldpRemManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.2.1.3
axrldpRemManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.2.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
axrldpRemManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.2.1.5
axrldpRemOrgDefInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.3
axrldpRemOrgDefInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.3.1
axrldpRemOrgDefInfoOUI	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.3.1.1
axrldpRemOrgDefInfoSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.3.1.2
axrldpRemOrgDefInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.3.1.3
axrldpRemOrgDefInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.4.3.1.4
axrldpRemoteOriginInfoData	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20
axrldpRemOriginInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1
axrldpRemOriginInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1
axrldpRemOriginInfoPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.1
axrldpRemOriginInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.2
axrldpRemOriginInfoLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.3
axrldpRemOriginInfoHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.4
axrldpRemOriginInfoIPv4Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.5
axrldpRemOriginInfoIPv4PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.6
axrldpRemOriginInfoIPv4VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.7
axrldpRemOriginInfoIPv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.8
axrldpRemOriginInfoIPv6PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.9
axrldpRemOriginInfoIPv6VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.100.20.1.1.10

(13) axrBfdMIB グループ 【OP-BFD】

axrBfdMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-13 axrBfdMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axrBfdMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201
axrBfdObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1
axrBfdScalarObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.1
axrBfdAdminStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.1.1
axrBfdVersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.1.3
axrBfdSessNotificationsEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.1.4
axrBfdSessTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2
axrBfdSessEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1
axrBfdSessIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.1
axrBfdSessApplicationId	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.2
axrBfdSessDiscriminator	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.3
axrBfdSessRemoteDiscr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.4
axrBfdSessUdpPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.5
axrBfdSessState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
axrBfdSessRemoteHeardFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.7
axrBfdSessDiag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.8
axrBfdSessOperMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.9
axrBfdSessDemandModeDesiredFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.10
axrBfdSessEchoFuncModeDesiredFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.11
axrBfdSessControlPlanIndepFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.12
axrBfdSessAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.13
axrBfdSessAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.14
axrBfdSessDesiredMinTxInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.15
axrBfdSessDesiredMinRxInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.16
axrBfdSessDesiredMinEchoRxInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.17
axrBfdSessDetectMult	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.18
axrBfdSessStorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.19
axrBfdSessRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.20
axrBfdSessAuthPresFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.21
axrBfdSessAuthenticationType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.2.1.22
axrBfdSessPerfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3
axrBfdSessPerfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1
axrBfdSessPerfPktIn	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.1
axrBfdSessPerfPktOut	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.2
axrBfdSessUpTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.3
axrBfdSessPerfLastSessDownTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.4
axrBfdSessPerfLastCommLostDiag	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.5
axrBfdSessPerfSessUpCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.6
axrBfdSessPerfDiscTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.7
axrBfdSessPerfPktInHC	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.8
axrBfdSessPerfPktOutHC	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.3.1.9
axrBfdSessMapTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.4
axrBfdSessMapEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.4.1
axrBfdSessMapBfdIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.1.201.1.4.1.1

(14) ax7800rRouter グループ

ax7800rRouter グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-14 ax7800rRouter グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800rRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1
ax7800rModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.1
ax7800rSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.2
ax7800rSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.2.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800rSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.2.2
ax7800rSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.2.3
ax7800rSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3
ax7800rSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3.1
ax7800rSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3.2
ax7800rSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3.3
ax7800rSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3.4
ax7800rSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3.5
ax7800rSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3.6
ax7800rSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3.7
ax7800rSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.3.8
ax7800rSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.4
ax7800rSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.4.1
ax7800rSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.4.2
ax7800rSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.4.3
ax7800rSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.4.4
ax7800rLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6
ax7800rLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.1
ax7800rLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.2
ax7800rLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.2.1
ax7800rLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.2.1.1
ax7800rLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.2.1.2
ax7800rLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.2.1.3
ax7800rLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.3
ax7800rLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.3.1
ax7800rLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.3.1.1
ax7800rLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.3.1.2
ax7800rLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.3.1.3
ax7800rLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.1.6.3.1.4

(15) ax7800rDevice グループ

ax7800rDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-15 ax7800rDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800rDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2
ax7800rChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1
ax7800rChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.1
ax7800rChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2
ax7800rChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800rChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.1
ax7800rChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.2
ax7800rChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.3
ax7800rBcuBoardDuplexMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.4
ax7800rPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.5
ax7800rFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.6
ax7800rCifNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.7
ax7800rBcuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.8
ax7800rPruBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.9
ax7800rNifBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.2.1.10
ax7800rPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.3
ax7800rPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.3.1
ax7800rPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.3.1.1
ax7800rPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.3.1.2
ax7800rPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.3.1.3
ax7800rFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.4
ax7800rFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.4.1
ax7800rFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.4.1.1
ax7800rFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.1.4.1.2
ax7800rBcuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2
ax7800rBcuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1
ax7800rBcuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1
ax7800rBcuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.1
ax7800rBcuIoBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.2
ax7800rBcuCpuBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.3
ax7800rBcuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.4
ax7800rBcuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.5
ax7800rBcuActiveLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.6
ax7800rBcuReadyLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.7
ax7800rBcuAlarmLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.8
ax7800rBcuErrorLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.9
ax7800rBcuEmaLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.10
ax7800rBcuRmEthernetStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.12
ax7800rBcuAtaCardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.13
ax7800rBcuAtaBootDev	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.14
ax7800rBcuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.15
ax7800rBcuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.16
ax7800rBcuIoBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.17
ax7800rBcuCpuBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.18
ax7800rBcuRmCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.19

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800rBcuRmCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.20
ax7800rBcuRmMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.21
ax7800rBcuRmMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.22
ax7800rBcuRmMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.23
ax7800rBcuRmRomVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.24
ax7800rBcuRmCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.25
ax7800rBcuTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.26
ax7800rBcuCpOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.27
ax7800rBcuCpCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.28
ax7800rBcuCpCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.29
ax7800rBcuCpMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.30
ax7800rBcuCpCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.33
ax7800rBcuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.34
ax7800rBcuVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.35
ax7800rBcuVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.36
ax7800rBcuVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.37
ax7800rBcuVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.38
ax7800rBcuVoltage500	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.1.1.39
ax7800rAtaCardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2
ax7800rAtaCardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1
ax7800rAtaCardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1.1
ax7800rAtaCardConnection	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1.2
ax7800rAtaCardTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1.3
ax7800rAtaCardUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1.4
ax7800rAtaCardFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1.5
ax7800rAtaCardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1.6
ax7800rAtaCardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1.7
ax7800rAtaCardMountStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.2.1.8
ax7800rTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.3
ax7800rTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.3.1
ax7800rTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.3.1.1
ax7800rTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.3.1.2
ax7800rTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.3.1.3
ax7800rTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.3.1.4
ax7800rTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.3.1.5
ax7800rSopTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.4
ax7800rSopEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.4.1
ax7800rSopAlarmLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.4.1.1
ax7800rSopAlarmEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.4.1.2
ax7800rSopAlarmEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.4.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800rSopAlarmEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.4.1.4
ax7800rSopAlarmMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.2.4.1.5
ax7800rPruBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3
ax7800rPruBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1
ax7800rPruBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1
ax7800rPruBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.1
ax7800rPruBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.2
ax7800rPruOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.3
ax7800rPruBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.4
ax7800rPruBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.5
ax7800rPruBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.6
ax7800rPruSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.7
ax7800rPruVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.8
ax7800rPruVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.9
ax7800rPruVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.10
ax7800rPruVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.11
ax7800rPruVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.12
ax7800rPruVoltage500	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.13
ax7800rPruVoltage120-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.14
ax7800rPruVoltage120-3	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.15
ax7800rPruVoltage120-4	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.16
ax7800rPruVoltage120-5	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.17
ax7800rPruVoltage120-6	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.18
ax7800rPruVoltage120-7	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.19
ax7800rPruVoltage120-8	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.3.1.1.20
ax7800rNifBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4
ax7800rNifBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1
ax7800rNifBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1
ax7800rNifBoardSlotIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.1
ax7800rNifBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.2
ax7800rNifBoardOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.3
ax7800rNifBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.4
ax7800rNifBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.5
ax7800rNifBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.6
ax7800rNifPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.7
ax7800rNifSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.8
ax7800rNifVoltageAM520	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.9
ax7800rNifVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.10
ax7800rNifVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.11
ax7800rNifVoltageA180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.12

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800rNifVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.13
ax7800rNifVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.14
ax7800rNifVoltageA330	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.15
ax7800rNifVoltageA500	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.16
ax7800rNifVoltage330S	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.17
ax7800rNifVoltage500S	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.18
ax7800rNifVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.19
ax7800rNifVoltageA500-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.20
ax7800rNifVoltage150S	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.4.1.1.21
ax7800rPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5
ax7800rPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5.1
ax7800rPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5.1.1
ax7800rPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5.1.1.1
ax7800rPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5.1.1.2
ax7800rPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5.1.1.3
ax7800rPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5.1.1.4
ax7800rPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.5.1.1.5
ax7800rInterface	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.6
ax7800rLineIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.6.1
ax7800rLineIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.6.1.1
ax7800rLineIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.6.1.1.1
ax7800rIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.6.1.1.2
ax7800rIfIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.6.1.1.3
ax7800rIfIpv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.2.2.6.1.1.4

(16) ax7700rRouter グループ

ax7700rRouter グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-16 ax7700rRouter グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7700rRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1
ax7700rModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.1
ax7700rSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.2
ax7700rSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.2.1
ax7700rSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.2.2
ax7700rSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.2.3
ax7700rSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3
ax7700rSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3.1
ax7700rSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3.2
ax7700rSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7700rSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3.4
ax7700rSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3.5
ax7700rSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3.6
ax7700rSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3.7
ax7700rSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.3.8
ax7700rSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.4
ax7700rSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.4.1
ax7700rSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.4.2
ax7700rSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.4.3
ax7700rSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.4.4
ax7700rLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6
ax7700rLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.1
ax7700rLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.2
ax7700rLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.2.1
ax7700rLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.2.1.1
ax7700rLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.2.1.2
ax7700rLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.2.1.3
ax7700rLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.3
ax7700rLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.3.1
ax7700rLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.3.1.1
ax7700rLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.3.1.2
ax7700rLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.3.1.3
ax7700rLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.1.6.3.1.4

(17) ax7700rDevice グループ

ax7700rDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-17 ax7700rDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7700rDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2
ax7700rChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1
ax7700rChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.1
ax7700rChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2
ax7700rChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1
ax7700rChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.1
ax7700rChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.2
ax7700rChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.3
ax7700rBcuBoardDuplexMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.4
ax7700rPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.5
ax7700rFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7700rCifNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.7
ax7700rBcuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.8
ax7700rPruBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.9
ax7700rNifBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.2.1.10
ax7700rPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.3
ax7700rPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.3.1
ax7700rPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.3.1.1
ax7700rPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.3.1.2
ax7700rPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.3.1.3
ax7700rFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.4
ax7700rFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.4.1
ax7700rFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.4.1.1
ax7700rFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.1.4.1.2
ax7700rBcuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2
ax7700rBcuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1
ax7700rBcuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1
ax7700rBcuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.1
ax7700rBcuIoBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.2
ax7700rBcuCpuBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.3
ax7700rBcuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.4
ax7700rBcuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.5
ax7700rBcuActiveLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.6
ax7700rBcuReadyLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.7
ax7700rBcuAlarmLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.8
ax7700rBcuErrorLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.9
ax7700rBcuEmaLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.10
ax7700rBcuRmEthernetStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.12
ax7700rBcuAtaCardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.13
ax7700rBcuAtaBootDev	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.14
ax7700rBcuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.15
ax7700rBcuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.16
ax7700rBcuIoBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.17
ax7700rBcuCpuBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.18
ax7700rBcuRmCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.19
ax7700rBcuRmCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.20
ax7700rBcuRmMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.21
ax7700rBcuRmMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.22
ax7700rBcuRmMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.23
ax7700rBcuRmRomVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.24
ax7700rBcuRmCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.25

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7700rBcuTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.26
ax7700rBcuCpOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.27
ax7700rBcuCpCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.28
ax7700rBcuCpCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.29
ax7700rBcuCpMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.30
ax7700rBcuCpCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.33
ax7700rBcuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.34
ax7700rBcuVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.35
ax7700rBcuVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.36
ax7700rBcuVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.37
ax7700rBcuVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.38
ax7700rBcuVoltage500	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.39
ax7700rBcuVoltage130	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.40
ax7700rBcuPbmVoltage105	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.41
ax7700rBcuPbmVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.42
ax7700rBcuPbmCpuCoreVoltage	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.43
ax7700rBcuPbmVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.44
ax7700rBcuPbmVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.1.1.45
ax7700rAtaCardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2
ax7700rAtaCardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1
ax7700rAtaCardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1.1
ax7700rAtaCardConnection	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1.2
ax7700rAtaCardTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1.3
ax7700rAtaCardUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1.4
ax7700rAtaCardFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1.5
ax7700rAtaCardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1.6
ax7700rAtaCardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1.7
ax7700rAtaCardMountStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.2.1.8
ax7700rTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.3
ax7700rTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.3.1
ax7700rTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.3.1.1
ax7700rTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.3.1.2
ax7700rTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.3.1.3
ax7700rTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.3.1.4
ax7700rTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.3.1.5
ax7700rSopTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.4
ax7700rSopEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.4.1
ax7700rSopAlarmLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.4.1.1
ax7700rSopAlarmEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.4.1.2
ax7700rSopAlarmEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.4.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7700rSopAlarmEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.4.1.4
ax7700rSopAlarmMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.2.4.1.5
ax7700rPruBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3
ax7700rPruBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1
ax7700rPruBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1
ax7700rPruBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.1
ax7700rPruBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.2
ax7700rPruOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.3
ax7700rPruBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.4
ax7700rPruBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.5
ax7700rPruBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.6
ax7700rPruSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.7
ax7700rPruVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.8
ax7700rPruVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.9
ax7700rPruVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.10
ax7700rPruVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.11
ax7700rPruVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.12
ax7700rPruVoltage500	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.13
ax7700rPruVoltage120-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.14
ax7700rPruVoltage120-3	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.15
ax7700rPruVoltage120-4	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.16
ax7700rPruVoltage120-5	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.17
ax7700rPruVoltage120-6	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.18
ax7700rPruVoltage120-7	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.19
ax7700rPruVoltage120-8	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.3.1.1.20
ax7700rNifBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4
ax7700rNifBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1
ax7700rNifBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1
ax7700rNifBoardSlotIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.1
ax7700rNifBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.2
ax7700rNifBoardOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.3
ax7700rNifBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.4
ax7700rNifBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.5
ax7700rNifBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.6
ax7700rNifPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.7
ax7700rNifSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.8
ax7700rNifVoltageAM520	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.9
ax7700rNifVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.10
ax7700rNifVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.11
ax7700rNifVoltageA180	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.12

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7700rNifVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.13
ax7700rNifVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.14
ax7700rNifVoltageA330	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.15
ax7700rNifVoltageA500	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.16
ax7700rNifVoltage330S	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.17
ax7700rNifVoltage500S	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.18
ax7700rNifVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.19
ax7700rNifVoltageA500-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.20
ax7700rNifVoltage150S	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.4.1.1.21
ax7700rPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5
ax7700rPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5.1
ax7700rPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5.1.1
ax7700rPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5.1.1.1
ax7700rPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5.1.1.2
ax7700rPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5.1.1.3
ax7700rPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5.1.1.4
ax7700rPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.5.1.1.5
ax7700rInterface	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.6
ax7700rLineIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.6.1
ax7700rLineIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.6.1.1
ax7700rLineIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.6.1.1.1
ax7700rIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.6.1.1.2
ax7700rIfIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.6.1.1.3
ax7700rIfIpv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.1.5.2.6.1.1.4

付録 A.2 HP プライベート MIB

HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を次の表に示します。

表 A-18 HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
icmp	1.3.6.1.4.1.11.2.7
icmpEchoReq	1.3.6.1.4.1.11.2.7.1

付録 A.3 InMon プライベート MIB

InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-19 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
sFlowAgent	1.3.6.1.4.1.4300.1.1
sFlowVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
sFlowAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.2
sFlowAgentAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.3
sFlowTable	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4
sFlowEntry	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1
sFlowDataSource	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.1
sFlowOwner	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.2
sFlowTimeout	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.3
sFlowPacketSamplingRate	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.4
sFlowCounterSamplingInterval	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.5
sFlowMaximumHeaderSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.6
sFlowMaximumDatagramSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.7
sFlowCollectorAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.8
sFlowCollectorAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.9
sFlowCollectorPort	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.10
sFlowDatagramVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.11

索引

A

Alarm グループ 96

at グループ (MIB-II) 33

ax7700rBcuBoard グループ (BCU 情報) 344

ax7700rBcuBoard グループ (MC 情報) 348

ax7700rBcuBoard グループ (SOP 情報) 350

ax7700rBcuBoard グループ (温度情報) 349

ax7700rChassis グループ (筐体情報) 342

ax7700rChassis グループ (電源情報) 343

ax7700rChassis グループ (ファン情報) 343

ax7700rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 342

ax7700rDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 429

ax7700rInterface グループ (インタフェースインデックス情報) 358

ax7700rNifBoard グループ (NIF 情報) 353

ax7700rPhysLine グループ (line(物理回線)情報) 356

ax7700rPruBoard グループ (PRU 情報) 351

ax7700rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB) 339

ax7700rRouter グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 428

ax7800rBcuBoard グループ (BCU 情報) 322

ax7800rBcuBoard グループ (MC 情報) 327

ax7800rBcuBoard グループ (SOP 情報) 329

ax7800rBcuBoard グループ (温度情報) 328

ax7800rChassis グループ (筐体情報) 319

ax7800rChassis グループ (電源情報) 320

ax7800rChassis グループ (ファン情報) 321

ax7800rDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 319

ax7800rDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 424

ax7800rInterface グループ (インタフェースインデックス情報) 337

ax7800rNifBoard グループ (NIF 情報) 332

ax7800rPhysLine グループ (line(物理回線)情報) 336

ax7800rPruBoard グループ (PRU 情報) 330

ax7800rRouter グループ (装置のモデル情報 MIB) 316

ax7800rRouter グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 423

axrBfdMIB グループ (BFD 情報 MIB) 311

axrBfdMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 422

axrBfdScalarObjects グループ 311

axrBfdSessMapTable グループ 314

axrBfdSessPerfTable グループ 313

axrBfdSessTable グループ 311

axrBootManagement グループ (システム起動情報 MIB) 298

axrDHCP グループ 189

axrFlowFilterStats グループ 232

axrFlowFilter グループ 221

axrFlowQosStats グループ 265

axrFlowQos グループ 235

axrFlowResources グループ 216

axrFlow グループ (FLOW 情報 MIB) 216

axrFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 398

axrIfStats グループ 183

axrIpStats グループ 190

axrIsisCircTable グループ 294

axrIsisMib グループ (IS-IS 情報 MIB) 293

axrIsisMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 418

axrIsisNotificationTable グループ 294

axrIsisSysLevelTable グループ 293

axrIsisSysTable グループ 293

axrlldpConfiguration グループ 301

axrlldpLocalSystemData グループ 303

axrlldpRemoteOriginInfoData グループ 309

axrlldpRemoteSystemData グループ 306

axrlldpStats グループ 302

axrlldp グループ (LLDP 情報 MIB) 301

axrlldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 420

axrLogin グループ (ログイン情報 MIB) 299

axrMpls グループ 195

axrMpls グループ (MPLS 情報 MIB) 195

axrMpls グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 393

axrOadpGlobalInfo グループ 211

axrOadpNeighborInfo グループ 212

axrOadpPortInfo グループ 212

axrOadp グループ (OADP 情報 MIB) 211

axrOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 397

axrOspfAreaAggregateTable 279

axrOspfAreaRangeTable 272

axrOspfAreaTable 270

axrOspfExtLsdbTable 278

axrOspfGeneralTable 269
 axrOspfIfMetricTable 275
 axrOspfIfTable 273
 axrOspfLsdbTable 272
 axrOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 269
 axrOspfNbrTable 276
 axrOspfStubAreaTable 271
 axrOspfTrap 280
 axrOspfv3AreaAggregateTable 291
 axrOspfv3AreaLsdbTable 285
 axrOspfv3AreaTable 283
 axrOspfv3AsLsdbTable 284
 axrOspfv3GeneralTable 282
 axrOspfv3IfTable 287
 axrOspfv3LinkLsdbTable 286
 axrOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 415
 axrOspfv3NbrTable 289
 axrOspfv3VirtIfTable 288
 axrOspfv3VirtNbrTable 290
 axrOspfv3 グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB) 282
 axrOspfVirtIfTable 276
 axrOspfVirtNbrTable 278
 axrOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 411
 axrPhysStats グループ 180
 axrQoS グループ 184
 axrSonetStats グループ 181
 axrStaticIpv6Table グループ 296
 axrStaticTable グループ 296
 axrStatic グループ (スタティック経路情報 MIB) 296
 axrStats グループ (統計情報 MIB) 180
 axrStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 388
 axrVpnIpForward グループ 192
 axrVpnIp グループ 191
 axrVpn グループ (VPN 情報 MIB) 191
 axrVpn グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 391

B

bgp 87
 bgp4PathAttrTable 89
 bgpPeerTable 87
 bgp グループ (BGP4 MIB) 87

D

dot3adAggPort グループ 156
 dot3adAgg グループ 155
 dot3adTablesLastChanged グループ 160
 dot3 グループ (Ethernet Like MIB) 48

E

Ethernet History グループ 94
 Ethernet Statistics グループ 91
 Event グループ 97

H

History Control グループ 93
 HP プライベート MIB 433
 HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 433

I

icmp グループ (HP プライベート MIB) 360
 icmp グループ (MIB-II) 41
 IEEE8023-LAG-MIB グループ 155
 ifMIB (POS の場合) 102
 ifMIB (イーサネットの場合) 100
 ifMIB (トンネルの場合) 104
 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB) 100
 igmpCacheTable 133
 igmpInterfaceTable 132
 igmpStdMIB グループ (IGMP MIB) 132
 InMon プライベート MIB 433
 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 433
 interfaces グループ (MIB-II) 21
 interfaces グループ (POS の場合) 25
 interfaces グループ (イーサネットの場合) 21
 interfaces グループ (トンネルインタフェースの場合) 27
 interfaces グループ (ローカルループバック /RM イーサネットポートの場合) 29
 ip 34
 ipAddrTable 35
 ipForward 38
 ipMRouteBoundaryTable 129
 ipMRouteEnable 124
 ipMRouteEntryCount 130
 ipMRouteInterfaceTable 127
 ipMRouteNextHopTable 126
 ipMRouteScopeNameTable 129
 ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB) 124

ipMRouteTable 124
 ipNetToMediaTable 37
 ipRouteTable 36
 ipv6AddrPrefixTable 109
 ipv6AddrTable 110
 ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB) 114
 ipv6IfStatsTable 107
 ipv6IfTable 106
 ipv6MIB 106
 ipv6MIB グループ (IPv6 MIB) 106
 ipv6NetToMediaTable 112
 ipv6RouteTable 111
 ipv6TcpConnTable 44
 ipv6UdpTable 46
 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)
 34

M

MIB 一覧 4
 MIB 体系図 2
 MIB の記述形式 13

O

ospfAreaAggregateTable 84
 ospfAreaRangeTable 77
 ospfAreaTable 74
 ospfExtLsdbTable 84
 ospfGeneralGroup 73
 ospfHostTable 77
 ospfIfMetricTable 80
 ospfIfTable 78
 ospfLsdbTable 76
 ospfNbrTable 81
 ospfStubAreaTable 75
 ospfTrap 85
 ospfv3AreaAggregateTable 153
 ospfv3AreaLsdbTable 146
 ospfv3AreaTable 144
 ospfv3AsLsdbTable 145
 ospfv3GeneralGroup 143
 ospfv3IfTable 148
 ospfv3LinkLsdbTable 147
 ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB) 143
 ospfv3NbrTable 151
 ospfv3VirtIfTable 150
 ospfv3VirtNbrTable 152
 ospfVirtIfTable 80
 ospfVirtNbrTable 83
 ospf グループ (OSPFv2 MIB) 73

P

pimCandidateRPTTable 140
 pimComponentTable 141
 pimInterfaceTable 135
 pimIpMRouteNextHopTable 140
 pimIpMRouteTable 137
 pimJoinPruneInterval 135
 pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) 135
 pimNeighborTable 136
 pimRPSetTable 139
 pimRPTTable 138
 pppIp 52
 pppLcp 50
 ppp グループ (PPP MIB) 50

R

rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)
 91

S

sFlow グループ (InMon プライベート MIB) 361
 snmpCommunityMIB グループ (SNMP-
 COMMUNITY-MIB) 175
 snmpFrameworkMIB グループ (SNMP-
 FRAMEWORK-MIB) 161
 snmpModules グループ (SNMPv3 情報 MIB) 161
 snmpMPDMIB グループ (SNMP-MPD-MIB) 161
 snmpNotificationMIB グループ (SNMP-
 NOTIFICATION-MIB) 166
 snmpProxyMIB グループ (SNMP-PROXY-MIB) 168
 snmpTargetMIB グループ (SNMP-TARGET-MIB)
 162
 snmpUsmMIB グループ (SNMP-USER-BASED-SM-
 MIB) 169
 snmpVacmMIB グループ (SNMP-VIEW-BASED-
 ACM-MIB) 171
 snmp グループ (MIB-II) 71
 SONET/SDH Far End Line Current Table 59
 SONET/SDH Far End Line Interval Table 60
 SONET/SDH Far End Line グループ 59
 SONET/SDH Far End Path Current Table 64
 SONET/SDH Far End Path Interval Table 65
 SONET/SDH Far End Path グループ 64
 SONET/SDH Far End VT Current Table 68
 SONET/SDH Far End VT Interval Table 69
 SONET/SDH Far End VT グループ 68
 SONET/SDH Line Current Table 57
 SONET/SDH Line Interval Table 58

SONET/SDH Line グループ 57
SONET/SDH Medium グループ 54
SONET/SDH Path Current Table 61
SONET/SDH Path Interval Table 63
SONET/SDH Path グループ 61
SONET/SDH Section Current Table 55
SONET/SDH Section Interval Table 56
SONET/SDH Section グループ 55
SONET/SDH Virtual Tributary グループ 66
SONET/SDH VT Current Table 66
SONET/SDH VT Interval Table 67
SONET/SDH グループ (SONET/SDH MIB) 54
SYNTAX 13
system グループ (MIB-II) 19

T

tcp 43
tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6) 43

U

udp 46
udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6) 46

V

vrrpMIB グループ 117
vrrpOperations グループ 117
vrrpStatistics グループ 120

あ

アクセス 14

お

オブジェクト識別子 13

さ

サポート MIB トラップ 363
サポート MIB の概要 1
サポートトラップ・PDU 内パラメータ 371
サポートトラップおよび発行契機 364

し

識別子 13
実装有無 15
実装仕様 13, 15

ひ

標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB) 17

ふ

プライベート MIB 179, 388
プライベート MIB 定義ファイルの入手方法 12
プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値 388